

令和6年度 沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画 成果目標

令和6年9月30日

| | | | |
|------|-----|------|-----|
| 那覇市 | 1 | 嘉手納町 | 114 |
| 宜野湾市 | 22 | 北谷町 | 118 |
| 石垣市 | 29 | 北中城村 | 122 |
| 浦添市 | 34 | 中城村 | 127 |
| 名護市 | 40 | 西原町 | 131 |
| 糸満市 | 46 | 与那原町 | 136 |
| 沖縄市 | 51 | 南風原町 | 140 |
| 豊見城市 | 59 | 渡嘉敷村 | 150 |
| うるま市 | 65 | 座間味村 | 154 |
| 宮古島市 | 73 | 粟国村 | 157 |
| 南城市 | 79 | 渡名喜村 | 161 |
| 国頭村 | 83 | 南大東村 | 163 |
| 大宜味村 | 85 | 北大東村 | 165 |
| 東村 | 87 | 伊平屋村 | 168 |
| 今帰仁村 | 89 | 伊是名村 | 172 |
| 本部町 | 93 | 久米島町 | 175 |
| 恩納村 | 96 | 八重瀬町 | 180 |
| 宜野座村 | 100 | 多良間村 | 186 |
| 金武町 | 104 | 竹富町 | 190 |
| 伊江村 | 107 | 与那国町 | 193 |
| 読谷村 | 110 | | |

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 1 | 観光案内所外国人対応スタッフ配置事業 | H25 ～ R13 | 外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。 | ・英語、中国語、韓国語での観光案内所の実施に必要なスタッフ(常勤7名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスのさらなる充実に努め、本市の観光イメージアップ及び観光誘客を図る。 | ・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・案内所を利用する外国人観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。 | 【R6成果目標の考え方】 ・事業の成果目標として、案内所を利用する外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。 |
| 1 | 2 | めんそーれ観光充実事業 | H28 ～ R13 | 観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。 | ・迷惑行為に対する是正指導及び、具体的手法の検討 | 「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板：月平均440回以内 車両：月平均85回以内 | 【今後のスケジュール】 今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R6年度もR5年度に引き続き、具体的手法を検討するため、看板等の違法な設置と車両の違法駐車に目標値を分けて設定した。 成果目標値は、令和5年4月から10月分の平均に1割減した値とした。 |
| 1 | 3 | 那覇三大祭り関連事業 | H24 ～ R13 | 観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。 | ・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフの配置・広報 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備の実施 ・那覇ハーリー会場インフラ等設営業務 ・那覇ハーリー会場移設調査業務(R6年度限定) ・安心安全なRBC市民フェスティバル開催に係る警備業務委託 | ・「那覇ハーリー」来場者数：187,800人 人 ・「那覇大綱挽」来場者数：272,000人 人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数：48,600人 | 【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。 (那覇ハーリー) 令和6年度 移設に向けた調査、可否決定 令和7年度 新会場にて那覇ハーリー実施 【成果目標】 那覇三大祭りの直近5年間の観客最高動員を上回る、または維持していく。 那覇ハーリー：210,000人 那覇大綱挽まつり：275,000人 王朝祭り首里：84,000人 | 【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 4 | 観光入込統計調査事業 | H28 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ①統計調査 ②アンケート調査 (WEB方式による調査) | ・WEBアンケート調査における回収件数600件以上。 | 【今後のスケジュール】 宿泊人数、平均泊数、消費額等について、過去の調査結果や全国・沖縄県と比較することで今後の観光振興施策に活用する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|--|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 5 | プロ野球キャンプ等支援事業 | H24 ～ R13 | 読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦の開催支援を行うことで、観光誘客を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備しキャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:13,000人 | <p>【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 コロナ禍前の実績を勘案して設定した。</p> |
| 1 | 6 | 那覇まちまーい推進事業 | H24 ～ R13 | 観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」及び「ガイド養成講座」の支援を行う。 | <p>「那覇まちまーい」及び「ガイド養成講座」実施に要する費用の支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・那覇まちまーい参加者数 4,860人 ・ガイド養成講座受講者数 25人 | <p>【今後のスケジュール】 （一社）那覇市観光協会が実施する「那覇まちまーい」及び那覇市街角ガイドが実施する「ガイド養成講座」に要する費用に対する支援を行う。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を考慮し、設定した。 「那覇まちまーい」 令和元年度 9,217人 令和2年度 2,552人 令和3年度 1,846人 令和4年度 2,336人 「ガイド養成講座」 定員 25人</p> |
| 1 | 7 | 外国人観光客受入整備事業 | H26 ～ R13 | 外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う | <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ受入に係る事業に対する支援 | クルーズ乗船客数:607,809人 | <p>今後もクルーズ受け入れに関する体制を整備するために支援を実施する。</p> | <p>（R6成果目標設定の考え方） 過去の実績を勘案して設定した。</p> |
| 1 | 8 | 観光イベント等映像発信事業 | H24 ～ R13 | 市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。 | <p>各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信</p> | <p>年間稼働数:54回</p> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:15回 ・沖縄国際映画祭:1回 ・那覇ハーリー:3回 ・那覇大綱挽まつり:2回 ・琉球王朝祭り首里:1回 ・那覇マラソン:2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ:20回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント:10回 | <p>【スケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績と予算額を勘案して設定した。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 9 | 沖縄国際映画祭関連事業 | H28 ～ R13 | 観光客の誘客を図るため、沖縄国際映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。 | 沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援。 | 国際通りレッドカーペット観客数 92,000人 | 【今後のスケジュール】 沖縄国際映画祭を4月の観光メニューとして定着させ、一層の観光振興を図る。 | 【成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 10 | 国際通りトランジットマイル推進事業 | H24 ～ R13 | 観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。 | 那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:35回 ※新型コロナの影響を受けていない過去5年間(R2、R3を除く)の平均値で設定。 【実績】 H24:35回 H30:35回 H25:37回 R1:33回 H26:35回 R2:16回 H27:36回 R3:8回 H28:34回 R4:34回 H29:36回 | 歩行者通行量(1日) 22,100人 | 【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。 | 【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 11 | 一万人のエイサー踊り隊推進事業 | H24 ～ R13 | 観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。 | 一万人のエイサー踊り隊の開催支援。 | 来場者数:90,800人 | 【今後のスケジュール】 引き続き、一万人のエイサー踊り隊の開催を支援する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 12 | 沖縄の「食」の魅力体験支援事業 | R6 ～ R13 | 第一牧志公設市場を含めた中心商店街(マチグラー)の継続的な回遊性及び誘客の向上を図るため、中心商店街の賑わい創出に寄与するイベントを実施する団体を支援する。 | イベントを実施する団体への補助(3団体) | 中心商店街来訪意向の向上(イベント参加者の7割が「同様なイベントがあれば参加したい」と回答) | 【今後のスケジュール】 増加傾向にある中心商店街へ殆ど行かない市民の割合の改善。中心商店街へ行く那覇市民の割合(月に1～2回以上)を2027年度までに41%まで回復させる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 増加傾向にある中心商店街へ殆ど行かない市民の割合の改善に寄与する値 |
| 1 | 13 | 国際通り情報発信大型ビジョン活用事業 | H24 ～ R13 | 市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。 | ・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年8回以上) | 月平均視聴者数:16,167人 ※視聴者測定システムで測定 | 【今後のスケジュール】 大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に継続的に取組む。 R6年度以降は、那覇ぶんかテンプス館との一体活用を予定。 | 【R5成果目標設定の考え方】 R4は新型コロナの影響も少なく、イベントも再開し視聴者数が増加し始めていることから、コロナ禍前のH30実績値を目標に設定。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 14 | マチグラー総合案内所事業 | H26 ～ R13 | 観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に、案内所を設置する。 | ①案内所の運営 案内スタッフ:常時1名以上 配置 (開所時間9時～20時 年中無休 ※元日を除く) ②中心商店街(マチグラー)情報の発信(HP、SNS、情報誌制作等) | ①案内所利用者数:18,000人 ②利用者満足度:80%以上 | 【今後のスケジュール】 第一牧志公設市場に移転したことで観光案内の利用増が見込まれる。スタッフの体制強化を図り、引き続き案内所を運営する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①案内所移転後の実績を勘案し設定した。 ②移転後の運営内容がこれまでと異なり、前年度との比較ができないため、80%以上で設定。 |
| 1 | 15 | 歴史博物館企画展事業 | H24 ～ R13 | 地域の歴史・文化を学ぶ機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。 | ・企画展の開催(年3回) ・チラシ及びポスターの作製(年3回) ・資料梱包運搬業務委託(年1回) | 来館者数 9,150人 ※H30年度の企画展1回あたりの来場者数に近い3,050人を想定 ・企画展1回あたり3,050人 ×3回=9,150人 | 【今後のスケジュール】 令和6年:沖縄の工芸や絵図・地図、写真、文書をテーマにした企画展示を開催予定。 | 【令和6年成果目標設定の考え方】 H30年度の企画展1回あたりの来場者数に近い3,050人をベースに設定。 |
| 1 | 16 | 第2次那覇市観光基本計画策定事業 | R5 ～ R6 | 令和5年度に作成する骨子案を基に第2次那覇市観光基本計画を策定する。 | 第2次那覇市観光基本計画素案の作成、那覇市観光推進本部、那覇市観光審議会の開催、パブリックコメントの実施、第2次観光基本計画最終版及び概要版の作成 | 第2次那覇市観光基本計画の策定 | 【今後のスケジュール】 R6 第2次那覇市観光基本計画策定 R7 第2次那覇市観光基本計画に基づく施策の実施 | 【R6成果目標設定の考え方】 当該計画に基づいた目標値を基に観光振興施策を実施していくことを目標とする。 |
| 1 | 17 | 首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業 | H25 ～ R13 | 観光誘客を図るため、観光資源である首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。 | 首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援 | 首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人 | 【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 18 | プロ野球キャンプにぎわい創出事業 | H24 ～ R13 | 読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。 | ・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備) ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施 | ・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 | 【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等の設置を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 19 | リュウキュウマツ害虫対策事業 | H24 ～ R13 | 県内であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。 | リュウキュウマツへの薬剤注入の実施 | R8年度の松枯れ予防達成率90%以上 | 【今後のスケジュール】 薬剤注入完了から2年後の松枯れ予防達成率を90%以上とする。 | 【R8成果目標設定の考え方】 枯損木の目標は過去の事業実績を基に、90%以上の予防達成率とした。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 20 | 花いっぱい運動推進事業 | H24 ～ R13 | 観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。 | ・観光ルート沿線を対象に市民・学校等に草花を配布 ・公共花壇及び公園花壇を対象に花卉植栽を実施 ・新たな魅力創出のための立体花壇等を設置 ・亜熱帯樹木活用のための計画を作成 | ・立体花壇等の設置完了 ・亜熱帯樹木活用のための計画を作成完了 | 【R7成果目標】 花壇等設置後のアンケートで、「観光地としてふさわしい景観や公園とを感じる」割合が80%以上 【今後のスケジュール】 R7 亜熱帯樹木活用の環境整備 | 【R7成果目標の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |
| 1 | 21 | 歴史散歩道整備事業 | H24 ～ R13 | 観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。 | 歴史散歩道の整備：道路整備工事（整備路線：松城中学校東側線外1路線） | 本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じることができる道路整備となっている(80%以上)を検証する。 | 【今後のスケジュール】 R7年度検討中 整備工事：(松城中学校東側線) R8年度検討中 整備工事：(平良1号、末吉2号、寒川2号) R9年度以降検討中 整備工事：(大名沢岬線、大名1号、山川9号等) | 【R6成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じることができると回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |
| 1 | 22 | 亜熱帯庭園都市の道路美化事業 | H24 ～ R13 | 幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。 | ・観光に資する路線の街路樹剪定(約2,100本) ・観光に資する路線の除草(約17,700㎡) ・小禄金城1号及び久米若狭線の植栽整備(低木：約150㎡、高木：13本) ・街路樹再整備計画策定(現地調査、台帳作成) | 本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に道路美化(剪定・除草・植栽整備等)を行い観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出をはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じている人の割合を指標に設定した。 大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |
| 1 | 23 | 都市景観資源形成促進事業 | R5 ～ R13 | 那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行う。 | ・都市景観資源の維持管理等に対する補助 ・銘板設置業務の実施 | 都市景観資源指定件数の維持及び向上:71件以上 | 【今後のスケジュール】 都市景観資源指定件数の維持及び向上:87件以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行い、都市景観資源の指定件数の維持及び向上を指標に設定した。 |
| 1 | 24 | 市内滞在促進コンテンツ支援事業 | R6 ～ R8 | 本市は、県内旅行の拠点として利便性の高い国際通りや首里城等が所在するが、観光客の滞在日数が短く、消費額も少ないという課題があるため、これらの解消に繋がる取組を行う市内事業者等支援する。 | 支援件数:3件 | 市内滞在日数の増加に繋がったと回答した採択事業者の割合:75%以上 | 【今後のスケジュール】 補助を受けた事業の継続実施状況を確認しながら、支援の在り方を検討する。 | 【R7成果目標設定の考え方】 持続的な事業者の稼ぐ力や地域で消費を促す仕組みづくりを目指す事業のため、事業継続していることによって、市内消費額の増加に影響していることを示すために割合を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 25 | 那覇市宮奥武山野球場機能強化推進事業 | R6 | スポーツコンベンション誘致施設としての機能を強化するため、プロ野球春季キャンプ時の適切な冬芝の管理に必要な3連式芝刈機(1台)及び、プロ野球公式戦等の際の迅速なグラウンド整備に必要なグラウンドレーキ(1台)を購入する。 | 芝刈機(1台)及びグラウンドレーキ(1台)の購入 | ・プロ野球及び社会人・大学の県外チームの合宿受け入れ数:4団体 ・年間利用者数:240,000人 | 【今後のスケジュール】 ・合宿受け入れ数は令和4年度の実績(3団体)から増やすことを目標とする。 ・年間利用者数は、令和4年度(230,638人)から増やすことを目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | 26 | 那覇市スポーツコンベンション推進事業 | R4 ~ R6 | 漫湖公園市民庭球場のフェンス取替工事及び観客席への日除け設置工事を行い、スポーツコンベンション誘致施設としての魅力・利便性の向上を図る。 | フェンス取替及び観客席への日除け設置工事の実施 | フェンス取替及び観客席への日除け設置工事の実施 | 令和4年度 設計業務 令和5年度 工事実施 (照明設備LED化・人工芝コート)用途許可申請業務 令和6年度 工事実施 (日除け・フェンス) 【令和7年度成果目標】 工事完了後1年目(令和7年度)の目標を以下のとおりとする。 ・施設利用者数 73,300人 ・県外からの合宿・大会開催件数:2件 | 【R7成果目標設定の考え方】 コロナ禍前の平成27年度から令和元年度までの5年間の平均利用者数・平均県外大会等開催数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数と県外からの合宿・大会開催数を設定した。 (参考) ・5年間の平均利用者数:69,740人 ・5年間の平均県外大会等開催数:1.4件 |
| 1 | 27 | NAHAマラソン大会推進事業 | R5 ~ R7 | 安全・安心かつ円滑な大会運営を図るとともに会場の環境整備を図り、NAHAマラソン大会を継続して実施できるよう開催支援等を行う。 | 警備費用、交通規制情報の発信にかかる費用、トイレ設置等に係る費用を補助する。 | 参加申込者数:24,000人 (参考) 第37回(R5)NAHAマラソン大会参加申込者数:21,141人 | 【R7年度成果目標】 参加申込者数:27,598人 | 【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ※参考※ コロナ禍前の過去3大会の参加申込者数の平均値 (①+②+③参加申込者数合計)÷3 =27,598人 【参加申込者数】 ①第33回(H29) 28,369人 ②第34回(H30) 28,395人 ③第35回(R1) 26,032人 |
| 2 | 1 | 市魚マグロ等水産物流通支援事業 | H24 ~ R13 | 「那覇市の魚(市魚)マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。 | ・情報発信業務:3回 ・イベント等開催支援:3回 ・水産教室等開催支援:3回 ・ブランド形成に向けた調査業務:1件 ・消費活性化業務:1回 | ・市内世帯のマグロの年間購入数量の向上:前年比18.27%増 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:118人以上 ・マグロが市魚であることを知っている人の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 今後は漁業組合等への助成及び業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・イベント実施により、マグロのさらなる消費促進等を図る。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|-------------------------|-----------------|--|---|--|--|---|
| 事業番号 | バ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | 2 | 漁船近代化機械設置推進事業 | H24 ～ R13 | 漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。 | 漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件 | 漁業者数 196名 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | 3 | 第4次那覇市水産業振興基本計画策定支援事業 | R6 ～ R7 | 本市水産業振興の在り方について検討を行い、今後の水産業振興を定めた「第4次那覇市水産業振興基本計画」策定のための骨子案を作成する。 | ・第4次基本計画骨子案の作成 | 計画策定のための基礎調査及び基本計画の骨子案の作成完了 | 【今後のスケジュール】 R6 基礎調査実施 次期計画の骨子案を作成 R7 計画素案の作成 パブリックコメント等を経て、計画を策定 | 【成果目標設定の考え方】 策定予定の水産業基本計画の中で将来目標値を決定し、その達成に向け水産業振興施策を実施していくことを目標とする。 |
| 2 | 4 | 泊漁港将来像構想策定事業 | R5 ～ R6 | 本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及び水産関係団体等のヒアリングをもとに、泊漁港の将来像構想を策定するための基礎調査を実施し、本市水産業の振興・発展に繋げることを目的とする。 | 泊漁港将来像構想策定に必要な各種検討・分析の実施。 | 泊漁港将来像構想の策定。 | 【R7以降の成果目標】 策定した将来像構想にて生産者及び流通事業者等の目標値を設定し、これらを達成するための支援策を実施する。 | 本事業において策定する将来像構想において目標値を設定するため、現時点で定量的な目標値を設定することは困難であり、将来像構想に基づいた目標値を基に水産業振興施策を実施する。 |
| 2 | 5 | 那覇の海人キャリアモデルPR事業 | R6 | 本市で行われている主な漁法や漁業者へのインタビュー、新規就業者への支援体制、漁業者のキャリアモデルの詳細等を取りまとめた冊子(又はパンフレット)を作成・配布し、就業フェア等で活用することにより後継者不足を解消し漁業者数の確保を図る。 | ・市内の漁業者が行っている主な漁法の調査 ・漁業者へのインタビュー ・新規就業者への支援体制等の整理 ・漁業者のキャリアモデルデザインの作成 ・上記をまとめた冊子の作成、配布 | 市内3漁協、市内中学校(17校)、高校(12校)へ冊子を配布。 | 【今後のスケジュール】 令和7年度以降は、市内漁協が就業フェア等で冊子を活用して新規漁業者を確保する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 市内3漁協及び市内の中学校、高校で活用してもらうことを想定し設定。 |
| 3 | 1 | 中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業 | H24 ～ R13 | 市内中小企業事業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーや個別支援等実践的な支援を行う。 加えて、かわさき市民まつり等へ出展する。 | ■販路拡大支援:8件 (海外商談会1件、県内外商談会4件、オンライン商談会2件、物産展1件) ■セミナー開催:2回程度(20名以上参加) ■個別相談支援:9回 ■かわさき市民まつり等への出展 | ■商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 ■物産展での売上目標を達成した事業者が3分の2以上 ■セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上 ■個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合30%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も販路拡大に取り組む中小企業者へ支援を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|--|---|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | 2 | なはし創業・就職サポートセンター | H24 ～ R13 | ビジネスアイデアやプランを持つ市民への効率的かつ効果的な創業支援や若年者から高齢者までのニーズに合った就職支援を行うことにより、民間活力を高め、産業の新陳代謝を進めるとともに、雇用のミスマッチや企業の人手不足等の改善を進めることで、本市の持つ成長可能性を着実な経済発展につなげ、市民所得の向上を図ることを目的とする。 | ・相談窓口利用者:1,500人 ・セミナー開催:創業・就職各毎月1回以上 | ・創業者8人以上 ・利用者のうち、就職した人数の割合4.9%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績を参考に、設定した。 |
| 3 | 3 | 頑張るマチグワー支援事業 | H25 ～ R13 | 観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。 | 【補助】 商店街振興組合等が取組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度) 【通行量調査】 市内42地点で、歩行者通行量調査の実施 | 中心商店街の平日歩行者通行量 97,900人 | 【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 目標値については、コロナ禍前は過去2年間の伸び率の平均値を最新データに乗じて設定していたが、R2・R3年度とも新型コロナウイルスの影響が大きく、適切な目標値の設定が困難なため、R1年度と直近のR4年度の実績値の平均値以上の通行量を目標として設定した(百未満切り上げ)。 【計算式】 105,861人+89,890人=195,751人 195,751人÷2=97,875.5人 百人未満切り上げし、97,900人 |
| 3 | 4 | 企業誘致活動サポート事業 | H24 ～ R13 | 本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。 | ①意向調査:3,000社以上に実施 ②企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問 ③市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング:1回 | ①誘致企業:3社 ②ビジネスマッチング参加企業:30社 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。 | 【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | 5 | 市内企業経営基盤強化事業 | H27 ～ R13 | 市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。 | 専門家派遣を20社(計160回実施) | 専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合80%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も企業の実情にあった経営課題解決のための専門家派遣を実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 アンケートにおける「経営基盤の強化に役立った」旨の回答は、経営者の意識改革や今後の具体的な取組実践に繋がる可能性が高いと考える。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | 6 | なは産業支援センター育成支援事業 | H28 ～ R13 | 情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等(沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野)の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。 | (1) 経営課題に対する相談・指導。 (2) 施設に関するプロモーションや業界に関する最新情報の発信を目的として、ホームページ等や冊子による情報発信。 (3) 入居企業、創業期の企業、創業活動を行う個人等を対象に関連する業界の最新情報や技術に関する研修やセミナー等の開催。 | 企業経営に役立った(80%以上)など、アンケート調査により、事業の成果や今後の支援内容を検討する。 | 【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、本事業の在り方について検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業の支援を受けた企業へのアンケートから、企業経営に役立った等の回答が80%以上得られることが本事業の成果と判断し設定した。 |
| 3 | 7 | 企業立地促進事業 | H28 ～ R13 | 合理的かつ継続性のある事業計画を有し、那覇市内に新規立地または新規創業により事務所等を設置した事業者に対し賃料(建設)助成金を交付する。また、賃料(建設)助成を受けた事業者のうち、市民を新たに常時雇用したものにに対し、雇用助成金を交付する。 | ・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援 | ・新規常用雇用者数:21名 ・新規企業立地社(申請者):3社 | 【今後のスケジュール】 ・誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやIT創造館等、関係機関との連携 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去3年分の新規常用雇用者数及び企業立地数の実績平均値を上回る数値を指標とする。 |
| 3 | 8 | 新商品開発支援事業 | H29 ～ R13 | 那覇市の観光・地域資源等を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。 | ・新商品開発支援対象事業者の選定(5事業者程度) ・商品開発にかかる経費の助成 ・テストマーケティング支援及び結果の分析 ・商品開発セミナー等の開催(3回以上) ・次年度以降の商品化に向けた支援 | ・商品開発に役立ったとするセミナー参加者の割合(R6年度):80%以上 | 【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て販売等を行う。 【R7成果目標】 各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の全件数に占める割合80%以上 | 【R7成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。 |
| 3 | 9 | 小中学生キャリア教育支援事業 | R2 ～ R13 | 市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験、学んだことを発信するキャリア教育支援事業や職業体験イベントを実施する。 | 実施校:8校以上 | ・職業観や就業意識の上昇(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。 ・イベントの参加人数:800人以上 | 今後も、職業観の多様化に対応した、職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成に向け取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。 ・R4年度の学校単位でのキャリア教育実施校における参加人数(374人)の約2倍の人数を設定した。 |
| 3 | 10 | 那覇市IT人材育成支援事業 | R3 ～ R13 | 次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座及びプログラミングコンテスト(小学生対象)を開催し、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。 | ・市内小中学生向けプログラミング講座の実施。 ・市内小学生向けプログラミングコンテストの実施。 | 知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。 | 【今後のスケジュール】 受講者及び応募者アンケート調査等を実施し、事業効果や課題の洗い出しを通して本事業の在り方について検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|----------------|---|---|----------------------|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | 11 | 市内事業者事業刷新支援事業 | R3 ～ R8 | 市域の事業者が事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。 | 事業の転換や業態変更にかかる経費の一部を補助 | 補助実績15事業者以上 | 【今後のスケジュール】 市内の落ち込んだ経済状況にある中の事業者の事業領域を広げることを支援する補助であることから、補助実績数そのものを目標設定とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 補助の性質を勘案して目標設定した。成果指標に加えて、事業実施後にアンケート等で満足度調査を行い、事業の貢献度について別途把握に努めたい。 |
| 3 | 12 | 高度IT人材育成研修等補助事業 | R4 ～ R13 | 市内の情報通信関連事業者が行う従業員の人材育成研修等に係る費用の一部を補助する。 | 市民及び市内事業者の人材育成等に係る費用の一部を補助。 | 年間売上高が向上した採択事業者:3社以上 | 事業の性質を考慮し目標を設定したが、成果指標に加え、事業終了後にアンケート調査を実施し、事業効果についても別途把握に努めるものとする。 | 【成果目標設定の考え方】 本事業は、情報通信関連産業従事者の技術向上、高度人材の創出を目的としているが、資格取得のような客観的な指標があるものと比べ、IT関連イベント等への参加での人材育成については一概に人数のみで成果を判断することは難しいため、補助実績(件数)そのものを成果指標とした。 |
| 3 | 13 | なはし外国人雇用促進支援事業 | R6 ～ R8 | 人手不足解消を図るため、外国人材雇用の活用促進を図り、新たな人材等の活用による域内企業、産業等の維持・成長発展、ひいては地域経済の活性化に資することを目的とする。 | ①外国人雇用・労働者雇用促進に関するセミナー・イベント等の開催 ②外国人材活用を検討している企業の悩みに応じた専門家派遣 ③好事例、ガイドブックの作成 | 相談企業のうち、外国人材活用企業数:5社 | 【今後のスケジュール】 利用事業者にアンケート等を実施し、市内事業者のニーズ把握や実情に沿った効果的な取り組みを検討 各年度20社程度の支援及び外国人材活用促進を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 県内における外国人雇用事業者数と市内事業者数の割合を勘案して設定した。 |
| 3 | 14 | 那覇市リスキリング推進支援事業 | R6 ～ R8 | 学び直しに取り組むことの機運醸成を図り、主に不足するデジタル人材育成のためのリスキリング講座を開催し、個人のスキル・能力の向上により域内企業、産業等の成長発展、ひいては地域経済の活性化に資することを目的とする。 | リスキリング講座の開催 受講生15名×全5回 R6.8月～R7.1月に実施予定。 | 受講生 15名 | 【今後のスケジュール】 自発的なリスキリングによる個人のスキル・能力の向上により、域内企業の維持・成長発展、地域経済の活性化に向けて取り組む。 | 【成果目標設定の考え方】 5回以上の連続講座を受講することで、一定水準以上のスキルを身に付けてもらう必要があることから、講師が対応可能な人数の上限値として設定した。 |
| 3 | 15 | 那覇市産業DX促進支援事業 | R5 ～ R8 | 業界団体等を通じた伴走支援の実施するとともに、成果報告会等の開催を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知する。 | (1)業界団体等を通じた伴走支援 (2)成果報告会の開催(1回) | 支援企業 4団体(8社)以上 | 【R6年度成果目標】 支援企業 4団体(8社)以上 今後は、業界団体等を通じた伴走支援に注力するとともに、成果報告会等を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知し水平展開を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 令和6年度は、令和5年度の倍となる4団体(8社程度)を目標として設定。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|--------|--------------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | R6事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | 16 | 那覇市進出可能産業調査事業 | R5 ～ R6 | 那覇市軍港跡地を本市の産業振興のために有効活用することを目的に、跡地を含めた土地の産業利用に関する調査事業を行う。 | ヒアリング調査、検討委員会の開催・運営に取り組み、15～20年後の社会・経済状況を可能な限り具体的に予測しつつ、実現可能性の高い産業利用に関する仮説を立てる。 | 実現可能性や経済効果の高い仮説の検討・検証 3つ | 【今後のスケジュール】 本事業を踏まえ、地主会や市民などのステークホルダーの合意形成を促し、当該エリアの再開発計画の策定に繋げることに、市内産業・経済のさらなる活性化とともに、沖縄の付加価値を高めて更なるブランド化を目指す。 | 当該エリアの産業利用には数多の可能性があるところ、本事業によって具体的に3つ程度にまで仮説を絞り込むことによって多様なステークホルダーの合意形成に資することが期待され、更なる産業振興に繋がる。 |
| 3 | 17 | なはし社会地域課題解決型起業支援事業 | R6 ～ R8 | 本市が抱える地域課題の解決を目的とした起業及び新規事業を行うものに対して、費用の一部を助成及び専門家等の派遣等を行い、スタートアップ企業等の創出及び成長の後押しをし、地域課題の解決及び市内産業・経済のさらなる活性化を図る。 | 本市の地域課題解決を目的としたビジネスプランの事業化を行う事業者への支援 ・事業化に向けた経費の一部助成 ・専門家や先輩スタートアップ事業者による相談支援 ・広報支援 | 課題解決に向けた取組事業数 5つ | 【今後のスケジュール】 本事業で、年間5社、計15社の本市の課題解決を目的とするスタートアップ企業等の創出及び成長を後押しすることで、市内産業・経済のさらなる活性化とともに、本市地域課題の解消も目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | 18 | 那覇MICE受入推進事業 | R4 ～ R11 | 那覇市都市型MICE振興戦略に基づき、MICE受入体制整備、主催者等への支援に取り組む。 | (1)那覇MICE開催歓迎メニューを提供する団体等と調整完了 (2)M/I/Cにより訪れた方へのアンケート調査：各400サンプル | (1)那覇MICE開催歓迎メニュー：2メニュー構築 (2)ニーズ調査結果を踏まえ、求められるコンテンツを整理・分析し、今後磨き上げていくべきコンテンツの類型について2つ以上提示 | R7年度から歓迎メニュー提供するために今年度で2つのメニュー構築する。また、MICE参加者向けコンテンツ造成の方向性を整理し、MICE参加者等の満足同工場を図る、 【今後のスケジュール】 R6：関係事業者等との歓迎メニュー提供体制構築、MICE参加者向けコンテンツの明確化 R7：歓迎メニューの提供、調査結果に基づく事業者のコンテンツ開発支援等 | 【R6成果目標の考え方】 (1)本事業で新たに構築するメニューに加え、他3つのメニューを合わせて5つの開催歓迎メニューを提供する予定のため、新たに2つ構築と設定した。 (2)調査により那覇市で開催されるMICE参加者に向けて磨き上げていくべきコンテンツ類型を複数提示することにより、効果的効率的な市内事業者への支援やMICE参加者の満足度向上に繋がると考える。 |
| 5 | 1 | 那覇市健康ウォーキング推進事業 | H26 ～ R13 | ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。 | ・健康ウォーキング大会 1回 ・ウォーキング講座 5講座 | ・健康ウォーキング大会 参加者 4,000人以上 満足度 90% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート) | 【今後のスケジュール】 ○健康ウォーキング大会の開催 ○「健康フェア」との同時開催 開催数：1回/年 ウォーキング大会参加者数：4,000人以上 (参加者人数の定着化) ○ウォーキング講座の開催 開催数：5講座(20回)/年 | 【成果目標設定の考え方】 ・令和4年度に開催した大会の参加者数が3,900人いたことから、4,000人以上と目標値を設定した。 講座については、日常的な運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|--|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | 2 | 小中学校歯科保健予防事業 | R4 ～ R13 | 学校歯科保健活動の活性化及び児童生徒の健康についての知識の醸成を図るために、小中学校において児童生徒の発達段階に応じたむし歯予防を推進するとともに、効果的なむし歯予防対策であるフッ化物洗口を実施する。 | ①フッ化物洗口の実施 小学校 3校(36校中) 中学校 2校(17校中) ②実施校のフッ化物洗口実施率 90% | ①実施校においてむし歯に罹患する児童生徒の割合が前年度に比較して減少する。 ②未実施校に対するアンケート ・令和7年度に実施を希望する学校 4校以上(小中学校53校中) | 令和5年度から令和10年度にかけて、市立の全小中学校に導入する。 | 【成果目標設定の考え方】 年次的に実施校を拡大していく計画としているが、希望する学校が少ないため、導入のペースを落とす。 フッ化物洗口の実施校を増やす。 |
| 6 | 1 | 基礎学力向上のための学習支援事業 | H24 ～ R13 | 学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣を行う。中学校において採点システムを利用する。 | 学習支援員配置: 小学校 36人 中学校 20人 学習支援ボランティア派遣: 小中学校 54校対象 採点システムの利用: 中学校 17校 | ①小学校算数(3年) (翌年度4月実施 新4年生対象) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +5.ポイント ②中学校数学(1年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +1.9ポイント | 【今後の方針】 ・学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境を提供する。 ・引き続き学校教育に精通した退職教員を中心に人材確保に努める。 ・児童生徒の習熟度に合わせ個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。 ・中学校において採点システムを利用することで、定期テストや小テスト、単元テストで採点・集計や分析を短時間で行うことができ、レスポンスを早めることで生徒の学習意欲の向上と学習の定着状況の把握、個別の学習支援に繋げ、授業の改善に資する。 | 【成果目標設定の考え方】 沖縄県学力定着状況調査の対象学年が小学校4年生～6年生となった。(4月実施) 小学校3年生を対象とした学力調査を実施していない。 中学校1学年については、沖縄県学力到達度調査の結果を指標に設定する。 正答率は、テストの難易度に影響されるため、県全体の正答率の平均との差を指標とする。 |
| 6 | 2 | 英語指導員配置・国際交流事業 | H24 ～ R13 | 市内の小中学校に英語指導員を配置して長期的な英語指導を行い、また、中学校においてオンラインによる国際交流を実施し、児童生徒の英語を使ったコミュニケーション能力の育成と、多様性や異文化を包摂する共生社会の理解を深める。 | 各小中学校に英語指導員を配置。 ・小学校(外国人14人、日本人14人) ・中学校(外国人10人) オンライン国際交流実施 ・中学校17校 | ①英語に対する興味・関心が高まった児童生徒割合80%以上(アンケート実施) ②沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学2年生 +2.8ポイント | 【今後の方針】 英語指導員の活用に当たっては、話す・聞くといった言語活動を多く取り入れた英語指導を行う。 オンライン国際交流を業務委託により実施する 英語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合う力の育成・向上を図る。 | 【成果目標設定の考え方】 小学校においては、児童へのアンケート結果をもとに成果目標を設定する。 中学校においては、沖縄県学力到達度調査結果を活用し成果目標を設定する。 |
| 6 | 3 | 特別支援教育充実事業(小・中学校) | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、保健師及び特別支援コーディネーターの派遣や特別支援教育補助員の配置を行う。 | ・特別支援教育補助員配置:小中学校104人 ・特別支援教育相談員派遣:教育相談・検査・面談等の実施 ・特別支援教育指導コーディネーター派遣 | ・特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上) ・対象児童生徒の保護者へアンケート実施 | 【今後の方針】 特別支援教育補助員の配置や特別支援教育相談員、保健師及び特別支援教育指導コーディネーターの派遣を行い、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。 | 【成果目標の考え方】 特別支援教育補助員の対応への満足度については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------------|-----------------|---|---|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | 4 | 特別支援教育充実事業 (認定こども園) | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、園児の園生活の困難の改善を図る。 | ○有資格の主任ヘルパー、特別支援教育ヘルパーの配置人数 主任ヘルパー:19人 (配置用途) 6Hヘルパー:53人 4Hヘルパー:29人 | 特別支援教育ヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 特別支援教育ヘルパー対応への満足度の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |
| 6 | 5 | 不登校対策等支援事業 | H24 ～ R13 | 不登校の改善を図るため、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行う。 | ①相談室の設置 ア 電話相談170件 イ 来所相談280件 ②問題行動が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ア 通級支援:50名 イ 一時支援:10名 ③心理的・情緒的不安が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ア 正式入級者数:6～8名 ④学習支援室の設置 ア 在籍者数:70～80人 | 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校16.0% 中学校11.0% | 不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。 | 【成果目標設定の考え方】 「第3次那覇市教育振興基本計画(令和3年3月策定)」 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 【目標値 令和7年度】 小学校18.0%、中学校15.0% 【実績値 令和4年度】 小学校18.0%、中学校13.0% 令和4年度時点ですでに同計画の目標値に達しているため、より高い目標値を設定した。 |
| 6 | 6 | 教育相談支援員・生徒サポーター配置事業 | H24 ～ R13 | 不登校の改善を図るため、学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行う。 | ①相談支援件数1,350件 ②相談支援回数32,000回 | 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校16.0% 中学校11.0% | 不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。 | 【成果目標設定の考え方】 「第3次那覇市教育振興基本計画(令和3年3月策定)」 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 【目標値 令和7年度】 小学校18.0%、中学校15.0% 【実績値 令和4年度】 小学校18.0%、中学校13.0% 令和4年度時点ですでに同計画の目標値に達しているため、より高い目標値を設定した。 |
| 6 | 7 | 青少年旗頭事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。 | ・児童生徒へ旗頭演舞の指導を実施 ・旗頭の製作及び修繕 ・児童生徒の成果発表の場として「やる気・元気旗頭フェスタinなは」の開催 | 「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数:951人 | 今後も、児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため「やる気・元気旗頭フェスタinなは」を開催し、参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数951人の参加を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 成果目標は過去2年度の実績値の平均値で設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------------|-----------------|---|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | 8 | 街頭指導事業 | H24 ～ R13 | 青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員(6人)及び青少年指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。 | ・専任指導員の配置数:6人 ・青少年指導員の配置数:17中学校区に各5人程度 | 19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.0% | 今後も継続的に巡回指導を行い、問題行動の把握と青少年の非行の早期発見及び早期対応を行う。 | 【成果目標設定の考え方】 コロナ禍も明け、指導件数もコロナ禍前に戻りつつある中で、コロナ禍前のR1年度の実績値を勘案し設定。 |
| 6 | 9 | 児童生徒のスポーツ県外派遣補助金 | H24 ～ R13 | 島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。 | 児童生徒の県外大会派遣支援 | 児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も、沖縄のスポーツ振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する補助を継続する。 | 【成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒を普段から見守る立場である保護者が、児童生徒の変化の状況を把握しているものと考え、島内ではできない経験をすることができたかどうかを聞き取ることによって検証できることから本指標を設定した。 80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |
| 6 | 10 | 児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣) | H24 ～ R13 | 児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。 | ○航空運賃実費の1/2若しくは全額補助 ○H27～R4年度(R2年度除く)実績補助人数 387人 航空運賃往復1人あたり38,544円の半額若しくは全額を補助。 | 児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(90%以上)派遣後に保護者へのアンケート実施 | 【今後の方針】 引き続き派遣費の補助を行い、保護者へのアンケート調査を実施する。結果を踏まえながら事業の在り方を検討する。 | 【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【6-9 児童のスポーツ県外派遣補助金との相違点】 6-9は、学校外で活動するスポーツ少年団などを対象とし、本事業は学校教育の一環で行なわれる部活動を対象としている。 |
| 6 | 11 | 自然教室実施事業 | H24 ～ R13 | 児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。 | 自然体験学習実施学校数:小学校:36校(5年生対象) | 自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 89%以上 | 【今後の方針】 自然教室を継続して実施する。アンケートを実施し、児童の社会性が向上したという回答数が85%以上を維持する。 | 【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 6 | 12 | 学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化) | H24 ～ R8 | 小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。 | ・校舎等外壁の塗装 ・小学校2校 | 学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件 | 【今後のスケジュール】 令和8年度までに計画していた小中学校校舎等外壁面の塗装対応を完了し、令和8年度以降は、事業の効果(劣化の抑制状況)の確認のため、完了した校舎等の点検を実施する。 | 過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|--|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | 13 | 発達支援強化事業(乳幼児期) | H27 ～ R8 | 乳幼児の健やかな発達を保証し、就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者等を早期に把握し支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児、3歳児健診会場での保育観察の実施(年間87回) ・親子教室の実施(24回) ・育児教室等の実施(8回) ・発達相談の実施(96回) ・関係機関との調整会議(1回) ・発達支援研修会の実施(1回) | <p>①アンケートにおける、親子教室後の保護者等の満足度80%以上。</p> <p>②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数(健診会場保育観察から地区保健師につながった人数:年間70人以上)</p> | <p>【今後のスケジュール】</p> <p>アンケート調査及び活動実績から事業内容を検証し、必要に応じ改善しながら令和8年度まで継続実施する。</p> | <p>【R6年度成果目標設定の考え方】</p> <p>①概ね肯定的であるという数値として満足度を80%とした。</p> <p>②前年度の実績を踏まえて設定した。</p> |
| 6 | 14 | 認可外保育施設の環境整備事業 | H24 ～ R13 | 認可外保育施設の衛生環境の向上を図ることを目的とし、保育室や調理室等必要箇所に衛生消毒及び害虫駆除等を実施するため専門業者へ委託を行う。 | 衛生消毒及び害虫駆除実施施設数約39施設 | 認可外保育施設の衛生環境の向上及び入所児童の処遇向上を図り、子育て環境を整備することを目的としているため、認可外保育施設全施設(39施設)において実施することを成果ととらえ、衛生消毒及び害虫駆除実施施設数そのものを目標として設定 | <p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的に施設の衛生消毒及び害虫駆除を実施し、衛生環境の向上及び維持を目指す。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>認可外保育施設全施設(39施設)対象</p> |
| 6 | 15 | 夜間認可外保育施設安全対策事業 | R5 ～ R13 | 夜間認可外保育施設における児童の安全対策及び保育の質の向上を目的に、児童の睡眠中の事故防止対策を実施するため夜間に保育士を配置した施設に対し、その雇用による費用の一部を補助する。 | 当該事業における保育士確保数:2人 | 夜間保育時間中の保育士配置施設:2園 | <p>【今後のスケジュール】</p> <p>夜間保育時間中の保育士配置施設 令和5～9年度:2園 令和10～13年度:3園 令和13年度:5園</p> | <p>現状を上回る値として設定した。</p> <p>夜間保育時間中の保育士配置施設 現状:2園中1園 令和5年度:4園中3園</p> |
| 6 | 16 | 保育士負担軽減等加配事業 | R4 ～ R9 | 保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより保育士を確保し、待機児童を解消することを目的として、待機児童の多い1歳クラスについて、国の配置基準を超えて配置とするために必要な常勤保育士1人分の人件費を施設へ補助する。 | 1歳クラスの職員配置について、国基準を超えて配置した園に対する補助数:40園 | 那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率:12.2% | <p>【今後のスケジュール】</p> <p>1歳クラスの職員を国基準を超えて配置した園に対する補助を継続することにより、離職率を全国並みに近づける。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>那覇市内私立認可保育施設等のR3年度の離職率をR4年4月に調査した結果13.4%であった。</p> <p>5年後に全園の平均離職率に近づくよう毎年0.4%の改善を目標としR6年度の目標値としたい。</p> |
| 6 | 17 | 学校ICT支援員配置事業 | R4 ～ R8 | 小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。 | ・ICT支援員の配置数:9人 | <p>(1)アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする</p> <p>(2)各種業務履行上の改善提案件数を月に1件以上とする</p> | <p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的にICT支援員の派遣を行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。</p> | <p>【成果目標設定の考え方】</p> <p>(1)75%の設定については対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。</p> <p>(2)各学校における課題解決のため月に1件以上の改善提案を受託者に求める。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------------------|-----------------|--|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | 18 | 共生・多様性社会実現事業 | R4 ～ R10 | 生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対処できる社会を形成する。 | ・債務負担行為設定による事業契約(地域事業説明会・解体工事・基本設計・実施設計・建築工事を含む)のうち、解体設計、実施設計の実施 | ・解体設計、実施設計の完了 | 【成果目標】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%(対前年増加率を7.5%増)を目指す。 (R3年度市民意識調査:市民の地域コミュニティ参加率22%) 【今後のスケジュール】 R5年度 : 事業者公募 R6年度 : 現市民会館の解体 基本設計・実施設計 R7～9年度: 工事 | 【成果目標設定の考え方】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%を目標として設定した。 |
| 6 | 19 | こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業 | R5 ～ R7 | 市立小学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器及び教育用ソフトを整備し、児童の情報端末との連携を強化する等わかりやすい授業を展開することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。 | ○電子黒板等ICT機器の導入 市立小学校(全36校)の1・2・3年生全普通教室(298教室) ○教育用ソフト(国・算・英・理・社・地図)の整備 市立小学校(全36校) | ICT機器及び教育用ソフトを活用した授業の効果について ・学習意欲が高まったとする児童の割合:85%以上 ・児童の学習の理解(知識・技能)が高まったとする教員の割合:85%以上 | 【今後の方針】 今後、市内小学校1年生から5年生の全普通教室に電子黒板などのICT機器を整備することにより、子ども達の学習意欲を高める。 | ・電子黒板などのICT機器及び教育用ソフトの整備により、学習意欲を向上させ、学習への理解を深めることが期待でき、全国学習状況調査で正答率を向上させることにつながる。 |
| 6 | 20 | 社会教育施設避難所施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化) | R6 | 台風などの災害や集中豪雨、不発弾処理等非常時の指定避難施設である公民館や図書館施設の整備を行う。 | 改修工事の実施 | 改修工事の完了 | 【今後のスケジュール】 改修後の令和7年度以降の事業の効果(劣化の抑制状況)の確認のため、事業を実施した建物の点検を実施する。 | 【R7成果目標設定の考え方】 類似事業(学校施設)を参考に設定した。 |
| 7 | 1 | なは青年祭補助事業 | H29 ～ R13 | 地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。 | 「なは青年祭」の開催に係る事業費の補助 | 「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数:19団体 ・演舞者数:242人 | 今後も、青年達の交流の場の創出とともに、伝統芸能の保存継承に繋がるよう、「なは青年祭」の開催を支援する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均値で設定した。 |
| 7 | 2 | 壺屋焼物博物館機能強化事業 | R6 ～ R8 | 壺屋焼物の貴重な文化財の保存環境の維持・向上を図るため、社会教育及び文化観光施設である壺屋焼物博物館のエレベーターのバリアフリー機能を強化する。 | ・エレベーターのバリアフリー機能強化工事 ・老人福祉センター他(7施設)での周知活動 | ・エレベーターのバリアフリー機能強化工事の完了 ・老人福祉センター他(7施設)での周知 | 【今後のスケジュール】 R6:エレベーターバリアフリー機能強化工事 R7:ユニバーサルデザイン導入(外壁等)工事実施計画 R8:ユニバーサルデザイン導入(外壁等)工事 | 令和4年度における壺屋焼物博物館の常設展年間観覧者数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)を設定した。 (参考)令和4年度の壺屋焼物博物館の常設展年間観覧者数 約17,000人 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|--|--|-----------------------------------|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | 3 | 市民文化支援事業 | H24 ～ R13 | 那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体の活動を支援することで、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。 | 那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体へ補助金を交付する。 | 市民文化支援事業の対象となる、市内の民俗芸能団体12団体の保存継承 | 【今後のスケジュール】 今後も那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図るため、当該芸能団体へ補助金を交付する | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 7 | 4 | 子どもが輝くまちづくり事業 | H24 ～ R13 | 子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。 | 「子どもフェスタinなは」の開催に係る事業費の補助 | 「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数:730人 | 【今後のスケジュール】 今後も、文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ※コロナ禍の影響を受けず実施した令和元年度の実績 |
| 7 | 5 | 文化芸術ふれあい事業 | H24 ～ R13 | 那覇市の歴史や文化を再認識し、文化資産として普及・継承・発展させていくことを図るため、本市の指定無形民俗文化財等の地域に根付いた民俗芸能を一堂に披露する「地域文化芸能公演」を開催する。 | 地域文化芸能公演の開催 | 地域文化芸能公演への来場者 1,070名以上 | 【今後のスケジュール】 沖縄伝統芸能に触れる機会の創出し、普及・継承・発展へ繋げていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 7 | 6 | 尚家文書公開・刊行事業 | R5 ～ R13 | 国宝であり、沖縄・那覇において形成された独自の文化の記録として第一級の資料である尚家文書の内容を一般に公開することにより、沖縄の伝統文化の保全・継承を図る。 | 尚家文書のうち、中城御殿について記された3点中1点の翻刻および一般への公開。 | 中城御殿について記された3点中1点の翻刻および一般への公開。 | 令和5～8年度にかけては8点の翻刻・公開を設定。 | 令和8年度の首里城正殿再建および中城御殿の復元までに両所に関連する尚家文書8点の翻刻を行い、公開することを目標とする。 |
| 7 | 7 | パレット市民劇場施設機能強化事業 | R6 ～ R7 | 質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の機能強化を行い、利用者の増加を図る。また、環境負荷を低減するため省エネ化を行いCO2削減を目指す。 | 実施設計業務の実施 | 実施設計業務の完了 | 【将来的な着地点】 ・CO2削減効果 11t ・催事回数月平均 20回 【今後のスケジュール】 R7年度 整備工事 R8年度 リニューアルオープン | 【二酸化炭素排出量削減効果】 平成29年から令和元年度までの電気使用量から算出した各年のCO2排出量を参考値とし、省エネ化した場合のCO2排出量を比較し削減効果を設定した。 (参考)2年間の平均CO2排出量 68,190kg/年 ※R6年度実施設計で見直しの予定 【利用者数】 コロナ禍前の平成29年から令和元年度までの3年間の平均催事回数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)を設定した。 (参考)3年間の平均催事回数18.6回 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | 8 | デジタルアーカイブ機能強化事業 | R6 ～ R14 | 那覇市歴史博物館所蔵の貴重な歴史資料をデジタルアーカイブ化し、資料の劣化を防ぐとともに、学校等の地域学習、市民や研究者等の歴史研究を促進する。 | ・歴史資料のデジタルアーカイブの構築 ・デジタルアーカイブのインターネット上での公開 | ・歴史資料のデジタルアーカイブの構築完了 ・デジタルアーカイブのインターネット上での公開実施 | 【今後のスケジュール】 随時歴史資料のデジタル化を進め、デジタルアーカイブに資料を追加する。 | 【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 7 | 9 | うちなーぐち普及継承事業 | R6 ～ R13 | うちなーぐちの保存・普及・継承を目的に市民参加型の講座を実施し、うちなーぐちの魅力と価値を再認識することで、普及啓発と市民文化活動の活性化を図る。 | うちなーぐち講座・成果発表の開催 | 受講者数(全体):40名 受講者数(うち30代までの世代):10名 | 【今後のスケジュール】 うちなーぐちに触れる機会を創出し、普及・啓発へ繋げていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 8 | 1 | ボランティア振興事業 | H27 ～ R13 | ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。 | ボランティア支援員配置:1名 | ①ボランティア登録者数(新規)300人 ②ボランティアのマッチング件数300件 | 【今後のスケジュール】 今後も市民のボランティア活動推進のため、ボランティア支援員を配置する、 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 8 | 2 | ふれあいのまちづくり事業 | H27 ～ R13 | 生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。 | 専任相談員の配置:1名 | 対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検討する。 | 【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱える方からの相談に対応するため、総合相談窓口への専任相談員を配置する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が相談したことにより解決に役立ったと考えられる値として80%を設定した。 本事業のあり方については、アンケートにより実施する。 |
| 8 | 3 | 放課後まなび支援事業 | R4 ～ R13 | 市内の低所得世帯の小学校4～6年生及び中学校1～3年生の児童生徒が放課後に学習できる環境を整え確保することで、学習習慣が身につくとともに、勉強へのモチベーションを高め、ひいては児童の学力向上につなげる。 | 市内の低所得世帯の小学校4～6年生及び中学校1～3年生の児童生徒に対し、教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。(1,410人分) | 支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。 | 支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。 ※令和6年度から中学校1～3年生まで学年を拡大して実施するため、教育サービス事業者による児童生徒の評価項目等新たな成果目標の設定について検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R2～R4年度に支援を受けた児童へのアンケート調査結果を参考に設定した。 |
| 9 | 1 | 海外移住那覇市出身者研修受入事業 | H24 ～ R13 | 那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、各種研修を通して沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。 | ・海外の那覇市民会から研修生の受入:2名 ・沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供 | 受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 南米各国の那覇市民会等において、那覇市との懸け橋となる人材育成を図るため、継続的に実施していく。 | 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるとする数値として設定している。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|--|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 9 | 2 | 那覇長崎平和交流事業 | H25 ～ R13 | 平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。 | ・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定:8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣 | 参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続的に実施していく。 | 【成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち、概ね肯定的であるという数値として設定した。 |
| 9 | 3 | 沖縄戦体験者証言記録映像制作事業 | R4 ～ R7 | 戦争体験者の高齢化も進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。 | ・証言者の選定:2名 ・業者の選定(入札等を経て委託) ・映像制作 | 体験者(2名)映像制作の完了 | ・映像を市内小中学校へ配布し、平和学習において活用してもらい、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していく。 ・市ホームページへ動画を掲載し、市民の平和意識の啓発につなげる。 | 80%以上の設定については、大半の学校で活用されたと判断できる数値として設定した。 |
| 9 | 4 | まーいまいNaha人材育成外国語講座事業 | R6 ～ R13 | 外国人観光客の満足度向上に向け、「うとういむち(おもてなし)」の出来る観光関連産業従事者を育成するとともに、市民が外国人観光客に気軽に対応できる風土の醸成及び異文化理解を図るため、英語・中国語・韓国語によるうとういむち講座及び交流会を実施する。 | 英語・中国語・韓国語の3か国語の中級及び観光関連産業従事者向け講座を計72コマ以上、講座受講生を対象とした交流会を2回以上実施する。 | 「習得した語学を外国人との交流や仕事での接客に活用できるレベルになった」と回答した受講生の割合 80%以上 | 【今後のスケジュール】 今後は毎年度、受講後の語学活用状況(外国人との交流や仕事での接客)に関する追跡アンケート調査を実施し、語学を活用する機会があったと回答した受講生の割合について、中級講座では30%以上、観光関連産業従事者向け講座では90%以上を目指す。 | 【成果目標設定の考え方】 ・R6:講座終了時における語学の習得状況の調査 ・R7～:講座終了後における語学の活用状況の調査 |
| 11 | 1 | 救命講座普及啓発推進事業 | H24 ～ R9 | 災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。 | ・定期救命講習会:28回 ①普通救命講習Ⅰ 12回 ②普通救命講習Ⅲ 8回 ③上級救命講習 4回 ④普及員講習 4回 ・出前救命講習会:120回 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動:10回 ・消防署見学における救命講習(入門コース):40回 | ①応急手当講習受講者数:6000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、「応急手当に自信がある、できると思う」が80%以上 アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。 | 【成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定。 ②受講者の大半が緊急時に応急手当が実施できると考えられる値として設定した。 また、講習会実施後のアンケートにより検証する。 |
| 11 | 2 | 保安灯LED化推進事業 | R4 ～ R13 | 二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないLED照明へ切り替える設置者(自治会等)に対して補助金を交付する。 | 保安灯をLED照明へ切り替えを行う自治会等に対して補助金を交付し、保安灯300灯をLED照明へ切り替える。 | 二酸化炭素排出量の削減 27,687kg-CO2以上/年 削減 | 【今後のスケジュール】 自治会等が管理する保安灯をLED照明への切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 保安灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|---------------|--|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 11 | 3 | 災害備蓄品整備事業 | R5 ~ R7 | 大規模災害時における観光客の安全確保を図るため、災害備蓄品を整備し、防災体制の強化を推進する。 | 【購入予定備蓄品】 保存水(500ml)・・・11,328本 アルファ米・・・989食 ヒートレスカレー・・・3,842食 紙おむつ(幼児用)・・・907枚 紙おむつ(大人用)・・・1,839枚 毛布・・・433枚 タオル・・・397枚 ウェットティッシュ・・・433パック | 【目標到達率(備蓄率)】 〔「最低3日間」比〕 ・R4(現状) 食糧品:93% 資機材:87% ・R5 食糧品:95% 資機材:92% ・R6 食糧品:97% 資機材:96% ・R7 食糧品:100% 資機材:100% | 【観光客に係る備蓄率】 〔「最低3日分」比〕 ・R4(現状) 食糧品:93% 資機材:87% ・R5 食糧品:95% 資機材:92% ・R6 食糧品:97% 資機材:96% ・R7 食糧品:100% 資機材:100% | - |
| 11 | 4 | なは市民協働プラザ省エネ化推進事業 | R5 ~ R7 | なは市民協働プラザ(市民活動支援施設)の照明器具を二酸化炭素排出削減に効果のある省エネ型LED照明に切り替える。 | ・照明器具(蛍光灯)のLED照明化切り替え工事 | ・照明器具(蛍光灯)のLED照明化切り替え工事の完了 | 【今後のスケジュール】 R5:設計業務完了 R6:LED照明化切替工事 【R7年度成果目標】 ・二酸化炭素排出削減量: 約120,461kgCO2 | 工事見積業者より提出された経済比較表を根拠とした。 |
| 11 | 5 | 那覇市老人福祉センター等省エネ化推進事業 | R6 | 那覇市識名老人福祉センター、那覇市辻老人憩の家及び那覇市安謝老人憩の家の照明器具をLED照明に切り替える。 | 照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査・工事の実施 | 照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査・工事の完了 | 【今後のスケジュール】 那覇市識名老人福祉センター、那覇市辻老人憩の家及び那覇市安謝老人憩の家の照明器具をLED照明に切り替え、CO2排出量の削減を図る。 | 【R7成果目標設定の考え方】 LED化による照明器具の種類ごとの電力消費削減量と各施設の照明器具の種類・台数を基に、年間CO2排出削減量の推計値を算定して設定した。 |
| 11 | 6 | 石嶺公民館・図書館他3館省エネ化推進事業 | R6 ~ R7 | 既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。 | LED照明設備整備のための設計業務 | LED照明設備整備のための設計業務完了 | 【今後のスケジュール】 既存照明施設をLED化するため設備整備工事を行う。 照明施設のLED化により照明施設消費電力を半減させ、地球温暖化防止を図る。 | 【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|---------------|---|---|-------------------------------|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 11 | 7 | 那覇市総合福祉センター省エネ化推進事業 | R6 ～ R7 | 那覇市総合福祉センターの照明器具を環境負荷の少ないLED照明に切り替える | ①照明設備設計業務の実施 ②アスベスト含有調査の実施 | ①照明設備設計業務の完了 ②アスベスト含有調査の完了 | 【今後のスケジュール】 R6年度 ・設計業務 ・アスベスト含有調査 R7年度 ・LED化切替工事 | 【R6成果目標設定の考え方】 類似施設の実績を参考に設定した。 |
| 11 | 8 | 那覇市コンビニAEDステーション設置事業 | R6 ～ R8 | 外国人観光客等にも認知度の高いコンビニエンスストアに多言語機能付きAEDを設置することにより、重篤な傷病者が発生した場合に迅速な救命活動を行える環境を構築し、安全安心に過ごせる観光地を形成する。 | ・コンビニエンスストアへの多言語機能付きAEDの設置。 ・各種広報媒体を通じた設置場所の公表等。 | ・AED持ち出し率:5%以上 | 市内コンビニエンスストアの多言語機能付きAED設置率100%を目標とする。 県民・観光客等にも「那覇市＝コンビニAED」と認知してもらう。 認知度向上により、持ち出し率が増加することを見込む。 | 新規開店した店舗等に順次設置。 各種広報媒体を活用して設置場所の公表等を行う。 AED持ち出し率:設置店舗数×0.05 |
| 11 | 9 | 小禄南公民館・図書館省エネ化推進事業 | R6 ～ R8 | 既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。 | LED照明設備整備のための設計業務 | LED照明設備整備のための設計業務完了 | 【今後のスケジュール】 既存照明施設をLED化するため設備整備工事を行う。 照明施設のLED化により照明施設消費電力を半減させ、地球温暖化防止を図る。 | 【R8成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------------|-----------------|---|-----------------------------------|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 宜野湾市西海岸エリア活性化事業 | H24 ～ R13 | 沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。 | 「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業まつり」の開催を支援する。 | ・琉球海炎祭・・・来場者数1.25万人 ・はごろも祭り・・・来場者数10万人 ・産業まつり・・・来場者数2.8万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数⇒コロナ禍前の水準であるH30年度実績と同等数を目標値とする。 H30年度実績:279,874人 【目標値】:28万人 | 【今後のスケジュール】 今後も観光産業の振興を図るため、「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業まつり」が継続して開催ができるように支援を行い、市西海岸地域の入域客数をコロナ禍前の水準値である年間約220万人(H30)を目指す。 | ・イベント開催ができた過去の実績をベースに来場者の約5%増を成果目標とする。 ・宿泊施設の宿泊者数はコロナ禍以前の水準を目標として設定した。 |
| 1 | ② | 企画展開催事業 | H24 ～ R13 | 市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。 | 企画展の開催:年2本 | 企画展1本あたりの平均入館者数:1,390人以上 | 【目標】 R6年度:企画展1本あたり平均入館者1,390人以上 | 入館者のうち観光客数を正確に把握することが直ちには困難であるため、入館者数を成果目標とする。 |
| 1 | ③ | 横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業 | H25～ R13 | プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。 | 1万鉢の花の植樹 | キャンプ会場の装飾(花)に対する来場者の満足度 80%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も美ら島沖縄、宜野湾を全国へPRし、観光産業の振興を推進するため、グリーンコミュニティ事業を継続して支援し、来場者の満足度80%以上になるように取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ④ | 宜野湾海浜公園施設等再編整備事業 | H30 ～ R10 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 再編整備工事(サブエントランス・照明灯整備)の実施 | 再編整備工事(サブエントランス・照明灯整備)の完了 | 【R11成果目標】 施設利用者数 655,000人 【今後のスケジュール】 R6:再編整備工事(サブエントランス・照明灯整備) | 【R11成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ⑤ | ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業 | R3 ～ R13 | 宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う、ぎのわんマリン協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。 | ぎのわんマリン協会の支援 | ダイビング・シュノーケリング客:800人/年 | 【今後のスケジュール】 サンゴの植樹、清掃活動等を継続して実施しながら、本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立することで、ダイビング観光客数を前年度比5%増を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|--|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ① | スクールソーシャルワーカー活用事業 | H24 ～ R13 | スクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。 | ○SSW13名の配置 ○SSWによる児童生徒の支援数428名 (支援数は前年度実績) | 不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績以上 | 【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な支援が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整え、不登校を含め課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績45%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。 |
| 2 | ② | 適応指導教室事業 | H24 ～ R13 | 不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施する。 | 入級児童生徒の集団活動や学校適応等に関する支援を実施する。 (適応指導教室入級児童生徒数:2名) | 入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の65% | 【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行い、入級児童生徒が適応指導教室又は原籍校へ登校できた割合(出席すべき日数に対する登校日数)について、65%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 令和4年度及び令和5年度の実績を参考に設定。 【出席日数/出席すべき日数】 |
| 2 | ③ | 児童生徒等相談事業 | H24 ～ R13 | 臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。 | ○臨床心理士等5名の配置 ○臨床心理士等による児童生徒の支援数214名 (支援数は前年度実績) | 学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合前年度実績以上 | 【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な心のケア等が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整え、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績18%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。 |
| 2 | ④ | 非行防止等巡回活動事業 | H24 ～ R13 | 街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。 | ○街頭指導員16名の配置 ○週3回、21時～23時頃、市内の公園を中心とした夜間街頭指導の実施 ○年1回研修の実施 ○特別街頭指導(中学卒業式) | ・年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減 | 【今後のスケジュール】 深夜はいかいは非行の入口と言われるほど、不良行為との関わりが高いと言われている中、本県は気候や産業の形態から夜型社会と言われ、その影響は青少年にも及んでいると考えられる。そのため、今後も街頭指導員を配置し、青少年の非行の未然防止や早期発見・抑止効果を目的に、夜間街頭指導を実施し、関係機関と連携し青少年の健全育成に取組み年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 昨年の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ⑤ | 学習支援員活用事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の学習状況や定着状況に応じて学習支援をすることにより、児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かくサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 | 小、中学校において児童生徒の学習状況や定着状況に応じて個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。 | 沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数：+2.0ポイント以上 ・中学校 数学：-6ポイント以上 県学力調査(6月、2月実施)の正答率30%未満の児童生徒の割合(県平均差)を県学力調査 正答率30%未満の子の割合について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少(6月と2月比較) | 【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。支援を継続することにより、沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を ・算数：+2.0ポイント以上 ・数学：-6ポイント以上 正答率30%未満の児童生徒の割合について、県平均との差を-1ポイントを維持することを着地点とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ⑥ | 派遣費補助金交付事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。 | 県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数：27団体 (スポーツ活動団体：24団体、文化活動団体：3団体) | 対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「補助を受けたことにより、県外の大会への参加が容易になった」：80%以上 | 【今後のスケジュール】 保護者へのアンケート結果を勘案しながら、補助の対象範囲や補助額等を検討しつつ、事業を継続的に行っていく。対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「補助を受けたことにより、県外の大会への参加が容易になった」：80%以上 | 【R6成果目標の考え方】 アンケート結果「県外の大会への参加が容易になった」80%は、大多数の児童生徒へ効果があったと考えられる値として設定した。 |
| 2 | ⑦ | スポーツ少年団派遣費補助事業 | H25 ～ R13 | スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、スポーツ少年団に加盟している団体等へ県外派遣を支援する。 | 県外へ派遣される団体等への支援を実施 支援人数(見込み)：200人 | 対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」：90%以上 | 【今後のスケジュール】 R3のアンケート結果は、「視野が広がったと思う」が90%を超え、県外へ派遣された大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる。 今後はこの数値(90%)を維持するため、継続して支援を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ⑧ | 特別支援教育支援員派遣事業 | H28 ～ R13 | 宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 | 特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:10人、小学校46人、中学校16人)合計72人 | ・学校、保護者の満足度:95%以上 ・児童生徒の良い変容率:82%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。 支援を継続することにより、 ・学校、保護者の満足度:95%以上 ・児童生徒の良い変容率:82%以上を保つことを着地点とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 昨年度の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 文化財保存整備事業 | H24 ～ R13 | 文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。 | 野嵩スティバナピラ石畳道の実施設計・用地測量を行う。 | ①野嵩スティバナピラ石畳道実施設計及び用地測量の完了 | 【R8成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 重要な文化財を景観・安全に配慮した保存整備を行い、文化教育、観光振興につなげる。 R6年度:実施設計 R7年度:保存整備工事 R8年度:公開 | 【R8成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市教育委員会主催の文化財教室)等を参考に設定した。 |
| 3 | ② | 歴史公文書等整理・活用事業 | H24 ～ R13 | 市立博物館が所蔵する写真資料の整理を行い、写真データおよび歴史的公文書の公開を行う。 | ・写真資料の情報入力。 ・情報を入力した写真データの順次公開。 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開。 | ・市の歴史や文化への理解が深まった方の割合:80% | 【今後のスケジュール】 公文書と写真資料の整理(調査及び情報入力)を行い、これまでに整理を行った歴史公文書と並行して、順次公開をすすめ、アンケートにおいて本市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%を超えることを目指す。 | 本事業のあり方については、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ① | 平和市民啓発事業 | H24 ～ R13 | 戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。 | 【平和大使育成事業】 県内研修及び県外研修に派遣する人数 ・市内中学生:8名、青年層:1名 ・フォローアップ研修:1回 【平和祈念事業】 啓発イベント回数:5回実施 | 本事業に参加した生徒や市民からアンケートを実施し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 事業を通して、戦争の悲惨さや命の尊さについて理解が深まり、平和の心を波及していく機会となったかアンケートにより検証する。また、令和13年度において平和大使として育成した延べ人数108人(9人×12年間※計画期間)を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|--|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ② | 英語教育推進事業 | R4 ～ R13 | 英語指導助手(ALT)を小学校に1名～2名ずつ派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。また、英語指導助手(ALT)を中学校に1名ずつ派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。 | ・市内小学校9校へALT(各1～2名)を派遣 ・市内中学校4校へALT(各1名)を派遣 | ①ALT配置等による「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%(形成テストより) 生徒(中学3年生)の割合60%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)90%以上 ③児童英検の正答率(小学6年生)85%以上 ④6月実施県学力定着度調査の県平均との正答率の差+1ポイント(中学校3年生) | 【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ③ | 学校ICT活用指導支援事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員3名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。 | 学校ICT業務担当員:3名配置 情報夏期講習会:13回 | ①教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合について80%以上を目指し、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。 |
| 4 | ④ | 中学生語学研修派遣 | H31 ～ R13 | 語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。 また、国の外交の中核となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。 | 本市中学生12名を、外国語学習研修施設等に語学研修生として、6日間程度派遣する。また、外交関係官公庁等の施設見学により見聞を広めることで、コミュニケーション能力の向上と国際的視野を育成する。 | 語学学習研修生に対する本事業へのアンケート調査による満足度を96%以上 | 【今後のスケジュール】 令和6年度は、国内の語学研修を実施するが、令和7年度以降は海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。本事業に対するアンケート調査への満足度を96%以上を維持することを着地点とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ⑤ | ICT機器活用推進事業 | R1 ～ R6 | 児童生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、小中学校に電子黒板等を整備する。 | 電子黒板の整備 | ①教員にアンケート調査を実施し、授業に電子黒板を活用して指導できる割合:80%以上 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板の活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 教員を対象にした研修会を実施し、ICT機器を活用した情報教育授業を推進する。また、教師及び児童生徒にICT機器を使用した指導や授業が「できた・分かりやすかった」割合についてアンケートを実施し、80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標の80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標の80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-------------------------------|-----------------|--|---|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | 市民防災事業 | H27 ～ R13 | 沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画に基づき、食糧、保存水、生活必需品等の備蓄を行う。 | 【備蓄食糧及び生活必需品等】 備蓄食糧(主食/レトルト・おかゆ)9,200食 備蓄食糧(副食)5,600食 保存水1,104本、 液体ミルク360缶 アレルギー対応ミルク13缶 経口補水液1,600袋 哺乳ボトル30個 災害備蓄用おむつ(子ども用)852枚 災害備蓄用おむつ(大人用)416枚 災害備蓄用生理用品1,720枚、 毛布、700枚、 簡易トイレ消耗品350セット、 災害備蓄用トイレトペーパー156巻 宜野湾市備蓄計画における数値を10年で80%以上となるよう設定。 | 【備蓄食糧及び生活必需品等】 備蓄食糧(主食/レトルト) 備蓄率51% 備蓄食糧(主食/おかゆ) 備蓄率8% 備蓄食糧(副食) 備蓄率22% 保存水 備蓄率23% 液体ミルク 備蓄率28% アレルギー対応ミルク 備蓄率100% 経口補水液 備蓄率88% 哺乳ボトル 備蓄率19% 災害備蓄用おむつ(子ども用) 備蓄率17% 災害備蓄用おむつ(大人用) 備蓄率18% 災害備蓄用生理用品 備蓄率18% 毛布、備蓄率20% 簡易トイレ消耗品 備蓄率21% 災害備蓄用トイレトペーパー 備蓄率8% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた」:「80%以上」と設定。 | 【今後のスケジュール】 引き続き、宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画に基づき設定した必要な備蓄食糧・保存水・生活必需品等を100%備蓄(うち、備蓄目標の20%程度を流通備蓄(災害時協定締結先や小売店)し、災害に強いまちづくりを推進する。また、これまでに整備した資機材を活用した防災訓練を年2回以上は実施することを目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 宜野湾市地域防災計画及び宜野湾市備蓄計画に基づき設定した。 | |
| 6 | ① 普天間飛行場跡地土地利用計画策定事業(地権者意向調査) | H24 ～ R13 | 普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。 | 市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施 | 市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:80人 | 【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びNBミーティングの活動を支援し、令和13年度までに市民向けの意向醸成イベントの来場者数及び地権者向けの意見交換会の参加者数について、令和6年度の成果目標の10%以上増を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 | |
| 6 | ② 普天間飛行場跡地土地利用計画策定事業(共同調査) | H24 ～ R13 | 宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地土地利用計画に反映させる。 | 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」の「計画内容の具体化」段階等における「行程計画」の更新及び実行 | 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」の「計画内容の具体化」段階等における「行程計画」の更新及び実行に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成 | (後年度の成果目標) 跡地利用計画策定後、当該地土地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 | 中間取りまとめの段階では、具体的な内容やスケジュールが決まっていないため、跡地利用計画策定ご、跡地利用計画に対する、市民・県民・地権者等からの肯定的な評価が80%以上得られていることを成果目標とする。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野湾市 | | 事業番号 バ細 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|--|------------|--------------------|-----------------|--|---|--|---|---|
| | | | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 7 | | | 地域キャリア教育支援事業 | H30 ～ R13 | 地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。 | ・連携協議会の年2回の開催 ・小中学校でのキャリア教育プログラムの実施後のアンケート肯定率80%以上 | キャリア教育プログラムの実施後にアンケートをとり、実施する前と比べて、働くことに対する肯定率80%以上を目標とする。 | 【今後のスケジュール】 キャリア教育プログラムの実施について、コロナの影響もあるが、学校担当者により対応にばらつきがあるため、全小中学校でのプログラム実施に向けて、取組みを強化し、高校進学後に進路に関する追跡調査を実施し、働くことに対する肯定的回答80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 宜野湾市みらいづくり連携協議会において、アンケート内容の結果を分析し、必要な場合は見直しも検討する。 |
| 8 | | | 市民会館機能強化事業 | H30 ～ R6 | 建設から40年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。 | 施設工事(機械設備完了) 施設工事(電気設備完了) 工事監理業務(機械・電気完了) | 工事完了、市民会館開館 | 【R7成果目標】 利用者実績 24,619人 年間公演数34回 | 【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し、設定した。 |
| 9 | | | 宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業 | H24 ～ R13 | 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、土地の先行取得に取り組む。 | ・基金の積立 | ●普天間飛行場 特定事業の用に供する土地取得目標 20,000㎡ ※先行取得目標面積 195,400㎡ ●インダストリアルコリドー 特定事業の用に供する土地取得目標 3,000㎡ ※先行取得目標面積 25,000㎡ | 【今後のスケジュール】 返還後の跡地利用の推進を図るべく、令和13年までの間で、普天間飛行場及びインダストリアルコリドーにおける必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 普天間飛行場は、過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。インダストリアルコリドーは、地権者意向調査結果を勘案し設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 石垣市 | | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------------|---------------------|-----------------|--|---|--|---|---|
| 事業番号 バ細 | 事業名 | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① 観光地受入基盤強化事業 | H24 ～ R13 | 観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、ICTを活用した情報発信、観光誘客イベントへの支援を行う。 | (観光誘客) ・クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置 ・南の島の星まつりへの補助 ・とぅばらーま大会への補助 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベントへの補助 (観光客の利便性向上) ・空港にて観光案内サービスを実施 | (観光誘客) ・クルーズ船での来訪客数 270,437人 ・南の島の星まつりへの来場者数: 6,750人 ・とぅばらーま大会観客数: 2,250人 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベント: 225人 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。 | 【今後のスケジュール】 『第二次石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 観光需要のV字回復を目指し、コロナ禍以前の状況に順次戻していけるよう設定した。 |
| 1 | ② スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業 | H24 ～ R13 | 本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。 | ・スポーツ合宿の誘致活動 ・プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 ・プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備業務 | ・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 20団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数 20,000人以上 | 【今後のスケジュール】 運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① 石垣市中央運動公園リニューアル事業 | H27 ～ R6 | スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、駐車場、園路、広場等の再整備を行う。 | ・石垣市中央運動公園駐車場、園路、広場等再整備基本設計の実施 | ・石垣市中央運動公園駐車場、園路、広場等再整備基本設計の完了 | 【R14成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用した団体等が主催するスポーツ大会等の開催数6回以上/年間 【今後のスケジュール】 公園全体の再整備に向けた基礎資料を整理(基本設計等)し、各施設の再整備を行っていく。 | 【R14成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② クルーズターミナル整備事業 | R4 ～ R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・クルーズターミナル整備工事(本体工事)の実施 | ・クルーズターミナル整備工事(本体工事)の完了 | 【R7成果目標】 クルーズ船の年間寄港回数 343回以上/年 【今後のスケジュール】 クルーズ船寄港回数の増加する施策を継続して行う。 | 【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① 離島保育士確保総合対策事業 | H28 ～ R13 | 待機児童ゼロの維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。 | ・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・保育士養成校への支援 ・保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加 | ・待機児童数: 0名 | 【今後のスケジュール】 待機児童ゼロの維持に必要な保育士を確保する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 石垣市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|---|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ② | ひとり親家庭生活支援事業 | H30 ～ R13 | ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせて実施する。 | ・年間支援対象世帯数:4世帯 | ・支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上 | 【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ③ | ものづくり、マーケティング総合支援事業 | H24 ～ R13 | 石垣産の牛肉などの海外輸出、販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内でのPR販促活動を行う。 | ・税関空港活性化運用業務 石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築(保税蔵置場の設置、運営、利活用促進) ・販路開拓業務 地産地消、域外、海外販路における物産PR活動 ・地産地消イベント | ・石垣空港保税蔵置場を活用した農林水産物の輸出件数:1件以上 ・地産地消イベント開催:来場者数1,000人以上 | 【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | ”石垣産の牛”生産推進事業 | H24 ～ R13 | 肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。 | ・優良母牛導入補助の実施 ・優良肥育素牛への補助実施 ・肥育牛販路拡大の補助実施 ・殺虫剤購入費補助の実施 ・高齢繁殖母牛早期淘汰の補助実施 ・靴底消毒の実施(空港・離島ターミナル) | ①素牛の年間出荷頭数:6,926頭以上 ②素牛の平均販売額:562千円以上/頭 ③肥育牛の年間出荷頭数:795頭以上 ④肥育牛の年間売上高:950百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭 | 【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 令和5年度の畜産状況は、昨今の世界情勢で令和4年度から物価高騰が進み、全国でセリ価格等が暴落していることから、現実性を重視し、目標設定を変更した。 |
| 4 | ② | 水産振興事業 | H24 ～ R13 | 養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 | ・養殖魚類種苗の輸送費支援 ・冷凍餌の輸送費支援 | ・養殖魚類種苗の輸送費支援完了 ・鯖漁等の水揚げ量:610トン | 【R8成果目標】 養殖魚類出荷量:5,400尾以上 【今後のスケジュール】 養殖魚類生産量の増加に資する支援を継続して行う。 | 【R8成果目標設定の考え方】 種苗購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。 |
| 5 | ② | 平和推進事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。 | ・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 ・広島・長崎への平和大使派遣 ・慰霊祭、平和フォーラム等の開催 | ・コンクールや催事に参加した児童生徒を対象にアンケート行い、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業の在り方について検証する。 ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740人以上 | 【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 石垣市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ③ | 石垣市発達支援システム事業 | H28 ～ R13 | 発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児から就労までライフステージに応じて、心理専門職による発達相談等を実施する。 | ・心理専門職による発達に係る各種相談の実施 | ・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において、発達要フォロー児と判断された児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上。 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証。 | 【今後のスケジュール】 発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制を構築するとともに、支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合は、過去の実績を勘案して設定した。 ・育児・発達等に対する不安が軽減されたかについては、相談、支援を受けた児童生徒の保護者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ④ | 児童生徒の自律支援事業 | H25 ～ R13 | 自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。 | ・子ども自律サポーターの配置:21名 | ・自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上 | 【今後のスケジュール】 きめ細やかな自律を促進する支援により、自己肯定感の向上及び自律的学習習慣の定着を図る取組を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒の自己肯定感の高まりや自律的学習習慣の定着が進んでいると考えられる数値として設定した。 |
| 5 | ⑤ | 外国語学習支援事業 | H24 ～ R13 | 英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。 | ・外国語学習支援員の配置:5名 | ・英語への興味・関心が向上したと回答した児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。 |
| 5 | ⑥ | 情報教育充実事業 | H24 ～ R13 | ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。 | ・学校ICT支援員の配置:2名 ・教職員研修会の実施(定期研修会8回/年) | ・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証 | 【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ⑦ | 専門人材育成事業 | H24 ～ R13 | 島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。 | ・一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催 | ・小学校での教員採用試験合格者数:6人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:6人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 石垣市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|--|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ⑧ | 姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業 | H27 ～ R13 | 国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。 | ・中学生のカウアイ郡派遣3名の実施 | ・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内の生徒が、本事業による派遣・交流の報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか(80%以上)を含め、市内の生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための姉妹都市への派遣を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 派遣された生徒のうち大多数が視野が広がり、事業報告書を見た生徒のうち大多数が英語や外国語に以前より興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ⑨ | 石垣市小学生・中学生教育交流事業 | H28 ～ R8 | 異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮の小学生中学生と相互教育交流を実施する。 | ・台湾蘇澳鎮児童生徒との教育交流(受入・派遣) | ・異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒並びに保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証 | 【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための教育交流を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 参加児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ⑩ | 不登校対策等支援員配置事業 | H30 ～ R13 | 児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。 | ・スクールライフサポーターの配置:10名 ・学校生活支援、復学支援の実施 | ・不登校率の減少:0.3%以上 | 【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 5 | ⑪ | 子ども若者総合相談支援事業 | R1 ～ R13 | 社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、臨床心理士とユースワーカーを配置し、相談受付及び支援を実施する。 | ・ユースワーカーの配置:5名 ・臨床心理士の配置:1名 ・相談窓口の設置 ・相談・支援業務の実施 | ・本事業で支援を受けた者の数:50名以上 ・支援を受けた者の内、本事業の支援によって支援を要しない状況となった者の割合:50%以上 | 【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、臨床心理士とユースワーカーの配置を継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 5 | ⑫ | 石垣市省エネ推進事業 | R5 ～ R6 | 低炭素島しょ社会の構築、環境負荷の軽減のため、公共施設におけるLED照明への切り替えのほか、省エネ化推進の取組を実施する。 | ・石垣市立図書館照明のLED化 824か所 | ・館内照明のLED化:824か所の完了 | 【R7成果目標】 ・LED照明導入後の館内使用電力量年間削減率 25.8% 【今後のスケジュール】 市内公共施設等の省エネ化を図る施策を継続して行う。 | 【R7成果目標設定の考え方】 既存設備および導入予定設備の消費電力量の差を勘案し、削減される使用電力量の推計値を設定した。 照明のLED化により期待される削減率については、水銀灯(126.56kg-CO2/年)からLED照明(17.41kg-CO2/年)に切替えた場合のCO2排出量を参考に設定。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 石垣市 | | 計画 期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|----------|---------------------------------|-----------------|--|-----------------------|-------------------|---|------------------------------------|
| 事業 番号 | 事業名 | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 5 | ⑬ 八重山博物館所蔵資料 修復及び整理・活用事 業 | H24 ～ R10 | 歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。 | ・所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化 | ・資料の修復及びデジタル化 32点 | 【R10成果目標】 令和9年度までに修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数1,000人以上を目指す。 【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち、状態の良いものやレファレンスなどの優先度が高いものから年次的に修復・デジタル化を推進し、資料の保存管理を図る。 | 【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 浦添市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------------------------|-----------------|---|--|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ひとり親家庭等放課後児童クラブ費支援事業 | R4 ～ R12 | 放課後児童クラブがひとり親世帯等の利用者に対して利用料を減免した場合に要した費用の一部を補助する。沖縄県の利用料減免事業の市負担分(1/4)を市の一括交付金にて賄う。 | 利用料からおやつ代等の実費負担分を引いた金額(保育料)月上限5,000円とする。 | ひとり親家庭等への学童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。 | 今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減化と就労支援を図る。 | ひとり親家庭等へのアンケートをとることにより経済的負担軽減や就労の支援につながっているかを確認しつつご意見を聞き今後の事業のあり方について参考にする。 | |
| 2 | てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業 | R4 ～ R13 | 観光地としての魅力向上及び地域の文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組みを行う。 | ①-1 景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による景観地区等の計画策定((仮)前田北地区) ②補助工事の完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観支援を修景するための支援 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 | ①景観計画委託業務の完了 ②助成金申請7件(年間) (内 補助工事件数) 赤瓦葺き工事:7件 石積み・石張り工事:4件 生垣等の工事:5件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年) | 【今後のスケジュール】 ・地域における景観の向上に関する計画等の策定 ・地域における景観の向上を図るための景観修景のための支援 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援 | - | |
| 3 | 浦添観光振興事業 | H29 ～ R14 | 本市へ観光客を誘客するため、観光情報発信を継続的に行うことに加え、プロ野球キャンプ時のPR及び市内周遊企画を実施する。また、PRイベントを実施し、域外からの誘客を行い、市内経済活性化を図る。 | 【浦添観光振興業務】 ・浦添PR120件 ・プロ野球春季キャンプファン誘客イベント2回 ・PRイベント1回 ・無料シャトルバスの運行 | ①ポータルサイトPV数:482,000件 ②プロ野球春季キャンプ来場者数:39,000人 | 【今後のスケジュール】 観光PR活動に加え、プロ野球春季キャンプのPRを継続的に図っていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 | |
| 4 | 未来へ翔たく太陽っ子育成事業 | H24 ～ R12 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 県外大会等派遣支援の実施 | 保護者に対するアンケートを実施し、「県外大会に参加することで新たな課題や気づきを得られた(視野が広がった)と思う」という保護者の割合が80%以上を成果目標とし、本事業の効果を検証する。 | 今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて児童生徒の技術向上やより広い視野を持った人材育成を図るとともに、経済的負担の軽減を図る。 | 児童生徒が新たな課題や気づきを得られたか(視野が広がったか)検証するにあたっては、当該児童生徒を普段から見守る立場である保護者が児童生徒の変化の状況を把握しているものと考え、保護者に対して児童生徒の気づきや課題を聞き取ることで本事業の効果を検証できることから指標として設定した。 数値は、児童生徒の大多数が新たな課題や気づきを得られたといえる数値として設定した。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 浦添市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----------------|-----------------|--|--|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | 自然体験学習事業 | H24 ～ R13 | 協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。 | 市立全小学校5年生を対象に、平素と異なる生活環境での集団宿泊活動や沖縄の豊かな自然の中で行う様々な体験活動(登山・野外炊さん・キャンプファイヤー等)を実施する。 | 自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価する学校の割合90%以上。 | 自然体験学習事業を継続して実施する。アンケートを実施し、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと回答する学校の割合が「90%以上を維持する。 | 90%以上の児童の(協調性・協働的)向上。 | |
| 6 | 学力底上げ推進支援事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。 | 学校教育支援員 ・小学校14名(各校1名～2名) ・中学校8名(各校1名～2名) ・日本語教育支援員 3名 | 沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:算数 +2.0ポイント以上 ・中学校:数学 +2.0ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 R6年度学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査において正答率が小中学校ともに県平均を上回ること、正答率30%未満の児童生徒の浦添市と県の差を減少させ、学力の底上げを図り、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 | |
| 7 | 課題を抱える児童生徒支援事業 | H26 ～ R13 | 課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し、不登校未然防止及び学校復帰を図る。また、個々に応じた体験活動や学習活動、小集団活動等を通じて児童生徒の将来的な社会的自立を目指す。 | ・臨床心理相談員3名及び教育相談員6名は、課題を抱える児童生徒及びその保護者対応のため、教育相談室「くくむい」を運営する。 ・適応指導員1名は、適応指導教室「いまあじ」を運営する。 ・自立支援員3名は、あそび・非行傾向児童生徒対応のため、自立支援室「ひなた」を運営する。 ・教育相談支援員19名を学校へ配置し、学校現場にて登校支援や別室対応等を行う。 | 不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:18.6%以下 中学校:19.2%以下 | 【今後のスケジュール】 ●引き続き各種相談員、支援員を配置し切れ目のない支援を行う。 ●不登校児童生徒数の増加に伴い、臨床心理相談員を1名増員する。 ●不登校未然防止体制を強化するため、教育相談支援員を3名増員し、特に不登校児童生徒数が増加傾向にある小学校に追加配置する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 | |
| 8 | 青少年巡回指導員事業 | H26 ～ R13 | 青少年巡回指導員5名を配置し、青色回転車両にて青少年の問題行動が発生しやすい公園やたまり場等の巡回及び子ども達の安全な登下校を見守る。また学校からの依頼により不登校傾向の児童生徒に対し登校支援等を行う。 | ・青少年巡回指導員5名 ・毎月第2木曜日は「朝のあいさつ運動」を実施。 ・基本、第3金曜日は「夜間街頭巡回」を実施。 | ・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:17.1%以下 中学校目標:23.1%以下 | ・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減(全国平均値)を目指す。 小学校目標:13.1%以下 中学校目標:10.9%以下 | 【令和6年度成果目標設定の考え方】 ・令和元年度より、本項目での調査が開始。 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・R3はコロナ禍のため(学校運営が平常時ではない)成果目標設定値としては採用しない。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 浦添市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----------------------------|---------|--|---|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 9 | こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業 | H27～R8 | 学校教育の質の向上を図るため、市立の小中学校にICT機器を整備する。 | ・市立小中学校へICT機器を整備 電子黒板+PC:普通教室(特別支援教室) タブレット端末 | ①児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合(90%以上) ②授業での思考力・判断力・表現力の向上を図る活用の項目割合(80%以上) ③児童生徒へアンケート調査を実施し、思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合(70%以上) | 【今後のスケジュール】 ICT機器の効果的な活用により、学校教育の質の向上が図られると考える。児童生徒を対象にしたアンケート調査を行い、本事業の効果を検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 年度末に市立小中学校の全児童生徒を対象にアンケートを実施して検証する。 ①本事業の効果として最も大きな指標と考え、達成率90%以上の継続を目指す。 ②③本事業を通して児童生徒につけたい資質能力の検証として、思考力・判断力・表現力の向上を目指した活用方法について調査する。 | |
| 10 | 浦添市南米移住者子弟研修生受入事業 | H25～R13 | 戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。 | 南米移住者子弟研修生受入:2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・地域交流 ・企業研修 ・報告書作成 | 研修を受けた結果、 ①沖縄アイデンティティが高まった ②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したい と答えた研修生の割合:90%以上 研修生の報告を聞き、沖縄の文化を継承していきたいと感じた人の割合:80% | - | 研修の効果を計るため、研修参加者のウチナーンチュとしての意識の変化の割合を指標に設定した。 また、報告会に参加した人に、沖縄文化について伝承できているかの割合を指標に設定した。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として設定した。 | |
| 11 | 浦添市中学生平和交流事業 | H25～R12 | 平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。 | ・事前研修(ビデオ学習、戦跡巡り等) ・本研修(2泊3日) ・事後研修(研修報告、壁新聞作成) ・日向中学生との交流会(受入) ・浦添市戦没者追悼式 ・事業報告会(浦添市まなびフェスタ) ・パネル展示 ・ピースメッセンジャー認定:10名 | 研修やピースメッセンジャーの活動を通じて、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。 | 浦添市の平和行政を推進し、市民の平和意識の高揚を図り、平和社会の構築につながる取り組みを引き続き実施する。 | 保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証 | |
| 12 | 浦添市特定駐留軍用地等内土地取得事業 | H27～R13 | 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。 | 先行取得未取得面積1.00haの土地取得を目指す。引続き基金の積立てを行い、駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進する。 先行取得目標面積:300,000㎡ | 【R6成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標約10,000㎡(達成率63.6%) H28～R5までの累計取得面積190,775㎡ ※達成率:先行取得目標累計面積(300,000㎡)に対する累積取得面積の割合 | 【今後のスケジュール】 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、各種施策の実施につなげる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 特定事業の用に供する土地の取得を目標とする。 (先行取得未取得面積10,000㎡) ※令和5年度までの先行取得の実績 目標面積 300,000㎡ 取得面積 190,775㎡ 達成率 63.6% | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 浦添市 | | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------------|------------------------------|-----------------|---|---|---|---|---|
| 事業番号 バ細 | 事業名 | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 13 | てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業 | H24 ～ R13 | 地域住民の健康意識の向上及び青少年の健全育成を図り、本市の歴史・文化・地域特性を活かしたウォーキングイベント「てだこウォーク」を地域活性・経済効果の観点から盛り上げ、市外・県外の参加者増を目指し、本市の観光客入域増に繋げる。 | 沖縄県内最大級のウォーキングイベント「てだこウォーク」を観光誘客、地域活性の観点から盛り上げる。 ・開催予定日:2月 ・本市の地域特性を活かしたルートをウォーキングする。 | 市外からの参加者:2,300人 市内からの参加者:2,700人 | - | 引続き、てだこウォークを開催するにあたり、経済効果・地域活性化の観点から盛り上げ、本市の観光客入域増に繋げる。 |
| 14 | 災害時備蓄食糧及び保管倉庫等整備事業 | R1 ～ R6 | 災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。 | 備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の配備、 ・市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター ・アイム・ユニバースてだこホールに配備する。 | ・備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の配備 ・浦添市内の公共施設2か所 | - | 想定避難者数の3日分を目標に食料等の備蓄を設定した。 |
| 15 | 浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業 | H29 ～ R6 | 観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。 | 多目的広場の付帯設備工事の実施。 | 多目的広場の付帯設備工事の完了。 | 【R8年成果目標】 多目的広場、観光交流拠点施設への来訪者数 年間60,000人 【今後のスケジュール】 R5: 整備工事 R6: 付帯設備工事 観光交流拠点施設 設計・工事 (民間事業者) R7: 供用開始 | 【R8年成果目標設定の考え方】 浦添前田駅2019年度1日平均乗客者数の実績を参考に設定した。 |
| 16 | 浦添市都市計画マスタープラン改定業務事業 | R5 ～ R6 | 牧港補給基地は2024年度以降に返還予定となっており、それに合わせ、現在、牧港補給地区跡地利用基本計画(以下、「跡地計画」)を策定中である。 その跡地計画と整合を図りながら、基地跡地の基盤整備等に早期着手できるよう、浦添市都市計画マスタープランを改定する。 | 浦添市都市計画マスタープラン改定 | 浦添市都市計画マスタープラン改定 | 【R6成果目標】 浦添市都市計画マスタープランを改定 【今後のスケジュール】 R6 浦添市都市計画マスタープラン改定 | 【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた牧港補給地区を含めたまちづくり(都市計画変更等)を実施していくことを目標として設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 浦添市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|--------------------------|-----------------|--|---|--|---|--|
| 事業番号 | バ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 17 | | 認可外保育施設こどものみらい緊急応援プロジェクト | R5 ～ R9 | 認可外保育施設におけるこどもの安全を確保するため、給食業務の委託及び賃借料の補助を行い、保育の質の改善を図る。 | ①給食業務の委託 7施設で実施する ②賃借料補助 9施設で実施する。 | 1月当たりの「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」について、60時間以上の増加 | 【今後のスケジュール】 子どもの安全を確保しつつ、各施設ごとでバラバラだった食材料費にかかる費用を引上げ、衛生的な環境下で栄養管理された給食の提供により子どもの健やかな成長を支える。 また、本事業実施期間で、運営費圧迫の大きな原因である保護者の利用料や給食費について、段階的に引上げを目指す。また、業務のICT化など業務改善の取組も行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業において、保育従事者の業務負担の軽減や賃借料への支援を行うことにより、実際に増えた「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」の分だけ、子どもの安全性が向上されるとの考えで設定した。アンケート等で検証する。 |
| 18 | | ありんくりんクリーン事業 | H24 ～ R12 | グスク時代の古城「浦添城跡」や歴史の道「中頭方西海道及び普天満参詣道」、信仰の場である御嶽や井泉、歴史上の人物の墓陵などを観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を行う。 | ・文化財の清掃:1箇所 ・文化財の除草等環境整備:11箇所 | 観光地としての安全・快適な景観形成を図れたか(85%以上)など、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 清掃や除草等環境整備を継続実施し、観光地としての魅力向上を図る。 | 見学者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 19 | | 悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業 | H24 ～ R11 | 市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展の充実化や関連講座の実施、企画展等を実施する。 | ・常設展年3回の展示替え ・漆芸作家展の開催 ・作品購入 | ・常設展観覧者数目標:年5,000～6,000人台 ・企画展開催 年1回以上 | 作品の購入・修復の実施で常設展示の充実を図り、魅力ある企画展の実施により、年間常設展観覧者数の目標達成に向け取り組む。 | 令和6年度成果目標の設定:過去の実績を参考に設定した。 |
| 20 | | 浦添市観光振興計画改定事業 | R6 ～ R7 | 本市における人の流れを把握し調査・分析を行うことにより、令和7年度に予定されている浦添市観光振興計画策定及び市内観光施設への効果的な観光振興施策を実施する。 | ・観光振興計画の評価・検証 ・観光動向調査 ・基礎データ収集 ・委員会の開催 | 市民アンケート調査を1,000件実施し、2割回答 観光振興審議会2回開催 関係部署・団体ヒアリング10件実施 | アンケート及びヒアリング内容を確定させ、観光振興計画策定につなげる。 | 観光振興審議会にて調査すべき内容等の確認を行い、実施されたアンケート等を確認する。 |
| 21 | | 公共施設LED照明導入調査事業 | R6 | 脱炭素島しょ社会の実現を目的とした市内公共施設への高効率照明機器(LED)導入について、計画的かつ効率的に実施するための調査を行う。 | 公共施設LED化に向けた導入調査の実施 | ・既存設備の状況調査 ・温室効果ガス削減効果の試算 | 【R12成果目標】 ・公共施設のLED化率100% ・温室効果ガス削減量〇トン 【今後のスケジュール】 R7～ 導入事業 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・国の目標である2030年までにLED化率100%を根拠に設定した。 ・調査事業で判明する削減効果の試算結果を根拠とする。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 浦添市 | | 事業番号 バ細 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|--------|--|------------|-------------------|----------------|---|---------------------------------|--|--|--|
| R6事業内容 | | | | | R6活動目標(指標) | | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 22 | | | うらそえ特産品等振興事業 | R6 ~ R13 | 浦添市の地域資源を活かした新たな商品の開発支援、マーケティング戦略・商品ブランディング等の販売スキル向上支援、販路開拓等の支援により、市内事業者の収益向上を図る。 | ・7セミナー参加:30事業者 ・ハンズオン支援:5事業者 | セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合:80%以上 新商品開発件数:5件以上 | 【今後のスケジュール】 商品開発機運造成及び売上向上を図る取り組みを継続して実施し、「ものづくり」の活性化、市内事業者の育成に繋げる。 | 支援対象事業者のうち、概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |
| 23 | | | 産業振興計画策定事業 | R6 | 本市における産業振興の目指すべき姿とその実現方法を示す産業振興計画を策定するため、計画策定に必要な基礎調査の実施を行う。 | 産業振興計画策定に係る基礎調査の実施 | 産業振興計画策定に係る基礎資料の作成 | 【R8成果目標】 策定する産業振興計画の中で、産業振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 基礎調査の実施 R7 産業振興計画の策定 | 【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた産業振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。 |
| 24 | | | 結の街施設機能強化事業 | R6 ~ R7 | スタートアップ企業に対する支援の拡充及び、起業の機運醸成のため、浦添市産業振興センター・結の街の機能を強化する。併せて、老朽化が進む本施設の長寿命化を図る。 | 整備計画の策定及び防水化工事の実施 | 整備計画策定及び防水化工事の完了 | 【R8】 年間支援対象者数:30者 【今後のスケジュール】 R8 供用開始 | 現在の入居企業数を基に設定。 |
| 25 | | | 牧港補給地区地権者合意形成促進事業 | R6 ~ R13 | 牧港補給地区返還後の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の支援または市民向けイベント等を開催することにより、地主・市民と行政の連携を強化する。 | 跡地利用計画に関する勉強会支援、先進地視察、イベントの開催 | 跡地利用計画への理解度についてアンケート調査を行い、その結果より本事業の在り方を検証する。 (肯定的な評価80%以上) | 跡地利用計画に示された各分野の方向性について調査研究を行い、地主の考えるまちづくりガイドライン(案)を作成する。 | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 名護市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|---|---|-----------------------------------|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 学習指導支援者配置事業 | H24 ～ R13 | 市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。 | 学習指導支援員19人の配置 ※学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む | 沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -4.0以内 ②中学校 -3.0以内 | 【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査において、平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。 (県平均正答率との差:0ポイント以上) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 生徒指導支援者配置事業 | H24 ～ R13 | 生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。 | 市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置:9人 | 支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 9% | 【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個々の状況に応じた支援を効果的に行う。 また、名護市において不登校児童生徒の登校復帰人数の割合12.5%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | 小中学校英語支援員配置事業 | H24 ～ R13 | 市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。 | 小中学校英語支援員11人を市立小・中学校にシフト配置 | ①学力調査(英語)の正答率 ・小学校6年生:正答率82% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語:-3ポイント | 【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(英語)において、平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。 (県平均正答率との差:0ポイント以上) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ④ | 中学生海外短期留学派遣事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・派遣生徒選考人数:12人 ・事前研修会の実施 ・短期留学の実施 ・帰国後の研修会及び報告会の実施 | 保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100% | 【今後のスケジュール】 今後も中学生海外短期留学派遣を継続し、保護者へのアンケートで、「帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%」を毎年度の目標とし、国際的な視野を持つ人材を継続的に育成する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ⑤ | 適応指導教室支援員配置事業 | H24 ～ R13 | 適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。 | 適応指導教室へ支援員3人を配置する。 | ①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合50% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合85% | 【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。 また、適応指導教室に通級している児童生徒において、学校復帰できた児童生徒の割合85%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 名護市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------------|----------------|--|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ⑥ | 名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業 | R4 ~ R13 | 小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校が各種大会参加による県外児童生徒等との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。 | 県外及び離島で開催される各種大会へ派遣される児童生徒に対し、渡航運賃の補助を行う。 補助割合:1/2 | 補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会を得られたと感じるか」の項目で80%以上。 | 【R6成果目標】 保護者対象アンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会を得られたと感じるか」の項目で80%以上。 【今後のスケジュール】 多くの児童生徒が成長につながる機会を得られるよう、令和13年度まで継続して支援を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業の目的として「県外児童生徒等との競争や交流を通して児童生徒の成長につなげる」とあるので、その検証としてアンケートに「児童生徒が成長につながる機会を得られたと感じるか」を含めた項目を設定した。 |
| 1 | ⑦ | 特別支援教育支援者配置事業 | R4 ~ R13 | 特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。 | 市内各小・中学校へ特別支援教育支援者を配置:35人 | 特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、満足していると回答した割合85% | 【今後のスケジュール】 小中学校における、特別な配慮を要する児童・生徒の支援を行い、円滑に学校生活を送れるように取り組む。 また、名護市における特別支援教育支援者配置事業に対する満足度のアンケートについて、大多数が満足していると考えられる割合100%を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | ファイターズ・キャンプ支援事業 | H24 ~ R6 | 北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、エスコンフィールド北海道で名護市PRイベント「名護スペシャルデー」を開催する。 | ・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保 ・エスコンフィールド北海道で「名護デー」開催 ・春季キャンプ見学者の誘致促進 | プロ野球キャンプ時における見学者数22,552人以上 | 今後も球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み、見学者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通じた観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。 観光入込客数(宿泊施設入込客数、観光施設入込客数) 〇〇〇人以上 (※令和5年度調査後に、数値を記入) | 【R6成果目標設定の考え方】 令和4年度の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 名護市観光プロモーション推進事業 | R5 ~ R7 | 本市の関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。関係機関等と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。 | ・プロモーション支援の実施 ・プロモーションイベントの開催 ・情報発信の拡大 | ・観光入込客数(宿泊施設入込客数、観光施設入込客数) 〇〇〇人以上 (※令和5年度調査後に、数値を記入) | 【今後のスケジュール】 プロモーションイベントの開催や情報発信を行い、本市観光資源の認知度向上を図り、観光誘客に繋げる。 ・観光入込客数(宿泊施設入込客数、観光施設入込客数) 〇〇〇人以上 (※令和5年度調査後に、数値を記入) | 【R6成果目標設定の考え方】 令和5年度の実績を勘案して設定。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 名護市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|---------------|---|---|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ③ | 名護市地域商業グロウアップ支援事業 | R1 ~ R6 | 県内外で開催される物産展や商談会への出展支援等を行うことにより、市内事業者等の販路拡大及び売上増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・県内外での物産展出展3回 ・県内外での商談会出展4回 ・プロモーション活動の実施7回 | ①商談成約件数:3件/社 ②物産展等への出展にあたり役立つ支援内容であったか(80%以上)含め、支援対象事業者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 県内外での物産展・商談会での出店支援を4件/年、実施する。 | 過去の実績及び市内事業者の現状(経験不足)等を勘案し成果目標を設定した。 |
| 2 | ④ | 観光客誘致プロモーション事業 | R5 ~ R7 | コロナ5類移行後の観光需要回復に向けて安定した市内入域客増加を図るため、観光商品等の企画・造成に向けたセミナー・ワークショップ、プレミアム商品券事業の運営支援など、市内事業者や観光関連団体と連携した観光客誘致プロモーションを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・ワークショップの実施 ・観光協会サイトの再整備の実施 ・誘致プロモーションツールの制作 | 本事業展開後の下期における市内宿泊入込客数:R5年実績比5%増 ※具体的宿泊入込客数についてはR5年度数値確定後に設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・本事業で市内への観光需要喚起を図るとともに、観光商品の開発やノウハウ取得のセミナーを開催し、官民連携した観光コンテンツ開発の土台の再構築を行うことで、今後も引き続き観光関連事業者が主体的に観光施策に取り組めるよう支援する。観光協会、民間事業者による観光コンテンツ開発が推進されるだけでなく、実績データの検証を通じた商品・プロモーション改善、ターゲット設定を細分化するなど、戦略的マーケティング体制の構築・自走化を目指す。 ・本事業展開後の下期における市内宿泊入込客数:R5年実績の5%増を維持。※具体的宿泊入込客数についてはR5年度数値確定後に設定 | 【R6成果目標設定の考え方】 R5年度の宿泊実績に対して5%増を設定根拠とした。 |
| 2 | ⑤ | 名護市スポーツ推進計画策定事業 | R5 ~ R6 | 本市のスポーツに係る戦略的な計画を策定し、スポーツによる地域経済の活性化に繋げることを目的とする。令和6年度においては、基本計画を策定する。 | 基本計画を策定する。 | 基本計画策定の完了 | 令和6年度に実施する基本計画で今後10年間の大会開催件数やスポーツ合宿誘致件数等を設定する予定であり、基本計画策定前では、効果検証が困難なため定量的な目標値については、事業完了後に設定する。 【今後のスケジュール】 R6:基本計画策定 | 【R7成果目標設定の考え方】 令和6年度策定の基本計画において目標値を設定する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 名護市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | | 第3次名護市観光振興基本計画策定事業 | R5 ～ R6 | 名護市観光産業の回復・発展を目的とした第3次名護市観光振興基本計画を策定する。 | ・第3次観光振興基本計画の策定 ・先進地事例視察 ・有識者会議の開催 | ・第3次観光振興基本計画の策定完了 | 【今後のスケジュール】 ・観光産業の回復・発展を目的とした計画を策定し、令和7年度以降、本計画にて策定した施策を実施することで、観光誘客に繋げる。 ・市内入域者数〇〇〇人以上(宿泊者数、観光施設訪問者数、イベント参加者数、インバウンド数、修学旅行生数) ※令和6年度策定の基本計画において目標値を設定する。 【今後のスケジュール】 R6:基本計画策定 | 【R7成果目標設定の考え方】 令和6年度策定の基本計画において目標値を設定する。 |
| 4 | ① | 優良繁殖雌牛導入事業 | H27 ～ R8 | 農家の経営安定化に向けて、子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。 | 優良母牛導入導入支援:18頭以上 | 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合111%以上 | 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合111%以上 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した |
| 5 | ① | 救命処置普及強化支援事業 | H27 ～ R6 | 急病や事故、災害等により観光客や市民が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習を実施する。また、市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。 | 1. 救急救命士等の同等の資格を有する会計年度任用職員の採用 2. 各種救命講習の開催(救急法 普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 上級救命講習普及員講習) 3. まちかど救急ステーションの認定(更新) 4. 市内全てのコンビニエンスストアへのAED設置 | 1. 救急救命士等の同等の資格を有する会計年度任用職員の採用・・・3名 2. 各種救命講習において、アンケートを実施し、応急手当が「不安だができる。できる。」と回答した割合が80%以上 3. まちかど救急ステーションの認定・・・2件(更新3件) 4. 市内コンビニエンスストアへのAED設置・・・前年度までに開店した店舗へ設置及びAEDの取り扱い説明と心肺蘇生法の簡易講習の実施 | 【令和6年度成果目標】 1. 救命処置普及強化支援員を3名採用 2. 各種講習会受講者へのアンケート実施して、「不安だができる。できる」と回答した割合が80%以上 3. まちかど救急ステーションの認定を2件(3件更新) 4. 前年度までに開店したコンビニエンスストアへAEDを設置 【今後のスケジュール】 救命講習を継続し、市民が応急手当を学ぶ環境と応急手当が実施できる市民の育成 | 1. 普通救命講習受講者の最大受講人員30名と指導員が最大指導できる人員10名を考慮して会計年度任用職員を採用 2. 各種救命講習の受講者の大多数が理解できたと考えられる数値を設定 3. まちかど救急ステーションの認定(更新)は過去の認定件数、更新が必要な事業所を勘案し設定 4. 前年度までに開店したコンビニエンスストアへAEDを設置(ガイドラインを参照) |
| 5 | ② | ハブ等対策事業 | H27 ～ R13 | 観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。 | ハブ捕獲器の平均稼働数:790器以上 | 捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件 | 【今後のスケジュール】 ハブ捕獲器年間平均稼働数を800器以上の高水準で行い、名護市内の住宅街及び観光施設周辺におけるハブ等の咬傷被害件数0件を目指す。 今後、捕獲器設置申請数や捕獲実績に応じて捕獲器の増設を検討していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 名護市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------|----------------|--|-----------------------------------|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ③ | 環境再生・活用整備事業 | H29 ～ R9 | 喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場として活用する河川に整備する。 | ・用地取得 ・物件補償 ・河川整備工事(磁気探査含む) | ・用地取得交渉及び合意形成 ・物件補償交渉及び合意形成 ・河川整備工事(磁気探査含む)の完了 | 【R10成果目標】 ①環境学習参加数116人 ②地域の自然を活かした憩いの場として活用できたか(80%以上)を含め、市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4～R9: 用地取得・物件補償・ 橋梁整備工事・河川整備工事 R10: 供用開始 | 【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した |
| 6 | | スポーツ力向上促進事業 | R1 ～ R13 | 児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。 | スポーツ教室等の開催:4回 | ①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ③名護市スポーツ審議会にて事業実施の評価検証を行い、A評価とする。 | 【R7成果目標】 市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,260名 【今後のスケジュール】 引き続き参加者やスポーツ関係者のニーズに対応した市民参加型のスポーツ教室等を開催する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①②対象者のうち大多数が意識が高まった又は指導力が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケート及び名護市スポーツ推進審議会にて事業実施の評価検証により検証する。 【R7成果目標設定の考え方】 ③過去の実績を勘案して設定した。 |
| 7 | | 名護さくらのまち推進事業 | R5 ～ R7 | 本市のシンボルであるカンヒザクラの環境整備として、後継樹の植栽及び既存桜の選定・防腐処理を行い、地域ブランドの強化及び観光客の誘客を図る | ・後継樹の植栽 ・既存の桜の剪定及び防腐処理 | ①さくら祭り来場者数 136,000人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も本市のシンボルであるカンヒザクラによる地域ブランドの強化を図り、観光客の誘客に繋げる。 R7は、過去3カ年のさくら祭りの来場者数129,804人を基準とし、10%増の142,000人を成果目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 名護市 | | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------------|-----------------------|---------------|---|--------------|--------------|---|---|
| 事業番号 バ細 | 事業名 | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 8 | 名護自然動植物公園機能強化事業 | R4 ~ R7 | 名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和3年7月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることやアフターコロナを見据え、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の伸長による観光振興を図る。 | 建築工事、備品購入の実施 | 建築工事、備品購入の完了 | 【R8成果目標】 年間利用客数244,000名 【今後のスケジュール】 R6: 建築工事、備品購入 R7: 土木工事・基本設計 | 【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 9 | 21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業 | R4 ~ R7 | これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となる為に誘客施設を整備する。 | 工事の実施 | 工事の完了 | 【R8成果目標】 ・年間の公園来訪者数:415,000人 ・年間の公園来訪者の満足度向上の割合:3.4% 【今後のスケジュール】 R6: 工事 R7: 工事 R8: 供用開始 | 来訪者数及び満足度は公園周辺施設の利用者数やアンケートを参考に設定した。 |
| 10 | 名護市総合交通ターミナル実施計画策定事業 | R5 ~ R6 | 名護漁港周辺エリアのまちづくり及び賑わいを創出する取組として、名護市総合交通ターミナルの整備とその周辺エリアの施設配置等を具体化し、対象エリアの魅力の向上を図る。 | 実施計画の策定 | 実施計画策定の完了 | 【R7成果目標】 当該計画の中で、名護市総合交通ターミナル利用者数の目標値を設定し、当該目標値の実現に向けた施策展開を図る。 | 【R7成果目標設定の考え方】 本事業において策定する実施計画の中で総合交通ターミナル利用者数を目標値として設定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該計画に基づいた目標値を基に公共交通に関する利便性向上に向けた施策を実施していくことを目標とする。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
 R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 糸満市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 沖縄らしい風景づくり事業 | H24 ～ R8 | 風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力を図る。 | ・重点地区景観形成への支援(都市景観形成(屋根瓦などの工事)に係る助成金) ・重点地区修景検討基本計画業務を行う。 | ・助成金による景観形成整備の完了(6件) ・修重点地区景観検討基本計画業務の完了 | 【今後のスケジュール】 R6:糸満ロータリー修景検討基本計画業務 R7:イービメンジョー整備工事 【将来的な目標】 糸満独自の風景としてふさわしい自然・景観を目指し、事業完了後アンケートを実施し、沖縄らしい景観形成が図られた(80%以上)を目指す。 | 【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が糸満独特の風景・まちなみ創生としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ① | 観光地危険生物駆除事業 | H25 ～ R13 | 観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。 | ・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15カ所 | 市内における観光客の年間ハブ咬傷被害0件 | 【今後のスケジュール】 既存捕獲器の設置箇所を再考や、ハブ生息区域調査による新規設置の検討をし、観光客に対するハブ咬傷被害0件を目標として安心安全な観光を推進する。 【将来的な目標】 将来的に観光客に対するハブ咬傷被害0件を目標として安心安全な観光を推進する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 糸満イベント推進事業 | H24 ～ R13 | 地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。 | 糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助 | 糸満ふるさと祭り ・来場者数:33,000人 | 【今後のスケジュール】 イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら令和13年度まで継続する。 【将来的な目標】 魅力的なプログラムを実施し、来客者数33,000人以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |
| 2 | ③ | 観光地公園環境美化強化事業 | R4 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 西崎運動公園、山巔毛公園、みどりの遊歩道の美化強化。 | 観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 観光地として魅力ある景観を維持するため、令和13年度まで継続して事業を実施する。 【将来的な目標】 観光地としてふさわしい景観を保つため、アンケートを実施し、観光地にふさわしいと答える率80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 糸満市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|--|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ④ | プロスポーツキャンプ推進事業 | R5 ～ R13 | プロスポーツキャンプ等実施の際、選手及び見学者等が安全・快適に過ごせるよう受入体制を構築し、チームと市及び観光協会や商工会をはじめとする関係団体と連携してキャンプ地として盛り上げ、観光客誘致と経済効果の波及を図る。 | プロスポーツキャンプ受入体制構築 | プロスポーツキャンプ見学・来場者 10,000人 | 【今後のスケジュール】 今後も選手及び見学者等が安全・快適に過ごすためにも受入体制構築の費用として負担が生じる。 【将来的な目標】 プロスポーツキャンプを通して冬場の観光を盛り上げることを目指し、2チーム以上のプロキャンプを継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 確かな学力を育むサポート事業 | H24 ～ R13 | 学習支援や登校支援等を実施することで、基礎学力の向上と登校復帰を図るため、小中学校へ学習指導等支援員を配置する。 | ・小学校10校→13人(児童数・ケースによって1校あたり1人～3人) ・中学校6校→9人(生徒数・ケースによって1校あたり1人～3人) | 県学力到達度調査の県平均との差 小学校算数: +0.4ポイント 中学校数学: +0.5ポイント | 【今後のスケジュール】 ・各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年2回程度)も実施し、基礎学力の向上を図る。 【将来的な目標】 県学力到達度調査の県平均との差 小学校算数: +0.4ポイント 中学校数学: +0.5ポイント を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒への学習支援と自立支援を手厚く行う事で、基礎学力の向上と自己肯定感の高まりへと繋がると考え、基礎学力の向上を数値として測るため設定。 毎年児童生徒が入替るため、直近3年の平均値を設定。 |
| 3 | ② | 英語指導事業 | H24 ～ R13 | 英語における実践的コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導をサポートする英語指導助手を配置する。 | 英語指導助手7人を小中学校17校(大度分校含む。)へ配置。 年3回、英語指導助手連絡会を開催。 | ・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を、英語担当教諭へのアンケートにより調査 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語: -0.3ポイント | 【今後のスケジュール】 ・年3回、英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。 【将来的な目標】 英語に対する興味・関心が高まったかを、英語担当教諭へのアンケートにより調査し、継続して85%以上を目指す。 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語: -0.3ポイントを目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・小学校 毎年上昇する数値という捉え方ではなく、全体としてどれほどの興味の高まりを達成したかを指標とした。 ・中学校 過去の実績を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 糸満市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|--|---|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ③ | 適応指導教室設置事業 | H25 ～ R13 | 心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。 | ・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者1人、補助担当者2人、教育相談員2人)。教育相談に必要な巡回用自動車2台借用。 | 復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率) | 【今後のスケジュール】 ・適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。遠隔授業を取り入れを検討する。 【将来的な目標】 継続して復帰率35%以上を目指す。(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 3 | ④ | 障害児学習環境づくり事業(小中学校) | H24 ～ R13 | 児童生徒の障害による学習上又は生活上の支援をするため、小中学校へ特別支援教育支援員を配置する。 また、学校・関係機関の多面的支援、連携強化を図るため、教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーターを配置する。 | ・市内小中学校へ特別支援教育支援員配置。小中学校16校:特別支援教育支援員:29人(1校1人～4人) ・教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーター1人を配置。 | ・支援員の対応について、特別支援教育担当教諭へアンケートを実施→満足度:85%以上 | 【今後のスケジュール】 ・特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 【将来的な目標】 支援員の対応について、特別支援教育担当教諭へアンケートを実施し満足度85%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 特別な支援を必要とする児童生徒の障害の状況はさまざまであり、達成目標として他と比較する数値を設定することは馴染まないため、特別支援担当教諭が特別支援教育支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。 |
| 3 | ⑤ | 障害児学習環境づくり事業(こども園) | R4 ～ R13 | 発達障害を含む様々な障害を持つ児童に支援ヘルパーを配置し、身辺介助や安全面・生活面での支援を行う。 | 市内認定こども園への障害児特別支援ヘルパーの配置:5人 | 対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(100%)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証 | 【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 【将来的な目標】 対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度100%を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 3 | ⑥ | 情報教育環境づくり事業 | H25 ～ R13 | 子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。 | 情報教育支援員1名任用、小中学校へ派遣、授業支援、技術的支援実施。 | ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(85%以上)の割合を確認する ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(90%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証 | 【今後のスケジュール】 ・引き続き、情報教育支援員を派遣する。 ・電子黒板、教師用デジタル教科書・タブレット等の教材が十分に活用できるよう支援する。 ・遠隔授業の実施、新たなICT教育導入を支援する。 【将来的な目標】 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったかの割合85%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 糸満市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------------------|-----------------|---|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ⑦ | 糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業(電子黒板購入) | R4 ~ R7 | 液晶型電子黒板を整備し、保有するICT機器との連携強化をすることで、より効率的、効果的にICT教育を推進する。 | 液晶型電子黒板の購入 小・中学校合計で100台購入 | ・児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) | 【今後のスケジュール】 液晶型電子黒板の新しい活用術を検討していく。また職員へ技術的支援により授業における電子黒板の活用率を上げていく。 【将来的な目標】 児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 3 | ⑧ | 糸満市スポーツ・文化活動派遣費支援事業 | R5 ~ R13 | 県外等へ派遣される小・中学生等に対して補助金を交付して経済的負担を軽減することで、派遣参加を促進し、優れた人材を育成する。 | ・県外及び離島への派遣に係る費用のうち航空運賃の1/2を補助する。 | ・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上 | 【今後のスケジュール】 ・島外での競争及び交流の機会を得られるように、継続して派遣費の補助を行い、移動に係る経済的負担の軽減を図る。 【将来的な目標】 派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がった回答割合80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・派遣対象者の大多数が、視野が広がったであると考えられる値として設定した。 |
| 4 | ① | 運動公園・体育施設機能強化事業 | H24 ~ R7 | スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。 | ・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・ブルベンの整備工事完了 | ・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。 | 【今後のスケジュール】 ・西崎陸上競技場、球場の芝管理の継続 ・運動公園の機能を強化することにより、プロや社会人キャンプの誘致と更なる利用団体の増加を図る。 【将来的な目標】 継続してスポーツキャンプ実施件数13件以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 5 | ① | 母子生活支援事業 | H29 ~ R13 | ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。 | ・住宅支援5世帯 ・相談件数500件 ・各種講座(技術力・子育て等)の開催5回 ・子どもへの学習支援12か月 | ・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100% | 【今後のスケジュール】 自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。 【将来的な目標】 継続して支援を実施し、支援終了者のうち自立につながった割合100%を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 糸満市 | | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---------------------------------------|----------------|--|------------|------------|--|--|
| 事業番号 | 事業名 | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 6 | ① 糸満市ふれあい事業 (市民ふれあいセンター兼福祉避難所整備事業) | R5 ～ R10 | 災害時において、高齢者、障害者、乳幼児等の配慮を要する者が安心・安全に避難生活をおくれる「福祉避難所」を整備する。 また、平時は地域コミュニティの中核として、共生・多様性に配慮し、市民が気軽にふれあえる複合施設(市民ふれあいセンター)として活用する。 | 基本設計の策定 | 基本設計の策定完了 | <p>【今後のスケジュール】 令和7年度 実施設計作成 令和8年度 本体建設工事(1期)等 令和9年度 本体建設工事(2期)等 令和10年度 広場工事等 令和11年度 供用開始</p> <p>【将来的な目標】 本施設を将来的に有効活用するため、以下の取り組みを実施する。 ○本施設を活用した避難訓練の実施(1回/年)の際に、要配慮者が避難所として活用できるかを市と関係団体で協議し、本施設のあり方を検証 ○本施設を活用した市民等の交流を図るイベント(12回/年)を開催</p> | <p>【令和11年度成果目標設定の考え方】 ○避難訓練の際に要配慮者が避難所として活用できる体制が整っているかを市と関係団体で協議し、本施設のあり方を検証することで、災害時に有効な活用ができると考え設定した。</p> <p>○平時に本施設を活用し、要配慮者と関係団体や地域住民との交流を図るイベントを開催することで、災害時の共助の機運を醸成できると考え設定した。 指標については、月1回のイベント開催を想定して設定した。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたのもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 沖繩市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------|-----------------|--|--|-------------------------------------|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 新商品開発等支援事業 | R4 ～ R13 | 市内の食品製造業者や飲食店、工芸作家等の事業者を対象に、新商品開発および販路開拓を総合的に支援するとともに、市産品の情報発信等を行う。 | ・参加事業者数(30事業者) ・専門家による支援事業者数(10事業者) | 新商品開発・販路開拓数(10商品) | 【今後のスケジュール】 令和14年には、新商品開発および販路開拓数100商品を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 市内の物産製造事業者や飲食店、工芸作家の数を考慮すると、30事業者以上が参加することで、10商品程度の新商品開発は可能だと考える。 |
| 1 | ② | 音楽資源活用事業 | H24 ～ R13 | 市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。 | ・音楽情報の発信(10月～12月) ・音楽イベント等の開催(3回) | 「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:56,150人 | 【今後のスケジュール】 おきなわ音楽月間運営業務で実施するイベント全体の集客数を950人以上達成出来るように努め、賑わいの創出を図るとともに観光誘客の増加へ繋げる。 コロナ禍の影響でオンライン配信のみの実施となったR2を除くH29～R4の5年間の平均値を参考に算出。 H29: 1,045人 H30: 1,174人 R1: 1,887人 R3: 150人 R4: 490人 (H29～R4: 計4,746人)/5=949.2人≒950人 | 【R6成果目標設定の考え方】 R7目標値までの伸び率を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | 国際交流事業 | H24 ～ R13 | 多言語生活相談窓口を開設し、多国籍外国人住民や日本に一時滞在中の外国人観光客等が抱える生活上の困難の改善を図る。語学講座や交流会、イベントを開催し、国際感覚をもつ人材の育成を図る。 | ・多言語生活相談 ・語学講座(英語・中国語・スペイン語・日本語) ・多言語交流会(ゆんたく会、英語・中国語・スペイン語・日本語を隔週) ・国際交流イベント | 来所者数4,000人 | 【今後のスケジュール】 語学講座や交流会等のイベントを開催し、国際交流への関心を高め、国際感覚を持つ仲間同士が言葉の壁を超え協力し合える仕組みを作る。 上記活動での口コミやフライヤー配布により事業の認知度向上も図り、R6成果目標の来所者数4000人を以降も達成しつつ更に増やしていきたい。 | 【R6成果目標設定の考え方】 来所者数については、1年の活動を以って認知度が上がり来所者数が増えると見越してR5の目標数よりも増やした。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 沖繩市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|--|---|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ④ | エイサーのまち推進事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ①エイサーを活用したPR活動 ・エイサーグッズ製作・配布 ・エイサーのまちPRバナー等設置 ・市内エイサー団体の県外イベントへの派遣 ②沖縄全島エイサーまつりの充実 ・シャトルバス運行 ・まつり会場の空間演出 | ①エイサー会館来場者数:24,503人 ②沖縄全島エイサーまつり来場者数:350,000人 | 【今後のスケジュール】 今後も地域の伝統芸能であるエイサーの保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、エイサーのまち沖縄市及びエイサー会館等エイサーを活用したPR活動を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に取り組む。 将来的な目標(R14時点) エイサー会館年間来館者数42,100人 沖縄全島エイサーまつり来場者数45万人 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ⑤ | 観光宣伝事業 | H25 ～ R13 | 国内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。 | ・ガイド養成講座(10回)、モニターツアー(45回)の実施 ・各種メディアやWEB・SNSを活用した観光広報活動業務 ・観光情報誌「沖縄市GO」の印刷 ・観光客受入環境整備委託(観光バリアフリー)の実施 ・大型イベント活用観光誘客業務委託 | ・主要ホテル宿泊延べ人数:172,807人 | 【今後のスケジュール】 市内の主要ホテル延べ宿泊者数388,000人を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して設定した。 |
| 1 | ⑥ | 文化芸能推進事業 | H25 ～ R13 | 本市の伝統芸能を中心とした公演を開催し、文化芸能に触れる機会を提供することにより、文化芸能への関心・理解を深めるきっかけとなり、鑑賞者及び後継者の育成へとつなげる。 また、本市の文化資源の魅力を効果的に発信し、観光誘客の拡大を図る。 | 沖縄市文化芸術祭(県内公演3回、県外公演3回) | イベント参加者数 4,500人 | 【今後のスケジュール】 市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する他、令和6年度においては、市制施行50周年記念に併せ、県外公演を計画し、県外からの観光誘客の拡大につなげる。また、イベントの認知度を高め、安定した来場者数を目指す。 将来的なイベント参加者数 4,500人(R6目標)×1.5倍=6,750人 | 【R6成果目標設定の考え方】 各公演で、文化施設の座席数7割の観客を想定し設定した。 |
| 2 | ① | スポーツコンベンション推進事業 | H24 ～ R13 | プロスポーツチームの応援機運醸成による市民のチームに対する愛着醸成や、アウェイツーリズムの推進によるアウェイ観戦者の市内宿泊割合の増加、これらの取り組みによるホームゲーム年間来場者数の増加を図る。 また、スポーツコンベンションシティの推進に向け、アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査および沖縄アリーナレガシー形成に取り組む。 | ・プロスポーツ応援機運醸成の実施 ・J3及びB1の県外公式戦ブース出展、誘客促進キャンペーン、プロモーションの実施 ・アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査の実施 ・沖縄アリーナレガシー形成 | ①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数:297,798人 ②スポーツツーリズムコンテンツの活用件数:8件 ③アウェイ観戦者の市内宿泊割合:30% ④アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査の完了:1件 ⑤沖縄アリーナレガシー形成の完了:1件 | 【今後のスケジュール】 スポーツコンベンションの推進により、市内の主要ホテル延べ宿泊者数388,000人を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 沖繩市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------|-----------------|---|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ② | モータースポーツ推進事業 | H27 ～ R13 | モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。 | ・モータースポーツイベントへの実施 1件 ・貸出用レーシングカートの購入 | ①イベント来場者数:29,400人 ②施設利用者数:6,651人 | 【今後のスケジュール】 モータースポーツの振興を図るイベント等を実施するとともに、貸出用レーシングカートの購入により、モータースポーツに関する理解と機運を高める ①イベント来場者数:41,370人 ②施設利用者数:9,359人 | 【R6成果目標設定の考え方】 R5実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 緑化景観推進事業 | H30 ～ R13 | 沖縄市の玄関口である南インター前に四季折々の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る | ・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(4回) | ・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図り、毎年アンケートを実施し、80%以上の評価があることを確認する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ② | リュウキュウマツ保全事業 | R4 ～ R13 | 沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。 | 市内公園内のリュウキュウマツ約180本に薬剤注入 | 薬剤を注入した約180本のマツのうち、約174本(97%)の枯死被害を防止 | 【今後のスケジュール】 薬剤の効果が約7年となっていることから、市内公園のリュウキュウマツ約1,200本を7年周期(毎年同額程度)で薬剤注入できるよう計画的に実施していき、97%の枯死被害を防止する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 被害拡大を防止するために、薬剤注入マツの97%を枯死させない数値として設定した。 |
| 4 | ① | こども科学力育成事業 | H24 ～ R13 | こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。 また、生活の中で実践に結び付くような環境出前教室や市民参加型の環境イベントを実施する。 | ・出前科学あそび(16回) ・出前科学講座(138コマ) ・科学クラブ支援(35コマ) ・OIST連携プログラム(4回) ・環境出前教室(30コマ) ・実証実験(1校) ・親子向け普及プログラム(4回) ・環境イベントの開催(1回) | ①参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度96%以上) ②参加者の環境保全への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度80%以上) | 【今後のスケジュール】 ①OISTとの連携する機会を増やし、講座等での協体制の定着を目指す。 令和6年度OISTとの連携講座等4回 ②最終年度(R12)の参加児童生徒へのアンケート:満足度95%以上 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 ②他事業を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 事業番号 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|-------------------------|-----------------|--|--|---|---|---|
| バ | 細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 4 | ② | 児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。 | ①標準学力調査 ②学力調査(中3) ③学習支援教室業務 ④学習支援員(18名) ⑤中学校ALTコーディネーター(1名) ⑥日本語指導員(3名) ⑦小学校ALT(10名) ⑧中学校ALT(5名) | ①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校:国との差-1ポイント以内を目指す。 中学校:国との差-6ポイント以内を目指す。 ②全国学習状況調査における設問、小学6年生「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」、「中学3年生「1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」における「取り組んでいた」とする回答の割合 目標:小中学生ともに全国水準を維持 | 【今後のスケジュール】 ・引き続き支援員等を配置することにより、全国学力調査の正答率向上と学習意欲の向上に取り組んでいく。 ・令和6年度会計年度支援員配置率100% | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ③ | 気になる子等の学びを支援する事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。 | ①就学支援員(40名) ②心理士(3名) ③保健師(1名) ④就学支援事務(1名) ⑤特別支援教育コーディネーター(1名) ⑥療育的支援者【モデル】 ⑦特別支援教育補助者(35名) ⑧学校支援教育補助者(13名) ⑨適応指導教室教育相談員(1名) ⑩適応指導教室指導員(2名) ⑪幼稚園特別支援担当(23人) ⑫幼稚園特別支援担当補助者(13人) ⑬幼稚園特別支援教育補助者(7人) ⑭幼稚園特別支援アドバイザー【心理士】(1名) | ・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上・教員並びに関係者等にモデル事業への満足度を調査し有効性を確認する(目標値:満足度70%以上) ・不登校児童生徒登校復帰率20%以上 | 【今後のスケジュール】 ・特別な支援が必要な園児・児童・生徒や不登校・学力不振の児童・生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。 ・令和6年度会計年度支援員配置率100% ・適応指導教室「すだち」からの学校復帰率(部分復帰、高校進学等を含む)60% | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 事業番号 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|-----------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| バ | 細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 4 | ④ | 青少年等支援事業 | H25 ～ R13 | 青少年の健全育成を目的として、青少年教育相談指導員による相談支援や青少年指導員による夜間巡回指導等の取組を実施する。 | ①青少年教育相談指導員:7人配置 ②青少年指導員の夜間街頭指導 延べ1,760人 ③若者相談窓口担当相談員:2人配置 ④心理士:1人配置 ⑤実施設計の実施 | ①午前・午後巡回指導件数 前年度比139%以下 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比1.6%減 ③若者の主訴改善件数 前年度比 7.7%増 ④実施設計の完了 | 【今後のスケジュール】 ①今後も、青少年の健全育成を図るため、相談業務、体験活動支援、午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を引き続き行う。 ②また、複数の課にまたがる相談窓口を統合することに伴う、相談環境の整備を図る。 沖縄市において、児童生徒登校率98.5%を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ⑤ | 中学生海外ホームステイ派遣事業 | H25 ～ R13 | 国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進する。また、事前・事後学習を行うことで個々の目標や理解を深める。 | 市内中学生11名を語学学習や海外ホームステイを14日間程度体験するプログラムを実施する。 | ・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合90%以上 | 【今後のスケジュール】 ・生徒へ安全安心な海外短期ホームステイによる直接体験の機会を提供する。 ・令和6年度ホームステイ期間中の事件0件 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ⑥ | 学校ICT活用支援事業 | R4 ～ R13 | 児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。 | ・ICT支援員 9人 (内勤1名含む) ・ICT推進コーディネーター 2人 ・巡回支援校数 24校 | ・授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ・ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想の推進や児童生徒の情報活用能力育成のため、ICT機器等を効果的に活用できるように、教職員を引き続き支援し、授業でICTを活用して指導できる教職員の割合を80%以上とする。また、その教職員の授業によって、ICTを活用した授業がわかりやすかったと感じる児童生徒の割合を80%以上とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」を参考にした。 |
| 4 | ⑦ | 生活困窮者学習支援事業 | R4 ～ R13 | 高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生およびふたり親の準要保護世帯の中学3年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。 | 被保護世帯の中学1・2年生およびふたり親の準要保護世帯の中学3年生(定員:90名)に対する学習支援等の受験指導を行う。 | ①学習教室への出席率:85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率:10% ③通学生徒の高校進学率:95%以上 | 【今後のスケジュール】 被保護世帯の高校進学率を全国並みの93.7%まで向上させる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 沖縄県学校基本調査及び文部科学省による不登校の定義を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 沖繩市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------------|-----------------|---|---|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ① 就労等支援事業 | H24 ～ R13 | 若年者や子育て世代等に対する就労相談等を実施し、求職者の就職決定に繋げるとともに実践的・専門的な技術に対応した人材の育成および就労機会の増加を図る。 | ・就労相談 約4,000人/年 ・デジタル人材育成等の研修 50人/年 | ①就職決定者数:257名 ②職場体験/デジタル人材等育成研修参加者へのアンケートで、職業理解/デジタル技術に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談や職場体験等の支援を実施する。また、多様な働き方に対応でき且つDX人材育成を育成するため、ITスキル習得の研修を実施する。令和9年度までに就職率を26.7%にする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。 ②職場体験及びデジタル人材育成研修等参加者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 | |
| 5 | ② 産業集積推進事業 | R2 ～ R8 | 創業ワンストップ相談窓口や投資家、金融機関との面談機会を設ける等、スタートアップ支援を行うことにより、関係人口を増加させながら、企業誘致に取り組み、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。 | ・スタートアップ型創業スクール実施回数:3回 ・スタートアップ型創業相談件数(個別相談):200件 ・スタートアップ型創業機運醸成イベント回数:10回 ・支援先スタートアップの県内外ピッチイベント出場支援 10社 ・投資家や金融機関と起業家の面談実施回数 20回 ・企業誘致可能性調査の実施 ・新規航路実証実験(1回以上/週) | ①創業スクール卒業生:30名以上 ②創業者数:20名 ③スタートアップ企業誘致:5社 ④新規航路実証実験による年間取扱貨物量:10,095トン | 【今後のスケジュール】 ・R5年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図る。 企業誘致基本方針に基づいて、選定した重点地区及び周辺地域について可能性調査を実施し、効果的な利活用に向け検討する。 短期的な目標としては、令和9年度末時点において、誘致企業数50社、新規雇用者数500人とし、長期的な目標としては、令和12年度時点において、失業率及び市民所得を県平均を目指す。 ・航路の実証実験については、1航路につき概ね3年間を目途に実施し、順次航路拡充に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①②③スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組むことを踏まえたうえで、過去の実績や、他自治体の実績を基に勘案して設定した。 ④R8年度の新規航路実証実験における年間取扱貨物量20,000トンの達成に向けて、段階的に貨物量を増やしていくことを考えて目標値を設定した。 | |
| 6 | ① 地域防災対策事業 | H24 ～ R13 | 地域防災力の向上を目的に、自主防災組織の結成を促進するため、資機材、倉庫の整備を行う。また、災害時に住民や観光客への適切な情報発信として、防災行政無線設備の機能向上により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行うとともに、防災関連公園の施設設計を行う。 | ・防災組織の結成(5組織) ・防災組織資機材(8組織)・倉庫整備(5組織) ・防災行政無線設備の実設計の実施 ・防災関連公園施設設計の実施(3公園) | ①整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。 ②防災行政無線の実設計の完了 ③防災関連公園施設設計の完了 | 【R10成果目標】 ・防災行政無線を活用した避難等訓練(1回以上/年)を実施。 【今後のスケジュール】 自主防災組織の資機材及び倉庫整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。 また、整備した防災資機材等を活用した訓練を各防災組織が1回以上訓練を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した。 【R10成果目標設定の考え方】 ・整備スケジュールと事業の目的に基づき、整備事業完了後の成果目標を設定した。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 沖繩市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|--|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | ① | キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業 | R4 ～ R9 | キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画推進支援事業を行う。 | 跡地利用整備計画推進支援業務の実施 | 跡地利用整備計画推進支援業務の完了 | 【R6年度以降】 当該跡地利用計画素案に対する地権者や市民等の「肯定的な評価」80%以上 | 【R6年度以降成果目標設定の考え方】 地権者や市民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。 |
| 8 | ① | 東部海浜地区開発事業 | H25 ～ R13 | 東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的として、市民や県民等に対して人工ビーチ部分使用を通して東部海浜地区開発事業のPRを行うとともに竣功区域土地利用等検討業務、マリナー整備検討業務、事業アドバイザー業務を行う。 また、効果的に東部海浜地区への企業誘致を図るため、県外企業等にヒアリングを行う。 | ①県外企業誘致等ヒアリング ②人工ビーチ部分使用実施業務実施 ③竣功区域土地利用等検討業務実施 ④マリナー整備検討業務実施 ⑤事業アドバイザー業務実施 | ①公募条件整理に向けたヒアリング(サウンディング)の実施6回(22件) ②来場者等へのアンケートによる認知度(58%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ③竣功区域土地利用等検討報告書の作成 ④マリナー整備検討報告書の作成 ⑤事業アドバイザー業務報告書の作成 | 【数値目標】 ・県外企業誘致件数に関しては、将来的には、各民間分譲予定地6件の企業誘致を目指す。 ・事業PRを行うことにより、事業認知度について毎年2%向上させることを目指す。 【今後のスケジュール】 国や県の埋立完了時期を確認しながら、県内外企業等に公募条件整理に向けたヒアリング等を実施し、公募条件を整理していく。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度向上、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。 国・県の埋立事業の進捗に応じて、東部海浜開発地区の魅力向上に向けての調査・検討業務などを実施。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・PR事業の効果が図られたと考えられる値として、5年間の事業認知度向上率を考慮し設定した。 ・竣功区域土地利用等検討業務実施件数で設定した。 ・マリナー整備検討業務実施件数で設定した。 ・事業アドバイザー業務実施件数で設定した。 |
| 9 | ① | 平和推進事業 | H30 ～ R13 | 沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。 | ①沖縄市民平和の日記念行事開催 ②平和交流事業開催 | ①参加者数 800人 ②アンケートにより、沖縄戦への理解が深まったか(80%以上) | 【今後のスケジュール】 今後も沖縄市民平和の日記念行事等、平和における啓発事業を開催し、アンケートにより、沖縄戦への理解が深まったかの回答が、80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案及びアンケート調査による検証。 |
| 10 | ① | 商店街活性化支援事業 | R1 ～ R13 | 令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成する。 イベント開催に向けての要望や相談等を含め支援し、商店街の魅力を高める。 | 銀天街プラザの開所日数 254日 | 交流拠点の来客・相談対応件数 400件 | 【今後のスケジュール】 銀天街地区のイベント開催に向けての要望や相談等を含め支援を行う。講習会等の実施による人材育成により、商店街の魅力を高める。 R4営業店舗 36/75店舗(48%) R13営業店舗 45/75店舗(60%) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の取り組みによって出た課題や実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 事業番号 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|---------------|----------------|---|--|--|--|---|
| バ | 細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 11 | ① | 沖縄こどもの国施設整備事業 | H24 ～ R8 | <p>沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・科学館入退場ゲート新設整備 ・池周辺環境演出整備 ・正面ゲート動線計画 ・Wi-Fiコンテンツ整備 ・法面景観形成調査設計 ・環境演出照明設計及び工事 ・園内周遊モビリティ購入 ・先進地視察（国内・国外） | <ul style="list-style-type: none"> ・科学館入退場ゲート新設整備の完了 ・池周辺環境演出整備の完了 ・正面ゲート動線計画の策定 ・Wi-Fiコンテンツ整備の完了 ・法面景観形成調査設計の完了 ・環境演出照明設計及び工事の完了 ・園内周遊モビリティ購入の完了 ・視察先を参考とした夜間コンテンツの開発1件 ・視察先を参考とした園路設計1件 | <p>【R6以降成果目標】 令和 6年度:約70万人 令和 7年度:約75万人 令和 8年度:約80万人</p> <p>【今後のスケジュール】 施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこなう。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 新型コロナウイルスの収束を見据え、国内外からの観光誘客も想定し、施設整備マスタープランに基づく来園者数をを目指す。</p> |
| 12 | ① | ゼロカーボン推進事業 | R6 ～ R7 | <p>二酸化炭素排出量の削減を図るため、道路照明を環境負荷の少ないLED照明への切り替えを実施する。 また、脱炭素化への転換を促進するため、市民・事業者に対する相談窓口の設置や情報発信を行う。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ①道路照明LED化整備計画策定 ②相談支援 ③セミナー開催(4回) ④情報発信 | <ol style="list-style-type: none"> ①道路照明LED化整備計画策定完了 ②省エネ診断の実施事業所数:30か所 ③セミナー参加者数:120名 | <p>【今後のスケジュール】 (道路照明LED化) (R7):15.3t-CO2削減 (相談業務等) 省エネ診断の実施事業所数:累計60か所</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 (道路照明LED化) 水銀灯からLEDへ更新した場合の電気使用量差額から換算した。 (省エネ診断の実施事業所数) 相談支援200件/年(20件/月×10月)のうち、省エネ診断を実施した事業所数を設定した。 (セミナー) 30名×4回=120人</p> |
| 13 | ① | 介護人材確保支援事業 | R6 ～ R8 | <p>高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう介護施設等に対し、介護人材の確保及び人材育成支援を行うことにより、介護人材不足の解消を図る</p> | <ol style="list-style-type: none"> ①就職説明会の開催 ②介護施設等の職場体験(見学) ③雇用主及び従事者向け研修の開催 ④高校生等に対する介護の魅力普及啓発活動 ⑤入門的研修の実施 ⑥入門的研修修了者等の職員派遣 | <ol style="list-style-type: none"> ① 参加者 60名 ② 参加者 20名 ③ 各1回開催 ④ 1回開催 ⑤ 研修修了者 10名 ⑥ 年間400時間派遣 | <p>【今後のスケジュール】 引き続き介護人材の確保及び人材育成支援を行うことにより、介護人材不足の解消を図り、令和7年度は次の目標達成を目指す。 ① 参加者 80名 ② 参加者 30名 ③ 各1回開催 ④ 1回開催 ⑤ 研修修了者 10名 ⑥ 年間400時間派遣</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の取り組みによって出た課題や実績を勘案して設定した。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 豊見城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------------|-----------------|---|--|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業 | H25 ～ R13 | 県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。 | とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催 | とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの来場者数：60,000人 | 【今後のスケジュール】 県内外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするためとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタを同時開催し、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。 | 【R6成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 1 | ② | 豊見城市観光施設環境美化強化事業 | R4 ～ R13 | 観光施設としての魅力的な景観形成を図るため、広場及び道路等の環境美化作業(清掃・剪定・植栽等)を行う。 | 豊見城市内の観光施設及び周辺道路の環境美化実施 | 施設利用者へのアンケート調査等を実施し、観光施設としてふさわしい景観形成と感ずるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 施設利用者の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。 | 【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光施設としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ③ | 文化観光創出事業 | H24 ～ R11 | 平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。 | ・ガスクゾーン周辺整備工事及びガスクゾーン園路整備工事、工事に伴う磁気探査業務の実施。 | ・ガスクゾーンに係る周辺及び園路整備工事の完了。 | 【今後のスケジュール】 ・施設整備(～R6) 【R7成果目標】 年間来場者数：2万人 | 【R7成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。 |
| 1 | ④ | 豊見城市産業振興計画策定事業 | R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・市の産業の状況を明らかにするための基礎調査の実施(諸条件の整理・データ収集・アンケート調査・ヒアリング調査等) | 基礎調査報告書の策定 | 【令和9年度成果目標】 策定した産業振興計画の中で、創業支援者数・起業数に係る目標値を以下のとおりとする。 ・30人 【今後のスケジュール】 R6 基礎調査報告書の策定 R7 豊見城市産業振興計画の策定 R8 各産業振興施策の展開 R9 事業効果検証 | 策定する産業振興計画の中で目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な産業振興施策を展開する。 |
| 1 | ⑤ | 創業支援強化事業 | R6 ～ R10 | 特定創業支援事業として実施している個別相談の他に、多様な創業者を掘り起こすことを目的とした創業セミナーを実施する事業者に対し補助を行う。 | 創業セミナーを毎月開催 | 創業セミナーの参加者数5名/月 以上 | 【今後のスケジュール】 引き続き創業支援事業者への補助を行い、本市の実情に即した効果的な支援事業となるよう検証を重ね取組を行っていく。 | 創業セミナーではより多くの参加者が見込まれると想定 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 事業番号 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|---------------------|-----------------|---|--|---|--|---|
| バ | 細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ⑥ | 豊崎海浜公園環境整備事業 | R6 | 豊崎海浜公園における施設環境面を改善し、観光客等の施設利用者の利便性向上を図るため、コイン式シャワー取替工事を実施する。 | コイン式シャワー取替工事 | コイン式シャワー取替工事完了 | 【今後のスケジュール】 取替工事後の施設利用者の変化に注視しながら適切な維持管理を行い施設利用満足度の維持向上を図る。 施設利用満足度はWebアンケートより検証する。 | R6成果目標については、過去の年間公園利用者数に基づき設定した。 【実績】 平成30年度:699,251人 令和元年度:869,580人 令和2年度:562,843人 令和3年度:431,566人 令和4年度:520,292人 |
| 1 | ⑦ | 豊見城市観光PR事業 | R4 ～ R6 | 首都圏在住者に対し、近場で沖縄豊見城市の雰囲気を感じることで物産展及びPR展等を実施する。 | 首都圏にて物産展及びPR展を行う。 | 実施場所における市ブースへの来場者数 6,000名以上 | 【今後のスケジュール】 全国的な知名度が高い「瀬長島」や「豊崎地区」を筆頭に、豊見城市の観光地や特産品に興味を持ってもらい、豊見城市に行きたい、住みたいと思ってもらえるように県外へのPRを行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去のOKINAWA祭りin代々木への来場者数実績(25万人)を参考に設定した。 |
| 2 | ① | 特別な支援を必要とする子の巡回相談事業 | H26 ～ R13 | 特別な支援を必要とする子の保護者や保育士、教員を支援するため、臨床心理士等の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。 | ・臨床心理士等配置:1名(就学前) ・臨床心理士又は公認心理士配置:1名(就学後) | 臨床心理士等への相談により育児や保育、教育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士、教員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士等による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士、教員への支援を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 保護者や保育士、教員の大多数が育児や保育、教育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ② | 発達支援保育事業 | R4 ～ R13 | 支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、公立保育所・認定こども園においては加配保育士を配置、また市内法人立認可保育園等においては受入れ体制の整備ができるよう、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。 | 加配保育士配置数 公立 18名 私立 90名 | 加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 市内対象児に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上) | 【今後のスケジュール】 公立保育所・認定こども園において加配保育士を配置、市内法人立認可保育園等において加配保育士にかかる人件費補助を実施し、対象児を預かる施設への支援を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 特別な支援を要する子を抱える保護者の負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 豊見城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ③ | 認可外保育施設給食委託事業 | R6 ~ R8 | 認可外保育施設で行う給食提供を、業務委託することで、子どもへ対応する時間を増やし、保育の質の向上につなげる。 | 給食業務の委託 | 給食内容と保育の質に関して、認可外保育施設及び保護者の満足度80%以上 | 【今後のスケジュール】 給食業務の委託を行うことで、こどもの発達段階に応じた食事、アレルギー対応食、1日の栄養価を考慮した献立を提供し、継続して安心安全な給食提供を確保することで、利用者も安心して認可外保育施設を利用することができる。また、給食業務を委託することで、本来そこに費やす時間、労力を保育に還元することができ、保育の質の向上に繋がりを、利用者の満足度も向上する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 認可外保育施設及び保護者が保育の質が向上したことが図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ① | 特別支援教育支援員配置事業 | H28 ~ R13 | 特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。 | 特別支援教育支援員の配置:36人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人 | 特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。 | 特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にある事から、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。 | 複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。 |
| 3 | ② | 学力向上サポート事業 | H24 ~ R13 | 小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。 | ・学力向上推進補助員を12人配置する。 小学校:8人 中学校:4人 ・全国標準学力検査の実施 小1~中2:年1回 ・学力検査の実施 中3:年1回 | 沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.5ポイント以上 ②中学校:+0.0ポイント以上 | 沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。 | 記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。 |
| 3 | ③ | スクールソーシャルワーカー配置事業 | H27 ~ R13 | 問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。 | スクールソーシャルワーカー3人を中学校校区ごとに配置し、小学校8校と中学校4校を巡回する。 | 支援対象ケース改善率:61.4%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)×100 | スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。 | 問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。 |
| 3 | ④ | 不登校等対策支援事業 | H24 ~ R13 | 不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。 | 学習支援補助員を4人配置する。 適応指導教室:2人 中学校:2人 登校支援員を小学校8校に1人ずつ配置する。 適応指導教室にデジタル教科書を整備する。 | 不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)×100 | 不登校対策としての学習支援員、登校支援員の継続配置により登校復帰ができていない児童生徒の支援を行う。 | 不登校要因によっては長期的な支援が必要な事案もある事から、切れ目なく継続した不登校対策が必要。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 豊見城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|--|---|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ⑤ | 英語教育推進事業 | H25 ～ R13 | グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。 | 外国人英語講師(ALT)を市内4中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師(JTE)を市内8小学校に配置する。 | 【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上 | 小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そうは思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。 | 興味・関心度アンケートにおいてJTE配置に対しマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。 |
| 3 | ⑥ | ICT教育推進事業 | H24 ～ R13 | わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。 | ・情報教育指導補助員派遣:4人 ・アクセスポイント整備:2台 ・電子黒板整備:77台 ・教師用タブレットPC端末整備:7台 ・デジタル教科書整備(小学校室):8校 ・デジタル教科書整備(中学校):4校 | ①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 | ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R6年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたという回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 |
| 3 | ⑦ | 児童生徒等派遣費補助事業(部活分) | H25 ～ R13 | 本市の児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外及び離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。 | 児童生徒派遣費等の一部を補助 | 対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が80%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。 | 令和5年度以降のアンケート結果割合の平均値が80%以上となるよう継続支援を行う。 |
| 3 | ⑧ | 児童生徒等派遣費補助事業(部活外) | H25 ～ R13 | 本市の児童生徒及びその指導者がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県内離島及び県外等で開催される大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。 | 児童生徒派遣費補助費の一部(航空運賃の80%)を補助 348名×36,000円×1/2×80% =5,011,000円 | 補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も、県外の児童生徒との競争及び交流を増やす機会を支援する。 | アンケートを実施し、視野が広がったか(80%を目安に)調査する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 豊見城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ⑨ | 青少年国際交流事業 | H25 ～ R13 | 市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。 | ・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催(1回) | 派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラム実践していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持たかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。 |
| 3 | ⑩ | お仕事体験事業 | H30 ～ R13 | 豊見城市内の小中学生等を対象に、早期からの就労に対する意識付けや、将来の職業観を育むため、様々な職業が疑似体験できるイベントを実施する。 | 年1回の事業実施 | 就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 事業の実施をとおり、より効果の高い小中学生の職業観育成方法を検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | デジタル博物館事業 | R2 ～ R11 | 地域の歴史・文化に育まれた地域的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。 | ・電子情報連携発信 1,025件 ・地域資料収集作業 4地域 ・歴史資料の電子化 652点 ・電子地図系コンテンツ作成 4件 | ・webサイトアクセス数 70,400回/年 ・地域資料共有報告書発行種類 4種類 | 【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数70,400回/年を目標とし、更なる向上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 成果目標値はR4実績アクセス回数64,137回/年より、10%増を目標値とした。 |
| 5 | ① | サッカーキャンプ誘致推進事業 | R1 ～ R13 | サッカーキャンプ受入の準備として芝生の維持管理委託を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。 | サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理 | サッカーキャンプ誘致件数:2件/年 | 【今後のスケジュール】 令和7年度以降 指定管理制度導入による維持管理費の削減額を調査・検討し指標を設定する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。 |
| 6 | ① | 豊見城市総合交通戦略推進等支援事業 | R5 ～ R9 | 公共交通不便地域における移動手段の確保及び路線バス等の公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者で組織する協議会の開催支援を行う。 | ・ラストワンマイル交通における交通手段の導入検討の実施 ・モビリティマネジメント、交通マネジメント施策の実施 ・協議会当の開催支援 | 市内一周線バスの利用者数 前年度比1%増 | 【今後のスケジュール】 既存公共交通を補う施策を導入し、移動の選択肢を増やすことでバス利用者の増に繋げ、公共交通利用者数全体の底上げを目指す。 公共交通利用者を増加させることで基幹軸となる交通の必要性を高め、将来的には新たな公共交通システムの導入に繋げる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 市総合計画の目標値を勘案して設定した。又、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた目標値である。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 豊見城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|----------------|--|--------------|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | ② | 新たな公共交通システム導入検討調査事業 | R6 ～ R9 | 本市や西海岸地域の交通渋滞解消のため、新たな公共交通システム(自走式ロープウェイ)の導入に向けた検討調査を行う。 | 検討調査の実施 | 検討調査の完了 | <p>【R6成果目標】 新たな公共交通システムの導入に向けては、新たな技術開発等の動向を捉えながら実現に向けて段階的な取組を推進する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R7 導入基本計画調査 (需要予測・便益算定など) R8 鉄軌道の経営収支計画 関係機関・委員会資料作成 R9 基本設計</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 導入検討予備調査等により導入実現性の検討を行い、本事業のあり方を検証する。</p> |
| 6 | ③ | 豊見城市優良母牛導入支援事業 | H27 ～ R8 | 補助金により優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う | 優良母牛導入に対する補助 | 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%) | <p>【今後のスケジュール】 優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていく。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|----------------|---|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業 | R1 ～ R7 | プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図ると共に、受入環境を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> うるま市スポーツコンベンション推進協議会の開催・運営(2回) 新規誘致活動件数 5件以上 受入環境整備(与那城総合公園陸上競技場)の完了 受入環境整備(具志川野球場照明機能強化設計)の完了 | ・新規誘致件数 1件以上 | 令和元年度に設立したスポーツコンベンション推進協議会を受入主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組むことで、さらなる経済的効果の拡大に繋げていく。さらに、本市でキャンプを行うプロスポーツチームを活用した本市のプロモーションを行うことで、本市の認知度を向上し、通年を通じた観光誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 野球・サッカーチームのキャンプが定着しつつあるため、新規の誘致に注力する。 |
| 1 | ② | モータースポーツ振興推進事業 | R4 ～ R6 | R4年度に実施した可能性調査の結果を基に、本市において実現可能性のあるモータースポーツ競技の実証イベントを実施することにより、市民ニーズの把握や意識の醸成を図るとともに、令和7年度以降の民間主体による自治化に向けた課題の整理及び、必要な取り組みの実施及び検証を行う。 | 実証イベントの開催 1件 | 実証イベントの来場者数 2,000人 | 令和6年度の実証イベントの中で、民間開催に向けた課題の整理や必要な取り組みの実施及び検証を行い、令和7年度以降の民間主体によるモータースポーツイベントの実施及び観光誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 実証イベント来場者数の設定については、イベント内容や規模、開催場所等を勘案し、適切な目標値を設定した。 |
| 1 | ③ | 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業 | H24 ～ R8 | 世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 魅力向上誘客強化委託業務実施 勝連城跡伐採・剪定業務 | <ul style="list-style-type: none"> 文化観光展示施設(有料区域) 入場者数 R6年度 10万人 | 隣接する都市公園供用開始 あまわりパーク全体の来訪者 令和10年度の目標:30万人 うち文化観光展示施設:12万人 | 【実績】 平成25年度 175千人 平成26年度 156千人 平成27年度 148千人 平成28年度 171千人 平成29年度 172千人 平成30年度 183千人 令和元年度 162千人 令和2年度 68千人 令和3年度 62千人 令和4年度 88千人 施設が全面供用した場合、ピーク時と同じ18万人まで来訪者が回復、うち2/3が有料区域の入場者 18万人×2/3=12万人 公園利用者(無料区域):18万人 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ④ | 観光誘客促進PR事業 | R1 ~ R8 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ①県外でのプロモーション 6回以上 ②市内イベントの実施 5回以上 ③メディアを活用した情報発信の実施 ④アンケート調査の実施 | ・SNSフォロワー数、市YouTube登録者数: 23,000人以上 ・主要観光施設の入場者数目標値: 301,000人以上 | 【今後のスケジュール】 誘客効果の最大化を目指し、より効果的なプロモーション方法を検証し、展開していく。 | - |
| 1 | ⑤ | 石川多目的ドーム機能強化事業 | R4 ~ R7 | 主に闘牛大会の会場として活用されている石川多目的ドームについて、様々なイベント開催ができる施設への機能強化を図り、年間を通じてイベントの開催が可能となる施設整備を行う。 | 多目的ドームの機能強化 ・測量業務 ・設計業務 ・地質業務 ・磁気探査業務 | ・測量業務の完了 ・設計業務の完了 ・地質業務の完了 ・磁気探査業務の完了 | 観光客の受入体制を整備することにより、観光誘客及び経済波及効果が期待できる。 | - |
| 2 | ① | うるま市の頑張る農業を応援します事業 | H30 ~ R7 | 生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。 | R4強化型パイプハウス4000㎡設置、農業用機械の導入、生産農家4戸 | 強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入の完了 | 【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を主にし、ない品目は実績値を参考に設定する。 (参考) R3:ミニトマト 5,000kg/10a キク類 37千本/10a R4:ゴーヤ 5,000kg/10a 小麦 218kg/10a |
| 2 | ② | 病害虫防除資材補助金事業 | R4 ~ R8 | 事業実施主体による市内農家の病害虫防除に係る資材の購入経費補助事業に対して補助金を交付する。 | 病害虫防除資材の適正な利用を促すための補助事業を実施する。 | 病害虫の適期防除により蔓延予防を目的とする。 | 病害虫のまん延防止・被害軽減のため、適正防除により、病害虫蔓延を防止する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本県は、亜熱帯気候の特性から農作物における病害虫が周年発生し、その発生模様は、多様なものであり、近年新たな病害虫発生が確認されるなど、新たな問題も生じており、これら病害虫のまん延防止・被害軽減のためにも適正防除の確立が課題となっている。そのため、適性防除により病害虫まん延を防止して、安定出荷できることで沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「安定的・持続的な農林水産業の推進」が出来るようになる。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|---------------|---|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ③ | 津堅島農業活性化事業 | R1 ～ R7 | 島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る | 津堅島農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施 ・堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部補助。 | 津堅島農業支援業務の完了 | 【R6成果目標】 津堅ニンジン反収1.5t/10a 【今後のスケジュール】 津堅ニンジンを含めた栽培に係る支援を実施し、津堅島における農産物の増産に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | うるま市石川地域まちづくり推進事業 | R4 ～ R7 | 石川IC周辺の交流拠点や交通結節機能の導入可能性調査を実施するとともに、石川庁舎周辺においては、地域住民や県内外の方々との目的となるエリア開発を通して滞在や人流を生み出し、既成市街地への波及効果により石川地域全体の賑わい創出を図ることを目的に、事業化に向けたアドバイザー業務委託を実施する。また、県営石川団地再整備による用地を活用した周辺整備を検討する。 | ・石川IC周辺の交流拠点形成基本計画の策定に向けた庁内調整等 ・石川庁舎周辺利活用推進の事業化に向けた実施方針の作成 ・県営石川団地周辺整備における基本計画の策定に向けた庁内調整等 | ・石川IC周辺の交流拠点形成基本計画の策定完了 ・石川庁舎周辺の利活用事業化アドバイザー業務委託の完了(公募関係書類の作成等) ・県営石川団地周辺整備における基本計画の策定完了 | 【R6成果目標】 策定した基本計画の中で、域内就業人数の創出に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 ・石川IC周辺の交流拠点形成基本計画の策定 ・庁舎周辺の利活用事業化アドバイザー業務委託 ・県営石川団地周辺整備における基本計画策定 | 【R6成果目標設定の考え方】 策定する基本計画において目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な各種施策を展開する。 |
| 3 | ② | 勝連・与那城地域まちづくり推進事業 | R4 ～ R7 | 石川IC周辺の交流拠点や交通結節機能の導入可能性調査を実施するとともに、石川庁舎周辺においては、地域住民や県内外の方々との目的となるエリア開発を通して滞在や人流を生み出し、既成市街地への波及効果により石川地域全体の賑わい創出を図ることを目的に、事業化に向けたアドバイザー業務委託を実施する。また、県営石川団地再整備による用地を活用した周辺整備を検討する。 | ・石川IC周辺の交流拠点形成基本計画の策定に向けた庁内調整等 ・石川庁舎周辺利活用推進の事業化に向けた実施方針の作成 ・県営石川団地周辺整備における基礎調査の実施に係る庁内調整等 | ・石川IC周辺の交流拠点形成基本計画の策定完了 ・石川庁舎周辺の利活用事業化アドバイザー業務委託の完了(公募関係書類の作成等) ・県営石川団地周辺整備における基礎調査の実施完了 | 【R6成果目標】 策定した基本計画の中で、域内就業人数の創出に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 ・石川IC周辺の交流拠点形成基本計画の策定 ・庁舎周辺の利活用事業化アドバイザー業務委託 ・県営石川団地周辺整備における基礎調査の実施完了 | 【令和6成果目標設定の考え方】 策定する基本計画において目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な各種施策を展開する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|------|----------------|-----------------|---|---|--|--|--|
| パ | 細 | | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 3 | ③ | | 企業誘致推進事業 | H24 ～ R8 | 首都圏を中心とした企業誘致及び新たな産業の振興と雇用の創出を図るため、企業誘致推進員を起用し本市投資環境をPRする企業誘致活動を行うとともに、市内企業に対して、受発注の促進に関するマッチング支援を支援する。また、中城湾港新港地区の新たな産業用地の確保のため土地利用に係る可能性調査を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問による情報収集 ・開発事業者に関する情報収集 ・企業誘致関連セミナーへの参加 ・環境投資ツアーの実施 ・月間報告書による進捗状況の報告 ・マッチングセミナーの開催 ・マッチングサイト及び冊子作製 ・見本市・MICEなどへの出店支援 ・産業用地調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ①投資環境ツアーへの参加企業：10社以上 ②首都圏企業等へのアプローチ：10社以上 ③マッチング件数10件以上 ④産業用地調査の完了 | 進出検討企業へ上江洲仲嶺地区の整備スケジュール等を共有し、進出企業の確定を行っていく。 また、調査結果を踏まえた新たな産業用地の確保(産業基盤整備計画の策定)。 | - |
| 3 | ④ | | 中城湾港物流促進事業 | H30 ～ R13 | 市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規航路実証実験 1件以上 ・その他船社・港運・フォワーダー・荷主等による貨物輸送の実証 3件以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規航路実証試験 1件以上 ・東ふ頭を利用する新たな荷主企業の獲得 3件以上 | H30年度～R4年度まで実施を行ってきた実証事業については、これまで利用が進まなかった中城湾港において、多数の物流モデルを構築することができ、新たな活用方法が見出すことが出来た。今後も実証実験をとおして荷物を出す企業や船社、物流事業者に対してポートセールスを行い、中城湾港の利用拡大に繋げていく。 | 【今後の取組み内容】 次年度は、中城湾港の近郊地区(主に中北部)の潜在的な貨物量の調査を行い、那覇港との住み分け、取り扱い貨物の整理などを行い、効果的な航路・貨物の増加に資する取組みを行う。 |
| 3 | ⑤ | | 市内事業者販売力向上支援事業 | H25 ～ R13 | 市内事業者自ら事業拡大に向けた取り組みができるよう、新商品開発、テストマーケティング、品質向上に対する伴走支援を実施し、地域事業者のものづくり力の底上げを図る。また、販路拡大を目的として、県内外での商談会や物産展を行い市産品の認知度向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・物産展への出展支援、商談会開催 ・PR活動 ・商品開発スキルアップ支援(商品開発講座等) | <ul style="list-style-type: none"> ・10以上の新商品(ブラッシュアップ)開発。 ・セミナー参加者へのアンケート調査の満足度80%。 ・県外量販店への市産品の販路の獲得。 ・市産品販売の機会創出 物産展3回以上 ・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上。 | - | - |
| 4 | | | 就労支援事業 | H24 ～ R13 | <ul style="list-style-type: none"> ① 合同企業説明会の開催や求人広告費用等の支援を実施し、求職者と企業のマッチングを図る。 ② 市内および近隣市町村の高校生等を対象に中城湾新港地区立地企業を中心とした見学バスツアーを実施。参加企業へは関心を持った学生への直接的な接点や地域人材の確保や育成、高校生等へは市内企業の興味関心や職業観の醸成、就職先の検討などの効果を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ①合同企業説明会の実施 ②市内及び近隣市町村の高校、専門学校(高専)等の生徒を対象に中城湾新港地区バスツアー事業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ①学生の訪問企業への興味・関心が湧いた・・・80%以上 ②参加企業の満足度・・・70%以上 ③参加企業数及び参加校(学生)数・・・40社及び13校(1,200名) | <ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 求職者と求人企業双方の支援となる合同企業説明会を継続的に実施する。 また市内を中心とした高校生等に市内企業へのバスツアーを実施。就業意欲の向上・ミスマッチの解消・離職率の低下を図る。 | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|---|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ① | うるまベンチャースクール事業 | R4 ～ R6 | 起業支援を通して市民所得向上を目指す | ① スクール参加者数:20組 ② イベント参加者:60組 ③ 起業相談件数:60組 ④ 起業数:6組 | 起業者数 6組 | これまで支援してきた起業者の追跡、調査を行い、効果的な支援の拡充を図る。 | - |
| 5 | ② | スポーツ力向上促進事業 | R1 ～ R13 | スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。 | 外部指導員の配置 30名 | ・生徒の満足度(部活動で技術力が上がったと実感できた等) 80% ・顧問の満足度(指導力の向上や負担軽減) 80% ・部活動加入率 60% | 部活動加入率の向上 | - |
| 6 | ① | 教育ICT支援員派遣事業 | R3 ～ R8 | ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上を図るため、ICT支援員を各学校に派遣し、授業等でのICT機器の活用支援を行う。 | ICT支援員の配置 学校支援回数 | 児童生徒及び教員へのアンケート調査 【児童生徒】 ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか⇒「思う:80%以上」 【教員】 ICT機器を活用し、児童生徒の学習意欲を高める授業づくりができていると思うか ⇒「思う:80%以上」 | - | - |
| 6 | ② | 学力向上対策推進事業 | H24 ～ R13 | 現状を改善するため支援員配置やデジタル教材・電子黒板等ICTを活用し、個別最適な学習、協働による学びを提供することで学力の向上を図る。 | ・学習支援員配置人数:36名 ・電子黒板導入:589台 ・すららドリル導入 小学校 ・スタディサプリ導入 中学校 | ・全国学力・学習状況調査平均正答率と本市の差(小-5ポイント、中-10ポイント) 小6算数及び中3数学 ・自発的に学習に取り組んでいる児童・生徒の割合:80% | ・全国学力・学習状況調査平均正答率と本市の差(小-5%、中-10%) 小6算数及び中3数学 ・自発的に学習に取り組んでいる児童・生徒の割合:80% | - |
| 6 | ③ | ICTを活用した特色ある学校づくり事業 | R2 ～ R13 | オンライン上での課外活動やオフラインでの探求型学習などを通して、地域内外と協働し課題解決や価値創造に取り組める人材育成を学校の特色とすることで、児童生徒数の増加及びライフスキルの向上を図る。 | ・参加児童生徒数 50名 ・学習プログラムの開発 2件 | ・参加した児童生徒のライフスキル自己評価 10項目平均10%増 ・本事業に参加した児童生徒数のR6年度中の増加数 3名 | - | - |
| 7 | ① | 伝統文化・民俗芸能伝承活動事業 | R5 ～ R9 | 民俗芸能の継承や復活の契機を促すため、用具や芸能を発表する際の経費の補助をする。 | 5団体へ補助 | 伝統芸能やイベントへの出演回数:5回 | 【R5年度成果目標】 民俗芸能の活動件数5年 | 補助を受けた団体は、行事の復活やイベントへの出演が可能となることを踏まえ設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | ② | 文化財環境整備事業 | R6 | 市指定文化財「嘉手苺観音堂」の整備工事の実施 | 工事の完了 | ①嘉手苺観音堂を中心とした文化講座の参加者:20人以上 ②嘉手苺観音堂への来訪者:720名以上 | ・嘉手苺観音堂を中心とする文化講座を開催する。講座参加者=20名以上 ・地域信仰の場所として、参拝者が訪れる。 ・市内の子室に関する文化財パンフレットを作成し、関連する市内文化財とともに文化観光スポットとして地域資源とする。 | - |
| 8 | ① | ひとり親家庭生活支援事業 | R4 ~ R13 | 支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の生活・学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。 | ①居室借上数(10部屋) ②技術力向上支援(12日間) ③家計簿管理支援(120回) ④支援世帯に合った個別支援(50回) ⑤児童生徒の生活・学習支援(小学生週6日 15名) (中学生 週3日×2クラス10名 合計20名) そのうち 中学3年生5名については1月~2月 補講有 ⑥高等学校卒業程度認定試験受験者支援 週3日開所 定員5名 | ①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(100%) ②就労スキルアップ講座資格取得者(15名) ③学習習慣の定着度(90%) ④高等学校卒業程度認定試験合格(2名) | ・支援が必要な家庭への周知活動を工夫し、強化する。 ・支援世帯の年齢層、世帯構成に合わせた支援計画を作成する。 ・県母子会やハローワーク等と連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向けた支援を行う。 ・児童生徒の生活・学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 ・高等学校卒業程度認定試験を受験するひとり親の学習支援を行う | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を踏まえ、ひとり親の自立を促すための指標を設定した。 |
| 8 | ② | 教育相談事業 | H24 ~ R13 | 教育相談室に相談員を配置し、児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。 | 教育相談員(9人) | 相談件数実績に対するケース終結の割合を35%以上を目標にする。 | 【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校教育課と連携し、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去のケース終結割合を勘案して設定した |
| 8 | ③ | 適応指導教室事業 | H24 ~ R13 | 小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。 | 適応指導教室指導員配置数(4人) | ・体験活動に参加することができた割合91%以上 ・中学校3年生の卒業後の進路決定割合82%以上 | 【今後のスケジュール】 入級後も安定して通級できるよう継続して支援体制を整える。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | R6成果目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 8 | ④ | 作業療法士巡回相談 | R4 ~ R13 | 発達障がい等により、学校生活にうまく適応できず困り感のある児童生徒の行動と心を理解し、支援方法や指導方法、環境調整等を工夫改善し課題解決への対応を図る。 | ・学校巡回相談 ・講演会 | ・相談・支援件数 60件以上 ・問題改善率 60%以上 | 教職員のスキルアップを図り、日々の指導力を向上させることで、対象児童のケアの充実、より良い学習環境の構築を行う。 | - |
| 8 | ⑤ | 中学校教育指導推進事業 | H24 ~ R13 | 特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。 | ・SSWr配置人数 9名 | ・相談及び支援の件数 1000件 ・問題等を解決した件数 40件 | 課題を抱える児童生徒や家庭が減少することで、不登校を減らし、進学率が向上する。 | - |
| 9 | | うるま市島しょ地域振興事業 | R4 ~ R6 | ①地域外人材の滞在(家族・個人)及び職業マッチング・体験 ②島しょ地域の課題解決に向けたツアー内容の企画及び調整(例:島しょ地域のPRとし情報発信を行う) ③滞り場所など受け入れ先の調整 ④参加者アンケートの実施 ⑤事業報告書作成 | ・問い合わせ件数:30件 ・プロジェクト調整の企画:5件 ・SNS等によるツアー告知:20回 | ・農作業等お仕事体験の参加世帯数…10世帯以上 ・プロジェクト創出型の参加世帯数…5世帯以上 | うるま市島しょ地域への移住世帯数3世帯 | - |
| 10 | | 地域防災力強化事業 | H25 ~ R8 | 災害時において、いち早く活動できる自主防災組織の活動強化のため、災害のしくみや、実践的な知識と技能を学ぶため、防災士の資格取得支援や防災資機材の点検及び整備等の活動支援を行い地域の組織力の醸成を目的とする。 | ①防災士資格取得講座案内数 全市民対象(30人) ②防災資機材支援対象団体調整 17団体 ③防災活動支援対象団体調整 30団体 ④防災教育講座開催に向けた委託先との調整 ⑤災害被災地視察先調整 ⑥市全域防災マップ作成 60,000部 | ①防災士資格取得者数 30人(累計85人) ②防災資機材支援補助 17団体(累計40団体) ③防災活動支援補助 30団体(累計48団体) ④防災教育講座開催数 1回(参加者100人以上) | 防災士の充実と防災資機材の充実、避難行動計画、避難訓練の実施につなげ、さらに、防災士を中心に「防災士連絡協議会(仮称)」を設置し、災害につよいまちづくり、人づくりの構築を目指す。 | 防災士の養成支援については、可能な限り増員を目指す。 防災資機材のみならず、避難場所としての機能構築(避難環境、食料備蓄、水の確保、プライバシー保護環境の構築等)も視野に防災環境の充実を図っていく。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| うるま市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|----------------|---|-------------------------|---------------------|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 11 | ① | うるま市公営墓地整備事業 | R6 ～ R13 | 公益性、持続性のある公営墓地を整備するため、建設候補地を選定する。 | うるま市公営墓地建設候補地選定調査業務を委託。 | 公営墓地建設候補地(複数)の選定完了。 | 【スケジュール】 R6:建設候補地選定 R7:整備計画策定 R8:都市計画変更、基本設計 R9:実施設計、土地評価、用地取得 R10:用地取得 R11:整備工事 R12:整備工事 R13:供用開始 (年間利用件数100件を想定) | 【成果目標設定の考え方】 過去の個人墓地申請実績を勘案して設定した。 |
| 11 | ② | うるま市総合食育センター整備事業 | R5 ～ R8 | 食育交流拠点としての機能を有した食育センターを、給食センターと一体的に整備し、食育の推進を通じた健全な食生活の確立に向けた取組を実施する。 | 実施設計、造成工事の実施。 | 実施設計、造成工事の完了。 | 【R9成果目標】 ・バランスの良い食生活の認識が深まった割合80%以上(受講者アンケートより) | 【R9成果目標設定の考え方】 食育センター整備事業完了後における、本施設を利用した者のうち大多数の認識が深まったかを図る値として設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宮古島市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|---|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 地下水保全調査事業 | H29 ～ R6 | 本市の唯一の淡水資源である地下水の保全を行う。 | 1)本市における地下水流域の中で最も重要な白川田地下水流域内及びその周辺において、水源開発の可能性を探るために流域北部及び流域中央部の水理地質構造の把握とともに、流域境界位置精度向上並びに地下水賦存量精度向上のための調査を行い、その流域保全範囲の精度を高め今後の地下水保全につなげていく。 | 1)白川田地下水流域水源開発可能性・流域境界位置等精度向上調査の完了。 | 【今後の展開】 定期的に地下水水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。 | 1)調査内容を踏まえて流域面積範囲を絞りこみ、より詳細な地下水理構造の把握を行い、地下水の保全方法を検討していく。 |
| 1 | ② | 地下水質モニタリング調査事業 | R6 ～ R10 | 本市の唯一の淡水資源である地下水の水質管理を行う。 | 1)地下水質に含まれる有機フッ素化合物類及びネオニコチノイド系農薬類の汚染状況把握のために、水道水源流域内にて、地下水及び浄水の水質検査を行う。 | 1)有機フッ素化合物類及びネオニコチノイド系農薬類検査の完了。 | 【今後の展開】 定期的に地下水質の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。 | 1)調査内容を踏まえて有機フッ素化合物類及びネオニコチノイド系農薬類の地下水質汚染状況の現状が推察されるため。 |
| 2 | ① | 観光地アクセス道路環境美化強化事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。 | 観光地アクセス道路の環境美化の実施:32路線 | 観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観形成が図られていると感じた値として80%以上を設定し、アンケート調査の数値を基に本事業のあり方を検討する。 |
| 2 | ② | 観光地公園環境美化強化事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。 | 観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宮古島市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|----------------|--|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ③ | 宮古島市観光景観形成推進事業 | R2 ～ R6 | 電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。 | 宮古TV既設ケーブル地下化工事を行う。 | 宮古TV既設ケーブル地下化工事の完了。 | <p>【R7成果目標】 近隣観光施設利用者を対象として、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R5: ケーブル等機材購入・ケーブル入線工事。民地引込管路および連系管路工事。NTT既設ケーブルの地下化工事 R6: 宮古TV既設ケーブル地下化工事 R7: 供用開始</p> | <p>【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> |
| 2 | ④ | 観光インフラ施設整備事業 | R6 ～ R8 | 観光客の利便性向上、施設の快適さ、衛生面からのイメージアップを図るため、主要観光地におけるインフラ整備を行うために施設設計業務を行う。 | ①前浜海岸シャワー・トイレ実施設計の実施。 ②渡口の浜シャワー・トイレ実施設計の実施。 ③サバオキ公園トイレ実施設計の実施。 | ①前浜海岸シャワー・トイレ実施設計の完了。 ②渡口の浜シャワー・トイレ実施設計の完了。 ③サバオキ公園トイレ実施設計の完了。 | <p>【R10成果目標】 観光客満足度75%</p> <p>【今後のスケジュール】 R7: 前浜海岸シャワー・トイレ施設整備完了。 R8: 渡口の浜シャワー・トイレ施設整備完了/サバオキ公園トイレ整備完了</p> | <p>観光振興基本計画目標値より設定【実績】 H30:62.9% R1:69.8% R2:62.2% R3:66.9% R4:69.7%</p> |
| 2 | ⑤ | 伊良部屋外運動施設整備事業 | R6 | 伊良部屋外運動施設に新設された多目的屋内運動場の供用開始に伴い、備品等を整備する | 備品納入 | ・プロ野球キャンプ誘致 1団体以上 (R6) ・社会人・大学強豪チームのキャンプ誘致1団体以上 | - | 備品購入により、キャンプの受入環境を整備し、プロ球団の誘致を図る。 |
| 2 | ⑥ | 賑わいのまちづくり事業 | H28 ～ R7 | 中心市街地活性化を図るため、イベント等の開催の利用、まち歩き観光の休憩利用など、市民・観光客の交流拠点として賑わいの創出が可能となる広場整備を行う。 | 公有財産購入(1筆):238.17㎡ | 公有財産購入の完了 | <p>【R8成果目標】 イベント等開催(宮古島夏祭り1回、フリーマーケット12回)</p> <p>【今後のスケジュール】 R7: 整備工事 R8: 供用開始</p> | <p>【R8成果目標設定の考え方】 事業の目的である、広場に隣接する商店街等と連携を図りながら、回遊及び賑わいの場としての誘客の拠点作りを行う。 イベント等開催数については、年1回の宮古島夏祭り、月1回のフリーマーケット12回を成果目標として設定した。</p> |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宮古島市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------------|----------------|--|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ① | 持続可能な観光地域づくり推進事業 | H24 ～ R8 | 宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する。 | ①観光PRイベント等への参加 ②新規航空路線就航に向けたPR活動 ③観光マネジメント体制構築業務 | 観光客の満足度75% | 【今後のスケジュール】 プロモーション活動や官民連携した持続可能な観光地づくりを継続的に実施し、令和10年度の観光客の満足度75%を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 第2次宮古島市観光振興基本計画で策定している目標値を達成する。 ・これまでの実績及び観光振興基本計画の目標値より設定。 【実績】 H27:60.6% H28:65.9% H29:65.9% H30:62.9% R1:69.8% R2:62.2% R3:66.9% R4:69.7% |
| 3 | ② | クルーズ船受入体制強化事業 | H29 ～ R8 | クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。 | ①クルーズ船寄港時の受入業務 ②オーバーツーリズムにならない受入体制構築、受入コンテンツ開発 | クルーズ船観光客観光消費単価13,400円 | 【今後のスケジュール】 受入体制の強化、コンテンツ開発・実施を継続的にを行い、令和10年度のクルーズ船観光客消費単価17,000円を目指す。 | 【成果目標設定の考え方】 第2次宮古島市観光振興基本計画で策定している目標値を達成する。 |
| 3 | ③ | 観光循環バス自走化実証事業 | R4 ～ R7 | 観光客受入体制としての公共交通強化のため、交通事業者や観光関連事業者等が連携・協働した民間主体による市内観光循環バスの自走化運行を実現する。 | 採算性の改善による民間主体の自走化へ向けた試験運行。また、関連事業者との意見交換の実施、交通協議会を活用しての将来的な運行体制の構築を行う。 | 事業採算性の改善を図るため、過年度実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行をした上で、本格運行を実施するルート・ダイヤの選定を行う。 | 事業採算性を踏まえたルート・ダイヤの選定を行い、完全自走化を目指した取り組みを行う。 事業の最終目標として、1時間間隔で、10本/日(2ルート)の路線バス運行を行う。 | 【R7成果目標設定理由】 ルート・ダイヤの選定について、利用者及び関連事業者(各観光関連施設等)へのアンケートやヒヤリングを行い、本事業の課題を把握。また、バス路線の採算性を検証し、今後の事業展開へ繋げる。 |
| 4 | ① | 八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業 | R4 ～ R9 | 国指定文化財(名勝及び天然記念物)となっている八重干瀬の国定公園等への指定を目指すため、八重干瀬とその周辺地域について自然資源の現況を把握し、保全活用体制の整備を図る。 | ・自然環境調査の実施 ・R5年度成果の公表 ・保全体制構築検討 | ①約3.9万haの対象地域のうち、約10m以浅の海域及び隣接沿岸域について、魚類・海藻類等及び池間湿地等を主とした生物群集特性を明らかにする。 ②R5年度業務の成果について、市民等を対象とした報告会を2回開催する。 | 【今後のスケジュール】 国立公園等指定にふさわしい自然環境特性を明らかにするため、R5年度調査をベースにR6年度において詳細調査に発展させる。 また、R5年度成果を公表しつつ、国定公園指定に向けた啓発、保全体制構築検討を行う。 | 八重干瀬及び周辺地域が国定公園等に指定されるよう、その自然環境特性を明らかにするとともに、保全体制を構築する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宮古島市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------------|----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ② | 宮古馬スタートアップ事業 | R5 ～ R6 | 宮古馬を広く活用していく上では、利活用従事者を増やし、観光に供する施設の整備が必要となる。本事業では、宮古馬を観光利用していくためのスタートアップとして、城辺長間の放牧場での観光客向けの利活用事業を開始し、アンケート調査などをおして、充実した本利用に活かしていく。 | ・宮古馬利活用従事者の育成 | 宮古馬の利用者1,000人 | 本事業で得られたアンケートの結果などをもとに、宮古馬の利活用の方法などを検討し、その計画の策定を行っている | 利活用のスタートアップとして1、日あたり4～5人の利用を見込んで成果目標を設定した。 |
| 4 | ③ | 宮古島市歴史文化活用推進 | R5 ～ R9 | 宮古島市には芋麻績み文化や埋蔵文化財などの分野において、宮古島市独自の文化の形成が認められる。本事業では、これらの独自の文化の魅力発信を行い、市民及び観光客へその歴史文化の周知と活用の促進を図る | ・歴史文化資料館の芋麻績み展示室の整備 ・歴史文化資料館の芋麻畑屋外展示の整備 ・歴史文化資料館の利用促進及び文化講座の開催 ・『綾道-自然(植物)-』の制作・発刊 | 宮古島市歴史文化資料館の入館者数5,000人 | 歴史文化資料館の館内案内や文化講座などを継続して行い、利活用を促進し、市民や観光客への利用の拡大を図り、地域の歴史文化の魅力発信を行っていく。 | 現在、宮古島市総合博物館の年間入館者数は、1万人ほどである。R3年度の歴史文化資料館の入館者数は250人であることから、まずは博物館の年間入館者数の50%を成果目標として設定した。 |
| 4 | ④ | 宮古島市総合博物館デジタル・ミュージアム推進整備事業 | R5 ～ R7 | ①デジタルアーカイブシステム導入へ向けた事例収集 ②総合博物館デジタル・ミュージアム基本計画の策定 ③デジタルデータ作成用機材購入 ④計画に基づく令和6年度以降の事業費精査、算定 | ・基本計画策定 ・データ作成に必要な機材購入 ・館内資料のデジタルデータ整備(資料台帳、写真、スキャンデータ等) | ①総合博物館デジタル・ミュージアム基本計画書作成・報告 ②デジタルデータ作成用機材の購入 | R6年度 ・公開のための業者選定、公開形式の精査、決定 ・デジタルデータ整備 ・前年度の評価・改善 R7年度 ・公開用機材の導入 ・デジタルデータ整備 ・デジタル・ミュージアム公開 | R8年度以降もデジタル・ミュージアムを拡充していく基盤を作る |
| 5 | ① | 地産地消による地域内経済循環システム構築事業 | R4 ～ R8 | 市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ムーブメントづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。 | 学校給食+α ・地産地消コーディネータ実証 地産地消ムーブメントづくり ・情報発信ツール開発、支援策検討、イベント試行 地域経済循環分析 ・分析結果活用の仕組みづくり(市民・事業者・市) | 学校給食における地産食材利用率の向上(20%以上) | 【今後のスケジュール】 学校給食及びその他の飲食、小売、ホテル等への地産食材の利用率向上を図り、地域内経済循環を高めていく。併せて、地域内経済循環分析の仕組みを構築することで、事業や民間の取り組み効果を見える化する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 学校給食における地産食材利用率がR2:11%からR3:17.6%、R4:17.7%に向上しており、R6は、20%以上を目指す。 |
| 5 | ② | ”宮古島市産の肉”生産推進事業 | R4 ～ R13 | 肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う。 | 優良母牛更新80頭/年 | ・素牛の年間出荷頭数:3,806頭 ・平均販売価格:482千円 | 宮古島産牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。 | 直近6ヶ月(R5.4月～9月)の出荷頭数の平均371頭×12ヶ月=3,806頭 平均価格は482千円 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宮古島市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------------------|-----------------|---|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | ① | 救命処置普及強化支援事業 | H28 ～ R13 | 市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。 | ・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施:23回 (普通救命講習Ⅰ/16回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/4回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動 | ①救命講習会受講者数 1500人以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。 | コロナが第5類に移行したことを受けて、入域観光客が増える予想される為、ホテルスタッフやお土産品店などへ積極的に呼びかけ、講習会を開催し、目標数値を達成するとともに、訪れる方や住民の救命能力の向上を図る。 | 平成28年度から令和4年度(コロナ禍を除く。)までの実績を平均し設定を行った。 |
| 6 | ② | 緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業 | R6 | 緊急車両(消防ポンプ自動車)を更新し、災害時の被害軽減等、防災体制の向上を図る。 | 池間詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業実施 | 池間詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業完了 | 【R7成果目標】 池間・狩俣両地区の火災に対し、初期消火活動を行う。また、火災が発生しやすい時季には、広報パトロールを行い、地域住民への防災知識の向上を図ると共に、防災訓練を行い、防災体制の向上を図る。 【今後のスケジュール】 R6:車両整備 R7:運用開始 | 【R7成果目標の考え方】 池間・狩俣両地区の火災に対し、初期消火活動を行う。また、火災が発生しやすい時季には、広報パトロールを行い、地域住民への防災知識の向上を図ると共に、防災訓練を行い、防災体制の向上を図る。 |
| 6 | ③ | 下地島空港周辺観光地における津波避難困難地域解消基本計画策定事業 | R6 | 下地島空港周辺観光地における津波避難困難地域の解消に向けた取組を行う。 | 下地島空港周辺観光地における津波避難困難地域解消手法検討調査業務の実施 | 津波避難困難区域解消基本計画策定完了 | 【今後のスケジュール】 R7:R6報告書を基にした関係機関と協議を行い具体策の検討 | 本業務においては、R6の調査報告書を基に関係機関との協議を重ね、実現可能な解決策の実現を目指すものであるため、具体的な成果指標の設定はR7年度事業以降となる。 |
| 7 | ① | 選手派遣支援事業 | H24 ～ R13 | 島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、県大会や全国大会へ派遣される際の旅費の一部を補助する。 | 児童生徒の大会派遣(県内・県外) | 児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宮古島市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | ② | 課題を抱える児童生徒の支援事業 | H24 ～ R13 | 生徒指導上課題のある児童生徒に対し、生活環境改善のため、個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカー及び社会福祉士を教育委員会に設置するとともに、課題を抱えた児童生徒に対しては、適切な指導・支援の取り組み強化のため、学習支援員を在籍する学校に配置する。 | ・社会福祉士配置:1人 ・スクールソーシャルワーカー配置:4人 ・学習支援員配置:9人 | ・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上 | 【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【実績】不登校児童生徒の登校復帰率及び学びの場へ繋がった割合 令和元年度:23% 令和2年度:25% 令和3年度:49% 令和4年度:49% (23%+25%+49%+49%)÷4年=36.5% |
| 7 | ③ | 学校ICT機能強化整備事業 | R6 | 「個別最適な学び」・「協働的な学び」の推進を図る上で、機能強化として校内ネットワークへの接続や学習者用端末と連携が可能な電子黒板や書画カメラなどを整備する。 | 学校ICT機能強化に必要な機器の整備。 | 学校ICT機能強化に必要な機器の整備完了。 | 【今後のスケジュール】 R7:機器整備(小学校) R8:機器整備(中学校) 【R9年度成果目標】 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(授業中にICTを活用して指導する能力) 83pt以上 | 【R9成果目標設定の考え方】 現状値として、本市は79.6ptと高い数値で推移しているため、各年度で1pt増加させることを目指し83pt以上と設定。 |
| 8 | ① | 宮古島市ひとり親家庭生活支援事業 | R5 ～ R9 | ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アルバイトを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等を原則1年間行う | 3世帯への支援実施 | 本事業により自立に向けて生活改善した世帯の割合:100% | 今後も同支援を継続し、ひとり親世帯の自立を図る。 | 最大3世帯への支援を予定しており、うち3世帯の自立を目指す。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|---|--------------------------------------|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | スポーツツーリズム推進事業 | H24 ～ R13 | プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、キャンプ受入に適した環境整備を行う。 | 良質な芝生を維持する為の適正管理(利用による損傷に強くする) | プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上 | プロサッカーチームのキャンプを継続的に3チーム以上誘致できるよう目指す。 【今後のスケジュール】 芝生の良質な状態を維持・管理し、キャンプ受入に適した環境整備を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 キャンプ実施機関に受入可能な最大チーム数を目標として設定 |
| 1 | ② | デジタルアーカイブ事業 | H30 ～ R13 | 観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。 | ・歴史資料のデジタル化、資料情報の充実化及び新規資料の公開 5,000点 | ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数 延べ9,000人以上 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の閲覧数73,000pv以上 | 将来的な目標として、下記の達成を目指す。 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数 延べ11,700人 ・閲覧数94,900pv 【今後のスケジュール】 引き続き歴史資料等のデジタル化、公開資料の充実化を図りつつ、情報の周知をおこなうことで成果目標の達成に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R5の実績(見込み)をもとに設定した。 |
| 1 | ③ | 南城市歴史文化発信事業 | R4 ～ R9 | 南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通じた地域振興を図るため、歴史文化発信拠点を整備する。今年度は収蔵庫の造成工事、基本・実施設計等を行う。 | ・収蔵庫造成工事 ・収蔵庫基本・実施設計の実施 | ・収蔵庫造成工事の完了 ・収蔵庫基本・実施設計の完了 | 【R10成果目標】 年間来館者数 18万人 | 【R10成果目標設定の考え方】 斎場御嶽過去3年の平均来場者数を参照 |
| 1 | ④ | 奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業 | R4 ～ R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 建築工事の実施 | 建築工事の完了 | 【R7成果目標】 ・施設利用者アンケート調査を実施し、飲食スペースの整備により利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・いまいゆ市場への来場者数1万7千人増 | 【R7成果目標設定の考え方】 ・事業の成果目標として、施設利用者へのアンケートを実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。 ・R5年度に人流ビッグデータを活用し、への来場者数を調べR7成果目標を第6次沖縄県観光振興基本計画シナリオを基に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ⑤ | 観光地美化等環境整備事業 | H28 ～ R8 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、東海岸を望む道路沿線や景勝地の環境美化作業を行う。 | 環境美化作業の実施 | 環境美化作業による草木処分量:26t/年 | 高台からの眺望、移動景観の創出範囲のとして総延長4,610mを目指す。 【今後のスケジュール】 定期的に環境美化作業を実施し、魅力的な景観形成の維持に務める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 伐採可能量を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | 学習支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。 | ・市立8小学校へ9名配置 ・市立4中学校へ4名配置 | ・小学校:児童生徒理解度調査の算数の満足度80%以上 ・中学校:沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県と本市との平均正答率の差+0.5ポイント以上 (※過去3か年平均) | 下記目標の継続的な達成を目指す。 ・小学校:児童生徒理解度調査の算数の満足度80%以上 ・中学校:沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県と本市との平均正答率の差+0.5ポイント以上 【今後のスケジュール】 つまづきの多い小学校3年生の算数、中学校1年生の数学に対して支援を行い、学習意欲の回復や基礎学力の定着を図っていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 小学校は、児童生徒理解度アンケート調査における算数の満足度80%以上とし、中学校は沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県と本市との平均正答率の差を過去3年間平均で+0.5ポイント以上とした。 |
| 2 | ② | 特別支援教育支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。 | 各公立認定こども園・公立小、中学校において特別支援教育支援員を配置し、個々の実態に応じた適切な対応を行う。 ・市内公立1認定こども園:13名配置 ・市内8小学校:28名配置 ・市内4中学校:6名配置 | 特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 保護者アンケートによる、特別支援教育支援員の対応への満足度が継続的に80%以上を達成できるよう目指す。 【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象について審査会において審議を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。 | 【成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。 |
| 2 | ③ | ICT支援員派遣事業 | R4 ～ R8 | ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。 | 市内13小中学校にICT支援員3人を派遣する。 | ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が70%以上 | 教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が継続的に70%以上を達成できるよう目指す。 【今後のスケジュール】 効果的に、ICTを授業に活用してもらうため、ICT支援員を継続的に派遣する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|------------------|----------------|--|---|--|--|--|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ④ | 不登校児童生徒支援体制強化事業 | R4 ～ R10 | 不登校児童生徒に対する支援体制を強化するため、校務支援システムの運用、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。 | ・適応指導教室の運営 ・校内自立支援室の運営 ・不登校支援員の配置 | ・適応指導教室の運営完了 ・校内自立支援教室の運営完了 ・不登校支援員の配置完了 | 【R10成果目標設定の考え方】 児童生徒の不登校率 小学校1.0% 中学校2.0%以下 | 小学校は、児童生徒理解度アンケート調査における算数の満足度80%以上とし、中学校は沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県と本市との平均正答率の差を過去3年間平均で+0.5ポイント以上とした。 |
| 3 | ① | 優良繁殖牛導入支援事業 | H26 ～ R8 | 市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。 | 優良母牛導入頭数:50頭 | 導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上 | 導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:118.7%以上を目指す。 【今後のスケジュール】 今後も発育能力の高い優良繁殖牛を継続して導入し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ② | 優良乳用牛リース支援事業 | H27 ～ R8 | 酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。 | 優良乳用牛導入頭数:50頭 | 乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,988kg以上(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上 | 【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ③ | 南城市耐候性野菜栽培施設整備事業 | H27 ～ R6 | 気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備することで、農家の生産量の増加及び南城市産野菜の産地形成を図る。 | 耐候性ハウス約7,336㎡(約24棟) | 耐候性ハウスの整備完了 | 【後年度成果目標】 農産物の生産量については、対象者の対象品目に応じて決定する。 R4線整備分: R11成果目標 なす出荷量22.4t R5整備分: R12成果目標 なす出荷量26t 【R6年度成果目標】 農産物の生産量については、要望調査後に決定した対象品目に応じて決定する。 | 【R6年度成果目標設定の考え方】 対象品目に応じて、「沖縄県農業経営技術指標」、「沖縄県野菜栽培要領」などの10aあたりの収量から勘案し設定する。 |
| 4 | ① | 低炭素なまちづくり推進事業 | H28 ～ R6 | 二酸化炭素排出量の削減を図るため、南城市文化センターの空調機器を省エネ型の機器に切り替える。 | 空調機器改修工事の実施 | 空調機器改修工事の工事完了 | 【R7成果目標】 南城市文化センター 28.33t/年 削減 | 【R7成果目標設定の考え方】 空調機器を省エネ化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南城市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-----|--------------------|-----------------|---|---------------------------|---------------------------|--|--|
| 事業番号 | 事業名 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 5 | ① | なんじょう歴史文化保存継承事業 | H24 ～ R13 | 南城市の歴史・文化について調査研究を行い、冊子や学習会等で普及し、その継承を図る。 | ・『年報』刊行 ・学習会等の開催(2回) | 学習会等への参加延人数 100人以上 | 【着地点】 学習会等の参加延人数累計(R5年度～R13年度)900人以上 【今後のスケジュール】 市の歴史・文化の調査研究及び成果の普及を継続し、その継承を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 6 | ① | 南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業 | R5 ～ R8 | 地元農畜水産物の高付加価値化に向けた加工品の製造・販売を行う利用促進拠点機能を有する観光交流施設を民間資金も活用して整備するため、用地購入及びマスタープランの作成を行う。 | ・用地購入の実施 ・マスタープラン策定の実施 | ・用地購入の完了 ・マスタープラン策定の完了 | 【R9成果目標】 観光交流施設来訪者数〇〇万人 産業人材として育成した人数〇〇万円 【今後のスケジュール】 R6: 用地購入、マスタープラン策定 | 【R9年度成果目標設定の考え方】 後年度成果目標の設定については、R6年度にマスタープランを策定する際に決定する。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 国頭村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|----------------|---------------|---|---|--|--|-------------------------------------|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 木育推進による誘客促進事業 | R6 | 木育推進による観光誘客の促進を図るため、現在進められている「やんばる森のおもちゃ美術館」の施設拡充にあわせて、県産木材を活用した木のおもちゃ等の備品を整備し、施設の更なる魅力向上に繋げる。 | 備品購入業務の実施 | 備品購入業務の完了 | 【R7成果目標】 年間利用者数 21,000人以上 【今後のスケジュール】 R6年度 備品購入業務の実施 R7年度以降 供用開始 | 【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | やんばるの自然環境保全事業 | R4 ～ R6 | 村内の観光施設における外来種及び重要な種の分布状況を把握するとともに、必要において外来種の対策を講じる。また、村営林道を中心とした監視体制強化及び外来種や希少種等の分布状況を把握するとともに、必要に応じて対策を講じる。 | ・村内観光施設における外来種防除対策の実施 N=3か所 ・村営林道における林道/パトロール及び外来植物等の分布調査の実施 N=12本 | ・村内観光施設内の外来植物の減少率 A=70%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件 | 【R7年度以降】 ・村内観光施設の外来種の防除面積の継続 A=70% ・村営林道における無許可トラップの排除継続 N=0件 | 【R7年度以降目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 国頭村農林水産物販売強化事業 | R5 ～ R6 | 国頭村産農林水産物の新たな市場を獲得するため、国頭村産農林水産物の魅力を発信し、都心部での販売促進など販売力強化を図る。 | ・農林水産物の県外での販売強化の補助 | 事業での農林水産物の販売価格の上昇 県の拠点産地の認定を受けている作物 ・マンゴー 単価 1,590円/kg ・タンカン 単価 455円/kg (R3,R4平均単価比20%増) | 【R6成果目標】 マンゴー 単価 1,590円/kg タンカン 単価 455円/kg | 【R6成果目標設定の考え方】 過去2カ年の平均単価を参考にした |
| 4 | ① | 星空観光推進事業 | R5 ～ R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 星空観光コンテンツ開発の実施 | ・やんばる学びの森 宿泊者数:20,400人以上 ・奥ヤンバルの里 年間利用者数:4,800人以上 ・国頭村森林公園 年間利用者数:13,600人以上 ・安田くいなふれあい公園 年間利用者数:4,800人以上 【今後のスケジュール】 ・R6年度:星空観光コンテンツの開発 | 【今後のスケジュール】 R6年度 事業の実施 R7年度以降 星空観光の推進 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にした |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 国頭村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-----|-----------------------|----------------|--|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業名 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 5 | ① | スポーツコンベンション 観光振興事業 | H25 ～ R6 | <p>冬春季におけるスポーツ合宿の受入件数の増に向け、受け入れ環境の充実を図るため、施設備品の整備を実施することにより、合宿誘致件数の増加及び施設の機能強化を図る。</p> | <p>施設整備用機械(エアロベーター)の整備 陸上競技場照明改修実施設計及び工事の実施 陸上競技場倉庫建築実施設計及び工事の実施</p> | <p>施設整備用機械(エアロベーター)の購入 陸上競技場照明改修実施設計及び工事の完了 陸上競技場倉庫建築実施設計及び工事の完了</p> | <p>【R7年度成果目標】 合宿誘致件数 50件以上 (うち、野球合宿誘致件数 8件以上) ・合宿誘致件数:50件以上 (実績)R4: 47件、R3:31件、R2:46件、R1:50件 うち、野球競技団体:8件 (実績) R4:8件、R3:5件、R2:5件、R1:4件 うち、陸上競技団体:33件 (実績) R4:27件、R3:22件、R2:36件、R1:40件 【今後のスケジュール】 R7年度 ・施設管理用車両の使用開始</p> | <p>【R7成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> |
| 6 | ① | 国頭村減災地域社会形成事業 | R6 ～ R7 | <p>本村の道の駅における災害発生時の避難所及び緊急避難場所としての機能を発揮するため、BCP(事業継続計画)策定を実施する。</p> | <p>道の駅BCP(事業継続計画)の策定</p> | <p>道の駅BCP(事業継続計画)の策定完了</p> | <p>【R7成果目標】 策定する道の駅BCP(事業継続計画)の中で、防災機能に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした地域防災・観光防災施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 道の駅BCP(事業継続計画)策定</p> | <p>【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が道の駅の防災機能強化が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 大宜味村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|--|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 大宜味村観光情報発信整備事業 | H24 ～ R13 | 観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、PRキャラクター着ぐるみを製作し、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 産業まつり誘客イベント開催支援 PRイベント、PRキャラバン開催支援 PRキャラクター着ぐるみを制作し活用 | <ul style="list-style-type: none"> 産業まつり来場者数 約5,000名 PRイベントの来場者数 約11,000名以上 | 【今後のスケジュール】 大宜味村の観光資源を効果的に発信し、認知度向上を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 環境保全・美化推進事業 | H28 ～ R13 | 地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 賃金作業職員の配置(二人) 各保護・捕獲器の設置(ハブ:40台、犬:3台、猫:10台) 保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施 保護した野良猫の譲渡強化を図るため、愛護団体と連携し保護ネコの引き渡しを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:33.3%以上 ③保護した猫の譲渡:70件以上 | 【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | ふるさと河川環境再生・活用整備事業 | H26 ～ R9 | 観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。 | ・護岸整備工事の実施 L=39.7m | ・累計河川工事整備率 85% (2,198m/全体延長2,600m) | 【R10成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数 500名以上 【今後のスケジュール】 令和4年度 事業中止 令和5年度 整備工事 令和6年度 整備工事 令和7年度 整備工事 令和8年度 整備工事 令和9年度 整備工事・台帳整備 R10 全体供用開始 | 【R10成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ④ | 塩屋湾周辺利活用推進事業 | R4 ～ R7 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・塩屋湾水質改善計画 | ・塩屋湾水質改善計画策定 | 塩屋湾来訪者満足度80%以上 【令和8年度】 | 塩屋湾を活用する事業者と連携し来訪者へ塩屋湾における満足度を把握するためアンケートを行い、満足度の向上を目標とする。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもので。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもので。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 大宜味村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ① | 学習支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。 | ・小学校3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校2名(1年～3年 2名) | ・令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 県平均値をさらに超える2.3ポイント以上 中学校 県平均値に近づく-0.6ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員による児童生徒への学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査における目標達成へ向け取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 地域支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。 | ・地域支援員配置数 教育委員会1人 (対象:小学校及び中学校) | 不登校出現率10%以下 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して地域支援員を配置し、不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らないよう支援を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ③ | 「ぶながやの里」地域人材育成支援事業 | H25 ～ R13 | 本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。 | 生涯学習講座 12回以上開催 | 講座受講者数:240名以上 | 【今後のスケジュール】 本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ④ | 児童生徒等県外派遣支援事業 | H26 ～ R13 | 児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。 | 児童生徒への県外派遣支援 | 児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援し、広い視野を持った人材の育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 |
| 2 | ⑤ | 大宜味村海外短期留学派遣事業 | R6 ～ R13 | 海外での生活や体験または英語学習を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し村内の中高生を英語圏へ短期間派遣を行う。 | 村内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間) | 短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|-----------------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 特別支援教育支援員配置事業 | H27 ～ R13 | 教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるよう、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。 | 特別支援教育支援員配置数(全4名) 1小学校に3名 1中学校に1名 | 支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 学校教職員とスクールソーシャルワーカー等と特別支援教育支援員が情報を共有し、連携を取ることで円滑な学習環境を提供することにより学習意欲の向上に繋げる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象児童の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ① | 東村自然環境保全事業 | R3 ～ R8 | 貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、赤土等流出が著しい古島川流域における土木的対策を行い、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する | R5年度に実施した測量実施設計を基に工事を実施する | R5年度に実施した測量実施設計を基に工事を実施する | 【R7年度以降成果目標】 赤土等流出削減量 1,100m ³ (スケジュール) R6: 工事(工区①)の実施 R7: 実施設計(工区②)の実施 R8: 工事(工区②)の実施 | 【R7年度以降成果目標】 R3年度の発生源調査・対策内容等を踏まえて、工区①工事完了後の赤土等流出削減量を設定した。 |
| 3 | ① | 東村健康づくり事業 | R3 ～ R6 | 村民の健康増進のため、健康器具の設置工事を実施する。 (平良区) | 健康器具設置工事 | 健康器具設置工事の完了 | 【R10年度以降成果目標】 メタボ該当者を27.6%(R2)から0.6%減の27%に下げる。 【今後のスケジュール】 R5: 施設工事完了(2地区) R6: 健康器具利用開始 | R10年度成果目標については、27.6%(R2)から26.4%(県平均)を引いた1.2%の半分0.6%減を目指す数値とした。 設置後、効果検証を数年かけて実施していき、R15には、メタボ該当者が県平均26.4%を下回る。 |
| 4 | ① | 環境保全・ネコの適正飼養推進事業 | R4 ～ R9 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ①飼いネコの適正飼養推進 ②飼い主不明ネコ・地域ネコの保護・避妊・去勢手術等の適正管理及び譲渡強化 ④ネコ適正飼養推進検討会の開催 | R6ネコの捕獲頭数45頭 | R6ネコの捕獲数45頭 R7ネコの捕獲数30頭 R8ネコの捕獲数20頭 R9ネコの捕獲数10頭 | R5成果目標を過去5年の実績及び地域ネコを勘案して設定した。 R5の事業が途中のため、R6以降についても過去の実績及び本事業の継続実施による飼い主不明ネコ・地域ネコ頭数減を勘案し設定した。 |
| 5 | ① | 東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業 | R5 ～ R6 | 現在、定時運行している東村コミュニティバスの利便性向上を図り、利用者の拡大を目指すためデマンド化実証実験を行う。 | ・デマンド管理システムの導入 ・デマンドバスの利用説明会 6回 ・デマンドバス実証実験 6か月 | 東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を60%以上とする。 | 【R6成果目標】 東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を70%以上とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R5と比較し、段階を踏んだ目標を設定したいと考えているためR5を超える目標を設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|--------|--------|----------|---------------|--|----------|------------|--|---|
| 事業番号 | R6事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| パ 細 | | | | | | | | |
| 6 | ① | 避難経路整備事業 | R5 ～ R6 | 地域住民及び観光客等の安心安全を確保するため、地震・津波災害時の避難経路を整備する。 | 整備工事の実施 | 整備工事の完了 | 【R7成果目標】 防災避難訓練 1回/年 【今後のスケジュール】 R6: 整備工事 R7: 供用開始 | 【R6成果目標設定の考え方】 回数については、東村地域防災計画を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 今帰仁村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 教育環境充実事業 | H25 ～ R13 | 児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。 | 小中学校にそれぞれ特別支援員(有資格者)と特別支援員(無資格者)を配置する。 ・小学校 特(有)4人 特(無)9人 ・中学校 特(有)1人 特(無)3人 | 対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に必要な数の支援員を計画的に配置する。 | - |
| 1 | ② | 今帰仁村児童生徒等の県外派遣事業 | H25 ～ R13 | 県外の人との競争や交流により、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画を後押しするため、村内児童生徒が各種スポーツ大会等に参加するための県外派遣の費用を支援する。 | ①各種媒体での広報活動:(3つ以上) ②保護者へのアンケートによる効果検証:(全数実施) | ①事業申請(相談)件数:(15件以上) ②アンケートで「児童生徒の競技参画への主体性が増した」割合:(90%以上) | ○今後のスケジュール 通年で継続的に事業を実施し、県外での経験を積むことにより、児童生徒の主体的な競技への参画を目指す。 | ・広報活動を丁寧に行ない、事業利用件数増加を目指す。 ・事業利用者(児童生徒)の主体的な競技への参画につながったか、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ③ | キャリア教育推進支援事業 | R2 ～ R13 | 農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。キャリア教育を通して基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さや長所を違う場所から見たり、新しい環境に適応できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つげるため、県外インターシップ事業、プロフェッサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。 | ・各校の授業カリキュラムと地域の人材を把握、活用、連携し子ども達の職業観を育む活動を行う。 ・職業観、経営意識を育むため、子ども達が自分たちで考えたイベントやテナント運営を行う。 ・県外事業所を活用したインターシップを行う。 ・講演会を開催する。 | 本事業によって基礎的・汎用的能力が生まれ就業に対する意識の向上が図られたか(向上度90%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。 | 【今後のスケジュール】 キャリア教育を通して児童生徒の基礎的・汎用的能力を身につけ職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。 | - |
| 1 | ④ | 教育支援事業 | R2 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。 | ・対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合(67%以上)を含め、特別支援コーディネーターへのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | (今後のスケジュール) ・障害を有する児童生徒が、集団生活や日常生活に対応できるよう教育支援を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ⑤ | 教育相談事業 | R2 ～ R13 | 児童生徒の不登校や問題行動等カウセリングを充実させる。 | 今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。 相談員 2人 | ・対象となる児童生徒が集団生活や日常生活に対応できるようになったか(80%以上)アンケートにより本事業のあり方を検証する。 | (今後の展開方針) ・不登校や問題行動、不安や悩みを持つ児童生徒や保護者の相談を受け集団生活での困難さや日常生活に対応できるよう気軽に相談できる話し相手として対応する。 | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 今帰仁村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|--|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ⑥ | 中高生海外語学留学支援事業 | H25 ～ R13 | 海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。 | 本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。 | 帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(90%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。 | 【今後のスケジュール】 国際的な視野が広がった生徒が成長し、今帰仁村の次世代を担う人材となる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 大多数の保護者がより、国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証をする。 |
| 1 | ⑦ | 人材育成事業 | H24 ～ R13 | 島国沖縄県にとって、県外は「異文化」であり、異なる環境で生活している児童と交流を行うことにより、村内児童の視野を広げ教養に対する意欲を高めることで、人材育成を図る。 | 小学生を対象に、県外児童との交流事業を行う。(派遣児童数:36人) | 交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がった(90%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、児童の視野を広げ、人材育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ① | 環境保全美化推進事業 | H24 ～ R13 | 観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。また、併せて観光客の安全確保のため危険生物等の除去を行う。 | ・今帰仁城跡及び村内観光地並びに観光ルートの美化作業の実施。 ・観光地として魅力的な景観形成を図る。 ・危険生物等を除去する事で安全の確保を図る。 | 今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。 併せて観光客が訪れる機会の多い海辺やその周辺地域において確認される危険生物等の除去を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてはアンケートにより検証する。 |
| 2 | ② | 今帰仁城跡ガイド強化事業 | H25 ～ R13 | 今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施およびガイド内容の質の向上を図る。 | 今帰仁村歴史文化センターが主催する講座や研修会への参加などを通してスキルアップを支援する。ガイド内容の質を高めることで、観光客の満足度も向上し今帰仁村の観光産業に寄与できる。 | ガイドによる来訪者の案内10,000名 | 【今後のスケジュール】 来城する観光客等に今帰仁城跡の歴史文化等について正しく理解してもらい、魅力を発信するために、ガイドの知識の上書き、ガイド内容の充実などスキルアップにつながる講座や研修会などに参加しガイド内容の充実に継続して取り組む。 | 【R6年度成果目標の考え方】 案内者数は過去の実績より算出 H25:実績11,419名 H26:実績12,603名 H27:実績12,782名 H28:実績12,095名 H29:実績12,040名 H30:実績13,614名 R1:実績11,130名 R2:実績5,070名 R3:実績5,407名 R4:目標12,000名 R5:目標10,000名 |
| 2 | ③ | 今帰仁村着地型観光推進事業 | R1 ～ R13 | 教育旅行民泊事業者の受入体制強化及び誘致活動を行い、継続した着地型観光を促進する | ・専属職員の配置3名 ・新型コロナウイルス感染症の影響により減少した受入民家数の回復を図る ・県内外での誘致活動 ・コロナの影響により減少した民泊を補うため、日帰り体験など宿泊を伴わない受け入れも実施する | ・令和7年度の予約人数:13,500人(70校) ・2泊5食プランの増加(2校) ・リピート校の増加(2校) | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に教育民泊事業者の受入体制の強化及び誘致活動を行い、また日帰り体験などの受け入れも行い、今帰仁村を好きになってくれる人々の増加を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 民泊宿泊人数11,500人 日帰り体験人数 500人 計 12,000人 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 今帰仁村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|------------------|-----------------|--|---|---|---|--|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ④ | 今帰仁村体験・滞在型観光推進事業 | R3 ～ R13 | 村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出する。 | ・宿泊及び体験プログラムの創出 ・効果的な情報発信 ・ガイド(人財)育成 | ・ガイド(人財)育成 ・提携企業3社 | 【今後のスケジュール】 継続的な事業者との連携及び地域資源の再発見によるプログラムブラッシュアップと新規構築、また商品化を図る | 【R6成果目標設定の考え方】 現状宿泊＝1泊と捕らえ、連泊客数の増加を目標化する |
| 2 | ⑤ | 観光力基盤強化事業 | H24 ～ R13 | 観光誘客を図るため、村内で実施するイベントの支援を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり ・今帰仁まつり ・今帰仁ハーリー大会 | 村内で実施する以下のイベントの運営費等に対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」(11月・2月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(2月) ・今帰仁まつり(8月) ・今帰仁ハーリー大会(8月) | ・現代版組踊「北山の風」 来場数:1,150人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり 来場者数:3,000人/日 ・今帰仁まつり 来場者:10,300人 ・今帰仁ハーリー大会 参加者数:770人 | 【今後のスケジュール】 新型コロナウイルス感染症で落ち込み気味の村経済の活性化を図るため、村内で開催するイベント等の支援を継続して行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ⑥ | 観光地安全強化事業 | H24 ～ R13 | 世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。 | 1月～2月に、今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。 | 交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。 | 【今後のスケジュール】 繁忙期においても観光客が安全でスムーズに入場できるよう、交通整理員を配置して安全確保に努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 環境客が安全でスムーズに入場することを目的に、交通整理員が配置された箇所において事故が無いことを目標として設定した。 |
| 2 | ⑦ | 今帰仁城跡周辺環境整備事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川の整備を行う。 | 河川改修工事の実施 | 全体計画における3.2%整備(累積整備率75.9%) | 【R13成果目標】 R13 供用開始後 供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 魅力的な景観形成が図られたかは、観光客に対するアンケートを実施、大多数が肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。 |
| 2 | ⑧ | 景観形成強化事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。 | 観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備とそれに伴う設計・測量・用地補償等を行う。 ・簡易舗装及び排水路設置工事 | 景観に沿った道路整備を行う。また、次年度に工事予定箇所の測量設計委託業務を実施する。 | 魅力的な景観が形成されているかを検証するため、観光客等を対象にアンケート調査を実施し本事業を検証する。 | 事業の目的である魅力的な景観が形成されたを検証するため当該事業に関するアンケート調査を、観光客等を対象に実施し効果を測定するものとした。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 今帰仁村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|--|------------|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ① | 今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業 | H26 ～ R13 | 今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。 | R5年度 21頭導入 | 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合105%以上 | (今後の展開方針) ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 また未導入農家に対しても導入に向け働きかけ村内全域の母牛品質向上を図る。 ・導入全体計画 189頭以上(R4) | - |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 本部町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|------------------|-----------------|---|------------------------|---|--|--|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | ハブ咬傷防止事業 | H25 ～ R13 | 地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。 | ハブ捕獲器を町内950カ所に設置。 | ハブによる咬傷被害件数0件 | 【今後のスケジュール】 ハブの生息域拡大が懸念されるため、今後も引き続き捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目標として設定した。 |
| 1 | ② | 伝統興行観光化事業 | H25 ～ R8 | 沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。 | 伝統興行の実施 2回 | ・伝統興行来場者数:742人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し、観光客の誘致を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | もとぶマイクロツーリズム推進事業 | R4 ～ R6 | 本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。 | 町観光協会へ補助金の支出 1件/年 | モニターツアーの実施:10回/年 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に町認定ガイド養成とスキルアップ研修を実施し、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ④ | もとぶ観光地クリーンアップ事業 | R4 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施 | 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に作業員を配置し年間を通してクリーン作業を行い、観光地としてふさわしい環境美化を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。 |
| 1 | ⑦ | 本部町観光誘客周遊バス実証事業 | R5 ～ R7 | 二次交通の整備による観光客の移動手段を確保するため、町内の観光施設等を巡る周遊バス運行に向けた実証実験を行う。 | 周遊バスの運行 | 周遊バス利用者数 13,400人 | 【今後のスケジュール】 利用状況の結果をもとに、周遊バス導入の可否について検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | もとぶブランド牛改良促進事業 | R4 ～ R7 | 肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入の支援及び人工授精等の支援を行う。 | ・人工受精卵移植の実施 | ・人工受精卵の移植1件以上 | 【R8成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格:その他の子牛のセリ平均価格以上 【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良子牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。 | 【R8成果目標設定の考え方】 従来の子牛のセリ価格を上回るよう設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 本部町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|----------------------|-----------------|---|--|--|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ② | メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業 | H28 ～ R8 | 本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。 | ・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (町産品活用推進に向けた販促支援) (県内外物産展等への出展支援) | 新規取引契約数 10件以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行い、町内事業者のみならず、町外事業者との契約も視野にいれ、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。 (毎年度新規取引契約数10件以上) また、将来的には自走化を目標に事業を展開していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。 |
| 3 | ① | テレワーカー人材育成事業 | R4 ～ R6 | 町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施することで、テレワーカー人材の育成を図る。 | ・テレワークに関する各種セミナーの開催(受講者50名) ・テレワーカーの就労支援(業務斡旋1人1回ずつ) | テレワーカーとして就労した人数(受講者の29%以上) | 【今後のスケジュール】 今後も継続して講座等を開催し、テレワーカーの人材育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 昨年度の就労者数を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | 本部町学力向上学習支援事業 | H26 ～ R13 | 町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。 | ・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置 | 令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.8ポイント以上 中学校 -5.6ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。令和13年度までに小中ともに、県平均以上のポイントを目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ② | 特別支援教育環境充実事業 | H28 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 | ・特別支援教育支援員 8名配置 ・スクールソーシャルワーカー 2名配置 ・スクールカウンセラー1名配置 | ・特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。令和13年度まで保護者の満足度80%以上を維持する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。 |
| 4 | ③ | 本部っ子短期留学チャレンジ事業 | H27 ～ R13 | 海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中学生を英語圏へ短期間派遣または県内での宿泊英語学習を行う。 | 町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間)県内での宿泊英語学習 | 短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 将来的に最終年度までの保護者アンケートの国際的視野の拡大実感(80%以上)を目標とし、今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広がったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 本部町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|----------------|---|-----------------------------------|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ④ | 児童、生徒の派遣費補助事業 | R6 ~ R13 | 児童、生徒の県内離島又は県外での、スポーツ及び文化的活動での競争や交流の場を増やし、児童生徒に広い視野を持たせる。 | 県外で開催される大会等へ参加する児童生徒への派遣に関する補助金支援 | 派遣後の児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 将来的に最終年度までの保護者アンケートの児童の視野の拡大実感(80%以上)を目標とし、今後も継続的に町内の児童生徒の県外及び県内離島派遣を補助し、児童生徒の視野の拡大を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 補助対象者の大多数の視野が広がったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。 |
| 5 | ① | 低炭素なまちづくり推進事業 | R5 ~ R8 | 二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。 | LED照明切替工事発注 1件 | R6年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減●●t-CO ₂ /年 | 【今後のスケジュール】 順次、公共施設等のLED照明への切り替えを行い、二酸化炭素の排出量を削減する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R6年度中に切り替えるLED照明の基数から二酸化炭素の削減量を算定。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 恩納村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|---|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業) | H24 ~ R13 | 観光客や地域住民のハブ咬症被害防止を図るため、村内各地に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。 | ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 450箇所 | 捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数:0件 | 【今後のスケジュール】 ・捕獲器設置エリアの見直し ・捕獲器の改良 将来的な目標として ハブ等危険生物の適宜捕獲、駆除等により、ハブ咬症0件(見込み)を目標とし、観光地の安全確保を行う。 | 【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した |
| 1 | ② | 恩納村観光誘客・おもてなし推進事業 | H24 ~ R13 | 観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターに観光案内人を配置する。またアナビマップを製作し、観光情報の発信、観光客の利便性の向上を図る。 | ・観光誘客人の配置 ・観光案内人の配置 ・イベントの開催 ・プロモーションの実施 ・スポーツコンベンション事業 | ①イベント入場者数:13,200人以上 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ230万人以上 ③観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。 将来的な目標値として ①イベント入場者数:13,200人以上 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ300万人以上 ③観光客の利便性について、アンケートを実施し80%以上を維持とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・イベント入場者数は過去最高のR5年度の実績から10%増とした。 ・宿泊客数は過去の実績(コロナ禍以前)による観光への影響を勘案して設定した。 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ③ | 赤間総合運動公園機能強化整備事業 | R4 ~ R13 | 整備工事を行う。 | 整備工事の完了。 | 2件の整備工事完了。 | 【今後のスケジュール】 機能強化整備計画を基に、計画的な改修及び追加整備工事を行いスポーツ合宿環境の充実や、利用者の利便性を図る。 将来的な目標値として(R7年度予定) 5件以上のスポーツ合宿受入 | 【R6年成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施し、スポーツ合宿の受け入れを成果目標として設定した。 |
| 2 | ① | 特別支援教育支援員配置事業 | H29 ~ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・特別支援教育支援員充足率:100% ・特別支援教育支援員配置数: 幼稚園4園:4人 小学校4校:10人 中学校1校:3人 | 特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる園児児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする園児児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。 将来的な目標として 対象園児児童生徒の大多数にとって困難の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」 | 【R6成果目標設定の考え方】 特別支援教育支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、園児児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 恩納村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|------------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ② | 学校ICT支援員配置事業 | R5 ～ R13 | 小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに学校現場のICTを推進する。 | ・ICT支援員充足率:100% ・ICT支援員配置数: 小学校4校:2人 中学校1校:1人 | ICT支援員の対応で教員の指導力向上が図られたか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 ICT支援員を継続的に配置し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに児童生徒のGIGA端末を活用し、学力の向上や人材育成を図る。 将来的な目標として 教員のICT活用指導力向上の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」を維持 | 【R6成果目標設定の考え方】 ICT支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、教員の大多数がICT活用指導力の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ④ | 日本語通級指導教室補助員配置事業 | R5 ～ R13 | 外国籍児童の学習や学校生活の対応のため、英語の堪能な日本語通級指導教室補助員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・日本語通級指導教室補助員充足率100% ・日本語通級指導教室補助員配置数 小学校1校:1人 | 日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 日本語通級指導教室補助員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。 将来的な目標として 対象園児児童生徒の大多数にとって困難の改善が図られたと考えられる数値として「80%以上」を維持 | 【R6成果目標設定の考え方】 日本語通級指導教室補助員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ② | 恩納村防災事業 | H24 ～ R13 | 大規模自然災害が発生したと想定し各自治会、観光事業所等と連携し、避難訓練及び避難所運営訓練を実施する。又、防災倉庫や備蓄品を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。 | ・防災訓練の実施 ・防災倉庫の設置 ・備蓄食料等の整備 | 【防災訓練】 防災訓練参加人数100名 【防災備蓄倉庫等】 防災倉庫1基設置 要支援者食料等 2,100食(100人×3食×7日分) | 【防災訓練】(R14予定) 村内事業所(GM会) 観光協会 各自治会(16自治会) などを含めた連携強化 食料:約29,000食 飲料水:94,304ℓ 必要資機材等 沖縄県地震・津波被害想定調査結果より | 【R6成果目標の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施していくことを成果目標として設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 恩納村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------------|----------------|---|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ① | 地域特産品等開発支援事業 | R5 ~ R13 | 地域資源を活用した商品やレシピの開発、販売促進を支援することで地域経済等の活性化を図る。 | ・開発事業者支援 5社 ・開発された商品の販売促進やレシピ開発に関する企画実施1回、来場者に対するアンケート ・販売促進に関するツール制作および関連施設への配布 | ・開発された商品 5品 | 《今後のスケジュール》 開発された商品をふるさと納税返礼品へ登録することで消費拡大を図る。 《後年度の成果目標》 開発商品5品×8年間=40件のうちふるさと納税返礼品への登録件数2品×8年間=16件(8年間=R6~R13年度) | R13年度の開発商品のふるさと納税返礼品への登録はR14年中となるため、登録件数目標値(16件)はR14年度末時点とする。 |
| 5 | ② | 恩納村産業まつり実施事業 | R5 ~ R13 | 本村で生産される農畜産物・水産物・加工品・お土産品・観光物産等を一堂に展示、販売、村内外へPRできる場「産業まつり」を開催することで、生産者及び事業者の売上向上、村内の各産業の振興を図るため、まつり開催に係る運営費を実行委員会に補助する。 | 産業まつりの開催 | 来場者数:4,500人 | 【今後のスケジュール】 前年度の地域特産品開発支援事業で開発された商品のPRを行う。 | - |
| 6 | ① | 恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活分) | R5 ~ R13 | 本村の生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。 | スポーツ及び文化活動に係る、県外派遣費の補助 | 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上 | 【今後のスケジュール】 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力の向上を図るため、スポーツ及び文化活動に係る県外派遣費を支援する。 将来的な目標として 自立や意欲、競争能力が向上したかの児童生徒へのアンケート調査を行い80%以上を目指す | 【R6成果目標設定の考え方】 他市町村の類似事業参照 |
| 6 | ② | 恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活外) | R5 ~ R13 | 派遣対象者へ、航空運賃及び宿泊費を補助する。 | 派遣された方の競技力向上及び視野が広がったか。 | 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上 | 【今後のスケジュール】 本事業の周知を行い、機会の創出にもれないようにする。 将来的な目標として 派遣された児童生徒の保護者を対象としたアンケートで、自立意欲、視野が広がったと感じられるかのアンケートで80%以上を目指していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 恩納村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|---------------------------|-----------------|--|---|---|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 6 | ③ | 恩納村アメリカホームステイプログラム派遣費支援事業 | R5 ~ R13 | 次代を担う中・高生を民間企業提案のプログラムを活用してアメリカ合衆国へ派遣することで、国際交流推進の担い手となる人材育成を図るとともに、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する次世代の人材育成を図る。 | アメリカホームステイプログラム派遣事業への派遣費を支援する。 【派遣人員:6名】 ①通常枠:3名 ②うんな中学校枠:2名 ③準要保護・要保護・生活保護世帯枠:1名 | 保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 今後もアメリカホームステイプログラム派遣事業派遣費支援事業を実施することで、生徒が異文化に触れる機会を創出し、国際的な視野を持つ人材を育成することを目指すために、派遣される生徒・保護者を対象に行うアンケートで、「帰国後、生徒の国際的な視野が広まった」と感じた割合が毎年80%以上となることを目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R6に実施するアンケートを検証し、R7以降の実施の在り方について検討する。 |
| 6 | ⑤ | 学力向上支援員配置事業 | R5 ~ R13 | 授業における学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力、判断力、表現力等の育成のために、個に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに不登校状態の児童生徒や教室に入ることが難しい支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの特性や興味関心に応じて、個別最適で効率的な知識やスキルの習得、自立に向けた支援を行う。 | ・学力向上支援員充足率:100% ・学力向上支援員配置数: 小学校4校:4人 中学校1校:1人 | 各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差5%以内とする。 | 【今後のスケジュール】 学力向上支援員を今後も継続的に配置し、児童生徒の基礎・基本の学力の定着を図り、学習意欲の向上を図る。 将来的な目標として 各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差5%以内とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 文科省が全国水準の平均正答率を±5としているため。 |
| 7 | ① | 恩納村国際交流人材育成事業 | H29 ~ R13 | 本村と諸外国との相互発展に寄与し架け橋となる人材を育成しウチナーネットワークの継承や発展のため、海外移住国から研修生2名の受け入れを実施し、琉球伝統芸能や文化の継承や日本語学習の研修を約半年間の期間で行う。 | 恩納村出身の海外移住者子弟研修生2名を受け入れし、約半年間の研修を実施する。 | ・研修生へのアンケート実施 沖縄県及び恩納村の歴史や文化、国際交流に対する心境に変化があった:80% | 【今後のスケジュール】 研修生受入予定数 R5年度~R13年度:各年度2名 合計18名 以前に実施していた「青年海外派遣事業」についても、実施を検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 受入事業の満足度について、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成が図られたかを指標化することは難しいため、お互いの文化や歴史により一層興味を持ったかを、アンケートで測ることにより、懸け橋となる人材育成が図られたかを検証する。指標については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定した。 |
| 8 | ① | 恩納村施設型共同墓新築事業 | R6 ~ R7 | 個人墓の散在化を予防し、土地の有効活用や墓主の負担軽減、景観悪化の防止のため施設型共同墓(納骨堂)を整備する。 | 基本設計及び実施設計の完了。 | 基本設計及び実施設計の完了 | 【R8成果目標】 利用割合:30% 空き家からの位牌壇移動:3件 【今後のスケジュール】 R7:整備工事 R8:供用開始 | 【R8成果目標の考え方】 今後、各字区長や窓口、ホームページ並びに広報誌などで周知を行うが、これまで個人墓を持っていた人(家族)がお墓を移すことについて抵抗を感じる方は多くいると考える。その間、初めてお墓(施設型共同墓)を持つ(利用する)人の方が多いと考えられるため約30%と考える。 整備後も検証を行い、周知に努める。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野座村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 阪神タイガース春季キャンプ受入事業 | H24 ～ R13 | 阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。 | 阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、パワーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入 | ・阪神春季キャンプ見学者数(80,000人) | 【今後のスケジュール】 今後も人員配置やプロの競技環境の確保、受入体制の構築に取り組みキャンプ受入による観光誘客を図る。 コロナ禍以降、減少している来場者数を毎年10万人程度、継続的に動員するため来場者の利便性及び安全性の向上を図る。 | 【R6成果目標の考え方】 コロナ改善の実績とその他のイベント等の来場者数を参考にして設定した。 |
| 1 | ② | 宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業 | H24 ～ R13 | 村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。 | 【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を10回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を4回以上行う。 【事業アーカイブ及び映像制作配信】 過去に開催した事業の写真や映像等の動画配信を3項目行う。 | ・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(3,061人以上) ・お出かけ公演対象者数(3,188人以上) | 【今後のスケジュール】 今後も文化振興及び魅力発信に取り組み、村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保を図ると共に、村外からの誘客を図る。 映像・芸術文化・伝統芸能公演 7,600人(目標) お出かけ公演 6,300(目標) ※具体的数値目標については、H27年～令和元年(新型コロナウイルス感染拡大前)の5年間平均の5%増を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | 宜野座村着地型観光誘客推進事業 | H25 ～ R13 | 宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動やイベントの開催、観光人材の育成等を行う。 | ・観光誘客プロモーション活動の実施 ・観光プログラムの開発 ・イベントの開催(3回) ・外部専門家(アドバイザー)の招請 | 宜野座村の観光入客数(20万人) | 【今後のスケジュール】 観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施し、観光客200,000人以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ポストコロナを見据え、R4年度の現状を勘案して設定。 |
| 1 | ④ | 宜野座村美ら島花火大会事業 | H28 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・花火の打上 ・ステージイベント(伝統芸能等) ・会場設営 ・PRチラシの作成 ・警備員の配置 | 美ら島花火大会集客数(15,150人/2日間) | 【今後のスケジュール】 今後も花火の演出やイベントの充実化に取り組み、新規ピーター獲得に向けて観光誘客を図り、15,000人以上の来場者を目指す。 | 【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 事業番号 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|--------------------|-----------------|--|---|---|---|--|
| パ | 細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ⑤ | 農村沿道景観向上事業 | H31 ～ R13 | 村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。 | 美化作業員配置 3名 事務職員配置 1名 雑草対策工事 | 安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も観光地として魅力的な景観形成を図り、アンケートにおける80%以上の満足度を継続出来るように事業実施に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ① | 小学校学力向上対策事業 | H24 ～ R13 | 学力向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導を行う。 | 【学習支援員配置数】 ・松田小学校 2名 ・宜野座小学校 4名 ・漢那小学校 2名 | 沖縄県学力到達度調査において、平均生徒率を県平均以上を目指す。(差0ポイント以上) 小学校 5年・6年(算数) | 【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において、平均生徒率を県平均以上を目指す。(差0ポイント以上) 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。 | 【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 中学校学力向上対策事業 | H24 ～ R13 | 学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導をおこなう、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。 | 【学習支援員配置数】 宜野座中学校 5名 (国語・社会1名、数学2名、理科1名、英語1名) | 沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。(差0ポイント以上) 中学校2年(英語、国語、数学) | 【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。(差0ポイント以上) 学習の基礎的・基本的な知識・技術の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。 | 【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ③ | 幼稚園預かり保育事業 | H24 ～ R13 | 保護者が安心・安全に園児を預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、公立3幼稚園において預かり保育を実施する。 | ・預かり保育員配置数 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 4名 漢那幼稚園 2名 | 保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者へネットアンケートを実施し、本事業の在り方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 アンケートにおいて、保護者の満足度80%以上を目指す。 今後も幼稚園(幼稚園教育課程)と連携した保育に取り組み、保護者が安心・安全に園児を預けることができ、育児における負担感の軽減を図る。 | 【R6成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が「安心・安全に園児を預けることができ、育児への負担感が軽減された」と考えられる数値として設定した。また、対象園児の保護者へアンケートを実施し、本事業の在り方について検証を行う。 |
| 2 | ④ | 宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業 | H28 ～ R13 | 海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する為、夏休み期間中に中・高校生8名を英語圏へ派遣する | 中・高校生8名を英語圏へ派遣 | 帰国後、保護者へアンケートを実施し、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を中心に、本事業のあり方を検証する。また、研修生OBへ追跡調査として、アンケートを実施し、本事業のあり方の検証を行う。 | 【今後のスケジュール】 今後も、夏休み期間中に中高生8名を派遣し、広い視野をもった人材を派遣していく。 派遣生8名に対して研修後のアンケート調査の中で、外国語への意欲と国際感覚に興味を持ったと回答した割合(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。 | 【R6成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる数値として設定した。また、研修生OBが事業に参加した経験が、現在どのように活かされているかも併せて、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野座村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------|-----------------|--|---|--|--|-----------------------------------|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ① | 有機の里宜野座村確立事業 | H24 ～ R13 | ①推進協議会の開催 (協議会1回 部会3回) ②アドバイザーの配置(1人) ③会計年度任用職員の配置 (2人) 栽培指導員 ④エコ販売袋、シール等の購入 ⑤講演会の実施 | ①栽培指導回数 (480回) ②生産販売目標 (116t) | ①エコファーマー認定数 (3名) ②エコ農産物販売目標 (116t) | エコ農産物の生産拡大を図るため、継続して栽培指導及び販路拡大を行っていく。 ①エコファーマー認定数 (新規3名) ②エコ農産物販売目標 (116t) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | 観光景観向上対策事業 | H27 ～ R13 | 観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。 | 作業員配置1名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去、解体 ・不法投棄防止看板の設置 | ・観光地における不法投棄件数:0件/年 | 【今後のスケジュール】 今後も不法投棄を減少させ、景観向上を図ることで、観光振興につなげていく。 観光地における不法投棄件数:10件以下/年 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ② | 危険生物駆除捕獲事業 | H27 ～ R13 | 観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。 | ・観光各所のパトロール:12回/月 ・ハブ捕獲器設置:村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除 | 観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件 | 【今後のスケジュール】 今後も引き続き、来村者が安心して観光できるよう危険生物の駆除等を行っていく。 観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件 観光地におけるハブ・ハチの苦情件数:0件 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 5 | ① | 宜野座村企業誘致促進事業 | H28 ～ R13 | 定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。 ・県内外のITイベントへのPRブースの出展。 ・宜野座村への招聘セミナーの実施。 | ①県内外のITイベントへのPRブースの出展。 ②宜野座村への招聘セミナー及びワークショップの実施。 | ①県内外のITイベントへのPRブースへの来場者数:200名 ②宜野座村への招聘セミナー及びワークショップの実施。 20名/10社 | 【今後のスケジュール】 過去に事業にて接触した企業へも積極的にフォローアップ営業をかけながら、成果目標達成に向け取り組みを行っていき一社でも多くの新規進出企業の獲得につなげていく。施設入居率を70%を目指していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 宜野座村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | ① | 世界のギノザンテュ子弟研修生受入事業 | H29 ～ R13 | 海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び村民との交流を行う。 | 宜野座村出身者海外移住者子弟4名を招聘し、3ヵ月間の研修を実施する。 | 受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証するとともに村人会へのアンケート調査も追加して本事業の成果を量る。 | 【今後のスケジュール】 今後も子弟研修生4名の受入を行い、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図る。また、事業実施中には、子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。 研修生4名に対して研修後のアンケート調査の中で沖縄の文化や歴史により興味を持ったと回答した割合(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。 | 【R6成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、研修生や村人会へのアンケート調査により検証する。 |
| 7 | ① | 小中高キャリア教育支援事業 | R4 ～ R13 | ・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 | ・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 ・グッジョブ連携協議会の開催(2回) ・周知広報等の取組み(SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施) | 対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も、産学官が連携して各学校のニーズにあったキャリア教育を支援し、児童生徒の就業意識の向上に取り組む。また、児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 |
| 8 | ① | 宜野座村新しい地域公共交通導入検討事業 | R5 ～ R9 | 公共交通実証実験を行い、宜野座村内に居住する交通弱者の移動手段の需要を把握する。 | 実証実験実施による調査等 | 交通弱者利用登録者累計230名以上 | 【令和7年の以降方針】 運行を継続しつつ、本格運行に向けた計画策定の為、アンケート調査やニーズの把握・分析を実施する。 | 各週の累計登録者数の近似曲線推計値にて目標値を設定。 |
| 9 | ① | 防犯灯脱炭素化推進事業 | R5 ～ R10 | 環境に優しく、脱炭素化に寄与するLED照明器具を整備し、環境負荷を低減を図る。 | 惣慶区内(18台)の既設防犯灯をLED照明器具へ切り替える。 | 年間CO2排出量を脱炭素化工事前と比較して約6割削減 | 宜野座村内の防犯灯の脱炭素化を推進する。 R6年度 惣慶区 18台 R7年度 惣慶区 166台、城原区 47台 松田区 約100台 R8年度 松田区 約150台、宜野座区 約230台 R9年度 漢那区 約190台 R10年度 福山区約90台 宜野座村10台 | R4年度に行った「宜野座村防犯灯省電力化実施設計」を基に算出した。当該年度に工事が完了する翌年度に効果が発言するため、定量的な成果目標は翌年度以降に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 金武町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|-----|---|------|-----------------------|-----------------|---|--|--|---|---|
| パ | 細 | | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | | プロスポーツ受入事業 | H28 ～ R13 | プロスポーツキャンプを継続して受け入れる基盤強化を図るため、体育施設の芝管理等を行う。 | ○プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置) ○競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備) ○プロスポーツ受入の実施 ○見学者受入体制の整備(清掃、警備対策) ○スポーツ教室の開催 | プロチームキャンプの受入 4チーム以上 受入チーム全体観客数 26,235名以上 | 【今後のスケジュール】 引き続き前年度と同様なプロチームの受入を行い、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。 【将来的な定量目標】 本事業による観光振興等の効果をプロスポーツキャンプ受入時の誘客数の増加で図る。 | 【R6年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | | 金武町観光振興等推進事業 | R1 ～ R8 | 観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・情報発信等を実施する。 | ○観光物産PR業務 ○地域活性化イベント業務 ○観光PRツール制作業務 | ①観光イベント 7回以上 合計来場者数 13,900人 ②観光物産PR 6回以上 合計来店者数 3,300人 | 【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。令和8年度については、各事業令和6年度の成果目標の120%増を目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①②令和5年度の実績と見込みを勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | | 金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業 | R3 ～ R6 | 金武町ベースボールスタジアムを活用した観光客誘客及び利用者の増加を図るため、周辺環境整備(外野スタンド改修)の機能高度化を実現する。 | ○周辺環境整備工事(外野スタンド改修)の完了 ○サブグラウンド防球ネット設置工事の完了 | ○周辺環境整備工事(外野スタンド改修)の完了 ○サブグラウンド防球ネット設置工事の完了 | 【R8成果目標】 誘致団体数:6団体 【今後のスケジュール】 引き続きプロキャンプの継続した誘致、利用者及び観戦者の増加に取り組む。 | 【R8成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 |
| 2 | ① | | 金武町就職活動支援補助事業 | H27 ～ R8 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。 ①各種講座15回 ②キャリア教育8回 (小学校3回、中学校5回) ③合同企業説明会1回 | ①就業率10%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心がわいたという回答が80%以上 | 【今後のスケジュール】 今回の国勢調査までに、本町の完全失業率を沖縄県の完全失業率より下回ることを目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・就業率・資格取得率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ② | | 観光地周辺環境美化事業 | R5 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。 | 観光地へのアクセス道路及び公園(観光資源)の環境美化実施 | 本町が観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 対象路線(23路線)を3回/年作業を実施する。 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 金武町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|---|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ① | 小中学校学習等支援事業 | H24 ～ R13 | 児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、英語教育指導員・英語コーディネーターを配置する。 | 小中学校学習等指導員配置数 7名 (内訳) ○英語教育指導員 小学校:4名 中学校:2名 ○英語コーディネーター 教育委員会:1名 | 児童・生徒にアンケートを実施し英語の授業は楽しかったと回答した割合が95%以上 | 【今後のスケジュール】 R6 7人配置 R7 7人配置 R8 7人配置 R9 7人配置 R10 7人配置 R11 7人配置 R12 7人配置 R13 7人配置 ※年度ごとにアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 アンケートの結果(R4)を踏まえ設定した。 |
| 3 | ② | 特別支援教育支援事業 | H24 ～ R13 | 支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。 | 特別教育支援員配置数 19名 (内訳) ○幼稚園1名 ○小学校14名 ○中学校4名 | 特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業の在り方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 R6 19人配置 R7 19人配置 R8 19人配置 R9 19人配置 R10 19人配置 R11 19人配置 R12 19人配置 R13 19人配置 ※引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員の配置をし、個々に応じたサポートを行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ③ | 金武町ハワイ短期留学派遣事業 | R2 ～ R13 | 現地での授業やホームステイでの生活の中で、より実践的な英語を学ぶ・体験することにより幅広い視野と国際感覚を養うことで、時代のニーズに対応する人材の育成を図る。 | ○町内在住の中学生・高校生(10人)及び引率職員(1人)をハワイへ派遣 ○「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発刊(帰国後) | 短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより、本当該事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 R6 10人派遣 R7 10人派遣 R8 10人派遣 R9 10人派遣 R10 10人派遣 R11 10人派遣 R12 10人派遣 R13 10人派遣 ※引き続き海外において異文化等を体験できる機会を確保し、人材の育成に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な広い視野が持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 金武町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|--|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ④ | 金武町立学校ICT機器機能強化事業 | R6 ~ R13 | 画面の明瞭さや円滑な画面の切り替えなどよりわかりやすい授業の実施を目指し、児童・生徒の学習習熟度の向上に寄与すること目的として、町内各小中学校へテレビ型電子黒板を整備する。 | テレビ型電子黒板の整備 10台 | 児童・生徒にアンケートを実施し、テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかったと回答した割合が80%以上 | 【今後のスケジュール】 R6 10台更新 R7 10台更新 R8 10台更新 R9 10台更新 R10 10台更新 ※年度ごとにアンケートを実施しその効果を確認する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 テレビ型電子黒板へ更新したことにより既存のプロジェクター型電子黒板よりも画面の明瞭さが改善され授業がわかりやすかったと回答した割合が80%以上とした。80%以上の設定については、概ね肯定的な意見としての数値を設定した。 |
| 4 | ① | 金武町海外移住者子弟等研修生受入事業 | H29 ~ R12 | 海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。 | 受入人数:3人 研修期間:8月~12月の間の約4ヶ月間 研修報告(閉講式):1回 | 研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 引き続き伝統芸能等の文化教養の継承及び人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材を育成し、本町との交流への活動参加人数を前年度比100%以上にする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 各国金武町人会の会長及び役員等へアンケートを実施し、当該事業のあり方を検証できるものとしている。 |
| 4 | ② | 金武町移民の日記念事業 | H29 ~ R12 | 本町の移民の歴史を継承するため、當山久三顕彰式等を実施する。 | 移民の歴史を次世代へ継承する取り組みの実施 | 移民の日関連事業参加者:500人以上 参加者対象アンケートにおいて、「移民の歴史に対する理解が深まったか」:80%以上 | 事業参加者に対するアンケートで、移民の日記念事業に参加する前と後で、町民としての誇りが高まったかについて(80%以上)を目標とする。 【今後のスケジュール】 移民発祥の地として、當山久三の偉業・功績を顕彰し、移民の歴史の周知及び国際感覚豊かな人材育成に取り組む。 | 【R6成果目標設定の根拠・考え方】 事業参加者において、「移民の歴史に対する理解が深まったか」を含め、当該事業目的の達成に繋がったかを検証する為、アンケートを実施する。 H31(R1)年度:94.3% R2年度:83.6% R3年度:各学校へ依頼 (R4年度中に実施) |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊江村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|-------------------|-----------------|--|--|--|---|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 伊江村ハブ対策事業 | H24 ～ R13 | 本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている目撃場所や観光地の清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。 | ・ハブ生息地の清掃実施 ・捕獲器25基設置 (週1回の巡回) | ・ハブ咬傷による健康被害0件 | 【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | 伊江村自動車航送コスト負担軽減事業 | H26 ～ R13 | 離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。 | 車両航送に対する運転手1名分の運賃補助 | 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。 |
| 3 | ① | 村花・世界のゆり植栽推進事業 | R4 ～ R13 | 観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。 | ゆりの植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球 | 令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 30,000人 | 【R6成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 (R6目標 30,000人) | ※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H30:26,000人 H31:36,000人 R2 :中止 R3 :中止 R4 :4,500人 R5 :28,000人 |
| 3 | ② | 観光地クリーン事業 | H27 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 城山周辺、リリーフィールド公園、ミースイ公園、伊江港周辺、ニヤティヤ洞、湧出、青少年旅行村 ・乗用芝刈り機備品購入事業の実施。 | 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につながるべく、観光振興の取り組みを継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ③ | 観光誘客整備事業 | H26 ～ R13 | 伊江村への観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施するとともに、観光案内人を配置し、来島者の利便性を確保する。 | ・観光誘客プロモーション ・イベント事業の実施 ・観光名所整備の実施 ・観光誘導サイン整備の実施 | ・伊江村の入域観光客数13万人 ・観光客の利便性確保(アンケート満足度80%以上) | 【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベントを継続的に開催して島の魅力を伝えることにより、今後の夏場や冬場の観光需要をさらに高めていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業の目的である利便性(満足度)が確保されたかどうかを含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上とした。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊江村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|---------------------|-----------------|--|---|--|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 3 | 4 | ゆり祭り活性化推進事業 | R1 ～ R13 | ・イベントの企画・運用を図るため、公募型のプロポーザルにて業者を選定する。 ・伊江港から会場等へ送迎バスを運行し、会場等までの交通利便性を図る。 | ・4月初旬までにゆり祭りイベント委託業務の発注 ・4月初旬までにゆり祭り会場等送迎バス運行委託業務の発注 | 令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 30,000人 | 【R6成果目標】 イベント企画・運用及び送迎バス等による来場者数の増 (R6目標 30,000人) | ※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 H30:26,000人 H31:36,000人 R2 :中止 R3 :中止 R4 :4,500人 R5 :28,000人 |
| 4 | ① | 確かな学力を育む学習支援員配置 | H25 ～ R13 | 学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 | ・学習支援員の配置 小学校(2校7人配置) 中学校(1校3人配置) | ・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。 | 【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取り組みを継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。 |
| 4 | ② | 各種大会派遣費助成事業 | H25 ～ R13 | 村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。 | 各種大会派遣費の助成:1,550人 | ・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | (今後の展開) 派遣費助成人数(累計) R13年度末時点:約15,500人 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。 |
| 5 | ① | 伊江村型就業意識向上支援事業 | H28 ～ R13 | 高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子供たちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。 | ・小学生48名 中学生119名 ・企業訪問・体験1回 ・職業人講話3回 ・リーダー層育成1回 | ・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 大多数の児童生徒(80%以上)に就業意識の向上が図られるよう展開していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 自動生徒の就業意識向上が目的であるため、大多数の児童生徒が目的達成したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。 |
| 6 | ① | 伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業 | R2 ～ R7 | 村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。 | 整備工事の実施 | 整備工事の実施完了 | 【R6成果目標】 ・施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 | 【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和学習の促進が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊江村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-------------------|-------|--|---|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | ① ICT支援員配置事業 | R3～R7 | <p>教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図る。</p> <p>また、教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業や学習教材等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) 教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上) | <p>事業の成果目標として、対象者のうち概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p> | <p>今年度は、独自に導入したデジタル学習教材を授業と連動して効果的に活用し、児童・生徒の興味や集中力を高め、学力の向上につなげていく。</p> | - | |
| 8 | ① ひとり親世帯等学童利用支援事業 | R4～R6 | <p>ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。</p> | <p>ひとり親家族等に対して利用料を減免した学童保育施設に対し、補助を行う。</p> | <p>安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p> | <p>【今後のスケジュール】引き続き利用者への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。</p> | <p>【R5成果目標設定の考え方】保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。</p> | |
| 9 | 1 伊江村循環型農業促進事業 | R4～R7 | <p>堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。</p> | <p>・堆肥散布車購入</p> | <p>堆肥製造量: R6年 3,000t</p> | <p>【成果目標】堆肥製造量 R5: 2,500t R6: 2,500t R7: 3,000t</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】過去3か年の製造量実績の平均値を上回ることを目標として設定した。 【販売実績参考】 R3: 1,886t R4: 2,477t R5: 2,500t(予定)</p> | |
| 10 | ① 優良繁殖雌牛増頭支援事業 | R5～R7 | <p>本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。</p> | <p>優良繁殖雌牛(子牛・初妊牛)の計画導入補助: 60頭(年間)</p> | <p>活動目標指数(年間: 60頭導入)の達成(優良繁殖雌牛を60頭導入し、繁殖雌牛飼養頭数拡大及び優良遺伝素牛の増加が期待され、子牛市場上場頭数の拡大及び伊江村畜産総合施設の利用促進を図る。)</p> | <p>事業実施前における伊江家畜市場への子牛出荷実績から、事業最終年度の令和7年度に上場頭数の10%増加を目標とする。</p> <p>(期待される事業効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家畜市場開設時の子牛上場頭数の増加 優良血統交配牛の地場増産 村内和牛ブランドの確立(伊江島牛) 繁殖雌牛群の飼養頭数増加 「伊江村畜産総合施設」の利用促進 | <p>「伊江村畜産総合施設」とは、令和5年4月1日から開設した生産者から母牛及び子牛を受託し、預託管理を実施することによって、生産者が施設預託することにより、自らの牛舎施設に空きスペースが生じ、新たな繁殖雌牛を導入又は保留し、自牛舎の面積はそのままに、総合施設を利用しながら多くの繁殖雌牛を飼養することが可能となっている。 繁殖雌牛預託頭数: 336頭規模 子牛預託頭数: 324頭規模</p> | |
| 11 | 1 消防施設等防災体制強化事業 | R6 | <p>消防団への仕様の確認から指名競争入札を実施し、発注から納車までを行う。</p> | <p>車両の発注から納車まで</p> | <p>消防団訓練の実施 12回以上/年</p> | <p>車両の使用方法等を消防団員が熟知し、現場の活動で放水活動や車両の装備等を活用し迅速に消火。救助活動が行えよう訓練を実施する</p> | - | |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 読谷村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|--------------------|-----------------|--|--|---|---|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 危険生物駆除事業 | H25 ～ R13 | より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。 | ・観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器300器設置 ・定期的な巡回・管理の実施及び処分 ・餌用マウスの飼育(繁殖)管理 ・危険周知看板100枚の管理 | 村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件 | 【今後のスケジュール】 咬傷被害場所や、設置箇所における捕獲数等を参考に、設置箇所の変更等柔軟に事業を執行し、個体数の減少、咬傷被害0件を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 読谷村スポーツコンベンション促進事業 | H24 ～ R6 | スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施し、観光誘客を図る。 | ・各種スポーツキャンプ等誘致活動(3回) ・キーパーソン招へい(2団体以上) ・実証キャンプ支援(2団体以上) ・キャンプチーム本拠地等での観光誘客活動(3回以上) ・キャンプ期間中の集客イベントの実施(1回以上) ・受入体制強化・協議会運営 | ・スポーツコンベンション受入件数・・・18件以上 ・県外誘客イベントPR観客数・・・48,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数・・・20,000人以上 | 【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ等について、新規及び継続的なチームについて誘致を行い、地域への波及効果の最大化を図るために受入体制の強化も行う。また、県外においてファン層等に向けた観光・物産のPRイベントや一年を通じた情報発信を行うことで、村内への誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |
| 1 | ③ | 農村風景環境保全事業 | R6 ～ R13 | 観光地周辺道路等の環境保全(除草・清掃・剪定)を行い、本村の魅力ある沖縄らしい農村風景を保全・活用することで、快適で魅力ある観光地づくりを図る。 | ・除草:農道L=4,850m、防風林帯L=4,850m、沈砂池S=7,500㎡ ・清掃:農道L=4,850m、防風林帯L=4,850m、沈砂池S=7,500㎡ ・剪定:防風林帯L=3,330m ・伐採:沈砂池3箇所 | 農村環境について、観光地としてふさわしい農村風景になっているかについてアンケート等実施。観光地としてふさわしいと回答した割合80%を目標とする。 | 【今後のスケジュール】 魅力的な観光地としての農村景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や観光関係団体等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ④ | 読谷村防災景観形成推進事業 | R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 電力・通信ケーブル管路の敷設及び入線工事の実施 | ・電線等の地中化503m | 【今後のスケジュール】 R6:電力・通信ケーブル管路の敷設及び入線工事の実施 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業は、元々電柱の無い地区に無電柱化により電力を供給するものであることから、その成果を客観的に評価するため設定した。 |
| 1 | ⑤ | 残波岬ボールパーク機能強化事業 | R6 | 残波岬ボールパークの機能強化により、利活用の向上を図るとともに、スポーツコンベンション誘致の一層の充実を図る。 | ・実施設計の実施 ・機能強化工事の実施 | ・実施設計の完了 ・機能強化工事の完了 | 【R7成果目標】 ①スポーツキャンプ受入数5回以上 ②大会の開催受入数1回以上 【今後のスケジュール】 R6:実施設計・機能強化工事 R7:供用開始 | 【R7成果目標設定の考え方】 残波岬ボールパークの機能を強化させることにより、施設の利活用が向上したことを客観的に評価するため設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 読谷村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|---------------------------|-----------------|---|--|--|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ① | 特別支援教育支援員配置事業 | H26 ～ R13 | <p>村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するための支援員を配置する。</p> | <p>・村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 ・村立5幼稚園:各1人 ・村立5小学校:各2人 ・村立2中学校:各2人 ※必要に応じて支援人の配置に変更あり ・村立幼稚園、小中学校に23名の特別支援ヘルパーを配置 ・教育委員会に特別支援教育専門員を2名配置</p> | 特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上 | <p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。</p> |
| 2 | ② | 中学生海外ホームステイ派遣事業 | H25 ～ R13 | <p>海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。</p> | 村内在住の中学生を英語圏へ派遣 | <p>【保護者を対象としたアンケート】帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以上</p> | <p>【今後のスケジュール】 継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。</p> |
| 2 | ③ | ICT機能強化事業 (中学校デジタル教科書) | R2 ～ R6 | <p>ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、中学校にデジタル教科書を整備する。</p> | デジタル教科書の整備(村立2中学校) | デジタル教科書の整備の完了(村立2中学校) | <p>【R7成果目標】 デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合80%以上</p> | <p>【R7成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケートにより検証する。対象者のうち大多数において授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。</p> |
| 2 | ④ | 人材育成施設整備支援事業 | R6 ～ R8 | <p>本村が「知の拠点」として建築中の(仮称)読谷村総合情報センターに、科学の持つ可能性を引き出す沖縄科学技術大学院大学(OIST)スペースを創設する。</p> | 人材育成施設整備費用に係る補助 | 補助の完了 | <p>【R8成果目標】 年間利用者数10,000人</p> <p>【今後のスケジュール】 R6:実施設計の補助 R7:工事監理・建設工事の補助 R7:供用開始(R7.10月予定)</p> | <p>【R8成果目標設定の考え方】 (仮称)読谷村総合情報センターの目標来客者数を参考に設定した。</p> |
| 3 | ① | 沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業 | H25 ～ R13 | <p>現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベース及び辞典などを作成・公開する。</p> | <p>・①HPへ単語・民話・音声の追加・追記と公開 ・②辞典作成のための語彙データベースの内容推敲(語彙数1万4千件以上) ・③講座実施回数20回</p> | <p>・①HP表示回数:9万件以上 ・②辞典作成のための原稿執筆・確認 ・③総受講者人数550人及び講座満足度80%以上</p> | <p>【今後のスケジュール】 これまで事業内で取り組んできた集大成として体系的なしまくとぅば辞典として令和7年度に発刊する。 講座は、質量ともに向上に努め、しまくとぅばに親しむための普及活動とともに日常的に用いることができるような実践的講座を展開していく。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 ・①HPの総閲覧回数。R5年度実績より推定。 ・②辞典作成:数量設定が困難。辞典の原稿約8割完了。 ・③講座実施回数、受講者数:質量を担保するためR5年度と同等。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 読谷村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|--|---|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ② | 歴史資料の整理活用事業 | R4 ～ R13 | <p>沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。また、貴重資料から順次デジタル化、データベース化をすすめ公開する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ①村史収蔵貴重資料のデジタル化及びファイリング(1960年代公文書・屋良朝苗寄贈アルバム写真・戦後地籍調査地図など)。 ②終戦直後村復興に関わる貴重資料をHPへ追加、公開。 ③収蔵資料の整理、目録化。 ④1980年頃からの読谷まつり映像データベース(検索システム)HP公開。 ⑤令和5年度作成HP運用。 | <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル化写真点数約2,700点、デジタル化資料数約100件(約16,000枚)。 ②公開資料点数100点。 ③村史編集室収蔵図書・資料約1万点。 ④1980年頃からの読谷まつり映像約80本(1本約2時間)をHP公開。 ⑤HP表示回数8,500回以上。利用満足度80%以上。 | <p>【今後のスケジュール】 所蔵資料の整理を進める過程で貴重資料あるいは資料の閲覧需要が見込まれると位置づけられた資料のデジタル化や公開を順次行う。 R7年度は、R6年度デジタル化する屋良朝苗寄贈アルバムの公開予定。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①概算できたデジタル化可能資料件数。 ②概算できたHP公開可能資料点数 ③令和5年度と同等に設定。 ④概算できた公開可能資料点数。 ⑤R5年度公開HPへのアクセス数。R3年公開しまくとうばHP初年度アクセス数5,646回の約1.5倍に設定。HP上での実施アンケートで読谷村の歴史・文化への理解が深まったと回答した割合。 |
| 3 | ③ | フィールドミュージアム整備活用事業 | R5 ～ R13 | <p>グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、世界遺産座喜味城跡へと続く沖縄・読谷村の歴史と魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用することで、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。</p> | 基本設計の実施 | 基本設計の完了 | <p>【R9成果目標】 「大湾アガリヌウガン遺跡を訪れた人数：10,000人」</p> <p>【今後のスケジュール】 【大湾アガリヌウガン遺跡】 令和5年度：用地購入 令和6年度：基本設計 令和7年度：実施設計 令和8年度：整備工事 令和9年度：供用開始 【村全域】 令和9～令和13年度：フィールドミュージアム整備・活用</p> | <p>【R9成果目標設定の考え方】 「関連施設への周遊起点として、新たな文化観光施設としての活用を図ること」を検証するため設定した。</p> |
| 3 | ④ | 読谷まつり活性化事業 | R6 | <p>観光誘客及び地域の伝統芸能・文化の継承・創造・発展を図るため、第50回読谷まつりの開催を支援する。</p> | 読谷まつり開催の支援 | まつり来場者数 93,500人 | <p>【今後のスケジュール】 今後もまつりを通して観光誘客を図り、地域活性化に繋げる。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> |
| 4 | ① | 読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業 | H26 ～ R11 | <p>本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外へマーケティングやプロモーションを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・県外PR及びテストマーケティング（3回） ・観光客向け県内プロモーション（3回） ・周知用媒体ツール（琉球ガラス・ヤチムン冊子、パンフレット）の作成。多言語版の作成も実施。 ・国外PRに向けた調査 | <ul style="list-style-type: none"> ①テストマーケティングによる売上額 741,878円 ②やちむん市でアンケートを行い、県外の「初来場」回答者数120人 ③商談件数 25件 | <p>【今後のスケジュール】 継続的に県外プロモーションを実施しながら、コロナ禍収束に伴う旅行需要の拡大に伴う現地消費を目的とした観光誘客も検討する。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。</p> |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 読谷村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------------|---------------|--|-------------------------------|-----------------------------|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ① | 読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業 | R1 ～ R7 | 読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。 | 崖地対策実施設計の実施 | 区画整理地の開発可能区域増 約3,048㎡ | 【今後のスケジュール】 今後も引き続き大木土地区画整理事業に取り組み、読谷補助飛行場跡地「大木地区」の土地利用を促進する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 崖地により影響を受ける区域の面積を用いて設定した。 |
| 5 | ② | 楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備事業 | R1 ～ R7 | 悲惨な戦争を引き継ぐとともに、ガマという特徴的な自然資源を保全し、均衡のとれた整備・保全により、戦跡・平和学習を核とした総合的な学習の場として新たな観光地づくりを図る。 | 整備基本設計の実施 | 整備基本設計の完了 | 【R12成果目標】 「シムクガマ戦跡・カー森広場を訪れた人数:9,000人以上」 【今後のスケジュール】 令和6年度:基本設計 令和7年度:実施設計 令和8～10年度:用地購入 令和11年度:整備工事 令和12年度:供用開始 | 【R9成果目標設定の考え方】 H26年度策定の「楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画」で設定した入込目標を基に設定した。 ※H26年調査時の現在の入込数 約5,800人 |
| 6 | ① | かんしょ生産振興事業 | R5 ～ R7 | 特産品である紅いもの安定した生産体制を確保するため、かんしょ生産に係る機械を整備する。 | いも類収穫機の整備 1台 高圧蒸気滅菌器の整備 1台 | いも類収穫機の整備完了 高圧蒸気滅菌器の整備完了 | 【R8成果目標】 R5年度比 ①生産農家数 5%増 ②作付面積 1ha増 【今後のスケジュール】 R5年度:いも類収穫機の整備 R6年度:いも類収穫機及び高圧蒸気滅菌器の整備 R7年度:農業用機械及び運搬車の整備(運用スケジュール) 導入次第順次運用を開始する。 | 【R8成果目標設定の考え方】 整備した農業用機械を活用したことによる生産体制の確保に対する客観的な評価を図るため、生産農家数及び作付面積を指標に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 嘉手納町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------|-----------------|--|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 観光プロモーション事業 | R3 ～ R13 | 観光誘客を図るため、観光関連イベント等においてプロモーション活動を行う。また、観光客の利便性の確保のため、町の観光主要施設等への誘導案内板等を整備する。 | ・観光イベントへの出展(8回) ・誘客イベントの実施(2回) ・誘導案内板等の設置 | 町入域観光客数 592千人 誘客イベント来場者数 2.4千人 | 【今後のスケジュール】 今後も魅力的な観光情報を発信し、本町を知ってもらう機会を創出し、成果目標達成に繋げていく。 【将来的な観光入込客数】 100万人 (第1次・2次嘉手納町観光振興基本計画内において設定) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 観光振興推進事業 | R5 ～ R6 | 本町の観光振興を推進するため、第3次嘉手納町観光振興基本計画を策定する。 | 基本計画の策定 | 基本計画策定の完了 | 【R7成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R5 基礎調査実施 R6 観光振興基本計画策定 | 【R7成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。 |
| 2 | ① | 学習支援事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学習内容の定着状況に応じた学習支援を行う。 | 学習支援員の配置数 小学校:6人 中学校:3人 | 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県平均並み、それ以上 中学校:県平均-5ポイント以内 | 【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、「県の正答数に満たない児童生徒」へ重点的に支援するとともに、対象者に合わせた補習の内容の工夫や対象者を明確にして関わる職員で共有することで、支援の効果を高め小学校平均正答率県平均並若しくはそれ以上、中学校:県平均-5ポイント以内を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 嘉手納町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---------------|-----------------|--|--|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ② 英語力強化事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 英会話指導員の配置数 小学校:2人 中学校:1人 | 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、英語に関する意識調査により本事業の在り方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 〈小学校〉 学級担任が授業のなかで英会話指導員(ALT)をモデルとして会話等を例示したり、児童のアウトプットを中心とした授業への転換を強化しアンケートにて英語への関心を80%高めることを目標とする。 〈中学校〉 授業の中で英会話指導員(ALT)と教科担当教師との会話等を適切に例示したり、生徒のアウトプットの機会を多くする実用的な英語学習の充実の強化を図りアンケートにて英語への関心を80%高めることを目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 | |
| 2 | ③ 生徒指導強化事業 | H24 ～ R13 | 居場所づくりを中心として、対象生徒への支援の充実を図るために中学校へ生徒指導支援員を配置する。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等々のネットワークを構築するために教育委員会へスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置する。 | 生徒指導支援員 配置数:2人 スクールソーシャルワーカー(SSW) 配置数:1人 | 不登校出現率 2.7%以下 | 【今後のスケジュール】 不登校の要因が「遊び非行型」から「心因的な要因」へと移行してきていることをうけ、要因の「心理的な要因」をさらに細かく分析し、要因に合わせた対応をおこなう。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等々のネットワークを構築し不登校出現率2.7%以下を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 | |
| 2 | ④ 秋田県交流学習体験事業 | H26 ～ R7 | 小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、講話や授業研究会を通して、教職員の研修を行う。 | ＜秋田県への派遣＞ 児童生徒:20人、教員:9人 ＜秋田県からの招聘＞ 教員:3人 | ①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたと回答 ②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組むでると回答 | 【今後のスケジュール】 コロナ過において前年度においては、事業を実施できなかった。感染症対策を万全に行い実施するとともに、招聘教員による公開授業や事業の報告会を行い、おおたて型探求授業のよさを理解させ、各学校の授業改善を図り、アンケートで「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたことを目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ② 大館では、「子ども達の学び合いを核としたおおたて型探求授業」が展開されている。本町では、このおおたて型探求授業をモデルとした「嘉手納の探求型授業」を推進しておその授業改善への取組について、アンケートを実施し、本事業の効果を検証することとした。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 嘉手納町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ⑤ | 特別支援教育強化事業 | H28 ～ R13 | 学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行う。 | 支援員の配置数 小学校:14人 中学校:6人 | 対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置するとともに研修の内容において、具体的な多様な支援方法について充実を図り、アンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ⑥ | プログラミング力育成事業 | R6 | 情報通信関連産業と連携し、プログラミング出前講座を放課後時間に実施し、プログラミングの仕組みや思考を体験することによりプログラミング力を養い、プログラミングへの興味関心を高めることで、論理的思考力の習得やICTに親しむ | 町立学校にて、情報通信関連産業によるプログラミングの出前講座を125回以上の開催。 | 参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか(80%以上)を成果目標とする。 | プログラム思考の習得度、プログラミングへの興味関心が高まったか(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証し、講座の難易度などを習熟度とおして充実を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針やさらなる充実のために、ニーズ調査を実施する。 |
| 2 | ⑦ | 嘉手納町の沖縄戦資料保存事業 | R6 ～ R7 | 戦後70年以上経過し、戦争体験者が少なくなる中で、戦争の悲惨さや平和の大切さを後世に伝えていくため、戦争体験者が語る記録映像及びパネル、レプリカの製作を行う。 | ・14名へインタビューを行う。 ・パネル制作を行う。 | ・インタビューの完了。 ・パネル制作の完了。 | 沖縄戦の実相や平和の尊さについての継承を図るため、制作物を活用した企画展や学習会に参加した方の理解度80%以上を目指す。 令和7年度はレプリカ制作 令和8年度以降に企画展や学習会を開催予定。 | 本事業の効果をアンケート調査により確認する。 |
| 3 | ① | 雇用促進事業 | H25 ～ R6 | 求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。 | 相談窓口開設 93日 | ①相談者のうち就職が決まった人数:8人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:2.2%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。 | 【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。 【完全失業率の改善】 5.6%以下 (沖縄県の完全失業率(R14)を目標値として設定) | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | 廃棄物リサイクル事業 | H25 ～ R13 | ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。 入札を実施しリサイクラー及びバックホーを購入する。 | 草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施 機器購入の入札の早期実施 | 草木の再資源化率 100% 機器の購入 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。 【将来的な目標】 草木の再資源化率 100%を継続して続け、再生可能な街づくりに繋げる。 | 【R6成果目標設定の考え方】本事業によってごみ処理施設及び最終処分場がどの程度長寿命化されたかを計測することは困難であるが、本町から排出される草木が再資源化されることで確実に施設の長寿命化に資することから、排出された草木ごみ全てを再資源化(チップ化)することを指標として設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 嘉手納町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|----------------|--|---|---|-------------------------|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ① | 避難施設防災機能強化整備事業 | R5 ～ R13 | <p>沖縄県は島嶼県であり、自然災害による被害も多いことから、町民や観光客等の災害時の安全確保を図るため、防災非常食等の計画的な導入を図る。</p> <p>町内の避難所等における備蓄品等の必要数量の整備を計画的に行う。</p> <p>○食料等の整備 ・備蓄食料:4,050食 ・保存水(2L):225本 ・保存水(500ml) 8,100本</p> | <p>年1回以上防災訓練及び防災啓発活動等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合:「80%以上」</p> | <p>○町内の避難所等へ町内避難者及び観光客避難者等の非常食料等を整備</p> <p>・備蓄品の更新を年次的に行い、令和12年度を目標に備蓄食料数を24,327食以上(嘉手納町地域防災計画:食料等備蓄計画)とし、大規模災害等に備える。</p> | <p>備蓄食料等整備計画に基づき設定。</p> | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北谷町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|------------------|-----------------|---|--|---|--|--|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 北谷町観光物産プロモーション事業 | H24 ～ R13 | 北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、プロモーション事業を展開する。 | ・台湾におけるプロモーション ・香港におけるプロモーション ・韓国におけるプロモーション | 北谷町観光情報ポータルサイト(北谷町)日常閲覧回数 R6年度目標値:150,000回 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定 |
| 1 | ② | 北谷町観光統計調査事業 | R5 ～ R13 | 本町を訪れる観光客の動向等を調査・分析して実態を把握し、観光統計データの整備及び効果的な観光振興施策実施を図るとともに、町内観光関連事業者の事業推進に資する。 | ・観光統計調査の実施 ・報告書のオープンデータ化 | ・観光統計調査による実態の把握 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供 | 観光統計調査の結果を踏まえ、町内主要観光地の入込客数等を観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 | 本事業の成果目標は、調査結果を活用した実績について成果目標を設定すべきであるが、検証が困難であるため、定性的な指標を設定した。 |
| 1 | ③ | 第2次北谷町観光振興計画策定事業 | R6 ～ R7 | 本町の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す第2次北谷町観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。 | 第2次北谷町観光振興計画策定に向けた検証 | 第2次北谷町観光振興計画策定に向けた検証の完了 | 【R8成果目標】 令和7年度に策定予定の第2次北谷町観光振興計画の中の、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を達成する。 【今後のスケジュール】 R6 基礎調査実施 R7 第2次北谷町観光振興計画策定 R8以降 計画策定1年目 | 【R6成果目標設定の考え方】 R7計画策定において、現観光振興計画の見直し及び観光情勢の把握。 【R7成果目標設定の考え方】 R6の基礎調査を基に、令和8年度の計画実行に向けた計画の作成。 |
| 1 | ④ | サンセットビーチ改良事業 | H29 ～ R7 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 園路工、照明工、植栽工 | サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、照明工、給水工、休養施設工の竣工。 | 【R8年度成果目標】 ・サンセットビーチ利用者数 33万人/年 【今後のスケジュール】 R7 園路工、照明工、植栽工 竣工 R8 園路工、照明工、植栽工 竣工 ※R7ビーチ中央施工、R8ビーチ北側施工 | サンセットビーチ利用者数実績 H25 322,850人(最大数) H26 274,229人 H27 251,480人 H28 208,450人 H29 264,510人 H30 214,590人 R1 278,220人 R2 116,047人 R3 97,388人 R4 138,905人 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北谷町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|----------------|-----------------|--|--|--|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ⑤ | 安良波公園整備事業 | R6 ~ R8 | 人気スポットである安良波公園の園路を拡張し、利用する観光客や地元住民らの利用者による混雑を解消することで、安心して利用できる環境を整え、更なる観光誘客を図る。 | R6 実施設計(測量業務、公園設計) | 安良波公園整備実施設計のうち、測量業務、公園設計の完了。 | <p>安良波公園利用者数実績 H26 454,705人 H27 436,114人 H28 437,921人 H29 407,585人 H30 412,832人 R1 343,001人 R2 205,727人 R3 261,778人 R4 495,854人(最大数) ※R3にインディアンオーク号・バスケットコート改修を行ったことコロナ明けのため、R4利用者数が過去最大となった。</p> <p>【R9年度成果目標】 ・安良波公園利用者数 54万人/年</p> <p>【今後のスケジュール】 R7 安良波公園工事 R8 安良波公園工事</p> | |
| 2 | ① | 英語指導助手派遣事業 | H24 ~ R13 | 小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。 | 小学校4名(各校1名、幼稚園兼務) 中学校2名(各校1名) | <p>小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差1.4ポイント以上</p> | 引き続き英語指導助手を配置する | <p>【R6成果目標設定の考え方】 小学校:対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>中学校:過去実績を勘案して設定した。</p> |
| 2 | ② | 日本語指導学習支援員配置事業 | H25 ~ R13 | 日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。 | 日本語指導学習支援員配置2名 | 日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。 | <p>【今後のスケジュール】 日本語指導学習支援員を継続して配置し、日本語指導が必要な児童生徒の早期の困り感解消に取り組む。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。</p> |
| 2 | ③ | 学力向上学習支援員派遣事業 | H26 ~ R13 | 児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。 | 小学校4名(各校1名) 中学校2名(各校1名) | <p>沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.3ポイント以上 中学校 Δ1.5ポイント以上</p> | <p>【今後のスケジュール】 学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> |
| 2 | ④ | 北谷町ハワイ短期留学派遣事業 | H25 ~ R13 | 海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高中生をハワイへ短期留学させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人 ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成 | <p>学生へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業の充実を図る。</p> | - | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北谷町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ⑤ | 特別支援教育支援員派遣事業 | R6 ～ R9 | 町立幼稚園、小学校及び中学校に在籍する心身の障がい及び発達障害等を有する幼児児童生徒に対し、学校における日常生活動作の介助や、学習活動上の支援を行うため支援員を配置する。 | 特別支援教育支援員の配置 ・町立幼稚園 1～2人 ・町立小学校 4～6人 ・町立中学校 2～3人 ※支援対象人数等に応じて支援員の配置に変更あり | 特別支援教育支援員の配置により、学校生活や学習活動における幼児児童生徒の困り感が改善されたとする割合が75%以上 | 【今後のスケジュール】 支援を必要とする幼児児童生徒の増加に伴い、今後も継続的に支援員を配置し、対象幼児児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の困り感の改善が図られたと考えられる値として設定した。 |
| 3 | ① | 北谷町文化発信拠点整備事業 | H24 ～ R6 | 北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 博物館においては日本固有の縄文文化と沖縄特有の文化を体験できるサービスを町民や沖縄県民へ提供する。また、国内外から訪れる観光客にも同サービスを提供することにより、沖縄観光の新たなコンテンツ作りを目指す。 | 書架設置工事の実施 | 【R6成果目標】 年間利用客数25,000人 書架設置工事の完了 | 【今後のスケジュール】 R4～R5:整備工事 R5年度末:供用開始 R6.10月グランドオープン | 【R6成果目標設定の考え方】 博物館総合調査の統計値(同規模施設の来館者数)を考に設定した。 |
| 3 | ② | 北谷城跡活用促進事業 | R5 ～ R8 | 駐留軍用地跡地に所在する国指定史跡「北谷城跡」の公開活用を促進するため、課題の整理や各種調査を実施する。 | ・公開活用に係る課題の整理 | ・課題整理報告書の作成 | 【R7成果目標】 アンケート調査で北谷城跡を「知っている」率80%以上。 【今後のスケジュール】 ・用地境界測量や補償物件調査、土地鑑定評価を行う。 | 【R7成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |
| 4 | ① | 北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業 | H25 ～ R12 | 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)及びキャンプ瑞慶覧(インダストリアル・コリドー地区)の土地の先行取得を実施する。 | ・基金の積立 | 特定事業の用に供する土地取得目標 7,877.11㎡(達成率72%) ※達成率:先行取得目標面積(133,000㎡)に対する累積取得面積の割合 | 【今後のスケジュール】 R7:基金積立及び土地先行取得 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北谷町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | | |
|------|----|------------|-----------------|--|--|--|---|---|-------|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | R6成果目標(指標) | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| | | | | | | | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 4 | ② | 跡地利用推進事業 | H24 ～ R10 | 今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ桑江南側地区:地権者への継続的な情報提供 ・桑江第一タンクファーム地区:跡地利用基本構想(全体方針)検討、先行取得に係る条件整理及び検討 ・キャンプ瑞慶覧(インダストリアル・コリドー)地区:跡地利用基本構想作成、民間企業ニーズ調査、地権者合意形成活動 | (桑江第一タンクファーム地区) ・調査報告書の作成 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成 | <p>【R11成果目標】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【R11成果目標】 (桑江第一タンクファーム) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【R10成果目標】 (インダストリアル・コリドー) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> | 数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 | |
| 5 | ① | 里海プロジェクト事業 | R3 ～ R7 | 本町に残された自然の保全・活用を図るため、本町の沿岸、河川及び緑地に生息する生物の全体把握を行う。また、それら結果を活用し展示公開等を行い自然保全の意識醸成を図る。 | 北谷町陸域生物調査報告書を作成する。 | 北谷町陸域生物調査報告書の作成を完了。 | <p>【R13成果目標】 町立博物館、大型宿泊施設等におけるパネル展示等を行い併せてアンケートを実施し、「保全意識が高まった」80%以上。</p> <p>【今後のスケジュール】 R6、7年度: 陸域生物調査 町民参加型調査(夏季1回) R8～13年度 調査からわかった内容を活用した企画展示・観察会など R5年度末に完成予定の文化発信拠点において以下3点を念頭に成果を展示公開し利活用を図る。 ・貴重さをPRするとともに保全意識の醸成を図る。 ・観光資源としての価値を高める。 ・町、地元業者等と連携した情報共有 R13年度:第2回大規模モニタリング調査</p> | <p>【R13成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p> | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|--|---|---|----------------------------------|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 北中城まつり活性化事業 | H24 ～ R13 | 伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城まつり」を開催し観光誘客を図り、伝統芸能の担い手不足解消のために文化資産の魅力を多くの方に発信することを目的とする。 | 青年エイサーまつり: R6年8月～10月開催 北中城まつり: R6年9月～11月開催 | ・青年エイサーまつり来場者数: 9800名 ・北中城まつり来場者数: 12100名 | 【今後のスケジュール】 まつりを通じた伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継承して実施する。 来場人数を近年の平均を上回る誘客を目指す。また、まつりによる伝統芸能のPRにより地域青年会の活動の関心を高めて、団体(現在9団体)の活動維持を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |
| 1 | ② | 観光誘客プロモーション事業 | H26 ～ R13 | ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションや、データ収集分析などDXの推進を図る。また、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、観光ガイドの育成及びWebマッチングをおこない、さらなる誘客を図る。 | ・観光イベントでのプロモーション ・インターネット上での観光案内の強化 ・Googleを活用したデジタルマーケティング支援 ・テレビ取材、映画撮影等ロケーション受け入れの体制強化 | ・観光イベントPRブース来場者数: 4,447人 ・観光案内ページの閲覧数: 17,876回/月 ・Googleを活用したデジタルマーケティング支援25事業所以上: Googleマップ経路検索数前年度比120% ・テレビ取材、映画撮影等ロケーション受け入れ: 1件以上 | 【今後のスケジュール】 観光誘客のため、SNSやウェブサイトでのプロモーションの強化を図るとともに、観光イベントの実施や撮影ロケーション受入れにより、観光地としての認知度の向上に努める。 観光消費額10%増加 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |
| 1 | ③ | コミュニティバス実証事業 | H30 ～ R7 | 村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。 | ・運行日数: 350日以上 ・運行ルート: 2ルート | 年間利用者数: 14,600人 | 【今後の展開方針】 運行ルート複数案の検討結果等を踏まえ、村に最適な地域公共交通モードを決定する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |
| 1 | ④ | ウェルネスツーリズム推進事業 | R4 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・ウェルネスイベントの開催(2回以上) ・ウェルネスワークショップの開催(5回以上) ・国際ウェルネスツーリズムEXPOへの出展 | ・ウェルネスイベントへの総参加者数: 200人 ・ウェルネスワークショップへの総参加者: 100人 ・国際ウェルネスツーリズムEXPOでの商談実績: 5件 | ウェルネスコンテンツ体験人数100人/年を目指す | - |
| 2 | ① | キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業 | H25 ～ R6 | キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立した基金を活用し、公有地の先行取得を行う。 | 公共用地の取得: 203㎡ | 全体用地取得率: 100% | 【今後のスケジュール】 公共用地取得面積: 11,000㎡を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|--|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ② | キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業 | R3 ～ R9 | <p>キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、土地利用計画(案)の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係課協議の実施 跡地利用整備計画(案) | | <ul style="list-style-type: none"> 跡地利用整備計画(案)の見直し及び必要に応じ修正 | <p>【令和5年度以降】 跡地利用整備計画(案)作成後、当該計画に対する地権者の「肯定的な評価」80%以上</p> | <p>【R6以降成果目標設定の考え方】 地権者のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。</p> |
| 2 | ③ | 喜舎場住宅地区跡地利用推進事業 | H25 ～ R6 | <p>キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区整備計画案をもとに、返還予定区域の有効かつ適切な跡地利用の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成 | | <ul style="list-style-type: none"> 本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上 | <p>【今後のスケジュール】 今後も喜舎場住宅地区の跡地利用について地権者の意向を確認する。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。</p> |
| 3 | ① | 雇用サポートセンター事業 | H27 ～ R13 | <p>地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録企業の開拓:20件 求職者の個別支援:30件 | | <ul style="list-style-type: none"> 就業者数:3人 職業訓練校マッチング人数:3人 相談件数130件以上 | <p>本村の失業率は6.5%と、沖縄県の失業率の5.6%(R2調査)を大きく上回っているため、5.6%まで失業率を改善することを目指す。</p> <p>【今後のスケジュール】 求職者が求める求人企業の開拓を進め、求職者と求人企業のマッチング向上を図る。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。</p> |
| 3 | ② | ゲッジョブ連携推進事業 | H24 ～ R13 | <p>児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ジョブシャドウイングの実施(小学校2校) 職場体験の実施(中学校1校) キッズJOBクラブの実施 職業人講話及びフィールドワークの実施(高校1校) キャリア教育講演会の実施 | <p>就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。</p> | <p>追跡調査で、高校三年生にアンケートを行い、進路未決定者が限りなく0人に近づけるように取り組む。</p> <p>【今後のスケジュール】 追跡調査の結果も踏まえ、企業や学校、地域との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。</p> |
| 4 | ① | 営農支援強化事業 | H24 ～ R13 | <p>本村農業の生産力向上を目的に、栽培施設整備や技術的対応等の営農支援を実施する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 営農指導員の配置:2人 パイプハウス施設の整備補助:2基 | <p>村アンテナショップにおける村内農家の出荷額:5,380千円</p> | <p>【今後のスケジュール】 農業者に対し生産・販売体制の支援を行うことで、農業経営の安定化に取り組む。 指標:JA北中城支店における出荷数量の対前年度比で出荷数量が伸びているかを対象とする。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|--------------------------|-----------------|--|---|---|--|---|
| 事業番号 | パ | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 4 | ② | 農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業 | H30 ～ R7 | 耕作放棄地を利活用するため、民間事業者による医食同源・農福連携・健康長寿への取組支援及び円滑な事業展開を図るためのエリアマネジメント組織設立に向けた支援を実施する。 | ・第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備支援。 ・第二段階及び第三段階整備に関する民間事業者による施設変更計画作成支援。 ・第四段階整備に向けた事業計画の策定。 | ・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)のバイオガス発電等の開始(仮稼働) ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた施設変更計画の策定 ・第四段階整備の実現に向けた事業計画の策定 | 【今後のスケジュール】 ・R6年度では、第四段階整備に向けた事業調整・整備着手への準備作業、第一～第三段階整備の円滑な実施に向けた調整会議の定期開催、村内外への情報発信 ・R7年度では、第五段階及び第六段階整備に向けた事業調整・整備着手への準備作業 【令和11年度成果目標】 ・耕作放棄地の利活用:11,433㎡(第四段階整備区域) | 【R6・R7成果目標設定の考え方】 令和2年度の作業で成果について明確化するものとして設定した。 現時点で定量的な指標を設定することが困難であることから、当該計画に基づき里づくりを推進する。R6年度から詳細検討に着手する。各段階事業者が異なり開発時期を順を追ってする必要があるのである。たまた、農振除外がR11年度に予定しているため、合わせてR11年度に着手予定とする。 |
| 5 | ① | 総合英会話指導支援事業 | H24 ～ R13 | 生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、公立小中学校に英会話指導員を配置する。 | 英会話指導員の配置 ・小学校:1人 ・中学校:1人 ・幼小兼務:1人 | ・英語検定の受験者数:237人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しいと感じる割合80%以上 | 【今後の展開方針】 国際性豊かな人勢育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。 興味関心度合について、アンケート結果に加え、英語検定等の受検率が、小学6年生は8割以上、中学生は6割以上の場合に高まっていると判断する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。 ・大多数が楽しいと感じると考えられる数値として「80%以上」とした。 |
| 5 | ② | 国際人材育成事業 | H24 ～ R13 | 英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、IT機器を活用し、英語検定4級、3級に対応した英語講座を実施する。 | 前期30名、後期30名 | ・受講者の英語検定4級、3級の取得率70%以上 | ・継続した事業展開により、中学校卒業までに、英語検定4級、3級の取得率を全体の30%以上とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・毎年度60名の受講者を輩出し、他受験者も併せ、中学校における資格取得者の増員する。 |
| 5 | ③ | 海外移住者子弟研修生受入事業 | H24 ～ R13 | 南米3カ国(ペルー、ブラジル、アルゼンチン)から海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研修生を受け入れる。 | ・海外移住者子弟受入人数:3人 ・研修報告会:1回 | ・受入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後の展開方針としては、各国村人会の役員交代がある際には、元研修生が役員に就任するよう村人会へ働きかける。 | 【R6成果目標設定の考え方】 指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。 |
| 6 | ① | 歴史まちづくり計画策定事業 | R4 ～ R6 | 本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり計画を策定する。 | ・歴史まちづくり計画策定委員会の開催:3回 ・歴史まちづくり計画策定協議会の開催:3回 ・文化財保護審議会の開催:1回 ・関係省庁との協議:5回 | 歴史まちづくり計画書の認定 | 【今後のスケジュール】 本村の歴史文化を活かしたまちづくりを発信し観光客誘客につなげるとともに、地域の方々の保全継承の意識向上を図る。 R4～R5:村による計画(案)策定 R6:計画の修正、国への申請及び計画の認定 | 【R7成果目標設定の考え方】 対象エリアの住民の大多数が、計画を踏まえたまちづくりに期待する意向を示す値として「80%以上」を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | ② | 米国統治下の北中城村実態調査事業 | R4 ～ R8 | 米国統治下における本村の歴史的経過(集落復興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移など)を明らかにするため、各種調査を実施する。 | ・村関連資料の整理 ・住民保管資料の収集及びデータ化 ・原稿作成 | ・村関連資料のデータ化(2課) ・住民保管資料のデータ化(3集落) ・原稿作成(2課) | 【今後のスケジュール】 報告書配布先へアンケート調査を実施し、米国統治下の北中城村の様子について理解できたと回答する割合が8割以上を目指す。 R4～R7:資料収集及び既存記録の整理 R8:編集校正・冊子発刊 | 【R9成果目標設定の考え方】 報告書利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として「80%以上」を設定した。 |
| 7 | ① | 特別支援教育支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。 | 特別支援員を配置する。 ・小学校:11人 ・中学校:4人 ・幼稚園:4人 | 支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。 | 【今後の展開方針】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。 アンケートによる保護者の満足度80%以上の継続維持。 | 【R6成果目標設定の考え方】 大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |
| 7 | ② | 学習支援員配置事業 | H27 ～ R13 | 学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。 | 学習支援員の配置 ・小学校(2校):2人 ・中学校(1校):1人 | 沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(21.9%以下) 中学2年生:数学(41.6%以下) ○無答率 小学5年生:算数(9.8%以下) 中学2年生:数学(11.6%以下) | 【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、学習支援の指導力向上を図るため、学校間で連携協働し、各学校における成果・課題を共有するとともに、引き続きR3年度から導入されている1人1台端末を活用しての授業における支援が行えるよう研修等でのスキルアップを図る。 沖縄県平均以下を維持する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。 |
| 7 | ③ | 児童生徒の県外派遣旅費等支援事業 | H29 ～ R13 | 児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用について補助を行う。 | 県外への派遣団体数:6団体(118人) | 派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 | 【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成に取り組む。 保護者アンケートによる、「派遣された児童生徒の視野が広がった」との回答について、80%以上を維持する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。 |
| 7 | ④ | 小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業 | H29 ～ R13 | 県外大会への参加を村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対して航空運賃を補助する。 | 派遣者数50人 | 保護者アンケート「子どもの視野が広がったか」80% | 本事業の周知活動を引き続き行いながら、目標派遣人数及び成果目標の達成につなげていく。人材育成に繋がったかを検証する手段として引き続き保護者アンケートを実施し、「子どもの視野が広がったか」80%以上達成を目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-----------------|---------------|---|-------------------|---------------------|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 8 | ① 屋宜原地区避難道路整備事業 | R4 ~ R5 | 北中城村の大型宿泊施設へのアクセス道路である仲順屋宜原線について災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、災害に強い避難道路としての整備に必要な予備設計を実施する。 | ・実測図を用いた道路改良範囲の決定 | 実測図を用いた道路改良範囲の決定の完了 | 【今後のスケジュール】 R4~R5: 道路予備設計 R6: 実施計画 R7~R8: 整備工事 【R9成果目標】 住民アンケート: 整備した避難道路について、安心安全に利用できると答えた割合(80%以上) | 【R9成果目標設定の考え方】 道路利用者のうち大多数が本路線の整備効果に満足していると考えられる値(80%以上)とした。 | |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|---------------------------|-----------------|--|--|---|---|-----------------------------------|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業 | R4 ～ R13 | 地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。 | ・誘致戦略の策定 ・住民ニーズ調査の実施 | ・誘致戦略策定の完了 ・住民ニーズ調査にかかる報告書策定の完了 | 【今後のスケジュール】 (R7年度) ・観光客ニーズ調査 ・サウンディング ・交通アセスメント策定 ・公募要件整理 (R8年度) ・周辺インフラ整備 ・地域住民説明等 ・事業者公募 (R9年度) ・既設建物解体 ・施設整備 (R10年度) ・施設供用開始 | - |
| 2 | ① | 吉の浦公園施設機能強化整備事業 | H28 ～ R6 | 本村のごさまる陸上競技場におけるキャンプ誘致を推進することでスポーツコンベンションを魅力とした観光メニューを実施するとともに、スポーツ振興の拠点である吉の浦公園等施設の機能強化を行う事で、スポーツを活かした観光振興を図る。 | ①ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 ②吉の浦野球場照明LED化 ③防犯カメラの設置 | ①プロサッカーチームの合宿誘致件数3件、・大学チーム等のキャンプ受入 ②吉の浦野球場照明LED化の完了 ③防犯カメラ整備の完了 | 【R7成果目標】 年間利用客数人:38,300人 【今後のスケジュール】 R6:事業整備 | 【R7成果目標設定の考え方】 施設利用実績を参考に設定した。 |
| 1 | ③ | 防災体制整備事業 | R6 | 沖縄県は地震や台風等の自然災害が多く、本村は津波被害や土砂災害の危険性の高いことから、自然災害に強い村づくりを推進していくため防災基盤の整備を実施する。また、災害時に支援物資が届くまでの対応として食糧を備蓄し、住民の安心・安全を確保する。 | ・防災行政無線機の整備一式 ・防災放送アプリの導入 ・食糧の備蓄 1,500食 | ・防災無声難聴地域の解消 ・非常食の備蓄率100% | ・聞取りに問題がないか継続して調査を行い防災体制の維持に努める。 ・非常食の賞味期限等を確認しながら定期的な補充を行い、常時備蓄率100%を維持する。 | - |
| 2 | ② | プロサッカーキャンプ支援事業 | H25 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプ環境を確保するための支援を実施 ・グッズ販売やトレーニングマッチを開催 ・スタンプラリーを実施 | キャンプ見学者数:9,000人 | - | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|---------------------------|-----------------|---|---|--|---|-------|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ③ | 観光地周辺環境美化事業 | H29 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。 | アクセス道路の美化清掃の実施 | 魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | - | - |
| 2 | ④ | 中城護佐丸まつり事業 | H25 ～ R11 | 地域に対する誇りと愛着を醸成し、中城に住む人、訪れる人、関わる人が、「中城が好き」「中城に住みたい」と思えることを目的として、村民の共有財産である歴史的風土や文化的背景を、村内、村外問わず多くの人に共有する村民参加型イベントとして「中城護佐丸まつり」を開催する。 | 中城護佐丸まつり開催に係る運営費の補助 | 来場者数:1日5,000人 | - | - |
| 3 | ① | 海外移住者子弟研修生受入事業 | H26 ～ R8 | 海外に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、沖縄の歴史や文化に触れ、村民との交流を通し、ナカグスクンチュアイデンティティーの確立を目指す。社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、国際交流思想の高揚、移住国と中城村との友好親善に資することを目的として実施する。 | 受入人数:3名以内 | 沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する | 【今後のスケジュール】 引き続き村において中城村出身の子弟の研修を実施し、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成し、今後の双方の発展につなげる。 | - |
| 4 | ① | 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業 | H24 ～ R13 | ・ICT機器を使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保 ・教員のICT機器活用の習熟 | ICT機器を使用した授業支援 | ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 | - | - |
| 4 | ② | きめ細かな児童生徒支援事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。 | ①特別支援員配置 10人 小学校 8人 中学校 2人 ②相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人 | ①特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率37%以上 | - | - |
| 4 | ③ | 学力向上のための学習支援事業 | H29 ～ R13 | 将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。 | ・学習支援員配置 中学校2人 | ①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-2.4ポイント以上 | - | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|-----|---|------|--------------------------|-----------------|---|---|--|---|--|
| パ | 細 | | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 4 | ④ | | 子育て保育支援事業 | H29 ～ R13 | 特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行う | 加配保育士 31名 | 保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | - | - |
| 4 | ⑥ | | オンライン英会話学習支援事業 | R5 ～ R13 | 英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのオンラインを活用した小・中学生向けの英会話講座を実施する。 | 中学クラス:前期32回、後期32回 小学クラス:前期32回、後期32回 | ・英語習熟度(期末テスト) ・講座を受けた生徒全員80点以上(100点中) | 継続した事業展開により、米国語学教室(ESL)レベルに到達できるよう、受講生の取得率向上を目指す。 | - |
| 5 | ① | | 歴史的資料整理公開活用事業 | R4 ～ R9 | 資料の公開に向け、寄贈資料の情報収集・調査・分析を行う。また、資料の展示会を開催し、広く資料の周知を図るとともに、資料に関する情報収集を行う。 | ・資料の情報収集・調査・分析 ・展示会の開催 | ・公開優先度の高い資料のタイトル付与作業の完了 ・展示会の開催:来場者数4,000人 | R6～R7:資料に関する情報収集・調査・分析 R7～R8:公開システムの検討、システム構築、公開準備 R9～:資料の公開 | - |
| 5 | ② | | 文化財整備事業 | R4 ～ R6 | 村指定文化財「県道開削記念碑」の環境整備に向けた工事を実施する。 | ・工事の実施 | ・工事の完了 | R6～:整備した文化財は、村や観光協会のホームページ、護佐丸歴史資料図書館の文化財情報システムのWeb上での公開など情報の発信、文化財巡り等での活用を図っていく。 | - |
| 6 | ① | | 中城村農業振興推進事業 | H30 ～ R9 | ①営農指導員及び補助員の配置 ②重点品目及び推奨品目の栽培方法の検討 ③農作業の省力化にむけバックホーの貸出を行う。 | ①営農指導員1名及び補助員1名の配置 ②重点品目及び推奨品目の栽培方法の検討のため栽培試験を実施する。 ③バックホーの貸出 | ①農業指導員及び補助員の配置し営農指導及び栽培試験を実施する。 ②重点品目2品目、推奨品目1品目の継続的な栽培試験の実施 ③バックホーの稼働率 7割以上 | 【今後のスケジュール】 引続き試験栽培及び営農指導を実施する。 | 【R8成果目標設定の考え方】 農家の大多数に栽培試験の効果を行き渡らせる事ができたと考えられる指標として設定した。 |
| 7 | ① | | PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業 | R2 ～ R12 | ・前年度の中城村立小整備事業において選定された事業者が、教育施設整備における要求水準を満たしているのか監視を行う。 | モニタリングの実施 | 教育施設整備に向けた実施設計の完了 建築工事着手 | 【今後のスケジュール】 R5 基本設計 R6 実施設計・建築工事 R7-8 建築工事 | 【R6成果目標設定の考え方】 PFI事業募集要項に記載ある内容を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 中城村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|----------------|----------------|--|-------------|--|--|-------|
| 事業番号 | パ | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 7 | ② | 中城村中学生平和体験学習事業 | R5 ～ R13 | 【平和体験学習の実施】 ※中城中学校全生徒対象※ 1学年: 村内コース(中城村内の戦跡や資料館等を巡るコース) 2学年: 中部コース(県内中部地区の戦跡や資料館等を巡るコース) 3学年: 南部コース(県内南部地区の戦跡や資料館等を巡るコース) | 平和学習の計画的な実施 | 平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいか(80%以上)を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。 | R6まで事業を実施し、アンケートの結果等から今後事業をR13まで継続していくかどうか検討する。 ※事業期間はR13年度まで記載 | - |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 西原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | | |
|------|----|-----------------|-----------------|---|---|---|--|--|-------|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | R6成果目標(指標) | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| | | | | | | | | | |
| 1 | ① | 観光地美化・緑化等環境整備事業 | H24 ～ R13 | 沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 | 町内公園の美化・緑化実施(3箇所) ①運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地 | 観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 観光客や地元住民に対し、アンケートにて、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を目指す。 【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 観光客や地元住民のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 | |
| 1 | ② | 文化財環境整備活用事業 | H25 ～ R13 | 西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。 | ・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施(環境美化)24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断・治療 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回 ・文化財巡り等イベント開催:3回 | 文化財巡り等イベント参加者数170名 | 【今後のスケジュール】 今後もガイド団体等の人材育成を行い、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。そして、文化財めぐりイベント等においても、170人の目標を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。 | |
| 2 | ① | 小学校外国語活動指導員派遣事業 | H24 ～ R13 | 外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。 | 外国語活動指導員2名派遣(町立4小学校) | 児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して外国語活動指導員を派遣し、外国語教育の充実を図る。 児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。 本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 | |
| 2 | ② | 教育相談員配置事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・町教育相談室に教育相談員を3名配置 ・定期的な学校訪問(町立小中学校6校) ・教育委員会との連絡会議の実施(5回以上) | 教育相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善が確認できた人数の割合 67%以上 | 【今後のスケジュール】 定期的な小中学校への巡回訪問を継続しつつ、関係機関と連携を図ることで課題を抱える児童生徒や世帯に対して継続的、効率的な支援を行い、課題解決を図る。 教育相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善が確認できた人数の割合67%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 西原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|--------------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ③ | 学習支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。 | 学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:10人 中学校:4人 | 沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 2.8以上 算数 2.8以上 ・中学校 国語 4.0以上 数学 4.1以上 英語 0.6以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。 沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差を、小学校においては国語・算数共に3ポイント以上、中学校においては、英語を3ポイント以上が目標値となるよう努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ④ | 特別支援教育支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 | ・特別支援教育支援員配置数 小中学校:21人 ※状況に合わせて各学校へ配置 ※支援対象者の数に応じて支援員数の増減あり ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施(2回) | 年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を86%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。 支援対象児の状況調査において、改善した児童数を90%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ⑤ | 幼稚園特別支援教育支援員配置事業 | H26 ～ R13 | 幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、障がいや発達の遅れにより特別な支援を要する園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。 | ・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施 | 対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。 対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度90%以上を目指す。 | 支援児個々の状態に適した支援を展開していたかを検証するため、対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応への満足している」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方・課題等についても、アンケート項目を精査しながら意見聴取を行う。 |
| 3 | | 親子通園事業 | H28 ～ R13 | 乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。 | 親子通園受け入れ組数:8組 | 対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減(80%以上) | 【今後のスケジュール】 今後も効果的な事業展開が実施し、対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減(80%以上)を達成できるよう継続的に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | | 西原町雇用サポートセンター活性化事業 | H27 ～ R13 | 求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。 | ・求職者と企業のマッチング 20件以上 ・スキルアップ講座等 20回以上 | 新規雇用割合50%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。新規雇用割合50%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 西原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-------------|----------------|---|---|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | 輸入感染症対策推進事業 | R2 ～ R13 | 麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。 | 麻しん風しん(MR)予防接種の実施(接種率95%以上) | 外国人観光客受入に起因する麻しん風しん(MR)集団感染の発生件数 0件 | 【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種動員に取り組み、接種率向上(接種率95%以上)を目指す。 | 【成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的であるため、集団感染の発生件数0件を目標値として設定した。 | |
| 6 | 平和の約束運営事業 | R5 ～ R13 | 西原町平和事業の一環として、西原町平和事業「平和の約束2024」を実施し、平和意識の醸成を図る。 | 「平和の約束2024」を開催 | 「平和コンサート」イベント来場者350名。 「平和バスツアー」参加者1回20名を2回開催。 「チョコレート制作事業」作品数20作品。 「平和の語り部アーカイブ動画企画制作」戦争体験者3名の語り動画を制作。 | 【今後の取り組み】 本事業のような平和を発信する取り組みは、単発では効果が限定的で、毎年続けて発信していくことが重要。「平和の約束」という取り組みを継続させるとともに、子どもや若者等の新しい世代を巻き込んでいく。 それを踏まえ、R6目標と同等規模の実績を後年度も目指す。 「平和コンサート」イベント来場者350名。「平和バスツアー」2回開催。「チョコレート制作事業」実施。「平和の語り部アーカイブ動画企画制作」実施。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績や参加受け入れ可能な規模を想定して設定した。 | |
| 7 | 西原町観光PR促進事業 | R4 ～ R13 | 交流人口の増加・歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員配置、観光PR、町産品のPR業務、観光・歴史・文化情報等の発信にかかる経費として計上する。また、PR活動に必要な観光PRコンテンツ作成を行う。 | ①観光・歴史・文化情報等の発信事業 ②誘客イベントの実施 ③観光キャラクター運営事業の委託 ④町産品PR事業 ⑤観光PRコンテンツ作成 | ①誘客イベント 6回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産品PR事業 6回以上 ④観光PRコンテンツ作成 | 誘客イベント、観光キャラクターの連携により交流人口の増加を図る。また、観光PRコンテンツ作成により、PR活動の強化を図る。 今後も下記のイベント等の実施を目指す。 ①誘客イベント 6回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産品PR事業 6回以上 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去のイベント数、キャラクター出動数等より設定。 | |
| 8 | 緑のリサイクル事業 | R4 ～ R13 | 各家庭や地域清掃で排出された木枝廃棄物の収集・処理を行い、焼却ごみを削減する。 | ・町内一般家庭、共同清掃から出た木枝を収集し、処理する。 ・ホイールローダーの導入 | ・木枝の収集量の増加(R4比5%)を図る | 【今後のスケジュール】 ホイールローダーを購入し、作業施設、発酵施設、保管施設を整備し令和13年度までに収集・処理量を令和4年度比50%増加を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 粉碎機を購入したため、処理量が増加し、木枝の収集量も増加できると考えたため。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 西原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | | |
|------|----|---------------|----------------|--|--|--|---|--|-------|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | R6成果目標(指標) | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| | | | | | | | | | |
| 9 | | シェアサイクル活用推進事業 | R5 ～ R7 | 観光客等の新たな移動手段の充実を図り、町内観光資源への誘因を図るとともに、本県の課題とされている過度な自動車依存からの脱却による脱炭素化の取組を進めることを目的とし、将来的には自走化を目指すための実証実験を行う。 | ①シェアサイクル利用件数 6,000件/年 ②シェアサイクルを活用した観光資源周遊ルートの確立 | シェアサイクル利用によるCO2排出量の削減目標値 6,156kg-CO2 | ・シェアサイクル利用件数年間6,000件 CO2排出量6,156kg-CO2削減を行う。 【今後のスケジュール】 ・新たな交通手段としてシェアサイクルを定着させるとともに、観光資源へのアクセス手段として周知PRし、観光資源周辺の小規模店舗の利用拡大による地域おこしにつなげたい。 ・新たな地域活性化のツールとして「東海岸サンライズ推進協議会」による広域的な連携につなげたい。 | 【R6成果目標設定の考え方】 シェアサイクル活用を通して、自家用自動車の運輸件数を削減し、CO2排出量削減を図る。 | |
| 10 | ① | 地域防災強化事業 | R5 ～ R9 | 防災体制強化のため、住民・観光客用の飲料水等の備蓄を行い、災害に強いまちづくりを推進する。 | ・備蓄用飲料水(500ml)9,792本購入 | ・備蓄用飲料水をR9までの5年間で避難所最大想定避難者数(8,400人分)の1日分の飲料水を確保することを目標とし、R6は備蓄率59.7%整備することを目標とする。 | 平準化を図りつつ、R9年度までに飲料水の備蓄率100%整備する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 大規模災害発生時に行政備蓄として、避難所最大想定避難者数の1日分を確保することが必要と考え目標設定した。 | |
| 10 | ② | 西原町防災情報発信強化事業 | R6 ～ R8 | 災害発生時に住民や観光客等に対して、迅速で適切な情報発信を行うため、防災行政無線の機能強化や、屋外子局(スピーカー)の性能向上や、聞こえづらい地域等の見直しを行う。 | 実施設計の策定 | 実施設計の策定完了 | 実施計画により、現状の聞こえづらい地域等の見直しを行い、防災情報集約システムにより、多岐に渡る災害情報を一元化集約できるようにする。集約した情報を複数メディア同時配信や高性能スピーカーで周知することで迅速で | 地域住民や観光客に対して、迅速で適切な情報発信を行うことにより、災害による被害の軽減に繋がると考える。 | |
| 11 | ① | 学校DX推進支援事業 | R5 ～ R13 | ICT機器やシステム・アプリ・サービスの利活用を支援する支援員を学校に配置する。 | 町立小中学校6校への支援員配置計2名 | 教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答を全員(100%)とする。 児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の利活用能力が向上したとする回答を70%以上とする。 | 【今後のスケジュール】 今後も支援員による支援を継続し、学校におけるICT利活用能力の継続的な向上を目指す。教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答を全員(100%)を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ICT支援員を配置した学校の教諭及び児童生徒へアンケート調査を実施し、教諭においてはICT機器を活用した指導が自ら行えるとする回答を100%、児童生徒においては昨年よりもICT技術の利活用能力が向上したとする回答を70%とする、70%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 | |
| 11 | ② | 学校教室ICT環境整備事業 | R5 ～ R10 | 町立小中学校の教室に大型提示装置等のICT機器を整備し、授業におけるデジタル教科書(含む独自教材などの教材)の活用、GIGAスクール構想にて整備されたタブレットの効果的な活用など授業でのICT活用の促進を図る。 | 大型投影装置27式の整備 | 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上 | 【今後のスケジュール】 次年度以降も同様に整備を継続し、5年間ですべての教室でICT機器を効果的に活用できるようにし、ほぼ毎日活用する状況を目指す。今後も児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ICT機器を導入した学年の児童生徒へのアンケート調査を実施し、授業が分かりやすかったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 | |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 西原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|--------------------------|----------------|--|--|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 12 | 西原町ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業 | R5 ～ R13 | ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。 | 利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成 | 助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上 | 事業を継続して行うことにより、当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する。 今後も、助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施し「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 広く効果があったと考えられる数値として80%以上と設定。 | |
| 13 | 西原町公園照明LED化事業 | R5 ～ R9 | 本町の公園の既存照明のLED化を行うことにより、二酸化炭素排出量(消費電力)を削減し、低炭素社会の実現を目指す。 | LED化の実施 ・西原運動公園体育館 ・テニスコート ・運動公園内外灯 ・西原町都市公園 | 西原運動公園体育館等、西原町都市公園LED化工事の完了。LED化による二酸化炭素排出量の削減値の把握。 | R6年度からは取替工事に着手し、着実に二酸化炭素排出量(消費電力)の削減を図る。削減量については、取替後に把握し、今後の成果目標とする。 | 【R6成果目標設定の考え方】 令和5年度の調査測量設計を基に、西原運動公園体育館等、西原町都市公園LED化工事の完了。また、LED取替後の二酸化炭素排出量の削減量を把握する。 | |
| 14 | 緊急避難路整備事業 | R5 ～ R6 | 交通弱者等を含めた観光客や町民の安全かつ円滑な避難行動の実現を図るため、未舗装の下水路管理用道路を緊急時の避難路としても活用できるようアスファルト舗装を行う。 | 整備工事の実施 | 整備工事の完了 | 【R6成果目標】令和6年度までに内間都市下水路管理用道路及び翁長都市下水路管理用道路のアスファルト舗装整備工事を完了させ、西原町地域防災計画で定めた徒歩による避難を原則として、地域の実情を踏まえつつ、できるだけ短時間で避難が可能となるようなまちづくりに繋げる。※避難路整備後(R7)、避難路を活用することにより、避難時間の短縮(約17%減)を図る。 【今後のスケジュール】 R5 調査測量設計 R6 避難路整備 | 【R6成果目標の考え方】 令和5年度の調査測量設計を基に、避難路整備を行う。 | |
| 15 | 西原町和牛生産推進事業 | R6 ～ R13 | 農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援及び優良種助経費の一部を支援する。また、農家の生産意欲を高めるため、畜産共進会を開催する。 | ・優良母牛導入(4頭)の導入支援 ・優良種助経費の一部を支援 ・畜産共進会の開催 | ・導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合110%以上 | 【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしておくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 与那原町魅力発信事業 | H26 ～ R13 | <ul style="list-style-type: none"> 与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用しての与那原大綱曳まつりを幅広くPRすることでより多くの集客を図り、与那原町の魅力を町内外に発信する。 与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「ゆかたまつり」の開催、「スタンプラリー」を開催する。 地域活性化イベントを行い、与那原町の魅力を町内外に発信する。 軽便与那原駅舎のPR情報発信及び展示資料強化を行い誘客に繋げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 与那原大綱曳まつりへの50,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合) その他事業(地域活性化イベント・ゆかたまつり)での8,000人の誘客。 軽便与那原駅舎来館者数7,000人の誘客。 | <ul style="list-style-type: none"> 与那原大綱曳まつりや地域活性化イベントゆかたまつり、スタンプラリー等を通して与那原町の魅力を町内外に発信していく。 | |
| 1 | ② | 美化・緑化きれいなまちづくり事業 | H24 ～ R13 | コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間(道路等)の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 環境美化作業員配置14名による対象ルート等の美化清掃作業 | <ul style="list-style-type: none"> 本事業による取組の結果、散策しやすくてきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。 | <ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 継続して繁茂対策、美化作業を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 【R6成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる町へ再度訪れたいと、概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。 |
| 2 | ① | きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校) | H24 ～ R13 | <ul style="list-style-type: none"> 学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習支援員 12名配置 特別支援教育支援員 17名配置 情報教育支援員 3名配置 スクールカウンセラー 1名配置 特別支援教育コーディネーター 1名配置 スクールカウンセラー1名(3校) 特別支援教育コーディネーター1名 保幼小中連携コーディネーター1名 就学支援コーディネーター1名 | <ul style="list-style-type: none"> 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上 対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> R13年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 【R13成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。 |
| 2 | ② | 国際理解人材育成事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 主任英語指導助手 1名配置 | <ul style="list-style-type: none"> 英検合格率3%上昇 | <ul style="list-style-type: none"> R13年度まで事業を実施するため英語指導コーディネーターを配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 【R13成果目標設定の考え方】 対象者の学習意欲の向上値として設定した。 |
| 2 | ③ | 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板(ディスプレイタッチパネル可動式)15台(小2校、中1校)購入 | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> R13年度まで事業を継続し、ICT設備を整備し電子黒板等を活用した授業体制の構築を図りICT学習の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の授業のあり方をICTを活用し個に合った学習環境を整備するため、学校における対象備品の整備率を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------------|-----------------|---|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ④ | 不登校対策等事業 | R6 ～ R13 | 不登校児童生徒に対する登校復帰、不登校となる状況を未然に防ぐために、校内自立支援室を小中学校に設置、校内自立支援員の配置、学校カウンセラーの配置等を行い、学校現場に支援体制を構築し、不登校の改善を目的とする。 | ・学校カウンセラーの設置、派遣 ・校内自立支援室の設置 ・校内自立支援員の配置 | 児童生徒の不登校復帰率： 小学校10%、中学校10% | R13年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学習意欲や登校意欲、社会的自立を引き出すような支援に努める。 | 【R13成果目標設定の考え方】 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 |
| 3 | ① | きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園) | H30 ～ R13 | 特別な支援を要する児童に対し、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るため、個に応じたきめ細かな支援を行うべく、特別支援教育支援員及び特別支援教育コーディネーター、臨床心理士を配置する。 | 【配置】 特別支援教育支援員10人 特別支援教育コーディネーター1人 臨床心理士2人 | ・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を成果目標とする。 | 教諭及び児童、保護者の障害理解を促すことで、支援員配置を減らす。10人→8人 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ② | ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業 | R4 ～ R13 | ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。 | 利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成。(ひとり親家庭等の児童受入クラブ) | 対象家庭(保護者)へアンケートを行い、80%以上が「利用料減免により放課後児童クラブを利用することができた」等の回答を成果目標とする。 | 利用料減免を継続して行うことで、ひとり親家庭等が放課後児童クラブを利用しやすい環境を整え、子どもたちの安心・安全な居場所の確保に資する。 | 対象者の80%以上の支持を設定。 |
| 4 | | 与那原町海外友好親善大使人材育成事業 | H27 ～ R13 | 文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。 | 研修生の受入 2名 児童生徒・町民との交流会の実施 2回 日本語および文化研修の実施 90回 交流会におけるアンケート実施 3回 帰国後の研修生による報告会及びアンケートの実施 1回 | ・交流会の開催:1回 ・帰国後に現地での報告会:1回 ・与那原町における交流会でのアンケート:国際交流に関心がある人の割合:91% ・帰国後の研修報告会でのアンケート:沖縄・与那原に関心がある人の割合:100% (PR大使としての活動の実施) | 【今後の方針】 交流会を継続して行うことで人的ネットワークの強化を図り、相互の文化振興や友好親善の推進へつなげていく。 研修生は、帰国後積極的に町人会及び県人会活動に参加し、本町及び本県とのネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に寄与する。 今後は、与那原町民の海外への派遣について準備することも検討しており、さらに本事業の効果を高め、成果目標の達成を目指している。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------------------------|-----------------|--|---|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | 新しい公共交通検討事業 | R1 ～ R6 | 福祉型町内バスの導入に向けて検討するため実証実験を行う。 ↓ 実証実験実施 ↓ アンケートの実施 ↓ 検討委員会の開催 | 実証実験実施 ↓ アンケートの実施 ↓ 検討委員会の開催 ↓ 導入可否の決定 | 町内バスの導入可否の決定 | 【今後のスケジュール】 R5年度まで実証実験を実施し、R6年度の本格導入に向けて検討する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 順路の見直しを行い、お昼休み設けず、一日中町内を循環することにより、より利便性の高い運用となっているか利用者へのアンケートやヒアリングを実施し、アンケートより本事業の需要や課題等を見出し、本格導入に向けての検討をする。 | |
| 6 | 与那原町防災力強化事業 | H28 ～ R10 | ・災害時備蓄食料等の購入及び入替 ・災害時資機材の購入 ・防災士育成の支援 | 災害時備蓄食料の購入 ・非常用食料(レトルト) 1,446食 ・非常用食料(パン類) 500食 ・保存水 2,328本 ・粉ミルク(スティックタイプ) 100箱 災害時資機材の購入 ・ワンタッチパーテーションファミリールーム 40張 防災士資格取得補助金 5人 | 令和6年度備蓄食料カバー率 100% | 平成28年度～令和10年度にかけて計画に基づき必要数を整備する。 | 令和6年度～令和10年度 ・非常用食料 1,948食 ・粉ミルクスティックタイプ 100箱 ・保存水(500ml) 2,328本 | |
| 7 | 与那原町伝統文化発信事業 | R4 ～ R7 | 与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。 | ・与那原大綱曳映像コンテンツの多言語化事業 ・与那原町文化財映像コンテンツの多言語化事業 ・多言語化対応デジタルサイネージの導入 ・親川広場カナチ棒説明版設置 | ・綱曳資料館への4,000人誘客 | 【今後のスケジュール】 ・映像コンテンツや体験型の展示等を活用し、学び・体験を通して、伝統文化の継承・発展につなげる。 ・コンテンツ等を活用した周知強化を実施する。 | 【R6成果目標の考え方】 令和4年度来館者実績3,755名より設定した。 | |
| 8 | 与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業 | R4 ～ R13 | 将来の公共交通利用に係る児童への学習会の実施、コンパクトなまちを生かした自転車利用の促進を図るための環境整備をおこなう。 | ①交通教育の実施 ②シェアサイクル導入の実証実験 | ①公共交通教育の理解 参加人数の80%が理解 ②シェアサイクル導入の実証実験開始 | 本町のコンパクトな町域を生かした移動環境の向上を図る(自転車等)。また、自動車だけではなく公共交通等の利用を促進するための環境整備、意識啓発等を実施継続して実施することで、安全で安心な交通環境の構築する。 | - | |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|-----------------|-----------------|--|--|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 9 | 運玉森「平和学習広場」整備工事 | R1 ～ R6 | 運玉森「平和学習広場」利用者用の駐車場整備を行う。 | 平和学習広場駐車場整備工事 一式 | 平和学習広場駐車場整備工事の完了 | 【R7成果目標】 平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する。 | 整備スケジュールに基づき設定した。 R1年度:基本計画作成委託 R2年度:実施設計委託、用地取得 R3年度:価格調査業務 :運玉森「平和学習広場」 整備工事 R4年度:斜面对策調査測量設計業務 R5年度:運玉森「平和学習広場」斜面对 策工事及び整備工事 R6年度:運玉森「平和学習広場」駐車場 整備工事 | |
| 10 | 市街地拡大地区可能性調査事業 | R5 ～ R7 | 与那原町都市計画マスタープランにおいて「市街地拡大検討地区」と位置づけられた「町道上与那原前の井線」周辺において、地権者等への市街化に対する意向調査及び市街地拡大の事業手法等を検討するとともに、都市拠点としての当該地区における都市機能の充実や良好な住宅市街地の形成を目指すための可能性を模索する。 | 可能性調査業務の実施 | 可能性調査業務の完了 (まちづくり基本計画の策定) | 土地利用の決定 (市街地拡大手法を決定する) | 本事業において策定する基本構想に基づく事業手法等を決定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該基本構想に基づいた事業手法等を決定していくことを目標とする。 | |
| 11 | 与那原町青少年人材育成交流事業 | H24 ～ R13 | 町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地にて交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。 | ・町内社会教育団体への補助 (実施団体) ・県外への派遣 15人 ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 | ・事後アンケートの実施。達成度の回答80% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 5名以上 | 今後も派遣事業を続けていくことで、継続的に人材育成を図る。研修受講後は積極的に町のイベントや行事に参画することで、協働のまちづくりの一旦を担ってもらう。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業において人材育成に係る活動目標については派遣事業における視点視野の広がりを子どもたちが持つことであることから、事後報告やアンケートにおける参加者の達成度を成果目標とした。 | |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 1 | 青少年国際交流事業 | H24 ～ R13 | 海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。 | ・交流事業派遣生徒数:10名 ・事前研修の開催:14回 ・事後研修の開催:10回 ・研修報告会の開催:1回 | 帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【将来的な到達点】 多様な異文化を持つ人たちとの交流を通じ、様々な考え方を学び、国際的な視野を持った80%以上の生徒が実感することで国際理解教育を推進し、人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者の内、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | 2 | 小学校英語指導助手配置事業 | H24 ～ R13 | 小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。 | 小学校英語指導助手配置数:6人 ・4名 4校各1名 ・2名 中学校区各1名 | 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいたいと思う児童の割合:80%以上 | 【将来的な到達点】 80%以上の児童が英会話や英語圏に興味を持つことで、国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成につなげる。 【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。 |
| 1 | 3 | 学力調査等事業 | H24 ～ R13 | 学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、分析と指導法を研究・共有しながら、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。 | ①標準学力調査の実施 ・小学校4校 2年～3年:国語・算数 ②学力調査の実施 ・中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語 ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 5年～6年 ・中学校2校 1年～2年 ・教員 ④外部講師による研修会等の実施 ⑤到達度確認テストの実施 ・中学校2校 1年～3年 ⑥先進地視察研修 | ①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学2年:2科目/2科目 ・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+1.0ポイント以上 | 【将来的な到達点】 標準学力調査において、平均正答率が目標値以上の科目数2科目/2科目(小学2年)、県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計、小学校の算数-1.0ポイント以上、中学校の数学+1.0ポイント以上となることで、一人ひとりの課題を明確にし、確かな学力の向上につなげる。 【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストや到達度確認テストの調査結果により個々の学力を更に詳しく把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる基礎学力の定着と学力向上を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 小学2年生・3年生は、標準学力調査において、平均正答率が目標値を上回ることを目標とした。 小学6年、中学2年は、沖縄県学力到達度調査において、前年度実績を踏まえ、目標値を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 4 | 学習支援員配置事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | (小学校) ・8名:4校各2名配置 (中学校) ・4名:2校各2名配置 | ・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上 | 【将来的な到達点】 県学力到達度調査(算数、数学)において、小学校は県と本町との平均正答率の差の合計-1.0ポイント以上、中学校は県と本町との平均正答率の差の合計+5.1ポイント以上となることで、個々の基礎学力の向上を図る。 【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、前年度実績を踏まえ、目標値を設定した。 |
| 1 | 5 | 特別支援教育支援員配置事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。 | 特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:27人 | 対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 | 【将来的な到達点】 特別支援員の対応への満足度を80%以上となるよう取り組むことで幼児・児童・生徒の発達段階を踏まえた総合的な教育の充実を図る。 【今後のスケジュール】 引き続き幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。 |
| 1 | 6 | 学校ICT推進事業 | H24 ～ R13 | 学校におけるICT機器を活用した授業を支援するため、ICT支援員を配置する。また、電子黒板一式や指導者用デジタル教科書などのICT機器等を整備し、授業環境の効率化を図る。 | ・ICT支援員1名配置。 ・ICT機器等の整備(電子黒板一式、指導者用デジタル教科書) | ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上 | 【将来的な到達点】 ICT環境の充実やICT機器を活用により学習指導の工夫改善を図り、児童生徒が電子黒板等を活用した授業で楽しい及び分かりやすいと答えた割合80%以上を維持し、学力を向上させ、人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【備品購入費】 今後も、クラス数の増加が見込まれることからより良い授業環境を提供するため、電子黒板等のICT機器の整備を図る。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 7 | 教育相談支援事業 | H24 ～ R13 | 不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。 | ・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 6名配置 ・作業療法士の派遣 4幼稚園4小2中学校へ派遣 ・Q-Uテストの実施小学校4校、中学校2校 | 不登校児童生徒復帰数 :14名 (R4 南風原町問題行動等に関する調査に基づき) | 【将来的な到達点】 相談や支援により14名以上の不登校または不登校傾向の児童生徒を学校へ復帰させ、子どもの社会的孤立を防止する。 【今後のスケジュール】 ・不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰数を14名以上にする。 ・多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組めるよう情報共有の場を設ける。 ・本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては、R4年度実績値 14名を目標値に設定した。 |
| 1 | 8 | 中学校外国人英語指導助手配置 | H24 ～ R13 | 中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。 | 中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。 | 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校1年・2年 英語+1.0ポイント以上 | 【将来的な到達点】 生徒が英語に対する苦手意識を克服し、沖縄県学力到達度調査における県の英語の平均正答率を3.0%上回ることで、国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成する。 【今後のスケジュール】 中学校外国人英語指導助手を配置し、英語学力向上に努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。 |
| 1 | 9 | 南風原町県外等派遣支援事業 | H25 ～ R13 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要な派遣費用の支援を行う。 | 児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数:141名 | 対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。 | 【将来的な到達点】 経済的支援により、経験や活躍の機会を確保し、80%以上の児童生徒の視野が広がった実感することで、青少年の健全育成及び人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|--|---------------------|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 10 | 南風原町幼稚園体育活動充実事業 | H28 ～ R13 | 幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。 | 町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施 | 運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する | 【将来的な到達点】 80%以上の幼児が運動する楽しさを実感することで、遊びや運動、スポーツを通じて幼児期から心身の健康づくりや運動の習慣化を図る。 【今後のスケジュール】 今後も事業の必要性や効果を検証しながら園児の体力向上に効果的な事業を実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | 11 | 南風原町各種大会派遣支援事業 | H25 ～ R13 | 県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。 | 児童生徒の大会派遣の支援延べ86名 | 保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上 | 【将来的な到達点】 経済的支援により、経験や活躍の機会を確保し、80%以上の児童生徒の視野が広がった実感することで、児童生徒の健全育成及び人材育成につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっと身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。 |
| 1 | 12 | 南風原町学校プール日よけ設置事業 | R4 ～ R7 | プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。 | 整備工事(町立1小学校、1中学校) | 整備箇所において熱中症者0人 | 【R6成果目標】 事業完了後の令和5年度に設置済、令和6年度に供用開始の学校プールにおける熱中症被害件数0件。 【将来的な到達点】 学校プールにおける熱中症被害を0件とし、児童生徒の安全を確保し、幼少期において運動機能を向上させる。 【今後のスケジュール】 今後も、整備箇所において熱中症被害を防止し、安心して授業を受けることができる環境を整える。 | 【R6成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、対策事業完了後の成果目標を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | 13 | 学習者用端末整備事業 | R5 ～ R13 | 児童生徒一人ひとりがICT機器の活用を行えるよう、町立小中学校の児童生徒数の増加に伴う、学習者用端末を整備し、ICT教育の充実を図る。 | 学習者用端末の購入 小学校 : 14台 中学校 : 25台 | ・各学校において、学習者用端末を使用した課題の達成率 80%以上 | 【将来的な到達点】 児童生徒1人1台端末を確保し、授業や自主学习などでICT機器をほぼ毎日活用すると答えた割合を80%以上とし、様々なスキルを向上させ、デジタル社会に対応できる人材を育成する。 【今後のスケジュール】 今後も、町立小中学校においては児童生徒数の増加が見込まれることから、ICT教育の充実を図るため、学習者用端末の整備を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 各学校において、学習者用端末を使用した課題を達成することで、スキルの向上に直接繋がると考えられるため。また、80%以上としたことは、大多数が課題を達成していると考えられる数値としてと設定した。 |
| 2 | 1 | 南風原町観光景観美化整備事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。 | ・観光ルートの町道メンテナンス完了 ・公園6箇所の景観美化完了 | 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する | 【将来的な到達点】 良好な景観づくりにより観光地としての景観形成について満足度を80%以上を維持することで、観光客の満足度向上に寄与し、観光誘客及び観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | 2 | ヒーローのまちづくり事業 | H25 ～ R13 | 南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。 | ・イベント開催: 3回 ・金城哲夫生誕地イベント1回 ・飛び安里凧上げ大会1回 ・ヒーローを題材にした舞台化: 1回 | ・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数: 2,884人 | 【将来的な到達点】 観光資源の掘り起こし等により、最終年度(R13)における本事業によるイベント来客者数を4,200人以上とし、これまでの通過型観光から着地型観光への転換を図り、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | 3 | シマじまガイド事業 | H24 ～ R13 | 住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。 | ・ガイド養成新規2名 ・シマじまガイド開催12回 | シマじまガイド参加者:983人 | 【将来的な到達点】 まち歩きイベント開催など体験型・地域交流型の観光を充実させることで、最終年度(R13)における本事業によるイベント参加者数を1,520人以上とし、これまでの通過型観光から着地型観光への転換を図り、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | 4 | 黄金森公園スポーツ施設活性化事業 | H25 ～ R13 | 陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。 | ・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託 ・スポーツキャンプ備品購入 | ・陸上、サッカー等合宿利用者数:560人 ・Jリーグキャンプ・全国大会等来場者数:2,600人 | 【将来的な到達点】 R7年度以降にコロナ禍前の合宿利用者数(560人)を上回り、また、事業最終年度(R13)における合宿利用者(団体)が当該施設を複数回利用した割合50%以上を目指す(R4年度:17団体中5団体)とし、スポーツアイランド沖縄緒形成に寄与する。 【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。 | 【R6成果目標設定の根拠】 合宿利用者数、見学者数ともにコロナ禍の影響により、以前の数値実績の達成にはまだ時間を要すことから、前回実績の数値を参考に設定した。 |
| 2 | 5 | 南風原町観光PR促進事業 | H25 ～ R13 | 本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。また、観光PRコンテンツを制作及び活用し観光誘客につなげる。 | ・はえるん等利用数(ロゴ使用):50件 ・イメージキャラクターによる観光PR活動(出動回数年間60回) ・県外観光誘客活動 ・観光PRコンテンツ制作 | ・SNS(インスタグラム)閲覧数:102,000件 | 【将来的な到達点】 町イメージキャラクターを観光ツールとし、最終年度(R13)におけるSNS閲覧数を236,000件以上とし、町の認知度向上と地域資源の情報発信により、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 SNSを積極的に使い始めたため観光サイトアクセス数からSNS(インスタグラム)閲覧数に変更した。 SNS閲覧数はR4年度の値を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------------|----------------|--|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | 6 | 南風原町商品展開力強化支援事業 | H24 ～ R8 | <p>本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図る。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえばる良品」の認証を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 商品改良相談(延べ50件) 視察研修(2回) 企業マッチング相談(10件) 品質向上セミナーの実施(1回) 販路開拓セミナーの実施(1回) 催事への出展やテスト販売の実施(18回以上) 優れた地域産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(更新含む5件) 物産展の開催(1回) | 商品改良の実施 「はえばる良品」の認証の実施 | <p>【将来的な到達点】 特産品のブラッシュアップやプロモーション等により、販売向上率(個数)を前年度比4%以上アップさせ、地域経済の活性化を図る。 【今後のスケジュール】 販売向上率(個数):前年度比4%以上UP</p> | 【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | 7 | 南風原町和牛改良支援事業 | H27 ～ R6 | <p>農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。</p> | 優良母牛導入(2頭)の導入支援 | <p>導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110% 去勢110%以上</p> | <p>【将来的な到達点】 子牛のブランドを推進し、事業最終年度(R13)における価格差について、牝110%、去勢110%以上によって、和牛農家の生産基盤を確立させ、経営の安定化を図り、畜産振興につなげる。 【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。</p> | 【R6成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしておくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。 |
| 2 | 8 | 南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業 | R1 ～ R9 | <p>南風原南インターチェンジ周辺地区を「新規産業集積ゾーン」として企業誘致等により産業拠点の形成を目指す。本事業は国道507号の西側にある津嘉山地区、東側にある照屋地区において土地利用構想の作成、地権者組織の支援及び実現化に向けた検討、都市計画決定図書の作成を行い、土地利用の早期実現に向けて取り組む。</p> | 津嘉山地区北エリア:地区計画検討・策定 津嘉山地区南エリア:地権者組織の立ち上げ | 地区計画の策定 | <p>【将来的な到達点】 面的整備後に企業誘致を2社以上行い、雇用創出の環境を整え、町全体の活性化を図る。 【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原南インターチェンジ土地利用計画書の実現に向けて取組み企業誘致を図る。</p> | 【R9以降の成果目標の考え方】 R1～R5:土地利用計画書 策定 R6年度以降:事業化に向けた手続き、面的整備 令和9年度以降:企業2社以上誘致 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | 9 | ふるさと博覧会事業 | R4 ～ R12 | ふるさと博覧会を開催し町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る。 | ふるさと博覧会開催の支援 | 来場客数:9,000人 | 【将来的な到達点】 最終年度(R13)における本事業のまつり来場動員数を18,000人以上とし、町の認知度向上と地域資源の情報発信により、観光振興につなげる。 【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、ふるさと博覧会を隔年で実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | 1 | 草木リサイクル事業 | H24 ～ R13 | 焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破砕し再利用する。 | 町内から排出される草木のリサイクル完了 | ・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):522トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):104トン | 【将来的な到達点】 ごみの資源化を図り、事業最終年度(R13)までに1日1人当たりごみ排出量を415g(資源ごみを除く)とし、施設の長寿命化を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | 2 | 環境保全3R推進事業 | R1 ～ R13 | 環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)を細分化したうえで分別作業を実施しリサイクルを推進する。 | 町内から排出される資源ごみを細分化し分別及びリサイクルの完了 | ・資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 888トン ・廃食油の収集分別量16,000リットル | 【将来的な到達点】 ごみの資源化を図り、事業最終年度(R13)までに1日1人当たりごみ排出量を415g(資源ごみを除く)とし、施設の長寿命化を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを分別し、リサイクル量の増加を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 資源ごみのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 また分別量は、R4年度の収集分別量の実績より算出した。 |
| 4 | 1 | 放課後児童の居場所づくり支援事業 | H24 ～ R13 | 安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭・非課税世帯等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。さらに、デジタル技術の活用で学童クラブの質の向上を図り、安心して児童を預ける環境を整備する。 | (1)家賃補助 13か所 (2)ひとり親世帯等学童クラブ利用料支援補助 130人 (3)学童クラブクラウドシステム活用支援 26か所 | 安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【将来的な到達点】 学童クラブへの経済的支援等により、子育てへの負担感が軽減されたと感じる保護者の割合90%以上維持を目指すことで、子どもたちの安心・安全な放課後の居場所を確保する。 【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助、また学童クラブシステム活用支援を実施していく。 | 【R6成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | 2 | 認可外保育園支援事業 | R1 ~ R13 | 出生率の高い沖縄の課題である待機児童の受け皿となっている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の認可外保育園に対して運営費補助等を行うとともに、町外の認可外保育園利用者に対し、保育料の一部助成を行う。 | 1.認可外保育園への補助 1施設 (1)運営費補助 (2)歯科検診費用補助 (3)傷害保険費用補助 2.町外認可外保育園を利用する町内在住児童保護者への保育料助成 13人 | 1.対象施設利用世帯へのアンケート(保育の質向上):80%以上 2.対象世帯へのアンケート(負担軽減):80%以上 | 【将来的な到達点】 保育の質の向上及び保護者の経済的負担軽減について、本事業の有用性80%以上を目指すことで、保護者が安心して子育てできる環境をつくる。 【今後のスケジュール】 認可外保育施設が提供する保育の質の向上及び保護者の負担軽減を目標に継続的に実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業のあり方についてアンケートにより検証し、対象者のうち大多数が有益な事業であると考えられる値として設定した。 |
| 4 | 3 | 輸入感染症対策推進事業 | R2 ~ R13 | 新型コロナウイルス感染症対策の為の入国制限措置が段階的に緩和され、麻しん及び風しんに感染した観光客が来県した場合でも、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。 | ①MR I 期接種目標率 95% ②MR II 期接種目標率 95% | 外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件 | 【将来的な到達点】 感染症の蔓延を予防し、外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数を0件とし、沖縄の観光や経済への影響を最小限に抑える。 【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。 |
| 5 | 1 | 陸軍病院壕公開活用事業 | H24 ~ R13 | 南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。 | 開壕日数:308日 | 見学者数8,000人 | 【将来的な到達点】 最終年度(R13)における陸軍病院壕の見学者数を10,000人以上とし、町の歴史の継承及び観光誘客を図る。 【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。 見学者数の回復を図るため、町観光協会などと連携して旅行会社や学校団体に対する見学方法などの情報発信を強化する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去(R1~R4年度)の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------|-----------------|--|---|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | 2 | 子ども平和学習交流事業 | H24 ～ R13 | 子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども平和学習交流事業参加者数:8人 県内研修(事前学習)及び県外研修を実施 研修の成果を報告会等で発表し、報告書にまとめる。 | 参加児童の保護者へのアンケート <ul style="list-style-type: none"> 子どもにより変化がみられた:90% 参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた:90% | 【将来的な到達点】 事業最終年度(R13)における事業参加児童総計374人(H6~R5:310人+R6~13:64人)とし、平和や人権に対する意識の醸成につなげる。 【今後のスケジュール】 各年度児童8人(小学校6年生)の事業参加、研修実施実施を通し、戦争体験者が減少するなかではあるが、各地の若い世代との交流学習の実施や本事業OB会との連携を図ることで、本事業の柱である戦争と平和、差別と人権をテーマにした学習を継続、充実させていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童の平和等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。 |
| 5 | 3 | 伝統芸能保存育成事業 | H24 ～ R13 | 伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。 | 伝統芸能保存育成補助(3件) | 補助団体による伝統芸能上演等回数12回 | 【将来的な到達点】 町指定無形民俗文化財(民俗芸能)13件の定期的な上演により、安定的な継承を実現し、指定文化財以外の伝統芸能の活性化を図り、地域振興につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承を推進するため、自治会を支援する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 各自治会の伝統行事及び町内外のイベントで演舞等を行う予定回数で設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | R6成果目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| | | | | | | | | |
| 5 | 4 | 資料の公開活用事業 | H24 ～ R11 | 南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料等をデータベース化して整理し、公開活用を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 写真、レコード資料整理作業 資料の公開フォーマットに合わせたデータ整理 資料公開システム導入 | <ul style="list-style-type: none"> 写真、レコード資料整理5000点 染織資料1,100点、南風原町史掲載写真資料550点の公開のフォーマットに合わせたデータ整理 資料公開システム導入 | <p>【将来的な到達点】</p> <p>最終年度(R11)までに民具、文書資料約500点、図書・写真・レコード資料約15,000点の整理、写真資料15万点の権利確認等を実施し、公開可能な所蔵資料をデジタルアーカイブで公開して関心を持たせることで、南風原文化センター来館者数(文化センター施設利用者、壕見学者含む)を合計28,000人以上とし、本町の歴史文化を後世に継承し、地域振興につなげる。</p> <p>【R7年度成果目標】</p> <p>資料公開システム活用開始のデジタルアーカイブについて資料を公開し、関心を持ってもらうことで、南風原文化センター来館者数(壕見学者含む)を合計28,000人とする。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和6年度に資料公開システムを導入し、平行して資料のデジタル化を進め、デジタルアーカイブとして保存・公開する。</p> <p>R06:資料公開システムの導入、写真・レコード資料整理</p> <p>R07:資料公開システムの公開、図書資料整理</p> <p>R08～10:登録完了資料の随時公開、写真資料権利確認</p> <p>R11:登録完了資料の随時公開、レコード資料権利確認</p> | <p>【R7成果目標設定の考え方】</p> <p>デジタルアーカイブを開覧し、歴史学習を行うことで、本町の歴史・文化に関心を持ち、直接南風原文化センターへ訪れるなど、歴史の継承及び観光誘客につながることを考えると考え設定した。</p> <p>指標は過去の見学者数を参考に、新型コロナウイルス感染症前の状況に回復することを目標に設定した。</p> |
| 5 | 5 | 南風原町海外移住者子弟研修生受入事業 | H24 ～ R12 | それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史をはじめとした、相互の文化と歴史の学習を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 受け入れ国の数1か国(アルゼンチン) 研修生(1人)の受け入れ完了 研修成果の報告会を開催 | <ul style="list-style-type: none"> 研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 研修終了後、移民史に興味があわいた:80%以上 日本語をさらに習得したい:80%以上 日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上 海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上 ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%以上 | <p>【将来的な到達点】</p> <p>隔年での研修生1人受け入れ、事業最終年度(H12)において研修生総計66人(H元“R4:62人+R6“R12:4人)とし、研修後もオンライン等で定期的にコミュニケーションをとり、青少年国際交流をはじめ、海外と本町を結ぶ中心的な役割を果たすよう育成する。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>移民地の子弟や町人会と南風原町を結ぶ人材育成が目的の事業であるため、出身国の組織継続を念頭に置いた取り組みを展開したい。</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>海外と町を結ぶ懸け橋となる人材育成が図られたかを指標化することは難しいため、お互いの文化や歴史により一層興味を持ったかを、アンケートで測ることにより、懸け橋となる人材育成が図られたかを確認する。</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南風原町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|---------------------------------|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | 1 | 長寿県復活食の応援事業 | H25 ～ R13 | 将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。 | 生活習慣病予防健診の開催 健診結果説明会の開催 | 中学2年生の継続受診率60%(令和元年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか) | 【将来的な到達点】 学童期から生活習慣病を予防するため、中学2年生の継続受診率60%以上により、重症化予防・健康づくりを推進する。 【今後のスケジュール】 生活習慣病予防健診結果を教育委員会や町内学校とも共有することで学童期からの生活習慣病予防を効果的に進めていきたい。 | 【R6成果目標設定の考え方】 生活習慣病予防のためには健診結果を経年で見ていくことが重要であり、継続受診率を見ることで事業目的の評価を行えると判断した。なお、60%は本町の特定健診継続受診率を参考値とした。 |
| 7 | 1 | 南風原町防災情報発信強化事業 | R5 ～ R7 | 災害時に住民や観光客への適確な情報発信として、防災行政無線の屋外子局(スピーカー)の機能向上や増設、複数メディアへの同時配信機能整備等により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行う。 | 整備工事 | 整備工事 | 【将来的な到達点】 防災行政無線放送を活用した避難等訓練を年1回以上実施し、地域防災力の強化につなげる。 【R8成果目標】 防災行政無線放送を活用した避難等訓練(1回以上/年)を実施する。 【今後のスケジュール】 R6: 整備工事(第1工区) R7: 整備工事(第2工区) | 【R8成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、整備事業完了後の成果目標を設定した。 |
| 8 | 1 | 国際交流拠点ネットワーク推進事業 | R5 ～ R8 | 観光・経済・文化等の様々な多角的交流を行い、世界のウチナーネットワークの継承・発展及び交流ネットワークを生かす国際交流拠点の形成を図る。 | 友好都市締結20周年記念式典(伝統芸能披露・町物産PR)の開催 | 式典開催後、参加者及び関係者にアンケートを実施。 ・式典開催後、南風原町及び沖縄に興味があった:80%以上 ・南風原町及び沖縄の文化や特産品に興味があった:80%以上 ・カナダ及びレスブリッジ市に興味、関心を持つようになった:80%以上 ・国際交流に興味、関心を持つようになった:80%以上 | 【将来的な到達点】 青少年の海外派遣を継続して実施し、児童生徒等へ毎年4回以上講座をはじめ、年1回以上の国際交流事業等により、町民の国際交流に対する理解を深め、また本町の友好都市であるカナダレスブリッジ市をはじめ交流のある都市とのネットワークを強固にし、国際交流拠点の形成を図る。 【今後のスケジュール】 青少年国策交流の実施及び沖縄県人カナダ移民125周年記念式典へ参加等により、今後も継続して多角的な交流を行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 式典開催等により、レスブリッジ市と町の多角的交流、更なる相互理解が図られたかを指標化することは難しいため、お互いの文化や歴史により一層興味を持ったかを、アンケートで測ることにより、交流ネットワークを生かす国際交流拠点の形成が図られたかを確認する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 渡嘉敷村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 渡嘉敷村観光総合推進事業 | H24 ～ R13 | 観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する新しい観光地づくりに取り組む。 | ・PRツールの制作配布(観光MAP等) ・県内外で行われるイベントでのPR活動(沖縄国際映画祭、マンダイビングフェア等) ・広告掲載(観光情報誌掲載) ・外国語スタッフの配置(那覇泊港とまりん、泊港北岸事務所) | ①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・閑散期でも入域客数を安定的に確保するため、多様な渡嘉敷村の魅力を前面に出したPRを展開する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 ②大多数の観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ② | 渡嘉敷村美化清掃事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。 | 花木植栽 10箇所実地 美化清掃 10箇所実地 | 観光地を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図れたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 R6年度まで実施し、本村のイメージアップに努める。 | 【R6成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。アンケートにより検証する。 |
| 1 | ③ | 渡嘉敷村観光振興事業 | H29 ～ R13 | 渡嘉敷村の観光振興を図るため、イベント実行委員会等への支援や案内業務や誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。 | ・各イベントの支援・実施 ・観光協会への支援 | ①年間入域観光客数 134,800人以上 ②各種イベントの開催 | 【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘り起こしやリピーターの確保に努める。 ・観光協会の案内業務の充実化を図り、観光客の満足度向上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 コロナも落ち着きを見せ、観光客の足が戻ってきているこれからの大切な時期と捉えているため十全なPR活動と満足度の向上に努めることで、島の魅力をアピールしていく。 |
| 1 | ④ | 渡嘉敷村海域安全確保事業 | R1 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7月、8月 阿波連ビーチ 1名追加) | ①水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件 | 【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | 自動車航送コスト負担軽減事業 | H28 ～ R13 | 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃を半額補助する。 | 年間車両航送台数 自動車 850台 バイク 270台 | 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 本事業の継続により離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。 | 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 渡嘉敷村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ② | 渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業 | H25 ～ R13 | 渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する | 年間補助回数 30回 | 渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する | 本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。 | 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。 |
| 3 | ① | 小学校学習支援員配置事業 | H24 ～ R13 | 児童の学力に応じた個々の学習指導を行うため、小学校に学習支援員を配置する | 学習支援員の配置数 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名 | 沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率との差3.1ポイント以上 | 今後も継続的に学習支援員を配置することで、児童の学力向上及び教育環境の改善を図る | 【R6成果目標設定の考え方】 前年度の実績を勘案して設定した |
| 3 | ② | 児童・生徒派遣支援事業 | H25 ～ R13 | 村外で開催されるスポーツ及び文化的教育活動等の大会に参加する児童・生徒に対し、交通費等の補助を行い、教育意欲の向上を図る | 村内では体験できない活動を通して、個々の能力や教育意欲の向上を図り、児童・生徒に広い視野を持たせる | 児童・生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対してアンケートを実施し、事業のあり方を検証する | 引き続き児童・生徒の派遣費の補助を行い、離島の教育的ハンディの克服につなげ、個々の能力及び教育意欲の向上を図る | 【R6成果目標設定の考え方】 保護者に対してアンケートを実施し、児童・生徒の視野が広がったと考える保護者80%以上を成果目標に設定 |
| 3 | ③ | 家庭教育支援事業 | H28 ～ R13 | 小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。 | オンライン学習塾の開校 小学5年(国語・算数)74授業 小学6年(国語・算数)74授業 中学1年(数学・英語)74授業 中学2年(数学・英語)74授業 中学3年(数学・英語・国語)143授業 | オンライン学習塾への参加率60%以上 中学3年生の志望校合格率80%以上 | 離島教育環境の改善を図る。 | 離島における教育格差の解消 |
| 4 | ① | 渡嘉敷村農村整備振興事業 | R4 ～ R13 | ・自然環境に配慮しつつ沖縄らしさを活かした魅力的な農村の景観を形成することで、農業と観光業の総合的な振興を目指す。 | ■島の玄関口にあたる農村公園及びその周辺の農道の草刈り作業 ■農村公園のピオトープの浚渫作業。 | 農業者へのアンケート 農環境が改善した80%以上 | 【今後のスケジュール】 ■農村公園及びその周辺の農道の草刈り作業の継続。 | - |
| 5 | ① | 渡嘉敷村防災体制強化事業 | R5 ～ R6 | 安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達と取りこぼす事無く、情報伝達を出来るよう無線放送と防災監視カメラの機能強化を行う。 | ・防災行政無線の機能強化 ・防災監視カメラの機能強化 | ・防災用スリムスピーカーの設置 ・防災監視カメラの設置 | 【R7成果目標】 ・防災無線のアンケート調査を行い、向上したの回答80%以上 | 当該年度の整備が年度末に終了予定の為成果の確認ができないため、今年度は導入までを成果目標とする。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 座間味村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 座間味村海域安全隊事業 | H24 ～ R13 | 村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員等を配置する。 | ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ 2名 ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 GW期間中及び梅雨明けから8/31までは各ビーチ1名追加、7/1～8/31はさらに1名追加 | ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件 | 【今後のスケジュール】 水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、水難死亡事故0件を目指す。 | 本事業の目的は、ライフセーバーを配置することにより、遊泳者の水難事故防止及び安全が確保ができたかを計測するべきであるが、水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、水難死亡事故0件を目指す、目標を設定した。 |
| 1 | ② | 座間味村がらる観光支援事業 | H24 ～ R13 | 観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともにPR素材を活用した県内外へのプロモーション施策展開を実施する。 | ・各種イベント実行委員会への補助金交付 ・PR素材を活用したプロモーション展開 | 入域観光客数112,000人 | 【今後のスケジュール】 入域観光客数 【実績】 H29:108,467人 H30:98,631人 H31:99,110人 3年平均:102,069人 →10%増として 例年の入域数を目標 112,000人 とする。 | 入域観光客数については、過去の実績を基に設定した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の実績を基に設定。 入域観光客数 【実績】 H29:108,467人 H30:98,631人 H31:99,110人 3年平均:102,069人 →10%増として R6目標 112,000人 とする。 |
| 1 | ③ | 座間味村観光受入拠点事業 | H24 ～ R13 | 観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。 | ・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光客誘客活動年5回 ・観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発 4回 心肺蘇生講習会 2回 | ・観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。 肯定的であるとの数値80%以上を目指す。 | ・事業の目的である観光客の利便性が確保されたかどうかについて、観光客へアンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 ・事業の目的である観光客へのおもてなしに活用できると感じたかどうかについて、観光事業者らにアンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |
| 1 | ④ | 座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業 | H29 ～ R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 平和の塔園路の工事・施工管理 | 平和の塔進入路の整備工事の完了 | 【今後のスケジュール】 R6:平和の塔進入路 工事・施工管理 【R7成果目標】 修学旅行学校数 5校 | 【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績及び観光協会の意見を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 座間味村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------------|-----------------|--|----------------------------------|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ⑤ | 座間味村防災力強化事業 | R6 ～ R7 | 災害時の備えや発災時において、住民及び観光客の安心・安全を確保するため、老朽化している消防車庫を改築し機能性を高める。また、備蓄倉庫を設置し、住民及び観光客への緊急時の対応強化も図る。 | 設計業務の実施 | 設計業務の完了 | 【今後のスケジュール】 ・設計業務を進めていく上で、消防車庫及び備蓄倉庫の仕様等の詳細を協議し、建築工事開始に向けて準備を進めていく。 ・上記内容と並行し、各成果目標を達成することができるよう、運用マニュアルの内容を精査しながら作成前の土台作りを実施する。 | 整備スケジュールに基づき、設定した。 (スケジュール) R6:6月設計業務着手 R7:2月完成検査、設計完了 R7:5月改築、設置工事着手 R8:4月工事完了 R8:4月以降の成果目標 ・消防車庫:訓練における初動時間を5分短縮、災害時の対策本部立ち上げを10分短縮 ・防災倉庫:災害時の対応人数を400人増(村民及び観光客) |
| 2 | ① | 座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業 | H24 ～ R13 | 定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。 | 村営船舶航路欠航時におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施。 | 利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。 | 入域観光客数 【実績】 H29:108,467人 H30:98,631人 H31:99,110人 3年平均:102,069人 →10%増として 例年の入域数を目標 112,000人 とする。 【今後のスケジュール】 利用者アンケートを継続し、「利便性が確保された」との回答が80%以上を目指す。 | 【R6成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |
| 2 | ② | 座間味村自動車航送運賃低減化事業 | H25 ～ R7 | 離島住民の利便性向上を確保するため、高額である座間味村⇄沖縄本島間のフェリー車両航送にかかる運賃補助を実施し、高い交通コストの改善を図る。 | 車両航送運賃の低減化支援 | 利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 経済的な負担を軽減し、住みよい環境づくりにつなげることで人口流出を防ぎ定住を促す。 人口:令和5年4月現在 873名となるので、この水準を保つ事を目標とする。 | 【R6成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 座間味村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|---------------------|----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | パ | | | 細 | R6事業内容 | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 |
| 2 | ③ | 座間味村冬季船舶運賃低減化実証実験事業 | R4 ～ R7 | 観光客誘客を図り、観光客の増加＝旅客の増加により、村民生活に欠かすことのできない航路事業の安定化を図るため、冬季(1月～3月)の閑散期における那覇発の船舶運賃を低減化する。 | 冬季(1月～3月)にフェリー及び高速船の那覇発の船舶運賃を低減する。 | 1月～3月旅客数:9,500名以上 1月～3月売上:40,000千円以上 | 【今後のスケジュール】 3年間実証実験を行い、実証結果に基づき料金等の設定を行い、観光客数の落ち込む1月から3月において、コロナ禍前平均の約13,000人以上の集客を図る事を目標とし、入域客数の平準化、航路事業の安定化を図る。 | 【R6成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ④ | 座間味村大型2種免許取得助成事業 | R4 ～ R6 | 座間味村内の唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許取得者が村内に少数である為、今後のバス運行を続けるために運転手の確保が喫緊の課題である。 免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行い、運転手不足の解消、雇用拡大に繋げ、住民ならびに観光客の交通手段の確保、観光客の利用拡大、公共交通の安全性確保を図る。 | 大型2種運転免許取得者への取得費用の一部助成、取得期間の宿泊費用、交通費、船舶運賃の全額助成 | 助成人数:8名 | 【今後のスケジュール】 村営バス運転手を10名確保し、現在、運行休止中の路線(阿嘉・慶留間島路線)を稼働させる事を目標とし、住民ならびに観光客の交通手段の確保、夏場のピーク時における観光客の利用促進、来島者の利用増加に繋がるよう取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 村営バスの路線は、座間味島、阿嘉・慶留間島間の2路線で設定されており、現在は1人で1路線の運行となっている。 安定運行のためには、1路線5名の運転手を確保したいことから、全体目標を10名と設定。R5に2名取得見込みのため、R6は残り8名で設定。 8名分の取得費用一部助成 8名分の船舶運賃、宿泊費、交通費の助成 |
| 2 | ⑤ | 幼稚園預かり保育支援事業 | R6 ～ R13 | 自営業者が多く保護者が共働きの家庭が多い本村において、多様な保育ニーズに対応するため預かり保育を実施する。 | 預かり保育支援事業の実施 | 預かり希望日数に対しての受入れ実績日数50%以上 | 預かり保育希望日数に対して100%の受入れ体制を構築する。 | 現在園児のほぼ全員が降園後の預かり保育を希望しており、希望時間すべての受入れができていないため、人員の配置を行い希望に対応できる体制を整備する。 |
| 2 | ⑥ | 児童・生徒派遣支援事業 | R6 ～ R14 | 村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、交通費、宿泊費等の補助を行う。 | 島外の人との競争や交流の機会を確保することで児童生徒に広い視野を持たせる。 | 児童生徒が各種スポーツ大会及び文化活動等に、意欲的に取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。 | 離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。 | 各種活動等に、取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 粟国村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|---|--|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 環境美化促進事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。 | ・美化活動の実施 観光地:5箇所 拝所:約90箇所 アクセス道路:13路線 (およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路) | 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・美化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線 (およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路) 上記を中心とした村内全域 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ② | 粟国村「ア」のくにづくり推進事業 | H26 ～ R13 | イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。 | ①イベント開催【アの国まつり】 1回(2日間) ②広報周知活動【フェア出展】 1回(3日間) | ①イベント開催【アの国まつり】 ・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:50人(むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー) ・イベント来場観光客数:100人(2日間) ・粟国村観光PR活動の実施 ②広報周知活動【フェア出展】 ・5,000人に観光PR用の配布物を提供する。 | 【今後のスケジュール】 R6年度までにイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | ハブ対策事業 | R2 ～ R13 | 地域住民や観光客、児童生徒の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。 | ・作業員の配置(2人) ・捕獲器の設置・見廻り(160基) ・ハブ対策講習会(1回) ・ハブ侵入対策の測量設計業務の実施(学校施設) | ・ハブ咬症被害:0件 ・ハブ侵入対策の測量設計業務完了(学校施設) | 【今後のスケジュール】 咬症被害ゼロのため捕獲事業を継続して実施し、観光客、地域住民、児童生徒の安全安心を確保する。 | 【R6成果目標の考え方】 令和2年度から当該事業を開始し、車両購入、捕獲器計160基を購入し捕獲駆除を行っている。令和5年4月から10月31日現在で155匹のハブが捕獲された。引き続きハブ駆除を積極的に行い、離島である本村の特色的な自然環境、歴史、文化などの資源を活用した着地型観光を促進するためにも、咬症被害ゼロを目指す。 |
| 2 | ① | 国際交流支援事業 | H27 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 海外ホームステイ生徒派遣 1人 | 【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」(100%以上)を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検) | 【今後のスケジュール】 派遣予定者は5名。 【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」(80%以上)を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検) | 【R6成果目標設定の考え方】 【成果目標①】 大多数の生徒が「授業等への取組姿勢などが向上した」及び大多数の保護者が「国際的な視野が広まった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者増加については、過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 栗国村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|----------------------|-----------------|---|------------------------------|---|---|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ② | 学力向上支援事業 | H27 ～ R13 | 島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。 | 5月から翌年3月まで月50コマの村営塾の実施 | 【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 【成果目標②】 対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」(80%以上)を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査で県平均を上回る状況を継続する。 【成果目標②】 アンケートの結果、対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上した」と答えた割合が80%以上 | 【R6成果目標設定の考え方】 県到達度調査結果の過去の実績を勘案して設定した。また、アンケートについては、令和5年度より実施。 |
| 2 | ③ | 児童・生徒派遣支援事業 | H27 ～ R13 | 島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。 | 児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加への参加の支援 | 対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を継続し児童生徒の生きる力を育む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 栗国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業 | R3 ～ R13 | 栗国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。 | 交流人口を対象とした航空運賃割引の実施 | 栗国村への観光入域者数:3,300人以上 | 【今後のスケジュール】 第四次栗国村総合計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。 | 【R6成果目標の考え方】 第四次栗国村総合計画に基づき、設定した。 |
| 3 | ② | 栗国村自動車航送運賃低減化事業 | R2 ～ R13 | 村民が沖縄本島と栗国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、栗国～那覇間の車両構想利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。 | 自動車航送運賃を低減するための支援実施 | 運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減し、住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める | 【R6成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ③ | 栗国村墓地周辺環境整備事業 | R4 ～ R7 | 伝統的な墓地を次世代に継承するため景観形成及び環境保全を図る。 | 栗国村墓地周辺環境整備の実施設計を策定する。 | 栗国村墓地周辺環境整備の実施設計の完了 | 【R8年度成果目標】 墓利用者へのアンケートにて「栗国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備が図られたか」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 | 【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数「栗国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備が図られたか」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ④ | 栗国村交通移動手段低減化対策事業 | R5 ～ R13 | 本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの往復運賃を一部支援する。 | 那覇泊港～栗国港間の乗船運賃を一部補助する。 | ・フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 粟国村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|------------------|----------------|--|---------------------------------|---|--|--|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 3 | ⑤ | 離島航空路チャーター運航支援事業 | R5 ~ R13 | 那覇・粟国間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、村民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と協調して補助を行う。 | 那覇・粟国間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助 | 那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持 | 【今後のスケジュール】 那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持 | 【R6成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本村の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。 |
| 3 | ⑥ | 粟国村拝所整備事業 | R6 ~ R8 | 伝統行事の保存を行うために、各種拝所について整備を行う。 | 基本計画の完了 | 基本計画の完了 | 【R9年度成果目標】 ヤガンユミ参加者へのアンケートにて「伝統行事保存のための安全で利用しやすい環境整備がなされた」の回答が80%以上 | 【R9成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数「伝統行事保存のための安全で利用しやすい環境整備がなされた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ⑦ | 第2次粟国村観光振興計画策定事業 | R6 | 本村の既存の観光振興計画を改訂することにより、施策の総合的且つ、計画的な観光推進を図る。 | 観光振興計画策定 | 観光振興計画策定完了 | 【R6成果目標】 策定する観光振興計画の中で、入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 観光振興計画策定 | 【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。 |
| 4 | ① | 和牛改良支援事業 | H25 ~ R8 | 本村畜産業の振興を図るため、県内外から母牛となる素牛としての優良雌牛の導入をして、付加価値の高い子牛の生産ができるよう支援する | 優良雌子牛導入5頭 | 優良雌子牛導入5頭 | 現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%(-22%)なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0% | 現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%(-22%)なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0% |
| 4 | ② | 粟国島農業活性化事業 | R5 ~ R13 | 本村農業支援のため、散水車をリースし干ばつ対策の強化を図り、さとうきび等の生産力向上を支援する。 | 4t散水車輛2台リース | サトウキビ:1,822トン以上 タマネギ:360kg以上 もちきび:1,995kg以上 | 【今後のスケジュール】 粟国村における農産物の増産に取り組む。 サトウキビ:1,822トン以上 タマネギ:360kg以上 もちきび:1,995kg以上 | 【R6成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 栗国村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------|---------------|----------------------------|--------------------------|-------------------------|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ③ | 集出荷場施設整備事業 | R6 ~ R7 | 集出荷施設における選別器・集塵装置の機能強化を行う。 | 集出荷施設における選別器・集塵装置の整備を行う。 | 集出荷施設における選別器・集塵装置の整備完了。 | <p>【今後のスケジュール】 もちきびの増産に取組む。</p> <p>【R7年度成果目標】 ・R7年度のもちきび出荷量を760kg以上 ・集出荷場施設の消費電力R6年度比40%削減</p> | <p>【R7成果目標の設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 R4年度1,995kg R5年度38kg R6年度252kg ※平均値を目標とする。</p> <p>②既設機:1.7kwh 最新型:1.0kwh 消費削減率約:40%</p> |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 渡名喜村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|---------------------------------|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 環境保全美化推進事業 | H24 ～ R13 | 観光地や集落内などの緑化及び美化活動の実施 | 指定箇所の実施 | 集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 過去の実績を基に引き続き、魅力的な観光地としての景観形成に取り組む。 | 過去の実績を参考に設定。 |
| 2 | ① | 離島苦解消移動手段安定化対策事業 | H25 ～ R13 | フェリー欠航時に代替の交通手段として、渡名喜村～那覇空港間のヘリタクシー利用者の運賃負担を支援することにより、島民及び来島者の利便性を確保する。 | 観光客及び島民に対するフライト実施の支援回数50回 | フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) R5年度:50回 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、事業の目的である交通の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ② | 渡名喜村自動車航送運賃低減化事業 | R6 ～ R13 | 村民が沖縄本島及び久米島町へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、渡名喜村～久米島町～泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。 | 年間車両航送台数 自動車 180台 バイク 30台 | 沖縄本島及び久米島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 本事業の継続により離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。 | 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。 |
| 3 | ① | 環境衛生処理事業 | R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 生ごみ処理機等の設置完了、安定した稼働を実施 | 循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機及び関連機器を導入し、生ごみ処理の島内処理体制を構築する。 | 供用開始後の目標を以下のとおりとする。 安定的な稼働を行い、ボランティアや、農家に対して、処理により作られた堆肥を提供する。 | 生ごみの減量化、堆肥化、その堆肥の無償提供を実現し循環型社会を形成する。 |
| 4 | ① | 多用途住宅整備事業 | H24 ～ R11 | 農漁業をはじめ多様な産業・各種団体職員等のための住宅を確保し、地域雇用の創出と定住人口の増加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途住宅を整備する。 | 基本設計:2件 実施設計:2件 | 基本設計:2件 実施設計:2件の完了 | 後継事業において、10棟16世帯の住宅を整備する。 | 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 渡名喜村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------------|-----------------|---|-------------------|------------------------|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ① 観光振興整備事業 | H27 ～ R11 | アフターコロナ以降の観光客のニーズ等に応えニーズ等に応え、本村の魅力を再発掘するため、渡名喜村観光島づくり計画(仮称)を策定し、新たな観光振興政策を推進する。 | ・渡名喜村観光島づくり(仮称)策定 | ・渡名喜村観光島づくり計画(仮称)の策定完了 | <p>【R7成果目標】</p> <p>本事業にて策定する渡名喜村観光島づくり計画(仮称)の中で、主要な観光整備事業数や観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R6: 渡名喜村観光島づくり計画(仮称)策定</p> <p>R7: 案内板設置基本計画、 車庫実施設計、 展望台整備事業実施設計</p> <p>R8: 案内板設置工事、 車庫建築工事、 展望台整備工事、 小型電気自動車購入</p> | <p>【R9成果目標設定の考え方】</p> <p>当該計画で設定した目標値に向けた、長期的な観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。</p> | |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南大東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業 | H24 ～ R13 | 住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。 | 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援。 | 集団検診(がん検診)受診率38.0%以上。 | 【今後のスケジュール】 引き続きR6年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 専門病院受診渡航費助成事業 | H25 ～ R13 | 村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。 | 専門病院受診等渡航費助成の実施。 | 渡航費支援が必要な人への支援率。100%。 | 【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげ、受診者の負担軽減を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。 |
| 1 | ③ | 遠隔離島特殊住宅確保整備事業 | R5 ～ R6 | 1ターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。 | 住宅用地・ユニット等設計・基礎工事・ユニット製作・海上輸送 | 住宅用地・基本設計・建築工事・住宅(ユニットハウス)を取得完了(6世帯)。 | 【今後のスケジュール】 R6年度から島外より移住者の住宅としての活用。(移住者数 6名) | - |
| 2 | ① | 花いっぱいクリーン環境整備事業 | H26 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 11カ所、アクセス道路 3カ所) | 観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃を行い、観光地の景観と魅力向上を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、引き続きアンケートにより検証する。 |
| 3 | ① | 人材育成派遣事業 | H25 ～ R13 | 島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。 | 児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。 | 派遣された児童生徒が広い視野を持ってたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。 | 【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持ってたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、引き続きアンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 南大東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------------|---------------|--|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ① | 文化の継承と観光の拠点機能強化整備事業 | R6 ~ R8 | 南大東ふるさと文化センターは、村の歴史や文化の品々などを展示し、観光や学習の場の役割を担っている。既存の施設を更に活用する場として整備し、多くの観光客や島民の学習の場として機能強化を図る。 | 訪問者が歴史文化を学ぶスペースや滞在型観光にむけ、基本計画に基づき、歴史資料のデジタル化や新たな展示物の設置・整備を行う。 | ・展示に向けた各種整理の実施 ・施設改修実施設計完了 | 【R9成果目標】 年間利用客数 5,000人 【今後のスケジュール】 R6: ・展示物資料の整理・収集・デジタル化 ・展示場所・レンタルスペースの基本設計 ・展示場所・レンタルスペースの実施設設計 R7: 施設改修工事(工事監理含む) | 【R7成果目標設定の考え方】 総合戦略の実績及び目標を参考に設定した。 |
| 5 | ① | 南大東村ビジターセンター施設機能強化事業 | R5 ~ R7 | 南大東村ビジターセンターの施設機能強化を行うことで天然記念物を地域の貴重な財産として活用することにより、生涯学習や環境教育の場として、更なる人々の交流、地域活性化を図ることを目的とする。 | 天然記念物及び島の貴重な資料を損失リスクから守る対処案と、誰もが容易に施設内を閲覧できる改善案に基づき、島の特色を活かした観光資源の活用に向け整備工事をするための資料作成及び施設実施設計等を行う。 | ・展示に向けた各種整理の実施 ・実施設計の完了 | 【R9成果目標】 年間利用客数 5,000人 【今後のスケジュール】 R6: ・展示物・資料の整理・収集・デジタル化 ・基本設計d ・実施設計 R7: ・施設改修工事(工事監理含む) | 【R9成果目標設定の考え方】 総合戦略の実績及び目標を参考に設定した。 |
| 6 | ① | 南大東村無電柱化推進計画策定事業 | R6 | 安全・安心に暮らせる地域づくりの実現のために具体的かつ計画的な施策を示す無電柱化推進計画を整備する。 | 無電柱化推進計画の策定 | 無電柱化推進計画の策定完了 | 【今後のスケジュール】 R7年度からの計画実施に向け、R6年度中に優先的に無電柱を推進する村営道路を選定する。 | 【R7成果目標の考え方】 県の無電中化推進計画との整合性を図りながら、無電中化協議会にて路線合意後、路線整備を進める。 |
| 7 | ① | 循環型農業推進事業 | R5 ~ R6 | 南大東島のサトウキビ収量および精度に、土壌の何が強く影響しているかが明らかにされていない為、これらの収量及び精度に影響する土壌要因を検証する。 | 土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験を行う | 土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験完了 | 【今後のスケジュール】 とうきび増産プロジェクト取組計画を検討し、サトウキビの生産増を目指す。 | 【R9成果目標】 本村のさとうきび増産プロジェクト取組計画において、5%程度の生産増を目標としている。 |
| 8 | ① | 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業 | R6 | 児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。 | 電子黒板(ディスプレイタイプ 可動式) 15台購入 | 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 I電子黒板(ディスプレイタイプ 可動式) 15台購入児童生徒の学力向上を図る。 | - |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北大東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|---|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 観光アクセス道路美化緑化推進事業 | H24 ～ R13 | 観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 | ・アクセス道路及び周回道路の美化実施:3,000m(10箇所) ・作業員配置4名 ・重機による作業2回 | ・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・修景及び美化の実施を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において魅力的な景観形成が図れていると観光客から80%以上評価の継続を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ② | 地域の観光文化資源の担い手育成事業 | H24 ～ R13 | 伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。 | ・文化交流イベントの開催:4回(県内:1回) | ・島の観光入客者数:1,000人以上 | 【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において入域観光客数1.4千人以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | オンライン双方向授業支援モデル事業 | H25 ～ R13 | 村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。 | ・学習支援員(塾講師)配置:1名 ・東大生によるオンライン双方向授業:授業数66授業/年、講師10名 | ・令和5年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施 | 【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。 【将来的な目標】 北大東村において小学校、中学校共に県平均以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・認定こども園支援員配置:6名 | ・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・認定こども園の運営する。 【将来的な目標】 北大東村において育児の負担感が軽減されていると保護者から80%以上評価継続を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ② | 離島の児童生徒の交流促進事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。 | ・渡航助成の実施 | ・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において派遣された児童生徒が広い視野を持てたかを保護者から80%以上評価継続を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北大東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|-----------------|---|---------------------------------|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ③ | 離島特別医療質確保推進事業 | H24 ～ R13 | 島内に対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。 | ・特定重病患者等の検診助成の実施 ・専門医療従事者の招聘 | ・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・特定重病患者等の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続する。 ・専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続する。 【将来的な目標】 北大東村において心身の健康に関する不安が解消されたかを受診者から80%以上評価継続を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。 |
| 4 | ① | 北大東村景観形成事業 | H26 ～ R13 | 北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。 | ・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:300m | ・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。 【将来的な目標】 北大東村において魅力的な景観形成が図られていると観光客から80%以上評価を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ① | 土づくり推進事業 | R3 ～ R13 | 大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。 | ・土壌カルテ作成(40圃場) | ・土壌カルテ作成(40圃場) | 【今後のスケジュール】 ・R6:土壌カルテ作成 ・R7:土壌改善 ・R8:改善土壌への作付 ・R8-R9:改善土壌での収穫 ・R9:R8-R9の生産量確定値 【R9成果目標】 ・農産物生産量 28,617t以上 | 【R9成果目標の考え方】 直近7年中最大及び最小を除いた5年の農産物生産量の年間平均値に、過去の平均的な増減率を乗じた値以上を目標として設定した。 |
| 6 | ① | 北大東離島住民等交通コスト負担軽減事業 | R4 ～ R9 | 水産業振興や新たな産業の創設を図るため、深層地下水の利活用を行う。 | ・追加試掘、成分分析、利活用計画 | ・深層地下水の利活用プロジェクトの件数 2件 | 【今後のスケジュール】 ・R7:削井工事(第1基) ・R8:削井工事(第2基) ・R9:供用開始 【R9成果目標】 ・陸上養殖の出荷量拡大 5,000匹以上 | 【R9成果目標設定の考え方】 深層地下水による水温や栄養分で養殖産業の振興が図られると考え設定した。 指標については、過去出荷量の個数より設定した。 5,000(匹)=2,500(匹)*2 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 北大東村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------------|---------------|--|----------|------------|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | ① | 低炭素社会構築事業 | R6 ～ R8 | 環境負荷を低減させた省エネルギー化社会を目指し、本村の有する公共施設の空調機器等を省エネルギーへの切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。 | ・実施計画作成 | ・実施計画作成 | 【今後のスケジュール】 ・R7:省エネ化工事(1期目) ・R8:省エネ化工事(2期目) ・R9:省エネ化施設運用 【R9成果目標】 ・電力使用量の削減率を令和6年度の実施計画をもって設定する。 | 【R9成果目標の考え方】 令和6年度に作成する実施計画をもって設定する。 |
| 8 | ① | 重要文化的景観拠点エリア活用・修景事業 | R6 ～ R9 | 北大東村の地域振興、文化財活用及び観光振興のため、歴史資源である重要文化的景観の範囲内において、拠点エリアの活用・修景整備を行う。 | ・基本設計作成 | ・基本設計作成 | 【今後のスケジュール】 ・R7:実施設計 ・R8～9:整備工事 ・R10:供用開始 【R10成果目標】 ・遺構を活用した施設・空間整備の数 _2か所 | 【R10成果目標の考え方】 北大東村総合計画においては、しまづくりのリーディングプロジェクトとして、「文化的景観を活かしたプライドの醸成と観光交流」を設定した。しまづくりをけん引する施策として、拠点エリアの整備を推進する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊平屋村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|---|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | R6事業内容 | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ① | 商工観光産業支援事業 | H24 ～ R13 | 民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。 | ・1団体約200名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域(各戸別訪問)を継続的に実施 ・年間受入観光客数延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施 | 民泊利用者数 2,696人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。 | 【R6成果目標の考え方】 過去の実績(R1、R4実績およびR5見込み)を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 観光地等イメージアップ推進事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路、漂着ゴミ回収・分別の美化作業を実施する。 | 観光ルート等の雑草の除去および清掃作業を実施する。 ・観光地 : 15カ所 ・アクセス道路 : 10路線 ・漂着ゴミ回収: 村一円 | 観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃作業を実施し、観光地としての魅力向上を図る。 | 【R6年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ③ | 誘客イベント推進事業 | H24 ～ R14 | 観光誘客を図るため、イベントの開催支援等を行う。 | ・委託事業7件 ・補助事業2件 | 村内入域観光客数 19,000人以上 | 【今後のスケジュール】 継続的なイベントの開催及び支援を行い観光誘客を図る。 | 【R6年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ④ | 離島景観創出活用事業 | | 村内海岸線の持続可能な景観環境の創出と活用(利便性向上)に向けた基本整備計画を策定する。 | 基本計画の策定 | 基本計画の策定完了 | 【R10成果目標】 村内入域観光客数 19,000名以上 【今後のスケジュール】 令和7年度 実施設計 | 【R10年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ① | 病害虫防除事業 | H24 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの設定を行う。 | 薬剤(性フェロモンチューブ)設置: 160ha | ・さとうきびの生産量 5,110トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日以内 | 【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う | 【R6年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 伊平屋村優良繁殖牛導入事業 | H26 ～ R13 | 農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。 | 優良母牛導入の支援 14頭 | 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も畜産振興を図るため、農家に導入支援を行う。 | 【R6年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊平屋村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|--|---|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ① | 伝統文化継承支援事業 | H24 ～ R13 | 島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化学習の日の開催(毎月第3水曜日) ・各支部・団体への支援(6団体) ・島外芸能公演の開催出演 | <ul style="list-style-type: none"> ①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 140名 | <p>【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望をもち、継続して後継者を育成する。</p> <p>今後も、芸能保存活動並びに独演会等の企画運営を支援していく。</p> | <p>【R6年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> |
| 3 | ② | 特別支援教育支援員配置事業 | H25 ～ R13 | 特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置 各2名 ・学習支援員の配置 各2名 | <ul style="list-style-type: none"> ①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -5ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -4.3ポイント以上 | <p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。</p> | <p>【R6年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> |
| 3 | ③ | 英語学習支援事業 | H25 ～ R13 | グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外短期留学(アメリカ)派遣 3名 ・ESLキャンプ派遣 2名 ・英会話教室の実施 | <p>保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。</p> | <p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。</p> | <p>【R6年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p> |
| 3 | ④ | 伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業 | H26 ～ R13 | 村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加 | <p>派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。</p> | <p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。</p> | <p>【R6年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p> |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊平屋村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|---|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ⑤ | キャリア教育支援事業 | H26 ～ R13 | 児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。 | ・外部講師を招聘しての授業の実施 ・村内での産業学習の実施 ・本島への職場体験(マナー講座の実施) ・職場体験を通じた発表会 | キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(60%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。 | 【R6年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ⑥ | 福祉従事者人材育成事業 | R4 ～ R6 | 村では過去に福祉従事者の為に様々な事業で資格取得に向けて取り組んでおり、有資格者を輩出しているが、受け皿である事業所の施設環境の整備が追いついていない状況である。介護事業所の改革や研修実施、収益改善など効率化構築作業を行い、また、施設管理者向けのマネジメント等、施設改善に繋げ、維持向上を行う。 | 村内、村外での各種研修の実施 | ・村内外での福祉人材育成確保研修の完了による資格取得・スキルアップ ・福祉人材3名以上 | 【今後のスケジュール】 ・受講生の実務研修のための島外介護施設での研修旅費 ・介護支援専門員資格取得に向けての諸般準備 | 【R6年度成果目標の考え方】 福祉人材を計画実施年度毎3名以上 |
| 3 | ⑦ | 琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業 | R5 ～ R7 | 調査をもとに一般流通の書籍によって、万国津梁の橋であった沖縄独自の環境風土の価値と魅力を全国に届ける。離島間で連携した調査、出版、展示のサイクルによって、島外への発信・交流の機会を生み、来島者、関係人口増加および、定住促進力とする。 | 調査結果を活かした出版物の刊行、展示の実施 | 調査委託の完了 展示会の実施 1回/年(300人) 出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったか(70%)、本事業のあり方について検証する。 | 3年間の継続事業により下記を目指す。 ・出版刊行のシリーズ化 ・交流事業の実施、参加者の増加 ・展示参加または実施数の増加 ・馬や船を用いた観光・交流アクティビティの増加数 ・島留学、エコツアー参加者の増加数 ・滞在研究・制作事業の促進 | 【R6年度以降成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な風土環境の価値を実感し、関わりを持ち来島する機会を促進する値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ① | 幼稚園預かり保育支援事業 | H24 ～ R13 | 預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。 | 委託事業 1件 | 保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児における負担の軽減を図る。 | 【R6年度成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が育児における負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ② | 適正飼養推進化事業 | R4 ～ R8 | 本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた普及・啓蒙活動の取組を行う。 | ・避妊去勢手術3回/年 | ・避妊去勢手術実施済猫50頭以上 | 【今後のスケジュール】 R7～R8 野良猫や野猫の捕獲および捕獲後の猫の対処(避妊・去勢手術助成)などを実施 | 【R6年度成果目標の考え方】 猫の飼養条例に基づいた避妊・去勢手術助成を先導的に行うことで動物にも人にも優しい住環境づくりを行うことを目標とした |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊平屋村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R5成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|--|-----------------------------|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ③ | 自動車航送コスト負担軽減事業 | H24 ～ R13 | 島民に対しフェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 | 自動車航送運賃の低減 R6年度:年間6,300台 | 運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 | 【R6年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ④ | 公営墓地等整備事業 | R4 ～ R7 | 墓地整備計画を策定する。 | 墓地整備計画の策定 | 墓地整備計画の策定完了 | 【R6成果目標】 墓地行政アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R6 実施設計作成 R7 墓地整備工事 | 【R6成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケートにより検証し実施設計へ繋げる。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊是名村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|---|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 観光地等クリーンアップ事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。 | 花木の植栽及び肥培管理 16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃 16カ所 | 観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光施設等の環境美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る | 【R6成果目標設定の考え方】 島内を訪れる観光客や村民を対象に魅力的な観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定し、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ② | いげな尚円王まつり支援事業 | H24 ～ R13 | いげな尚円王まつり開催支援 | いげな尚円王まつりの開催 | 来場者数 2,500人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | いげな88トライアスロン大会支援事業 | H24 ～ R13 | いげな88トライアスロン大会支援 | いげな88トライアスロン大会開催 | 大会参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 大会参加者が満足することで本村の魅力が伝わり、観光誘客が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ④ | 「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業 | H24 ～ R8 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 旧蔵品の修復を完了 | 旧蔵品(復元資料)を活用した催事への来場者数:80人 | 旧蔵品を活用した公事清明祭を開催し、広く観光誘致に努める。 | 復元された旧蔵品を使用する公事清明祭の来場者数 令和6年度 80人(目標値) |
| 1 | ⑤ | 伊是名モータースポーツ支援事業 | H26 ～ R13 | 観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。 | ・大会内訳 ドラッグレース 2回 ジムカーナ 1回 ドリフト 1回 | 来場者数 1,263人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ⑥ | 伊是名海岸環境整備事業 | H26 ～ R13 | 地域資源を活かした心安らぐ魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。 | 伊是名海岸環境整備工事を実施する。 | 伊是名海岸環境整備工事の完了 | 【今後のスケジュール】 R4 実施設計 R5 整備工事 R6 整備工事 R7 整備工事 R8 供用開始 | 【成果目標設定の考え方】 供用開始後1年目(令和8年度)年間観光入客数 21,000人 上記の数値は、新型コロナウイルスにより影響を受けたR2年とR3年の平均値を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊是名村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------------|-----------------|--|---|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ⑦ | 伊是名村出店事業者販路拡大支援事業 | R6 ～ R13 | 村外で実施される各種イベントへ出店する伊是名村内事業者の増加及び販路拡大を支援する。 | R6年度については以下の各フェアへ出店される事業者の出店料を助成する。 1. 離島フェア 2. やんばる物産展 3. ありんくりん市 | 各フェア終了後に売上額の報告を行い、前年度対比及び社会情勢等を鑑み、費用対効果を検証する。また出店された事業者からアンケートを頂き、今後の事業のあり方を検証したい。 | 【今後のスケジュール】 R7年度以降も継続して支援することにより、出店事業者が販路を拡大し、売り上げ目標達成に寄与したい。 | 【R6成果目標設定の考え方】 売上目標をクリアすることも大事ではあるが、出店事業者が本来事業を展開する伊是名村において事業継続されることが重要である。アンケートを通して満足度や継続に向けての意欲なども伺っていきたい。 |
| 2 | ① | 伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業 | H24 ～ R13 | 島民に対し、フェリーの自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 | 自動車航送往復運賃(伊是名⇄運天港)の負担軽減 | 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 | 【R5成果目標設定の考え方】 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたかを含めアンケートにより本事業のあり方を検証するものとした。 |
| 3 | ① | 人材育成事業 (日高小との交流事業) | H24 ～ R13 | 伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。 | 日高小学校との交流・体験学習の実施派遣者 伊是名小学校6年生:14人 引率者:5人 | ・児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成 ・保護者アンケートを行い、県外での交流により、児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 これまでの事業内容を精査し、より効果的な事業展開を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 保護者へのアンケートを実施し、結果から事業のあり方について検証する。 |
| 3 | ② | 児童生徒島外諸教育活動支援事業 | H24 ～ R13 | 島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。 | 島外教育活動への派遣費の支援活動団体数:8団体 | 派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ③ | 幼稚園預かり保育支援事業 | H24 ～ R13 | 預かり保育の実施により保護者の育児における負担感の軽減を図る。 | 預かり保育士の雇用:2人 | 保護者へのアンケートで預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担感の軽減を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 |
| 3 | ④ | 学習支援事業 | H24 ～ R13 | 学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。 | 週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:4人 | 平成30年度～令和4年度までの沖縄県学習のたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -9.3ポイント以上 中学校 -9.5ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 R4年度までの過去5年間の実績を踏まえて設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 伊是名村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|----------------------------|----------------------------|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ① | 伊是名村土づくり支援事業 | H24 ～ R13 | さとときびの生産量の増加を図るため、圃場に堆肥の散布を行う。 | 堆肥導入数量:2,000t | さとときびの反収:5,500kg | 【今後のスケジュール】 継続的に堆肥を導入し、連年散布による生産物の増量を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 令和5年度伊是名島さとときび増産プロジェクト会議において実績報告のあった過去5か年分を平均し目標単収を設定。 |
| 4 | ② | 農地の地力強化推進事業 | R5 ～ R8 | 除礫作業・作土供用開始 | 除礫処理量:7,450m ³ | 作土造成量:13,410t | R5～R8 供用開始 年間作土造成 13,410t | 【成果目標の設定】 機械処理能力*土の体積重量より算出した。 |
| 5 | ① | 幼保連携型総合施設整備事業 | R6 ～ R7 | 保育と教育を連携させ幼児教育の充実を図ることを目的とした幼保連携型総合施設の整備に係る基本設計を策定する。 | 幼保連携型総合施設の整備に係る基本設計を策定 | 幼保連携型総合施設基本設計の策定完了 | 供用開始後にアンケート調査を行い本事業のあり方を検証する。 成果目標 ・子どもの発達に応じた教育ができていくか(80%以上) 【今後のスケジュール】 R9 実施設計策定 R10、11 整備工事 R12 供用開始 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童保護者の多数が児童の発達に合わせた教育ができていると考えられる値として設定した。 |
| 6 | ① | 伊是名村公営墓地整備事業 | R6 ～ R8 | 近年墓地の継承者問題等により村外転出が続いている。そのため公営墓地を整備し、解決に努める。 | 墓地建設に係る基本調査・設計、実施調査・設計の実施。 | 墓地建設に係る基本調査・設計、実施調査・設計の完了。 | 【成果目標】 ・公営墓地整備後の入居数を実施設計完了後の母数に対し最大値を設定する。 【今後のスケジュール】 ・R7 墓地用地取得、施工 | 【R6成果目標設定の考え方】 本年度では成果を発揮することが困難であると考えた結果、年間あたり入居数を後年度効果として設定する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 久米島町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 優良雌牛導入事業 | H26 ～ R13 | 肉用子牛の品質及びセリ価格を向上させることで、畜産農家の経営の安定化を図るため、畜産農家に優良繁殖雌牛の貸付を行う団体に、当該牛の導入に係る経費を補助する。 | 優良繁殖雌牛貸付への支援(補助): 50件(頭) | ■導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合: 107%以上 | 【今後のスケジュール】 優良繁殖雌牛の導入を促進し、肉用子牛の産地として定着させていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ② | 獣医師診療充実事業 | R5 ～ R13 | 本町における獣医師不足による診療未対応や診療の遅延等を解消する為、獣医師の増員や環境の整備を図り、獣医師診療の充実及び獣医師の負担軽減を図る。 | 共済獣医師2名の配置 リース車両1台の配置 | ・共済獣医師の診療件数:1,239件/人(負担率137%) ・死亡廃用件数:198件 | 【今後のスケジュール】 獣医師が速やかに配置できるよう、沖縄県農業共済組合と連携し、獣医師の確保に努める。 | 【R5成果目標設定の考え方】 他市町村の獣医一人当たりの診療件数実績を参考にした。 |
| 2 | ① | 久米島紬販売促進事業 | H24 ～ R13 | 久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する久米島紬の新商品開発や販促開拓等の活動を支援(補助)する。 | ・物産展等への出展 4回 ・呉服店(問屋)へのセールス ・新商品の開発 10点 ・アドバイザー招聘 1人 | 久米島紬及び関連商品の年間売上高 ■反物売上額 6,500万円以上 ■小物売上額 1,400万円以上 | 【今後のスケジュール】 県内外の物産展等に出展するなど島外にPRを行い、久米島紬や関連商品の売上増加に持続的な伝統工芸産業の振興を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 久米島特産品販路開拓事業 | H25 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・県内外での物産展開催、出展: 県外2回、県内4回 | ■開催・出展した物産展における島特産品の販売額:2,560万円以上 | 【今後のスケジュール】 島特産品の売上の増加に向けて、県内外で開催される物産展に出展する事業所を支援する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ③ | 地域型就業意識向上支援事業 | H30 ～ R13 | 児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒へキャリア教育等を実施する。 | ・ジョブシャドウイング(小) ・インターシップ(高) ・職場体験(中) ・職業人講話(小中高) ・職業体験型イベント(わくわくワーク)(小) ・グッジョブ連携協議会の開催 ・追跡調査の実施 | ①各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して【良いイメージ】と回答した割合(80%以上)」により本事業の効果を検証する。 ②小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合(65%以上)」により本事業の効果を検証する。 | 【今後のスケジュール】 若年層の就業意識の向上を図り、地域に愛着を持ち、島でも魅力のある仕事に就けるという個々の意識改革に繋げる。 | 【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、追跡調査実施することによりより事業の効果が図られる。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 久米島町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|-----------------|---|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ④ | ブランディングサポート事業 | R4 ～ R6 | 久米島産の特産品を製造・販売する事業者の売上の向上を図るため、特産品等のブラッシュアップやブランディングを行う機会を設け、事業者の経営の底上げに取り組む久米島商工会の活動を支援(補助)する。 | ・個別ブランディングサポート研修14回 ・商品開発に向けた試作品の検証1回 | ■事業継続していく上で効果があったと回答したセミナー参加事業者の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 新商品開発や既存商品のブラッシュアップやブランディング等の経営方法の底上げにより、後年度、事業者の売り上げ増に繋げていく。 | 【R5成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が事業継続していく上で効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 観光誘客促進事業 | H26 ～ R13 | 久米島の知名度向上、観光客の利便性向上及び観光閑散期における観光誘客を図るため、久米島観光の日イベントの開催や、県内外におけるプロモーションの実施、久米島空港内、兼城港ターミナル内に観光案内所の開設を行うほか、観光閑散期のチャーター便就航によるツアー造成、MICE受入に向けた受入体制の強化を行う。 | ・観光広報業務(広報活動、島外イベントでのプロモーション活動、島内イベント「久米島観光の日」開催) ・久米島観光案内業務(空港・港) ・ツアー造成に向けた支援業務 ・MICE受入体制強化業務 | ■久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合:80%以上 ■離島周遊ツアー参加人数:700人 ■MICE年間受入件数:36件 | 【今後のスケジュール】 第3次久米島観光振興計画に基づき観光入域数の目標達成に向けて観光振興施策を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■アンケート対象者の大多数が訪れてみたいと考えられる数値として設定した。本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 ■離島周遊ツアー、MICE受入件数については、過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ② | 体験交流型観光商品開発販売促進事業 | H26 ～ R13 | 観光消費額の増加を図るため、観光閑散期における教育旅行等の団体客誘致に向けて、誘致活動や、体験プログラムのガイド育成、販売促進に取り組む。 | ・教育旅行の誘致活動12回 ・教育旅行誘致13校 ・受入人数1500人以上 | 観光体験プログラム売上額 ■一般:1,607,174円以上 ■教育旅行:7,245,752円以上 | 【今後のスケジュール】 今後も体験プログラムの質の向上や観光関連商品の売上増加を図りつつ、観光閑散期の入域数の底上げを行い平準化を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ③ | 航空運賃コスト負担軽減事業 | H30 ～ R13 | 久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。 | 交流人口を対象とした航空運賃割引の実施 | 久米島町への観光入域者数:130,000人以上 | 【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。 | 【R5成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。 |
| 3 | ④ | 久米島観光ブランディング事業 | R4 ～ R14 | 観光消費額の増大を図るため、「食」をテーマとした久米島観光のブランド化による久米島の認知度や、食の満足度の向上に向けて、ご当地グルメの県内外でのプロモーション活動や、販売促進、飲食店組合の設立等に取り組む。 | ・ご当地グルメ新規参加3店舗 ・県内外プロモーション活動2回 | 一人当たりの観光消費額 ■食事・お酒 13,351円 ■お土産・買い物 8,829円 | 【今後のスケジュール】 久米島観光の認知度向上を図り、観光資源を活かした地域ブランドの確立を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に掲げる一人当たりの観光消費額目標値を設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 久米島町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|------|-----------------|-----------------|---|--|--|--|--|
| パ | 細 | | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 3 | ⑤ | | 観光地等環境美化強化事業 | R5 ～ R14 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化を行う。 | ・環境美化作業の実施：町内45か所 | ■観光地として魅力的な景観であると回答した観光客の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 観光客の動向や自然環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的に環境美化作業を実施する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が魅力的な景観であったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ⑥ | | スポーツコンベンション推進事業 | R5 ～ R14 | スポーツキャンプ・合宿のより一層の誘致を図るため、野球場及び多目的運動場の土・芝生等をプロ野球チームに求められる水準に整備する。 | ・野球場、多目的運動場の高品質(透水性・硬度・均一性等)な土・芝生の整備・管理 ・屋内練習場を設置する | ■スポーツキャンプ、合宿受入件数：11件 | 【今後のスケジュール】 競技団体からキャンプ・合宿地として選ばれる競技環境を整備し、キャンプ・合宿の継続的な誘致を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | | 島外保育士確保対策事業 | R3 ～ R13 | 待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。 | ・保育施設へ就労体験9人 ・島外保育士の渡航費、転居費の支援 県外2人、県内3人 | 待機児童数 0人/R5.4.1時点 | 【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。 | 【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績から設定した。 |
| 4 | ② | | 基礎学力向上学習支援員配置事業 | H26 ～ R13 | 児童の学力向上を図るため、小学校に基礎学力向上学習支援員を小学校に配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を中心に学習支援を行う。 | 基礎学力向上学習支援員を配置：小学校3名 | ■沖縄県達成度調査における平均正答率の県平均との差(県主催の調査)：3.5ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 継続的に学習未定着の児童を中心に個々の習熟に応じた学習支援に取り組み、学力を底上げていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ③ | | 特別支援教育支援員配置事業 | H26 ～ R13 | 特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校へ配置し、多様なニーズに対応したきめ細やかな支援を行う。 | 特別支援教育支援員を配置：小学校12名、中学校3名 | ■特別支援教育支援員の対応に満足していると回答した対象児童生徒の保護者の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 継続的に困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ④ | | 小中アシスト相談員事業 | R4 ～ R13 | 児童生徒の社会的自立に向けて不登校の児童生徒の登校復帰を促進するため、アシスト相談員を小・中学校に配置し、学校とアシスト相談員協働で不登校の児童生徒が登校できるよう支援する。 | ・アシスト相談員を配置：小・中学校2名 | ■登校復帰児童生徒数：2名以上 | 【今後のスケジュール】 いじめの積極的な認知を図り、新規不登校者を抑えながら、不登校児童生徒の登校につなげていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■長期的な心のケアが必要であることから、過去の実績も勘案しながら設定した。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 久米島町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|---|--|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 4 | ⑤ | 学校ICT活用支援事業 | R4 ～ R13 | ICT活用により分かりやすい授業を実施するため、教職員の効果的なICT活用を支援するICT支援員を配置する。また、児童生徒の1人1台端末の活用に適した机上スペースを確保するためデスク天板拡張備品を整備する。 | ICT支援員を配置：町内8小中学校(巡回)1名 デスク天板拡張ツールを整備する | ■ICT活用により授業が分かりやすかったと回答した児童・生徒の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想の推進することで、児童・生徒の情報活用能力を育成していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ① | 地域型就業意識向上支援事業 | H30 ～ R13 | 児童生徒に産業や職業の魅力を伝え、就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。 | 児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。 ・ジョブシャドウイング・わくわくワーク(小) ・職場体験(中) ・インターシップ(高) ・職業人講話(小中高) ・プログラミング授業(中学生) ・グッジョブ連携協議会の開催 ・追跡調査の実施 | ■就業に対して理解が深まったと回答した児童生徒の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 まずは久米島の産業について興味を持たせ、児童生徒自らが学校生活を送る中で、進学・就学をイメージした取り組みができるよう取り組む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ② | ホームステイ等派遣事業 | R5 ～ R13 | 児童・生徒に国際的な視野を持たせるため、次代を担う小・中学生に、海外ホームステイや島内在住外国人との交流を通じた英語の実践や異文化に対する理解を深める機会を提供する。 | ・海外ホームステイ派遣の実施：中学生2人 ・島内在住外国人との交流：小学生12人 | ■国際的な視野が広がったと回答した生徒の割合：80%以上 ■英語に対する学習意欲が向上したと回答した児童の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 海外ホームステイ、島内在住外国人との交流を通して語学力向上ならびに異文化理解を深め、国際社会において主体的に行動できる人材を育成していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ③ | 久米島現代版組踊推進事業 | H24 ～ R13 | 久米島の歴史・文化に対する地域住民等の興味・関心を高め、保存・継承につなげるため、小中高生を中心とした地域の若者達による本町の歴史を題材とした舞台「現代版組踊」の公演等を行う。 | ・現代版組踊り公演：2回(島内外) ・各種イベントへの出演：6回 | ■久米島の歴史・文化に対する興味・関心が高まったと回答した舞台公演来訪者の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 新たなメンバーの参加を募り、舞台の活動を通して久米島の歴史文化に対する理解を深め、地域住民に発信していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 5 | ④ | 文化遺産保存活用事業 | H27 ～ R11 | 古くから中国、東南アジア諸国等との交易・交流を通じて形成された沖縄独自の歴史・文化(古文書)を保存・継承するため、古文書の修復、翻刻及び口語訳を行う。 | ・古文書修復件数：100件 (修復文書610件のうち100件(16.4%)を修復) | ■古文書修復件数：100件 (修復文書610件のうち100件(16.4%)を修復) | 【今後のスケジュール】 修復した資料を積極的に展示会や研究紀要等において公開するとともに、研究者への調査利用も受け入れ、得られた調査結果の公開を行っていく。 | 【R7成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 久米島町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|--|--|---|--|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | ① | 航空運賃コスト負担軽減事業 | H30 ～ R13 | 入域観光客数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填することで、割高な渡航運賃の低減を行い観光客等が訪れやすい環境を整備する。 | 交流人口を対象とした航空運賃割引の実施 | ■久米島町への観光入域者数: 130,000人以上 | 【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画の目標値を基準とし、入域観光客数の増加を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。 |
| 6 | ② | 児童・生徒各種大会派遣支援事業 | H27 ～ R13 | 島外において開催される各種大会(スポーツ・文化)等への参加を通じて児童生徒に広い視野を持たせるため、同大会等の参加に要する派遣旅費に対する支援を行い、地理的・経済的な理由に左右されず多くの生徒が参加できる環境を整備する。 | 島外で開催される各種大会・コンクール等に参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う | ■島外において開催される各種大会等に参加して視野が広がったと回答した児童・生徒の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 6 | ③ | 島外保育士確保対策事業 | R3 ～ R13 | 待機児童の解消を図るため、不足している保育士の確保に向けて、保育施設等の見学や、就職説明会等を開催するとともに、島外から赴任する保育士の引っ越し費用を支援(補助)する。 | ・島内保育施設等の見学、就職説明会20人 ・島外保育士の渡航費、転居費の支援 県外2人、県内3人 | ■待機児童数:6人以下 | 【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■過去の実績を勘案して設定した。 |
| 6 | ④ | 親子支援事業 | R6 ～ R13 | 就学後に学習・行動等が著しく困難となることが想定される子どもに対して、就学前に専門職によるきめ細かな支援を行うことで、学校・社会生活に適應できるようにする。 | ・子育て相談、発達相談、発達検査 ・乳幼児健診等の後のフォロー ・親子ひろばの開催 ・個々に合わせて療育の支援 ・保育所(園)、幼稚園への巡回相談 ・各種研修会の開催 | ■親子支援事業の支援により症状等の改善が見られたと回答した対象児の保護者の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 就学後のに学校・社会生活が送れるよう親子にきめ細やかな支援をしていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が改善が見られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 6 | ⑤ | 島外幼稚園教諭等確保対策事業 | R6 ～ R13 | 就学1年前の子どもを安心・安全に預けられる環境を整え保護者の育児に係る負担感を軽減するため、幼稚園・預かり保育の運営に必要な幼稚園教諭・ヘルパー、預かり保育指導員・ヘルパーを島外から誘致するほか、預かり保育を実施する。 | ・島外幼稚園教諭・ヘルパー、預かり保育指導員・預かり保育ヘルパーの渡航費・転居費の支援 7人 ・預かり保育の実施 | ■幼稚園教育に満足していると回答した保護者の割合:80%以上 ■安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたと回答した保護者の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 幼稚園・預かり保育の実施に必要な島外幼稚園教諭・ヘルパー、預かり保育指導員・預かり保育ヘルパーを確保する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ■対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ■対象者のうち大多数が負担感が軽減されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 八重瀬町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 八重瀬町外国語指導強化事業 | H24 ～ R13 | 小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。 | 英語指導助手:5人配置 小学校4校:3人配置し分担 中学校2校:2人配置 | ①小学校 対象児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合:80%以上 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差平均以上 | 【今後のスケジュール】 小学生、中学生の児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施 ・話すこと、書くこと、コミュニケーション能力の定着を図る ----- 【小学生】英語の興味・関心高まった:80%以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する 【中学生】県との平均正答率の差:平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する | 【R6成果目標設定の考え方】 英語に対する興味・関心度をアンケートにより数値化し、学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。 |
| 1 | ② | 八重瀬町ICT支援員配置事業 | H24 ～ R13 | 児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。 | ICT支援員:3人配置 小学校4校・中学校2校:3人配置(分担) | 対象児童生徒へのアンケート調査により「ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか」の割合:80%以上 | 【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、児童生徒の情報機器の操作能力や情報活用能力の向上を図る。 ----- 児童生徒へアンケートを実施し、ICT機器を活用した分かりやすい授業:80%以上を令和13年度までの9回のうち9回達成する | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ③ | 八重瀬町学力向上支援事業 | H25 ～ R13 | 学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。 | 学習支援員:6人配置 小学校4校:4人配置 中学校2校:2人配置 | 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) 平均以上 中学校(国語・数学) +4.0ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。 ----- 【小学生】国語・算数:平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する 【中学生】国語・数学:平均以上が令和13年度までの9回のうち6回達成する | 【R6成果目標設定の考え方】 学力達成度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることで本事業のあり方を検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 八重瀬町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|--------------------|-----------------|--|--|---|---|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ④ | 八重瀬町特別支援員配置事業 | H27 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 特別支援員：20人配置 小学校4校：17人配置 中学校2校：3人配置 | 保護者に対するアンケートにより「特別支援員の対応に満足した」と考える割合：80% | 【今後のスケジュール】 特別支援員の配置を継続し、特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 ----- 対象児童生徒の保護者へアンケートを実施し、特別支援員の対応に満足したか：80%以上が令和13年度までの9回のうち9回達成する | 【R6成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち、大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ⑤ | 八重瀬町ICT教育強化事業 | H26 ～ R6 | 校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。 | ICT機器の整備 ・電子黒板55台 ・電子黒板用PC55台 | 児童生徒へのアンケートによりICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業を実施する中で、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。 事業の最終年度となる令和6年度の成果目標として、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 |
| 1 | ⑦ | 「夢・未来」スポーツレベルアップ事業 | H27 ～ R13 | 八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手(児童生徒)の活躍を支援するため、派遣費の助成やスポーツ教室を開催する。 | スポーツクリニックの開催(2競技) 児童生徒の県外派遣費の助成 | ①スポーツ教室の保護者へのアンケートで、「スポーツへの意識が更に高まったか」の割合：80%以上 ②県外大会派遣費助成の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。 【今後の実施着地点】 数値については、派遣された児童生徒の大多数の視野が広がったと考えられる数値として80%以上を継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がスポーツへの意識が更に高まった又は広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ⑧ | 八重瀬町国際交流人材育成事業 | H24 ～ R13 | 海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生を海外に派遣する。 | ・海外短期派遣生徒数 12人 | 保護者へのアンケート実施。「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100% | 今後も情報化・国際化時代を担う人材育成の為、交流事業を実施する。各年成果目標である「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100%を事業終期R14年まで100%継続する。 | 保護者へのアンケート実施。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 八重瀬町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|------------------|-----------------|---|--|---|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ⑨ | 八重瀬町少年少女人材育成交流事業 | H26 ～ R13 | 児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。 | (冬)児童生徒交流者数 28人 | 保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の視野が広まった」の回答率100% | 今後も今後の沖縄県・八重瀬町を担う人材育成の為、交流事業を実施する。各年成果目標である「児童生徒の視野が広まった」の回答率100%を事業終期R14年まで100%継続する。 | 保護者へのアンケート実施。 |
| 2 | ① | 八重瀬町イベント事業 | H24 ～ R13 | 伝統芸能の継承と観光客誘致を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントの開催支援を行い、国内外へ情報を発信することで町内への集客を図る。 | ①八重瀬町青年エイサー祭りへの補助 ②やえせ桜まつりへの補助 ③やえせ桜まつり実施に係る八重瀬公園の整備(トイレ機能強化(洋式化)工事) | ①青年エイサー祭り 13,000人以上 ②やえせ桜まつり 7,400人上 | 【今後のスケジュール】 引き続き、地域資源を活用したイベントの開催支援を行うとともに、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、観光客の誘致・町産品PRを実施する。 事業の最終年度となるR13年度まで ①青年エイサー祭り13,000人以上②やえせ桜まつり7,400人上を達成する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 八重瀬町観光地美化作業事業 | H24 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。 | 観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:45箇所 | 観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じている人の割合:80% | 【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。 観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じている人の割合80%を令和13年度まで継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 2 | ③ | 運動公園施設等整備事業 | H24 ～ R13 | スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。 | ・サッカー場プロ仕様芝生整備 ・運動公園整備工事及び芝生用肥料及び資材等の購入、管理用機械の購入 | 野球キャンプの受入れ 4件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。 【今後の実施着地点】 野球キャンプ4件以上の受入れと、サッカーキャンプ4件以上受入れを設定する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 八重瀬町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|----|-----------------------|-----------------|--|---|--|---|---|
| 事業番号 | パ細 | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 2 | ④ | 八重瀬町観光プロモーション事業 | H26 ～ R13 | 観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。 | ・プロモーション企画実施 6回以上 ・SNS等による情報発信 100回以上 | 主要観光施設の入域客数 267,000人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。 事業の最終年度となるR13年度まで、主要観光施設の入域客数267,000人以上を継続する。 | 【R6成果目標の設定の考え方】 R1年度の八重瀬町観光拠点施設の実績に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいることを勘案し、感染拡大直前のR1年度の実績を設定した。 R1年度実績：約267,000人 |
| 2 | ⑤ | 八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業 | R4 ～ R7 | 各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設体育施設を屋内運動場として機能強化改修整備を行い、スポーツツーリズムの推進を図る。 | 旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事、施設駐車場実施設計業務、用地買収業務 | 旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事(継続有)、施設駐車場実施設計業務の完了、用地買収(継続有) | 【今後のスケジュール】 各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、実施設計書に基づいて旧具志頭小学校体育館を屋内運動場として、機能強化改修整備を行い、各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の受入れを行う。 【今後の実施着地点】 屋内運動場整備事業完了後、スポーツキャンプ2件以上の受入れを設定する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツツーリズムの推進施策を実施していくことを成果目標として設定した。 |
| 2 | ⑦ | スポーツキャンプ事業 | H26 ～ R13 | キャンプチームを誘致し、観光客の誘客を図る。 | ・仮設ヤグラの設置 ・仮設トイレの設置 ・警備委託 ・スポーツチームの写真展示 | スポーツチームのキャンプ4チーム誘致 | 【今後のスケジュール】 キャンプチームの定着を図る。 【今後の実施着地点】 誘致数として、4チームを見込む。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ① | 放課後児童クラブ利用者負担軽減事業 | R4 ～ R12 | 放課後児童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免した場合に補助を行う。 | 非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免している放課後児童クラブへ補助を行う。 | 就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合：80%以上 | 【今後のスケジュール】 保護者へアンケートを実施。就労できた又は就労を継続できたと実感する保護者が80%以上を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ② | 八重瀬町地産地消費フェア事業 | H26 ～ R13 | 農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。 | 八重瀬町地産地消費フェア等の開催支援 | ・地産地消費フェア来場者数：4000人以上 | 【今後のスケジュール】 イベントを通じて地場産業の情報発信や地域と協力した展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。 地産地消費フェア来場者数4000人以上を令和13年度まで継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した また地域と協力した展示販売等も加えることにより、地域全体で地場産業の発展に寄与していきたい。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 八重瀬町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|----------------|--|---|------------------------------------|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 6 | ① | 八重瀬歴史文化継承事業 | R4 ～ R13 | 八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し、企画展を開催する。 | [移民・出稼ぎ編] ・会議(3回) ・海外(ポリビア・ブラジル)現地調査。 ・収集した証言や資料の整理。 [言語編] ・会議(3回) ・調査 ・企画展の開催 100人 [近代資料] ・有識者会議(4回) ・横内文書調査 ・「沖縄時論27号」調査 | 企画展の来場者数 100人 | 【今後のスケジュール】 R6年度以降も町の歴史・文化の調査研究及び資料収集を継続し、その継承を図る。 企画展の来場者数200人を令和13年度まで継続する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。 |
| 6 | ② | 八重瀬町無形文化財活用推進事業 | R4 ～ R6 | 八重瀬町内の多彩な無形文化財等を教育や観光に広く活用するため、文化観光体験プランの創出を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。 | ・文化観光体験プランを創出するモニターツアーによるアンケート調査 | ・モニターツアー参加者アンケート結果による体験プランの創出及び見直し | 【R7成果目標】 年間利用者数 3,000人 【今後のスケジュール】 引き続き文化観光体験プラン創出モニター実施し、体験学習型プランの提供による県外修学旅行の受入れ、県内学生向け体験学習の実施、一般旅行者の体験ツアーの受入れを行っていく | 【R7成果目標設定の考え方】 利用者数は以下の数値を参考に設定した。 町内児童数:2,545人(4小学校 R3年度) 町内生徒数:1,047人(2中学校 R3年度) 修学旅行受入:45,000人(平和学習等 R1実績) 町内小中学校児童生徒数×50%程度＝約1,750人 修学旅行受入見込10,000人×15%程度＝1,500人 |
| 6 | ③ | 八重瀬町伝承話資料保存継承事業 | R5 ～ R10 | 八重瀬町に伝わる伝承話の保存、継承を図るため、伝承話資料センターで保管しているアナログ音源資料総数約535話を調査、資料収集、整理をする。 | 伝承話資料センターに保存されている音源のデジタル化、一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けを535話分行う | HPの利用率10%以上(対R5年度比) | 【今後のスケジュール】 伝承話資料の調査、収集、整理を進めながら本事業の目的である伝承話の保存、継承を図るための環境を整える。収集、整理した伝承話資料をHPに掲載し、HP利用率を前年度比10%を目指す。 | 【R6年度成果目標の設定の考え方】 類似の実績がないため、前年度比10%以上とした。今後、利用者の動向を踏まえ検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 八重瀬町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------|---------------|--|---|--|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 7 | ① | 八重瀬町高齢者おでかけサポート事業 | R4 ~ R6 | 公共交通の利用が不便な高齢者や交通弱者等の外出支援を行うため、住民ボランティアドライバーによる外出支援の実証運行を行う。 | ①地域の現状やニーズの把握 自治会や関係機関との連携を図り、利用者の獲得や利用しやすい環境づくりを行う。 ②安全講習の実施 登録ドライバーに対して安全講習等を実施する ④実証運行の実施 車両については町において確保し、無償運行とする ⑤関係者及び利用者に対するヒヤリング調査の実施・評価 | ①参加自治会数:7自治会 ②利用人数:月平均25人以上 ③稼働率:40.0%以上 | 【今後のスケジュール】 参加自治会が増えるような周知広報を図り利用者の増加に向けた取組を図る。また、利用者の声を拾うため各自治会との意見交換会等を定期的に行い、利用しやすいような環境整備を図る。また、事業の最終年度となる令和6年度の成果目標として、 ①参加自治会数:7自治会 ②利用人数:月平均25人以上 ③稼働率:40.0%以上 を目指す。 | 【R6成果目標の設定の考え方】 R5年度4月～10月(7か月)の実績値を上回るよう数値を設定。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 多良間村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 美化緑化推進事業 | H25 ～ R13 | 魅力的な観光地としての景観を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。 | 公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。 | 観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 | 【今後のスケジュール】 R5 公園5箇所の花木管理(植栽計画) R6 花木管理(植栽計画)継続 【今後の目標】 魅力的な観光地としての景観が図られたか(80%以上)を含め観光客や村民等へのアンケートにより検証する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ② | 八重山遠見台展望塔機能強化事業 | R6 | 本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、八重山遠見台展望塔の機能強化を行い、観光客等利用者の利便性の向上及び安全確保を図り、快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。 | 八重山遠見台展望塔機能強化事業 | 事業完了、供用開始 | 【今後のスケジュール】 村内を一望できる唯一の施設。観光客、村民の憩いの場所となっている当施設の利用者の内、年間観光客9,500人中4,750人(50%)以上の利用者を目指す。(空港・観光協会等施設でのアンケートの実施)また展望台での双眼鏡の設置をすることで、来客者の増加が期待される。 | 整備スケジュールに基づき設定した。 (スケジュール) R6: 供用開始 R6: 機能強化事業完了 |
| 1 | ③ | ヤシガニ生息状況調査事業 | R5 ～ R10 | ヤシガニ保護のため、現在の多良間島、水納島における生息状況を調査して報告書を作成する。今後は次年度以降の調査結果も踏まえ、村条例の改正も視野に入れ保護区の設定、ヤシガニ観察エコーの企画等を進め保全及び今後の持続利活用を図る。 | 多良間島におけるヤシガニの大型・小型個体の生息状況調査を研究者及び地元調査員でを行う。ヤシガニの研究者に講演会を実施して村民への啓蒙普及を図る。 | ①ヤシガニ生息状況調査・・・ヤシガニの採取は、大型個体30匹、小型個体(殻付き含む)30匹を目標とする。 ②村民対象の講演会を2回開催する。 | 【今後のスケジュール】 令和7年度～令和9年度は、研究者及び村民有志や観光客を募って現場調査を予定。令和10年度はこれまでの調査結果を踏まえ「ヤシガニ台帳」を作成して報告書をまとめ、自然環境保護に繋げる。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ヤシガニの採取個体数は大型個体30匹、小型個体30匹、併せて60匹程度を目標としている。 |
| 2 | ① | 優良繁殖雌牛導入支援事業 | H27 ～ R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 優良繁殖雌牛の導入頭数: 20頭 | 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合122%以上 | 【今後のスケジュール】 H29～R6の8年間で150頭の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 地域循環型農業推進事業 | R4 ～ R6 | 本村における農業振興のため堆肥施設に大型機械を導入し、農作物の生産性を高め、農家所得の向上及び資源循環型農業の確立する。 | 強力袋詰め機の導入 1台 | 良質な堆肥の製造。 | 【今後のスケジュール】 石礫の重量等の比較 | 【R6成果目標設定の考え方】 機械の導入により良質な堆肥の製造。 |

R6活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 多良間村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|---------------|-----------------|--|--|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ① | 児童生徒島外教育諸活動事業 | R4 ～ R6 | 各種大会が島外で開催されるため、児童生徒・引率者が(派遣)参加するための交通費(航空運賃)及び宿泊費の補助金を交付する。 | ①児童生徒、引率者の大会派遣に係る交通費(航空運賃)宿泊費に対する補助 ②島外の児童生徒との競争や交流の機会を通して、広い視野を広げさせながら意識の向上を図る | アンケートにより大会を通して、「島内ではできない経験ができた。意識の向上につながった」割合:80% | 【今後のスケジュール】 引き続き、島外への派遣を積極的に行い、児童生徒の意識高揚、能力向上を図りながら成果達成につなげていく。 【今後の目標】 派遣された児童・生徒へのアンケートで、島内ではできない経験することができたか(80%以上)をの肯定的な意見を継続することで、人材育成へ繋げていく。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者において概ね肯定的な数値として設定した。 |
| 3 | ② | 学力向上推進ALT活用事業 | H27 ～ R13 | 児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。 | ALT招聘:年間62回 | ①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合:50%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図るとともに、 ①小学校: 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上) ②中学校: 英検4級の保有割合(50%以上)という成果目標の達成を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 (小学生) 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (中学生) 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ③ | 村営学習塾開設事業 | H28 ～ R13 | 児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みたくて臨機応変に対応できるように、オンラインでの支援も視野に入れ実施する。 | 村営学習塾の開設 | 沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)-4.0ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)-6.0ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図るとともに、沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)-4.0ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)-6.0ポイント以上 という成果目標の達成を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 多良間村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------------|-----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ④ | 多良間村就業意識向上支援事業 | H30 ～ R13 | 児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。 | ・沖縄本島へ小学6年生(15名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(11名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(12名)、引率者(5名) ・島内での「ライフキャリア教育」中学3年生(12名) | キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら、で継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図るとともに、キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)という成果目標の達成を目指す。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の職業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 3 | ⑤ | 多良間村自然文化継承事業 | H30 ～ R7 | 多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や村独自の年中行事の調査記録編集等を行い、資料を整理する。 | ・郷土資等の修復、公開 ・年中行事の調査記録編集整理 | ①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 193人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 297人以上 ③シンポジウム来場者数 100人以上 | 【今後のスケジュール】 ①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 193人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 297人以上 ③シンポジウム来場者数 100人以上 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 4 | ① | 多良間村自動車航送コスト負担軽減事業 | H27 ～ R13 | 村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。 | 宮古島⇄多良間島間の自動車航送運賃の補助 | 運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利益を軽減し定住環境の改善に繋げる。定住しやすい環境すなわち、移動しやすい環境が構築されたと考えられる数値80%以上を維持する。 | 【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ② | 多良間村離島航空路チャーター運航支援事業 | R6 ～ R13 | 多良間-石垣間の航空路の運航・維持により村民の利便性向上や定住条件の整備、交流人口の増加等で村の振興に繋げる。その、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、補助を行う。 | 多良間-石垣間のチャーター運航に対する欠損補助 | 多良間-石垣間航空路線の運航・維持 | 【今後のスケジュール】 多良間-石垣間航空路線の運航・維持 | 【R6成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本村の航空路が今後も維持されていることを成果目標として設定した。 |
| 5 | ① | 多良間村心身障害児等旅費助成交付金事業 | R5 ～ R13 | 本村では対応できない心身障害及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。 | 対象者の申請に対し助成金を交付する。 | 渡航費支援が必要な児童への支援率: 100% | 【今後のスケジュール】 今後も障害児及び療育支援を必要とする幼児、児童保護者の経済的負担を軽減する為に旅費助成を引き続き行い、福祉の増進を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 障害者(児)アンケートで旅行支援のニーズが多かった。医療、福祉、教育の現場から療育支援の必要な児童に関する情報を参考に設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 多良間村 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|----------------|---------------|--|----------------------------|------------------|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 5 | ② | 多良間村地下水源保全推進事業 | R6 ～ R7 | 生活用水、農業用水等の用水利用のほとんどを地下水に依存する多良間村において、住民生活、産業基盤等の根幹を成す地下水源を適正に保全するため、島内唯一の最終処分場の改修工事を実施する。 | 最終処分場の施設に関して、技術上の基準を適合させる。 | 環境に安全・安心な施設の機能強化 | <p>【R7成果目標】 策定する機能強化計画の中で、目標値を設定し、当該数値を目標とした機能強化施策を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R6 実施計画の策定・撤去工事 R7 機能強化整備工事・供用開始</p> | <p>【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた機能強化施策を実施していくことを成果目標として設定した。</p> |

R6活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R6成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 竹富町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|--|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 竹富町民等交通コスト負担軽減事業 | H27 ～ R13 | 町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃及び航空運賃の一部を補助する。 | 町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃及び航空運賃の一部を補助する。 | 本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 運賃補助による利便性確保状況を検証しながら、より効率的・効果的で持続可能な住民の利便性確保策を検討する。 | 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。 |
| 1 | ② | 竹富町救急救命搬送拡充事業 | R5 ～ R8 | 島嶼のため医療体制及び救急搬送体制が脆弱であるうえ、世界遺産の登録により観光客が増加している西表島において救急救命体制の拡充を図るため、民間救急事業者による救急救命士の24時間専任体制を構築し安心な定住・観光環境を推進する。 | 救急患者が多い西表島西部地区における救命救急に係る各種活動の実施 (1)事故発生や発病等による諸病者への救急救命対応及び医療機関への搬送活動 (2)西表西部診療所から他の医療機関への搬送搬送及び搬送中における救急救命活動 (3)応急手当の普及活動及び疾病予防等の啓発活動 | ・救急搬送の拡充が図られたか(80%以上)を含め消防団・医療関係へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率100% | 【今後のスケジュール】 西表島が世界遺産に登録され、コロナ禍以前より多くの観光客が訪れることにより、救急救命業務の増加が推測される。その為、西表島全体の救急救命業務の拡充の必要性があり、西表島東部での民間委託の展開を検討している。 | 【R6成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち大多数が拡充が図られたと考える値として設定した。 ・過去の実績を勘案して設定した。 |
| 1 | ③ | うなり崎公園整備事業 | H24 ～ R8 | 西表西部地区にあるうなり崎公園の幼児が遊ぶことのできる遊具等の増設を目的とした機能強化を行い、幼児の健康維持、保護者が安心して子育てができる環境づくりのため、遊具や東屋を整備する。 | 設計の実施 | 設計の完了 | 【R9成果目標】 魅力的な施設としての整備が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R7～R8 整備工事 R9 アンケート実施 | 【R9成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用者にとって利便性のある施設として考えられる数値として80%以上とした。 |
| 1 | ④ | 浦内広場コミュニティスペース整備事業 | R6 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | 工事の実施 | 工事の完了 | 【R7成果目標】 魅力的な施設としての利便性が確保されているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R6 整備工事 R7 アンケート実施 | 【R7成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用者にとって利便性の確保として考えられる数値として80%以上とした。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 竹富町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|-----|---|------|-------------------------|-----------------|---|--|--|--|---|
| パ | 細 | | | | R6事業内容 | R6活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 1 | ⑤ | | 複合型福祉施設整備事業 | H27 ～ R9 | 保育所、子育て支援センター及び高齢者福祉拠点施設等の機能を持った複合型福祉施設を整備する 令和6年度は基本設計を行う。 | 基本設計の実施 | 基本設計の完了 | <p>【R9成果目標】 子育て支援センター年間利用者数 1,000人(延べ人数) 高齢者サロン年間利用者数 480人(延べ人数)</p> <p>【今後のスケジュール】 R6: 基本設計 R7: 実施設計 R8: 整備工事 R9: 供用開始</p> | 【R9成果目標設定の考え方】 町内の子育て支援センター及び地域の高齢者サロンの利用実績を参考に設定した。 |
| 1 | ⑥ | | 竹富町離島航空路 チャーター運航支援事業 | R6 ～ R13 | 石垣・波照間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、町民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と協調して補助を行う。 | 石垣・波照間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助 1路線 | 石垣・波照間航空路線の確保・維持 1路線 | <p>【今後のスケジュール】 石垣⇄波照間航空路線の確保・維持</p> | 【R6成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本町の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。 |
| 2 | ① | | 竹富町観光誘客・受入 対策事業 | H24 ～ R13 | 滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化、歴史、特産品等を活用したコンテンツの調査・支援 ・町内での消費を促すポイントカードシステムの運用 ・インバウンド受入対策 ・ブランドイメージ構築に向けたポータルサイト、PVを活用した情報発信 | 観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光満足度評価平均60ポイント以上(最高100ポイントで10ポイントきざみ)を目指す。 | <p>【今後のスケジュール】 観光客を対象に、観光満足度含むアンケート調査を継続的に実施しながら、本取組の効果および成果目標の拡大、本事業のあり方等を適宜検証し、持続可能な観光振興に取り組む。</p> | 【R6成果目標設定の考え方】 観光客の観光満足度を確保することが持続可能な観光振興につながる為、アンケート調査で観光満足度評価平均60ポイント以上獲得することを目標値とした。 |
| 2 | ② | | 竹富町文化振興・観光 交流拠点整備事業 | R2 ～ R10 | R3年度に策定した基本計画および提言に基づき、年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行い、地域住民や国内外へ情報を公開・発信するほか、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行うサテライト施設の整備調整ならびに展示資料収集を行う。 | R3年度の基本計画の提言に基づき、年長者から地域に残るわらべ歌等の聞き取り・記録調査及び映像資料のデジタル化を行うとともに、町史編集室に保管されている保存状態の悪い写真・資料等のデジタル化を行うとともに、サテライト施設に向けた資料の調査・データベース作成を行なう。 | 町保管等のアナログ資料のデジタル化を行い、公開可能なものについてはHPや施設等での公開および貸出を行う。 | <p>【R10成果目標】 ①来館者アンケート満足度80% ②閲覧者数 40,000人/年</p> <p>【今後のスケジュール】 R4～R6 無形文化財聞き取り等 R6～R8 公表データ作成・サテライト施設の整備(小浜島) R9 サテライト施設開館 拠点実施設計 R10 デジタルミュージアム開館 拠点施設整備工事</p> | 【R10成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が公開資料に満足していると考えられる値として設定。 ②基本構想の中で算出した来館者数と観光前にデジタル資料を閲覧する人数は等しいと想定し、年間40,000人程度の閲覧数を目標とする。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 竹富町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-------------------------|-----------------|---|--|---|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ③ | 竹富島ンブル坂、世持御嶽前石畳整備事業 | R5 ~ R6 | 住民や観光客の多くが利用されるンブル坂及び世持御嶽前の道路を通行者の快適性や安全性を確保し安心安全な観光地として景観にふさわしい石畳道路の整備を行う。 | 整備工事の実施 | 整備工事の完了 | 【R7成果目標】 施設利用者を対象にアンケート調査を行い、利便性の確保及び魅力的な観光地となっているか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。 | 【R7成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用観光客等にとって利便性の確保及び魅力的な観光地として考えられる数値として80%以上とした。 |
| 2 | ④ | 竹富町観光案内人制度運用支援システム整備等事業 | R6 | 西表島エコツーリズム推進全体構想及び改正竹富町観光案内人条例の適切な運用に必要となる、一元的案内人制度運用支援システム及び情報発信の強化を図る。 | ・竹富町観光案内人制度運用支援システムの整備 ・Web広告配信等による情報発信の実施 | 一元的案内人制度運用支援システムの構築 | | |
| 2 | ⑤ | 竹富島コンドイ園地整備事業 | R6 ~ R7 | 竹富島コンドイ園地において、質の高い観光客誘致を図れるよう、魅力的な観光地として受入環境を整えるため、利用施設の機能強化に係る基本構想及び基本計画の検討を行う。 | 基本構想及び基本計画の策定 | 基本構想及び基本計画の策定完了 | 【R9成果目標】 利用者満足度90%以上 【今後のスケジュール】 R6: 基本構想、基本計画 R7: 基本設計、実施設計 R8: 整備工事 | 【R6成果目標設定の考え方】 竹富島全体での訪問満足度を参考に設定した。 |
| 4 | ① | 竹富町和牛生産推進事業 | H24 ~ R13 | 優良繁殖雌牛の導入(購入費の1/2以内、1頭当たり600千を上限とする。)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備をすることで生産の振興を図る。 | ・離島港湾靴底消毒用マット設置、6箇所(竹富・黒島・小浜・西表大原・上原・波照間) ・優良繁殖雌牛導入支援 | 導入した優良繁殖雌牛から産れた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 | 導入牛から生まれた子牛とそうでない牛との価格差を指標とすることで、竹富町畜産牛のブランド力の向上が図れてきているが導入牛の不妊等もあることから、妊娠牛の導入を行うことで、事故牛リスクの軽減が図れる。繁殖牛の増頭により、伝染病に対する防疫対策は否めない為、継続的に取り組んでいく。 | 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標): 令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標): 令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那国町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|---|--|--|---|---|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 1 | ① | 地域振興対策事業 | H24 ～ R13 | 「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「日本最西端与那国島一周マラソン大会」開催の支援を行う | ・カジキ釣り大会【7月】 ・マラソン大会【11月】への補助 | イベント開催月入域観光客数 ・7月:3,000人 ・11月:3,600人 合計:6,600人 | イベント開催月の入域観光客数 令和6年:6,600人 SNSの活用や新規コンテンツを交え、観光客数の増加を目指す | 過去の実績を勘案して設定した |
| 1 | ② | 与那国町誘客促進活性化事業 | H30 ～ R13 | ・観光アピールを行い、与那国町の認知度を向上させ、観光誘客を図る、受入体制を強化・周知させ、観光客の増加を図る | ①観光客誘致・受入体制強化 ②情報発信ツール制作 ③既存事業PR強化 ④観光芸能イベントへの参加 | 入域観光客 43,000人/年 | 県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る | 過去の実績を勘案して設定した |
| 1 | ③ | 与那国島特産品アピール力強化事業 | H25 ～ R13 | 与那国島の特産品販路拡大及び売上の増加を図るため、与那国町商工事業者の支援を行う | ①特産物を開発した新商品・新メニュー開発、既存商品のリニューアル支援及び特産品販売拠点づくりを支援する。 ②事業者による商談会・物産展への出展を支援する(離島フェア含む) | ①5業者を支援し、1業者につきR8年までに5商品以上の新商品(リニューアル商品)を開発。 ②商談会・物産展への出展(5業者)を支援する。離島フェアについては10業者支援。 | R6活動目標①には、時間を要するものもあり、令和8年度までに5商品の増設を目指し支援する。 | - |
| 1 | ④ | 西崎灯台遊歩道等整備事業 | R6 ～ R7 | 日本最西端及び行幸啓の地として島の観光資源をより活かすため、遊歩道等の整備を行い、誘客促進を図る。 | 整備工事の実施 | 整備工事の完了。 | 【R7成果目標】 利用者にアンケート実施 施設利便性の確認(80%以上) 【今後のスケジュール】 R6:整備実施 R7:供用開始、アンケート実施 | 【R7成果目標設定の考え方】 誘客促進を図る。 利用者アンケートを実施し、当該機能整備に係る施設利便性を確認。 |
| 2 | ① | 優良牛繁殖雌牛導入事業 | H25 ～ R13 | 特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。 | ・優良母牛及び妊娠牛導入の支援:30頭 | ・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛及び妊娠牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 2 | ② | 与那国町漁業担い手育成プラン実施事業 | H26 ～ R8 | 漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。 | ・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施 | ・漁業従事者数の維持確保:39人以上 | 【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那国町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|--------------------|-----------------|--|---|---|--|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | R6活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 2 | ③ | 官民一体・新規事業創出推進事業 | R6 | 「官民一体型・新産業推進基本計画」に基づき、新たな官民一体型による施策展開を図り、より早く自立した地域経済の確立を実現させるため、官民連携における専門知識を有するアドバイザーやコンサルの力を借り、より速やかな新規事業創出を図る。 | 与那国町内外及び県内外を問わず、与那国町内における事業展開に興味があり、積極的な参画を思慮する民間企業に対してサウンディング等を実施し、実現可能性の高い新産業のあり方と推進するための枠組みを整理し、新規事業創出に取り組む。 | 新規事業創出件数 2件以上 | 【R6成果目標】 新規事業創出件数 2件以上 【今後のスケジュール】 R7 事業実施 2事業 | 【R6成果目標設定の考え方】 R7年度実施事業の調査設計に該当すると考え実施する業務として、R7年度展開したい事業数と同数に設定した。 |
| 3 | ① | 家庭学習支援モデル事業 | H24 ～ R13 | 都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。 | 町営学習塾において学習指導の実施 | 沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語：+7.5ポイント以上 算数：+9.8ポイント以上 中学生 数学：+2.7ポイント以上 英語：0ポイント以上 | 【今後のスケジュール】 町と県の平均正答率の差が以下になるように目指す。 小学生 国語：+7.5ポイント以上 算数：+9.8ポイント以上 中学生 数学：+2.7ポイント以上 英語：0ポイント以上 | 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 |
| 3 | ② | 教育諸活動助成事業 | H24 ～ R13 | 島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会派遣に対し航空運賃等の補助をする。 | 島外で開催される大会等へ参加する児童生徒及びその指導者に対し、航空運賃等の補助を行う。 | 対象児童生徒の保護者へアンケートを取り、「島内ではできない経験をすることができた(80%以上)」を含め、本事業について検証する。 | 引続き派遣費の補助を行い、対象児童生徒の保護者に対し、アンケートを実施する。 | 視野が広がったと考えられる値として設定した。 |
| 3 | ③ | 地域国際交流事業 | H24 ～ R13 | 小学6年生を台湾花蓮縣にあるタパロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業及びICT交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。 | ・現地交流授業の実施：30名 ・派遣前後のICT交流授業の実施 ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・全体集会や学習発表会での発表 ・保護者向けの事後アンケート調査実施 | 事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか(80%以上)を含め、保護者と担任教諭へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。 | 【今後のスケジュール】 今後も児童が国際社会への興味・関心と外国語によるコミュニケーションの意欲を高める教育機会を提供し、より広い視野を備えた人材の育成を図っていく。 | 【R6目標設定理由】 派遣された児童のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。 |
| 3 | ④ | 与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業 | R4 ～ R13 | 中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおり、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。 | ・研修への派遣：4人 ・生徒報告書の作成 ・報告会の実施 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・生徒・保護者・教諭向けの事後アンケート調査の実施 | 事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持たせたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者・教諭へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 | 【今後のスケジュール】 継続して中学生を英語圏の語学研修へ派遣することで、語学力向上と国際的な広い視野を備えた人材の育成を図る。 | 【R6目標設定理由】 派遣された生徒のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、保護者・教諭向けアンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標)：令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R6成果目標(指標)：令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和6年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

| 与那国町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | R6成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------|-----------------|-----------------|---|--|--|---|--|
| 事業番号 | 事業内容 | | | 活動目標(指標) | 今後の展開方針等 | | 補足説明等 | |
| 3 | ⑤ | 与那国民謡の文化継承事業 | R3 ～ R8 | 伝統文化を活用した町づくりを推進するため、民謡ゆかりの地に解説板を設置し、町内外からの来訪者に民謡の持つ文化的価値を広く周知し、教育や観光に活用する。 | ・解説版(5点)の設置 ・映像撮影の実施 ・民謡巡りツアーの実施 | ・民謡解説板設置5基完了。 ・民謡文化の理解度(80%)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 | 与那国民謡の調査を実施し、ゆかりの地が特定できる民謡については、順次、解説板を設置していく。地域学習や観光に活用できるルートやマップづくりに取り組み、民謡文化の保存継承に役立つ環境整備を推進する。 | 参加者のうち大多数が理解に役立ったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ① | 安心・安全のまちづくり支援事業 | H25 ～ R13 | 教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。 | ・預かり保育の実施 | 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(90%以上)を含め、利用児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する | 【今後のスケジュール】 今後は子育てに関する負担軽減のみならず、保育の質も高めていくこととする。 | 【R6目標設定理由】 利用児童の保護者のうち大多数にとって子育て負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |
| 4 | ④ | 離島高校生保護者負担軽減事業 | R6 ～ R13 | 中学校卒業後も公平な教育機会を確保するため、島外の高等学校等へ進学する児童生徒の保護者に対して、学校行事等へ参加する際の渡航費等を補助する。 | ・沖縄本島への進学(34名予定):4,059千円 ・石垣市への進学(5名予定):260千円 | 対象の保護者へアンケートを取り、「経済的負担の軽減により子育ての意欲が高まった(80%以上)を含め、アンケートにより本事業について検証する。 | 【今後のスケジュール】 継続して渡航費等の補助を行うことで、経済的負担に左右されない公平な教育機会を確保するとともに、二拠点生活による負担回避のための人口流出を抑える。 | 【R6目標設定理由】 補助を利用した保護者のうち大多数が経済的負担が軽減したと考えられる値として設定した。 |
| 5 | ① | 少子高齢化対策事業 | H24 ～ R13 | 島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。 | ・妊産婦定期健診の実施 ・妊産婦一人当たり受診回数:12回/人 | ・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100% | 基本的に石垣市での健診及び出産を対象としているが、高度周産期医療が必要で石垣市での出産が困難な状態等に限り、沖縄本島での対応も助成対象とすることとし、また、新生児集中治療室で医療を受けていた期間(30日を限度)の経費も助成対象とすることで、妊産婦の経済的及び精神的負担にも対応していく。 | - |
| 6 | ① | 公共交通路線支援事業 | H26 ～ R13 | 生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するために必要な条件を整備するとともに、来島者の利便性向上を図る | 生活路線バスの運行 | ・バス対策会議:1回/年の開催 ・乗客アンケート:1回/年の実施により、乗客の満足度80%以上 | 【今後のスケジュール】 生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。 | 【R6成果目標設定の考え方】 島民及び来島者のうち大多数にとって島内移動の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 |

R6活動目標(指標):令和6年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R6成果目標(指標):令和6年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。